

十日町市総合計画に関する
アンケート調査集計・分析業務委託

結 果 報 告 書

令和7年12月
新潟県十日町市

十日町市総合計画に関するアンケート調査集計・分析業務委託

結果報告書

目 次

調査概要	1
調査結果	4
I. あなたご自身のことについて	4
II. 十日町市での今後の生活について	12
全体の傾向	12
前回との比較	13
III. 十日町市での暮らしについて	17
・満足度について	17
全体の傾向	18
年齢別集計	20
前回との比較	37
・重要度について	57
全体の傾向	58
年齢別集計	60
前回との比較	77
・満足度と重要度のクロス集計	97
全体の傾向	99
年齢別集計	100
IV. 今後のまちづくりについて	105
全体の傾向	106
年齢別集計	107
前回との比較	111
理 由	117
V. 自由意見のまとめ	161
VI. 今後のエネルギー政策と原子力防災について	186

■調査概要

1. 目的

本アンケート調査の分析は、第二次総合計画後期基本計画の進捗管理のため、当市の現状や課題、市が実施している施策やサービスに対する市民の思いや評価を把握することを目的に実施する。

なお、今回のアンケート調査は、第二次総合計画の施策に対する市民の評価等を把握するとともに、本市の現状や課題を把握し、第三次総合計画の策定に資するデータとする。

2. 既済アンケート調査の概要

- (1) 調査対象者 十日町市に在住する満 18 歳以上の男女
- (2) 調査実施期間 令和 7 年 5 月 19 日 (月) ~ 令和 7 年 6 月 9 日 (月)
- (3) 調査方法 郵送による配布、無記名による郵送回答・WEB 回答
- (4) 調査票配布数 2,000 通 (住民基本台帳データをもとに無作為抽出)
- (5) 回答数 793 通 (紙回答: 708 通 WEB 回答: 85 通)
(全体回収率 39.7% 紙回収率 35.4% WEB 回収率 4.3%)
- (6) 設問項目
- | | |
|--------------------|--|
| 1. あなたご自身のことについて | ・性別、年齢、居住地区、就業状況、 |
| 2. 十日町市での今後の生活について | ・定住意向とその理由 |
| 3. 十日町市での暮らしについて | ・分野別の満足度と重要度
(全 53 項目、下記大分類別に自由意見欄あり) |
- 大分類 1 子育て・教育 (No. 1~7)
2 福祉 (No. 8~10)
3 男女共同 (No. 11~12)
4 観光・交流 (No. 13~16)
5 農林業 (No. 17~20)
6 商工業 (No. 21~23)
7 文化・スポーツ (No. 24~27)
8 移住・地域活性 (No. 28~30)
9 防災・防犯、安全・医療
(No. 31~37)
10 環境 (No. 38~40)
11 生活・都市基盤 (No. 41~47)
12 市民参画・行政運営
(No. 48~53)
4. 今後のまちづくりについて
5. まちづくりに対する自由記述欄
6. 脱炭素・原子力防災について
- | |
|---|
| ・十日町市の人口減少・高齢化対策における
地域活力の向上に向けた重点項目とその理由 |
| ・脱炭素に向けた取組状況
・原子力発電の積極的な活用の賛否
・事故発生時の行動の理解度 |

3. アンケート集計・分析・評価の方法

- (1) 回収したアンケート回答結果（自由記述・理由欄を含む）を入力・集計する。
- (2) (1)の集計をもとに以下の集計結果を表・グラフ化し、その特徴を分析・評価する。
 - ① (性別・年齢について)
 - ・クロス集計（回答データ数と比率も表示する。）
 - ・令和7年3月31日現在の住民基本台帳により性別・年代構成比と比較し、回答者の傾向を分析する。
 - ② (就業状況について)
 - ・性別及び年代別とクロス集計（回答データ数と比率も表示する。）
 - ・R元.4月、R3.5月、及びR5.6月実施のアンケート結果と対比し表示する。
 - ③ (定住意向とその理由について)
 - ・単純集計（回答データ数と比率を表示する。）
 - ・R元.4月、R3.5月、及びR5.6月実施のアンケート結果と対比し表示する。
 - ④ (分野別の満足度と重要度について)
 - ・分野別に単純集計（回答比率も表示する。）年代別の結果も表示する。
 - ・R元.4月、R3.5月、及びR5.6月実施のアンケート結果と対比し表示する。
(クロス集計も同様)
 - ・満足度（設問全53問）と重要度（設問全53項目）についての「満足度×重要度」の相対分布図を作成する。また、特徴のある項目については、色を変え表示する。
 - ⑤ (今後の重点施策とその理由)
 - ・単純集計（回答データ数を表示する。）年代別の結果も表示する。
 - ・R元.4月、R3.5月、及びR5.6月実施のアンケート結果と対比し表示する。
 - ・理由欄の内容を表示する。
 - ⑥ (まちづくりに対する自由記述欄)
 - ・自由意見を問8の設問ごとに類型し、単純集計する。（回答データ数を表示する。）
※問8の大分類別の自由意見欄の内容も併せて集計する。
 - ・自由意見の内容を表示する。（性別、年代、自由意見）
 - ⑦ (脱炭素に向けた取組状況について)
 - ・単純集計（回答データ数を表示する。）年代別の結果も表示する。
 - ⑧ (原子力発電の積極的な活用の賛否について)
 - ・単純集計（回答データ数を表示する。）年代別の結果も表示する。
 - ⑨ (事故発生時の行動の理解度について)
 - ・単純集計（回答データ数を表示する。）年代別の結果も表示する。
 - ⑩ 標本誤差について
 - ・本調査は標本調査であるため、標本誤差が生じることを記載し、誤差率を明記する。

(3) 標本誤差について

本調査では、調査対象を無作為に抽出しているため、結果は必ずしも真の値（全数調査を行った場合の結果）とは一致せず、なんらかの差（「標本誤差」）が発生する。標本誤差は下記の式によって求められる。

$$\text{標本誤差} = k \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

k : 信頼度係数 1.96

※信頼度 95% (100 回推定したら 95 回は「許容できる誤差の範囲」(許容誤差) の範囲内に収まる、という意味。) の場合

N : 母集団の数 41,167

※R7.3 時点住基台帳の十日町市の 18 歳以上の人口

十日町市における各回答の比率における誤差は下表のとおり。

P (各回答の比) n (サンプル数)	10% (又は 90%)	20% (又は 80%)	30% (又は 70%)	40% (又は 60%)	50%
1,500	±1.5%	±2.0%	±2.3%	±2.4%	±2.5%
1,200	±1.7%	±2.2%	±2.6%	±2.7%	±2.8%
1,000	±1.8%	±2.4%	±2.8%	±3.0%	±3.1%
793	±2.1%	±2.8%	±3.2%	±3.4%	±3.4%
500	±2.6%	±3.5%	±4.0%	±4.3%	±4.4%
200	±4.1%	±5.5%	±6.3%	±6.8%	±6.9%
100	±5.9%	±7.8%	±9.0%	±9.6%	±9.8%

※例えば、ある設問の回答者数が 1,200 人であり、その設問中のある選択肢の回答比率が 50% であった場合、その回答比率の誤差の範囲は、最高でも ±2.8% 以内 (47.2~52.8%) である、と見ることができる。

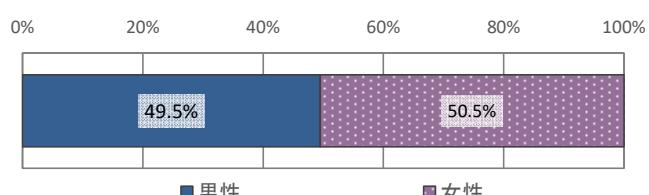
■調査結果

I. あなたご自身のことについて

あなたの性別をお答えください。

回答数のうち、男性が 385 (49.5%)、女性が 393 (50.5%) であった。住民基本台帳 (R7 年 3 月) による十日町市人口の男女比 (男性 49.0%、女性 51.0%) と比較すると、男性の比率がわずかに高くなっているものの、概ね同程度となっている。

分類	件数	構成比
男性	385	49.5%
女性	393	50.5%
合 計	778	100.0%



(その他 : 2)

(無回答 : 13)

あなたの年齢をお答えください。

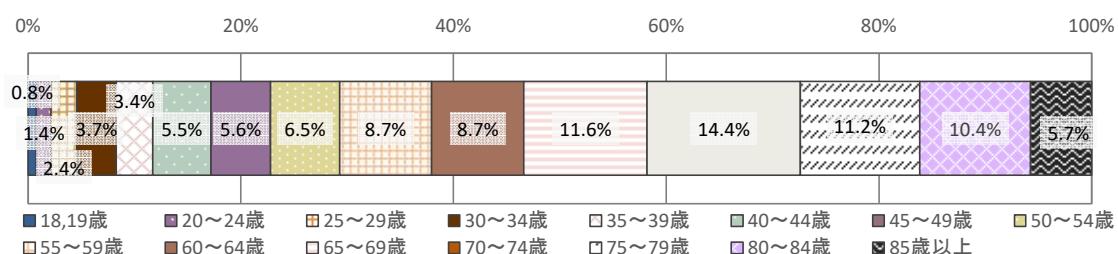
70 歳代が 201 (25.6%) と最も多く、次いで 60 歳代が 159 (20.3%)、50 歳代が 119 (15.2%) である。住民基本台帳 (R7 年 3 月) による年齢構成比と比較すると、50 歳代、60 歳代、70 歳代からの回答が高く、20 歳代、30 歳代、40 歳代、80 歳以上からの回答が低くなっている。

分類	件数	割合
18 歳、19 歳	6	0.8%
20 歳～24 歳	11	1.4%
25 歳～29 歳	19	2.4%
30 歳～34 歳	29	3.7%
35 歳～39 歳	27	3.4%
40 歳～44 歳	43	5.5%
45 歳～49 歳	44	5.6%
50 歳～54 歳	51	6.5%
55 歳～59 歳	68	8.7%
60 歳～64 歳	68	8.7%
65 歳～69 歳	91	11.6%
70 歳～74 歳	113	14.4%
75 歳～79 歳	88	11.2%
80 歳～84 歳	82	10.4%
85 歳以上	45	5.7%
合 計	785	100.0%

(無回答 : 8)

(参考)
R7.3 住民基本台帳による性別・年齢構成比

分類	構成比
性別	
男性	49.0%
女性	51.0%
合 計	100.0%
年齢	
18、19 歳	1.8%
20 歳代	6.9%
30 歳代	8.4%
40 歳代	12.7%
50 歳代	15.2%
60 歳代	16.1%
70 歳代	20.3%
80 歳以上	18.6%
合 計	100.0%



年齢別男女比率

分類	全体		男性		女性		性別不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
18 歳、19 歳	6	0.8%	4	1.0%	2	0.5%	0	0.0%
20 歳～24 歳	11	1.4%	5	1.3%	6	1.5%	0	0.0%
25 歳～29 歳	19	2.4%	12	3.1%	6	1.5%	1	6.7%
30 歳～34 歳	29	3.7%	13	3.4%	16	4.1%	0	0.0%
35 歳～39 歳	27	3.4%	13	3.4%	14	3.6%	0	0.0%
40 歳～44 歳	43	5.4%	21	5.5%	22	5.6%	0	0.0%
45 歳～49 歳	44	5.5%	25	6.5%	19	4.8%	0	0.0%
50 歳～54 歳	51	6.4%	25	6.5%	24	6.1%	2	13.3%
55 歳～59 歳	68	8.6%	37	9.6%	31	7.9%	0	0.0%
60 歳～64 歳	68	8.6%	36	9.4%	31	7.9%	1	6.7%
65 歳～69 歳	91	11.5%	47	12.2%	42	10.7%	2	13.3%
70 歳～74 歳	113	14.2%	51	13.2%	62	15.8%	0	0.0%
75 歳～79 歳	88	11.1%	41	10.6%	47	12.0%	0	0.0%
80 歳～84 歳	82	10.3%	34	8.8%	46	11.7%	2	13.3%
85 歳以上	45	5.7%	20	5.2%	25	6.4%	0	0.0%
年齢不明	8	1.0%	1	0.3%	0	0.0%	7	46.7%
合 計	793	100.0%	385	100.0%	393	100.0%	15	100.0%

あなたが5月12日～18日の間にお仕事したかどうかをお答えください。

【全体の傾向】

「主に仕事」が434 (56.4%)と最も多く、次いで「その他(高齢など)」195 (25.4%)、「家事・通学」56 (7.3%)、「家事・通学のほかに仕事」54 (7.0%)、「仕事を休んでいた」19 (2.5%)、「仕事を探していた」11 (1.4%)となっている。

【男女別集計】

男性では、「主に仕事」が最も多く、次いで「その他(高齢など)」、「仕事を休んでいた」との順となっている。

女性では、「主に仕事」が最も多く、次いで「その他(高齢など)」、「家事・通学」の順となっている。

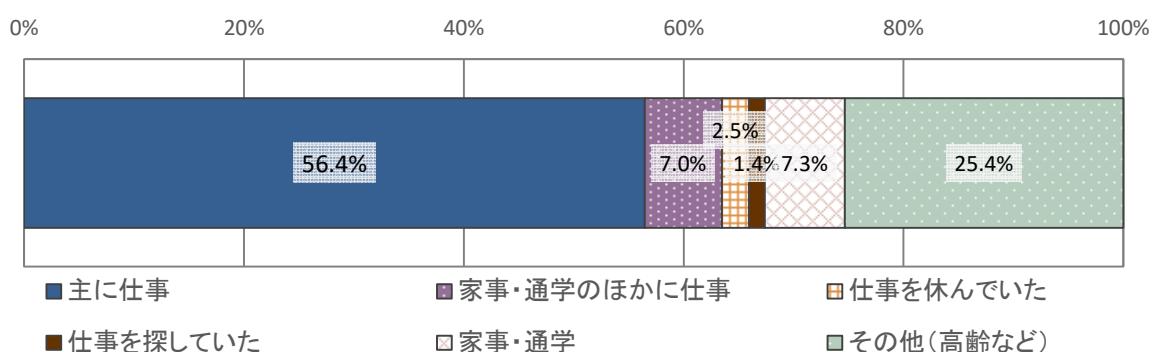
【年齢別集計】

年齢別では、20代～60代で「主に仕事」が最も多く、特に40代が89.7%で一番高い比率となっている。10代は「家事・通学」が66.7%で最も多く、70代～80代では「その他(高齢など)」が最も多い。

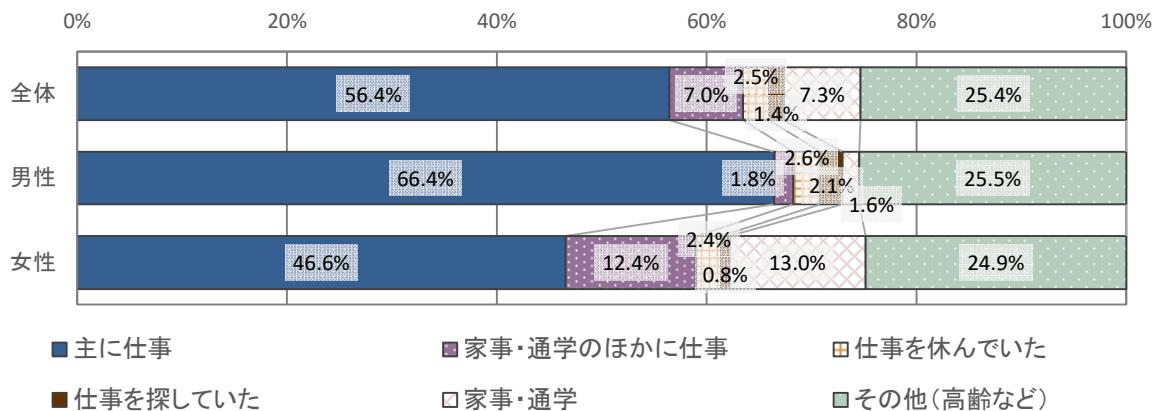
【全体の傾向】

分類	件数	割合
主に仕事	434	56.4%
家事・通学のほかに仕事	54	7.0%
仕事を休んでいた	19	2.5%
仕事を探していた	11	1.4%
家事・通学	56	7.3%
その他(高齢など)	195	25.4%
合計	769	100.0%

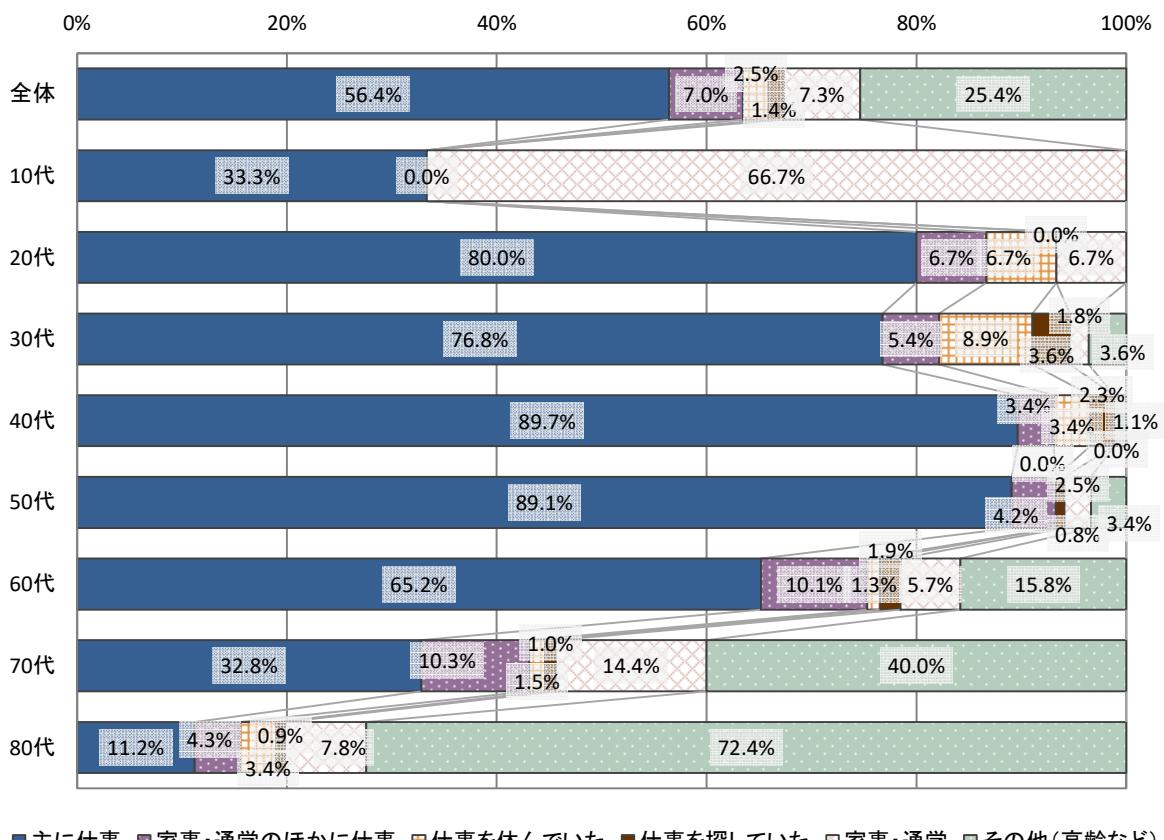
(無回答: 24)



【男女別集計】



【年齢別集計】



■主に仕事 ■家事・通学のほかに仕事 □仕事を休んでいた ■仕事を探していた □家事・通学 □その他(高齢など)

＜過年度（H31～R5）との比較＞

【全体の傾向】

全体の傾向では、前回・今回とも「主に仕事」、「その他（高齢など）」の順となった。次に多い項目について、前回以前では「家事・通学のほかに仕事」、「家事・通学」の順であったが、今回は順序が入れ替わり、「家事・通学」、「家事・通学のほかに仕事」の順となった。

また、「その他（高齢など）」が前回の15.1%から今回は25.4%に10.3ポイント増加したのに対し、「家事・通学のほかに仕事」が同9.6%から7.0%に2.6ポイント減少した。

【男女別集計】

男性の上位2項目については、前回・今回ともに順番は同じであった。

女性は、前回は「主に仕事」、「家事・通学のほかに仕事」の順であったが、今回は「主に仕事」、「その他（高齢など）」の順となった。

【年齢別集計】

10代は、「主に仕事」が前回の8.3%から今回は33.3%に、25.0ポイント増加したのに対し、「家事・通学のほかに仕事」が前回の25.0%から今回は0.0%に減少している。

20代は、「主に仕事」が前回から今回にかけて11.0ポイント増加したのに対し、「家事・通学」が同5.4ポイント減少している。

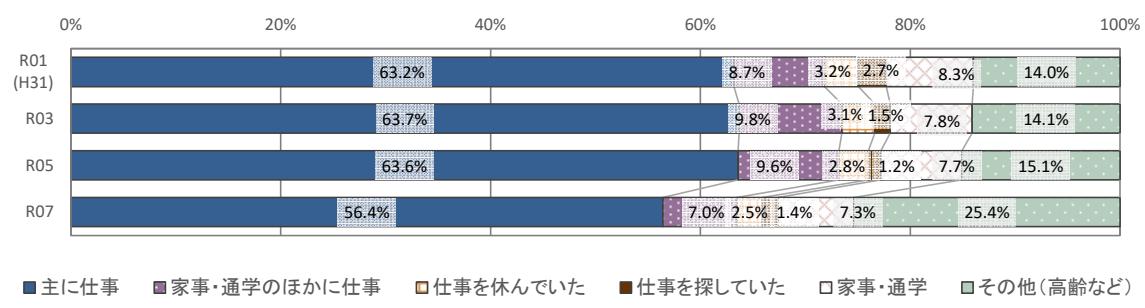
30代は、「仕事を休んでいた」が前回から今回にかけて3.9ポイント増加したのに対し、「家事・通学」が同5.7ポイント減少している。

40代～60代の傾向は、前回・今回ともに概ね同じであった。

70代は、「その他（高齢など）」が前回から今回にかけて6.1ポイント増加したのに対し、「家事・通学のほかに仕事」が同4.9ポイント減少している。

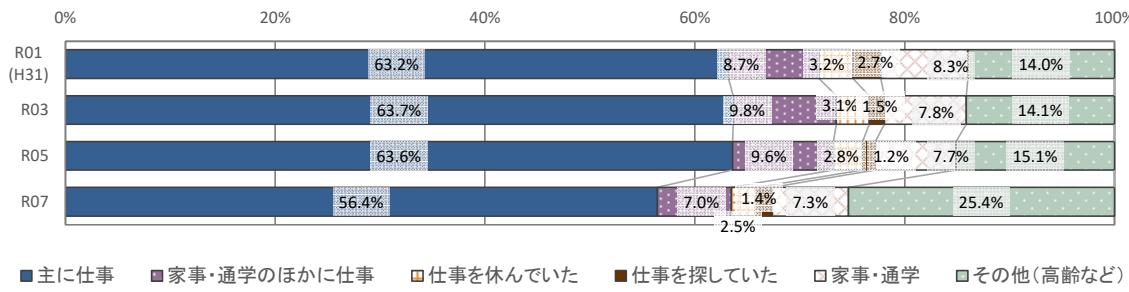
80代は、「その他（高齢など）」が前回から今回にかけて8.9ポイント増加したのに対し、「主に仕事」が同7.7ポイント減少している。

【全体の傾向】

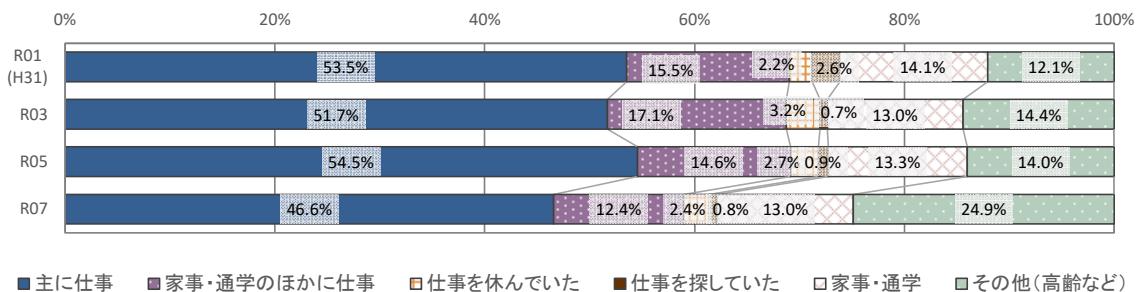


【男女別集計】

1. 男性

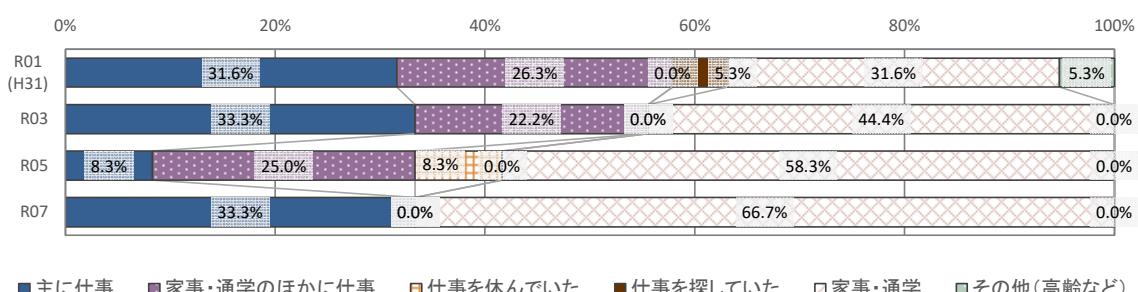


2. 女性

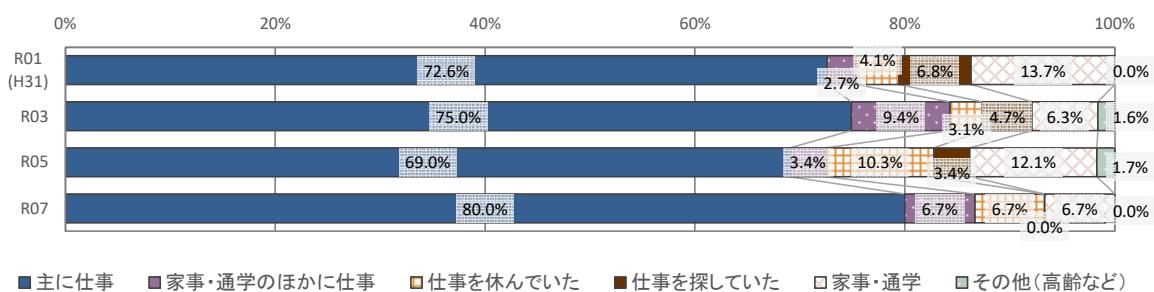


【年齢別集計】

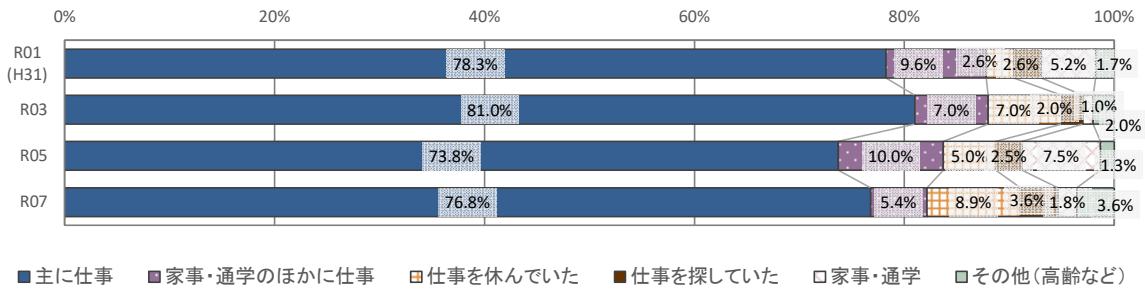
1. 10歳代



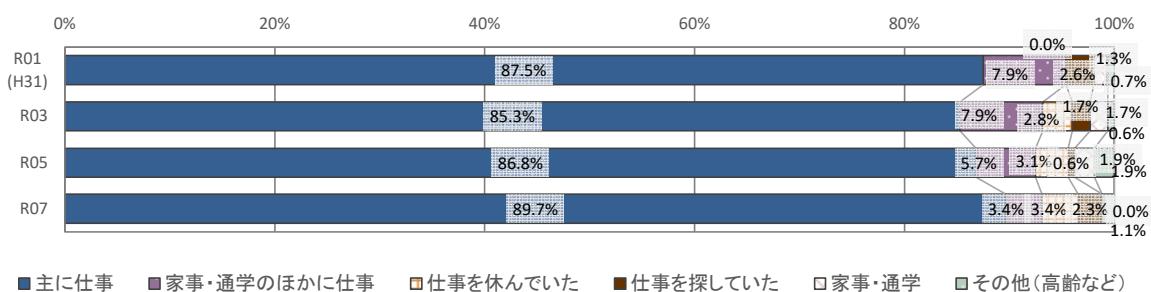
2. 20歳代



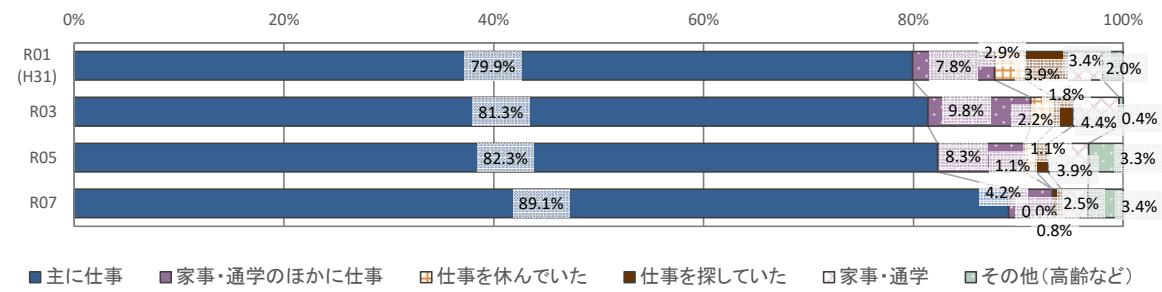
3. 30歳代



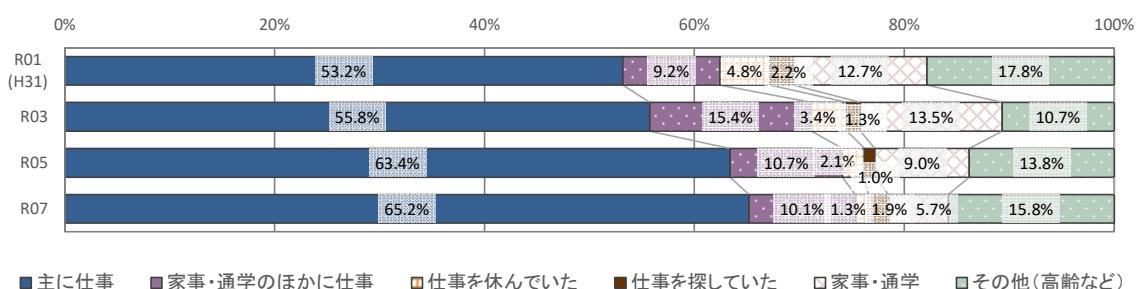
4. 40歳代



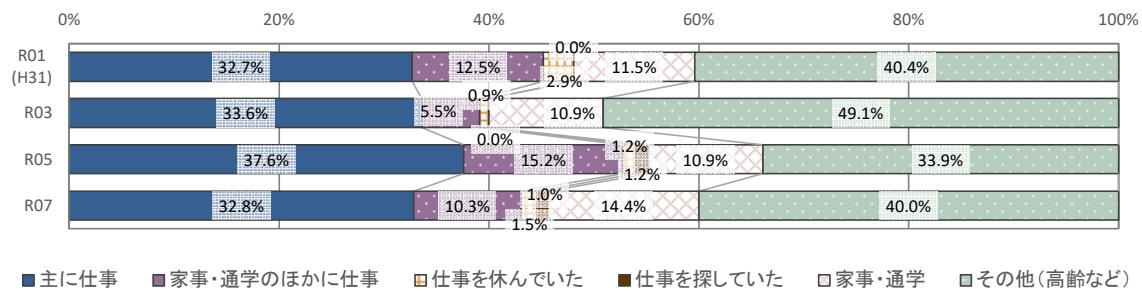
5. 50歳代



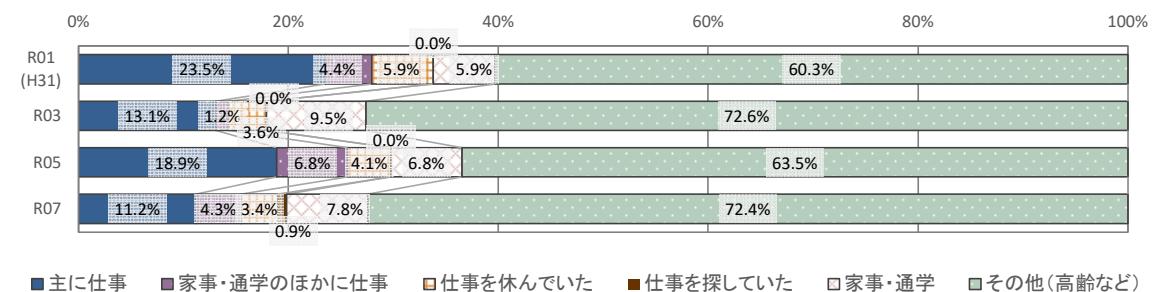
6. 60歳代



7. 70 歳代



8. 80 歳代



II. 十日町市での今後の生活について

あなたはこれからも十日町市に住み続けたいと思いますか？
あてはまるもの 1つだけに○をつけてください。

【全体の傾向】

「これからもずっと住み続けたい」と「出来れば住み続けたい」を合わせて 535 (68.2%)、「出来れば住み続けたくない」と「住み続けたくない」を合わせて 107 (13.6%)、「どちらでもない・分からない」が 143 (18.2%) となっている。

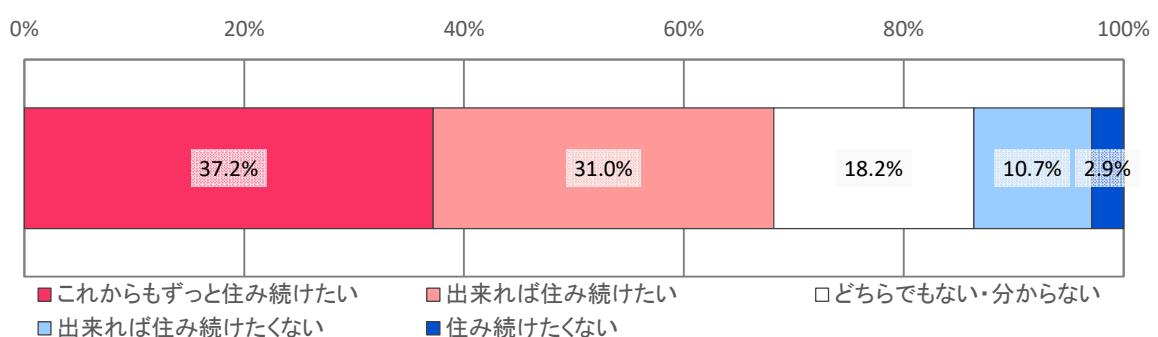
また、住み続けたい理由として、「豊かな自然環境が保たれている」、「克雪・除雪体制が充実している」、「農畜産物に恵まれ食が豊か」が多くなっている。

住み続けたくない理由としては、「バスや鉄道などの交通の便が良くない」、「魅力ある働く場が少ない」、「克雪・除雪体制が不十分である」が多くなっている。

【全体の傾向】

分類	R07		R05	
	件数	件数	件数	構成比
これからもずっと住み続けたい	292	37.2%	348	33.5%
出来れば住み続けたい	243	31.0%	309	29.7%
どちらでもない・分からない	143	18.2%	227	21.8%
出来れば住み続けたくない	84	10.7%	121	11.6%
住み続けたくない	23	2.9%	35	3.4%
合計	785	100.0%	1,040	100.0%

(無回答 : 8)



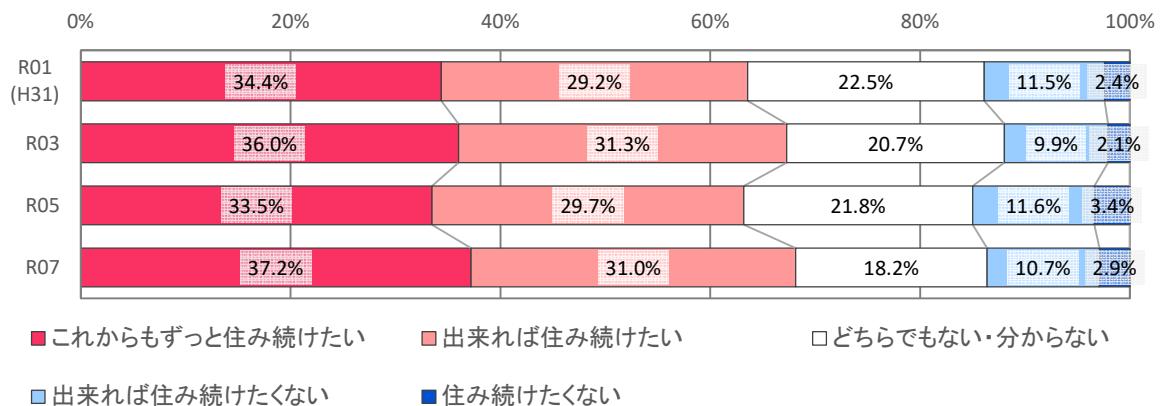
＜過年度（H31～R5）との比較＞

【前回との比較】

「これからもずっと住み続けたい」と「出来れば住み続けたい」を合わせた比率が、前回の 63.2%から今回は 68.2%に 5.0 ポイント増加し、「出来れば住み続けたくない」と「住み続けたくない」を合わせた比率は、前回の 15.0%から今回は 13.6%に 1.4 ポイント減少した。「どちらでもない・分からない」が前回の 21.8%から 18.2%に 3.6 ポイント減少している。

住み続けたい理由としては、前回・今回ともに「豊かな自然環境が保たれている」、「克雪・除雪体制が充実している」、「農畜産物に恵まれ食事が豊か」が多い。

住み続けたくない理由としては、前回・今回ともに「バスや鉄道などの交通の便が良くない」、「魅力ある働く場が少ない」、「克雪・除雪体制が不十分である」が多い。

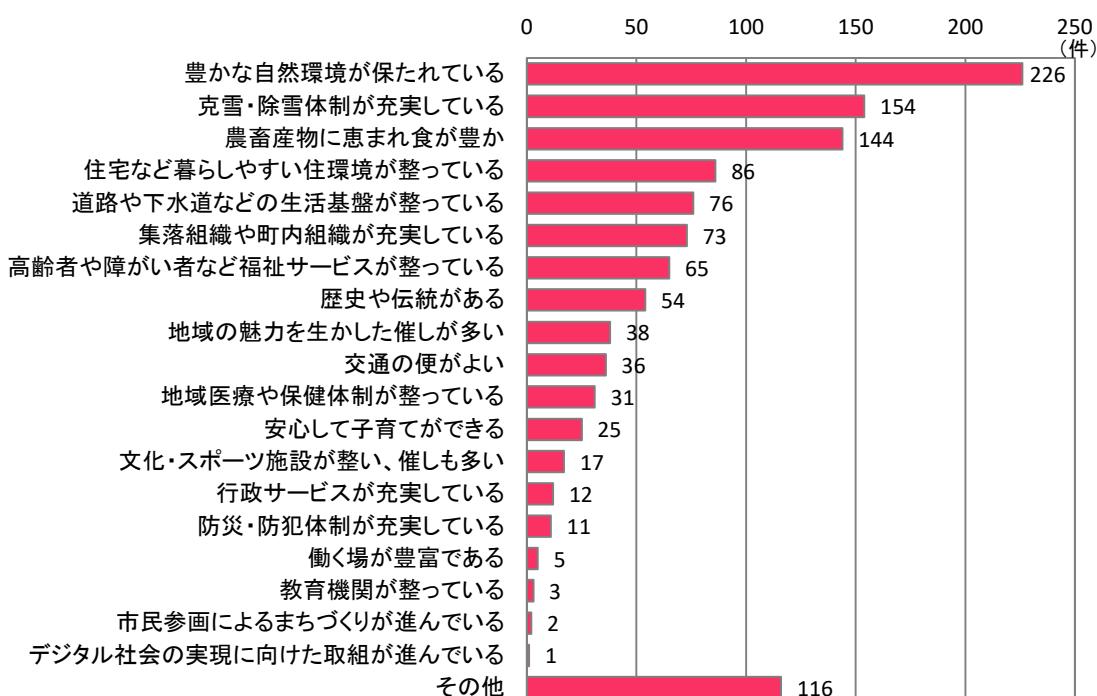


前問で、1または2に○をつけられた方におたずねします。

住み続けたいと感じる理由を、次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

・住み続けたい理由

分類	件数	構成比
豊かな自然環境が保たれている	226	43.3%
克雪・除雪体制が充実している	154	29.5%
農畜産物に恵まれ食が豊か	144	27.6%
住宅など暮らしやすい住環境が整っている	86	16.5%
道路や下水道などの生活基盤が整っている	76	14.6%
集落組織や町内組織が充実している	73	14.0%
高齢者や障がい者など福祉サービスが整っている	65	12.5%
歴史や伝統がある	54	10.3%
地域の魅力を生かした催しが多い	38	7.3%
交通の便がよい	36	6.9%
地域医療や保健体制が整っている	31	5.9%
安心して子育てができる	25	4.8%
文化・スポーツ施設が整い、催しも多い	17	3.3%
行政サービスが充実している	12	2.3%
防災・防犯体制が充実している	11	2.1%
働く場が豊富である	5	1.0%
教育機関が整っている	3	0.6%
市民参画によるまちづくりが進んでいる	2	0.4%
デジタル社会の実現に向けた取組が進んでいる	1	0.2%
その他	116	22.2%
合計	1,175	225.1%

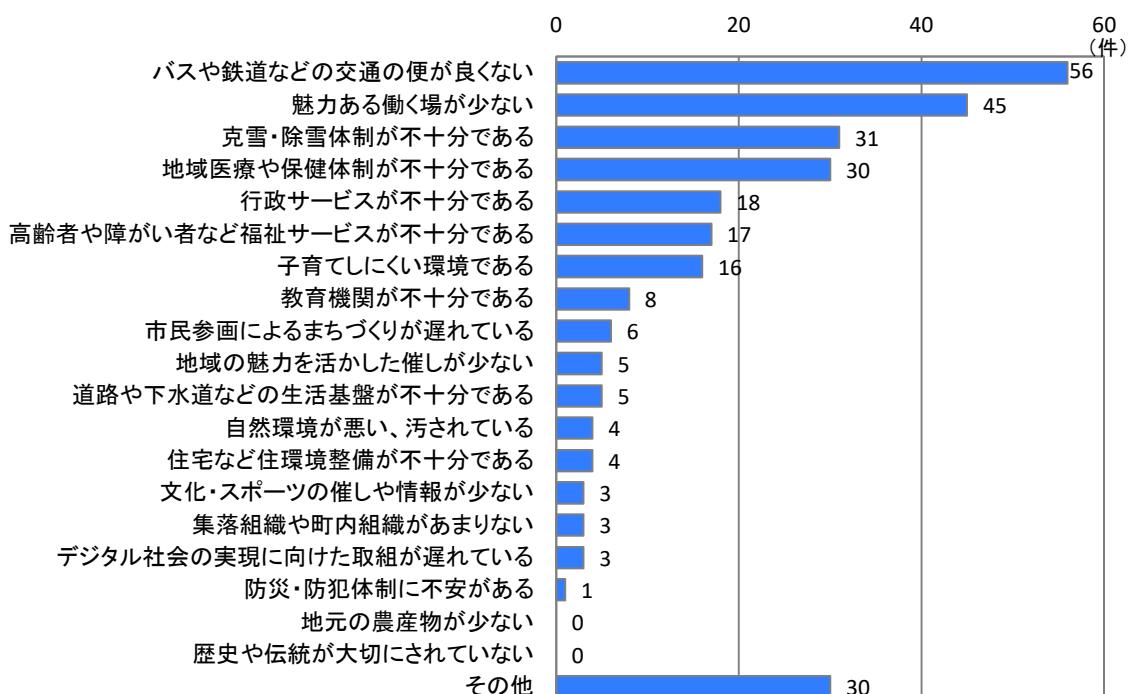


前々問で、4または5に○をつけられた方におたずねします。

住み続けたくないと感じる理由を、次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

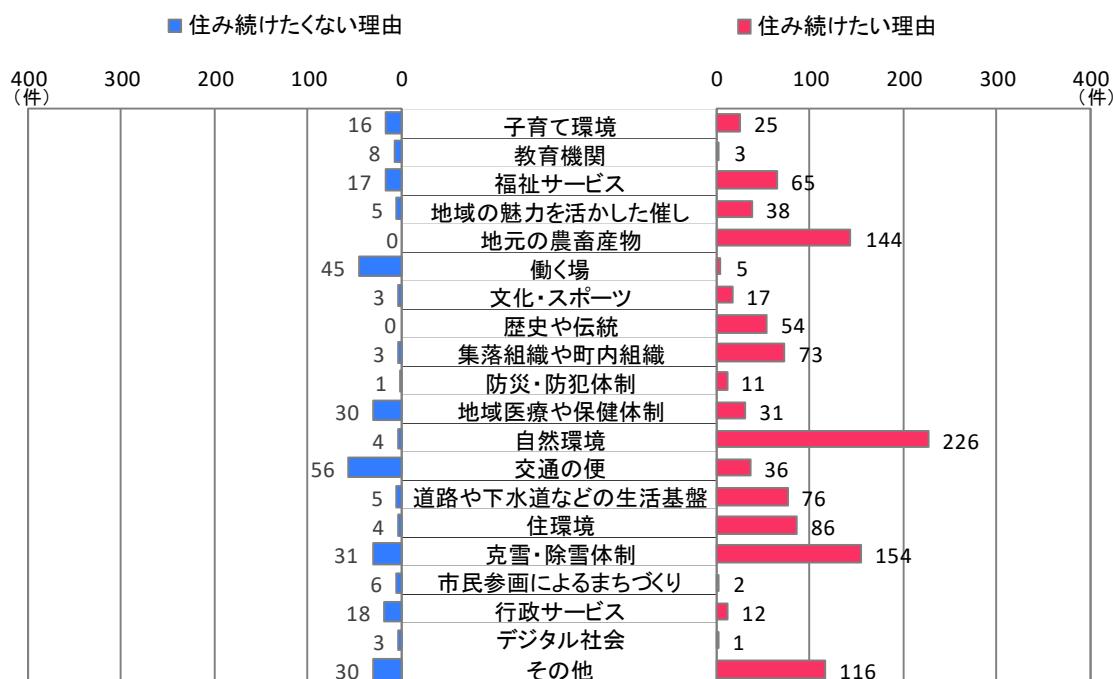
・住み続けたくない理由

分類	件数	構成比
バスや鉄道などの交通の便が良くない	56	52.3%
魅力ある働く場が少ない	45	42.1%
克雪・除雪体制が不十分である	31	29.0%
地域医療や保健体制が不十分である	30	28.0%
行政サービスが不十分である	18	16.8%
高齢者や障がい者など福祉サービスが不十分である	17	15.9%
子育てしにくい環境である	16	15.0%
教育機関が不十分である	8	7.5%
市民参画によるまちづくりが遅れている	6	5.6%
地域の魅力を活かした催しが少ない	5	4.7%
道路や下水道などの生活基盤が不十分である	5	4.7%
自然環境が悪い、汚されている	4	3.7%
住宅など住環境整備が不十分である	4	3.7%
文化・スポーツの催しや情報が少ない	3	2.8%
集落組織や町内組織があまりない	3	2.8%
デジタル社会の実現に向けた取組が遅れている	3	2.8%
防災・防犯体制に不安がある	1	0.9%
地元の農産物が少ない	0	0.0%
歴史や伝統が大切にされていない	0	0.0%
その他	30	28.0%
合計	285	266.4%



【全体の傾向】

分類	住み続けたくない理由	住み続けたい理由
子育て環境	16	25
教育機関	8	3
福祉サービス	17	65
地域の魅力を活かした催し	5	38
地元の農畜産物	0	144
働く場	45	5
文化・スポーツ	3	17
歴史や伝統	0	54
集落組織や町内組織	3	73
防災・防犯体制	1	11
地域医療や保健体制	30	31
自然環境	4	226
交通の便	56	36
道路や下水道などの生活基盤	5	76
住環境	4	86
克雪・除雪体制	31	154
市民参画によるまちづくり	6	2
行政サービス	18	12
デジタル社会の実現	3	1
その他	30	116
合計	285	1,175



III. 十日町市での暮らしについて

十日町市での暮らしについて、各分野の現在の「満足度」と今後の「重要度」をおたずねします。左側の全 53 項目に関して、右側の「①満足度」と「②重要度」の各選択肢からあてはまるものを、それぞれ 1 つずつあなたが感じるままに○をつけてください。

・満足度について

【全体の傾向】

満足度が高い項目は、順に「35 健康づくりの推進」(53.0%)、「31 防災対策の充実」(48.0%)、「32 消防・救急体制の充実」(46.4%) となっている。

逆に不満度が高い項目は、順に「16 中心市街地の活性化」(41.6%)、「36 地域医療の充実」(40.5%)、「41 道路網の整備」(37.5%) である。

【年齢別集計】

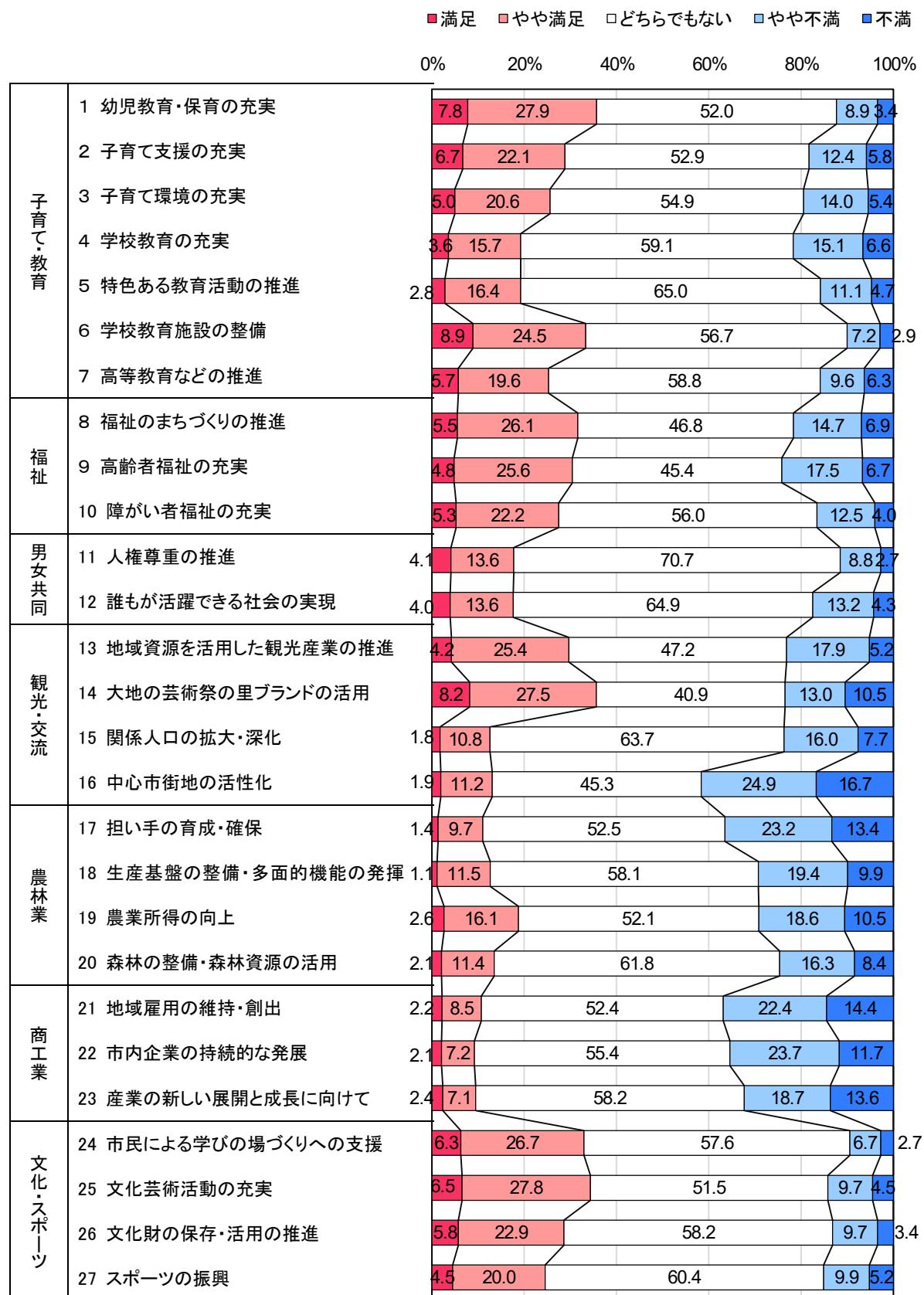
【全体の傾向】において満足度が高かった項目以外で、年代別に満足度が高い項目をみると、順に『10 代』の「24 市民による学びの場づくりへの支援」、「25 文化芸術活動の充実」、「26 文化財の保存・活用の推進」(それぞれ 83.3%)、『30 代』の「14 大地の芸術祭の里ブランドの活用」(56.4%)、『20 代』の「46 市道除雪の充実」(51.7%) などとなっている。

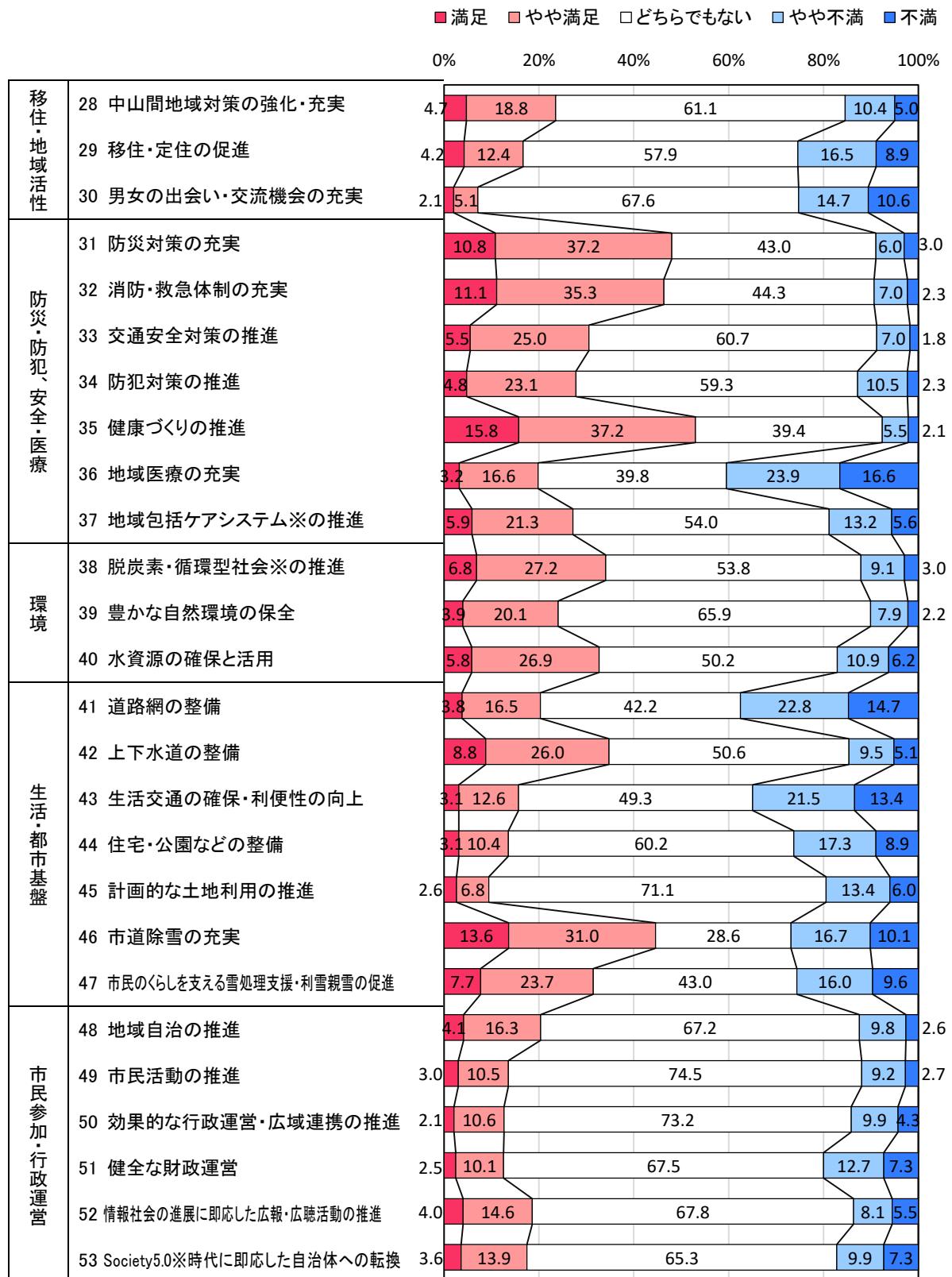
逆に不満度が高い項目は、順にいずれも『70 代』の「17 農業の担い手の育成・確保」(45.1%)、「21 地域雇用の維持・創出」(42.7%) などとなっている。

年代によって満足度に最も大きく差が見られた項目は「21 地域雇用の維持・創出」で、最も満足度が高い『10 代』と最も満足度が低い『50 代』との差は 61.6 ポイントとなっている。

不満度に最も大きく差が見られた項目は「46 市道除雪の充実」で、最も不満度が高い『70 代』と最も不満度が低い『10 代』との差は 32.8 ポイントとなっている。

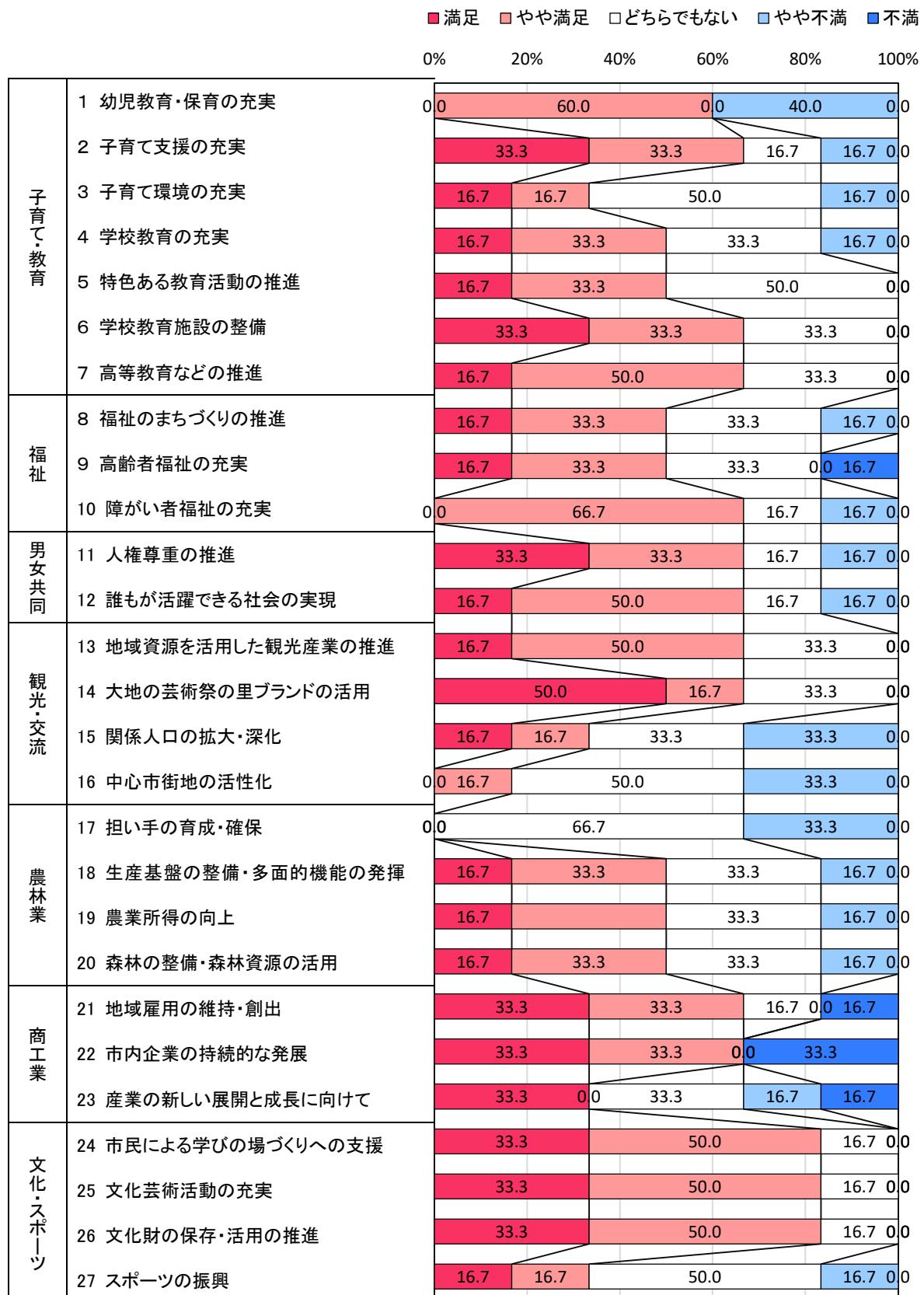
【全体の傾向】

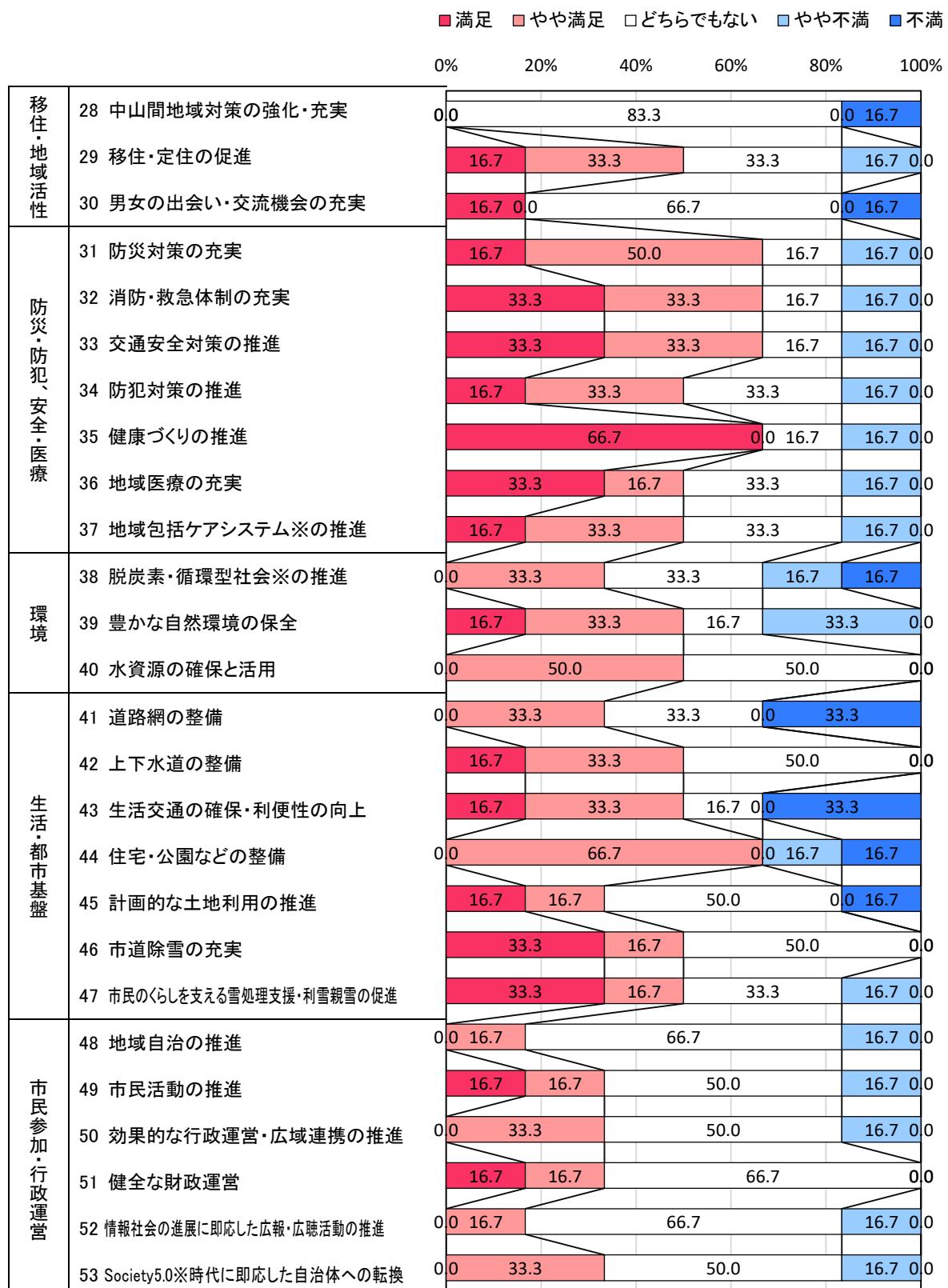




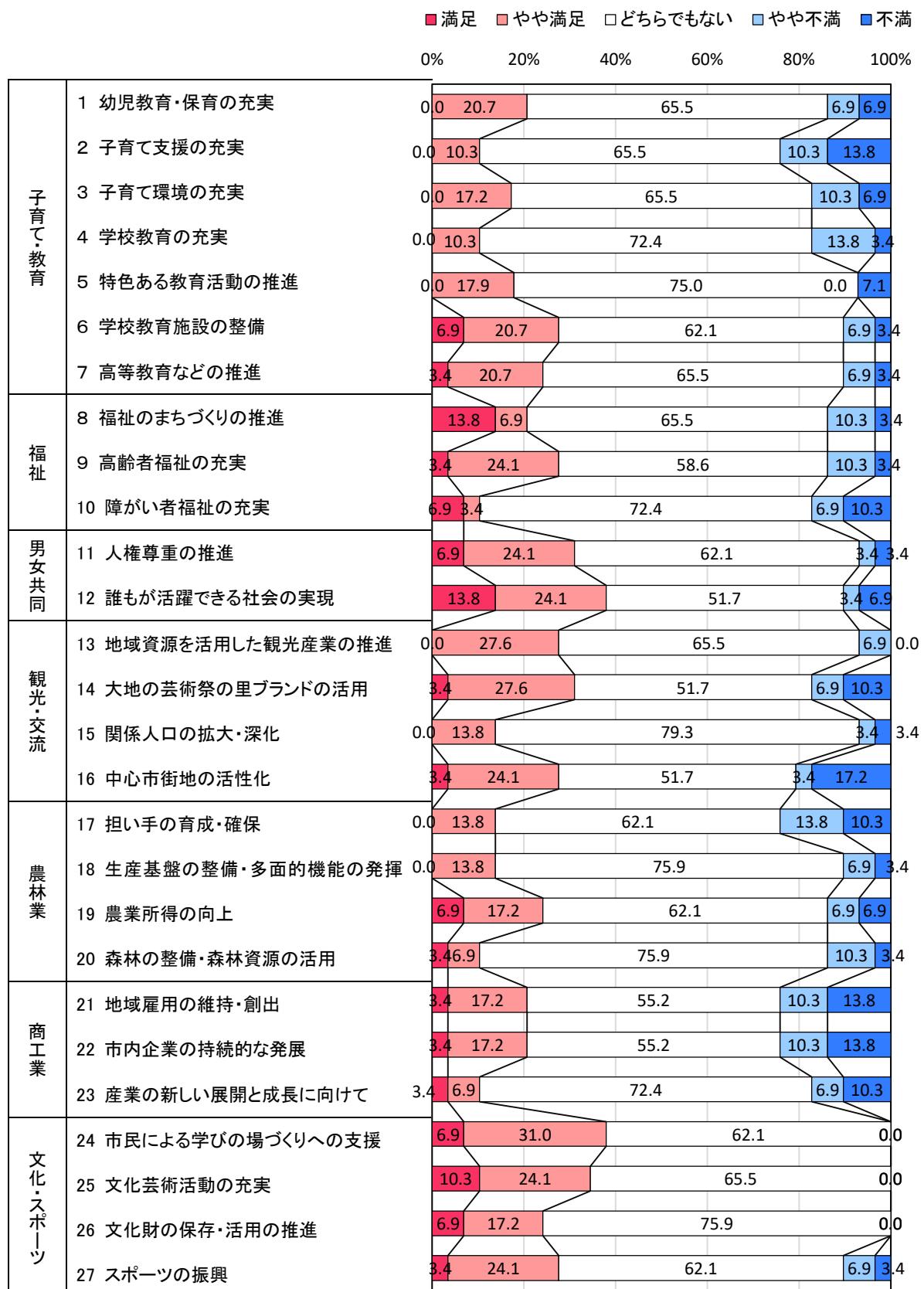
【年齢別集計】

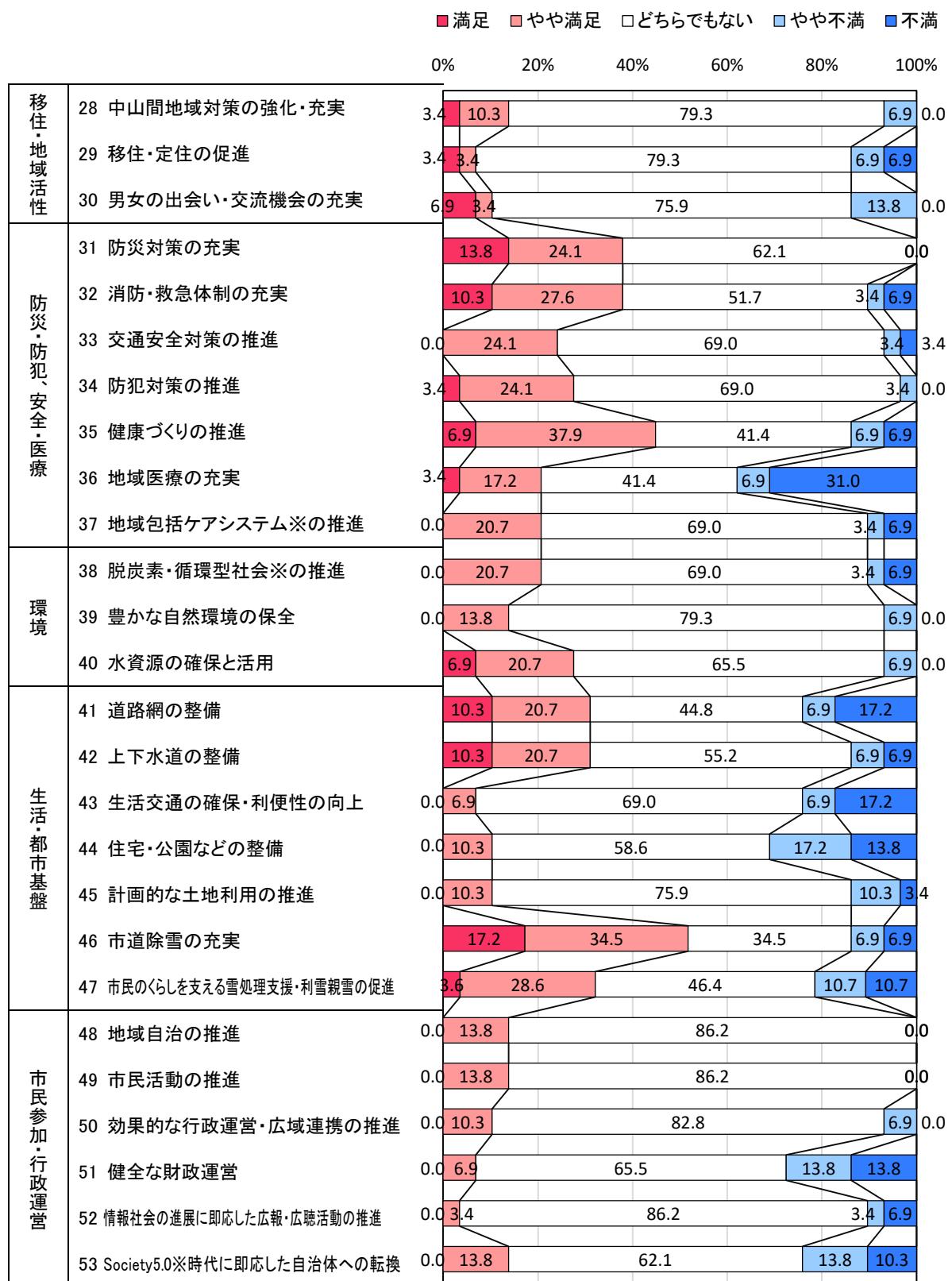
1. 10歳代



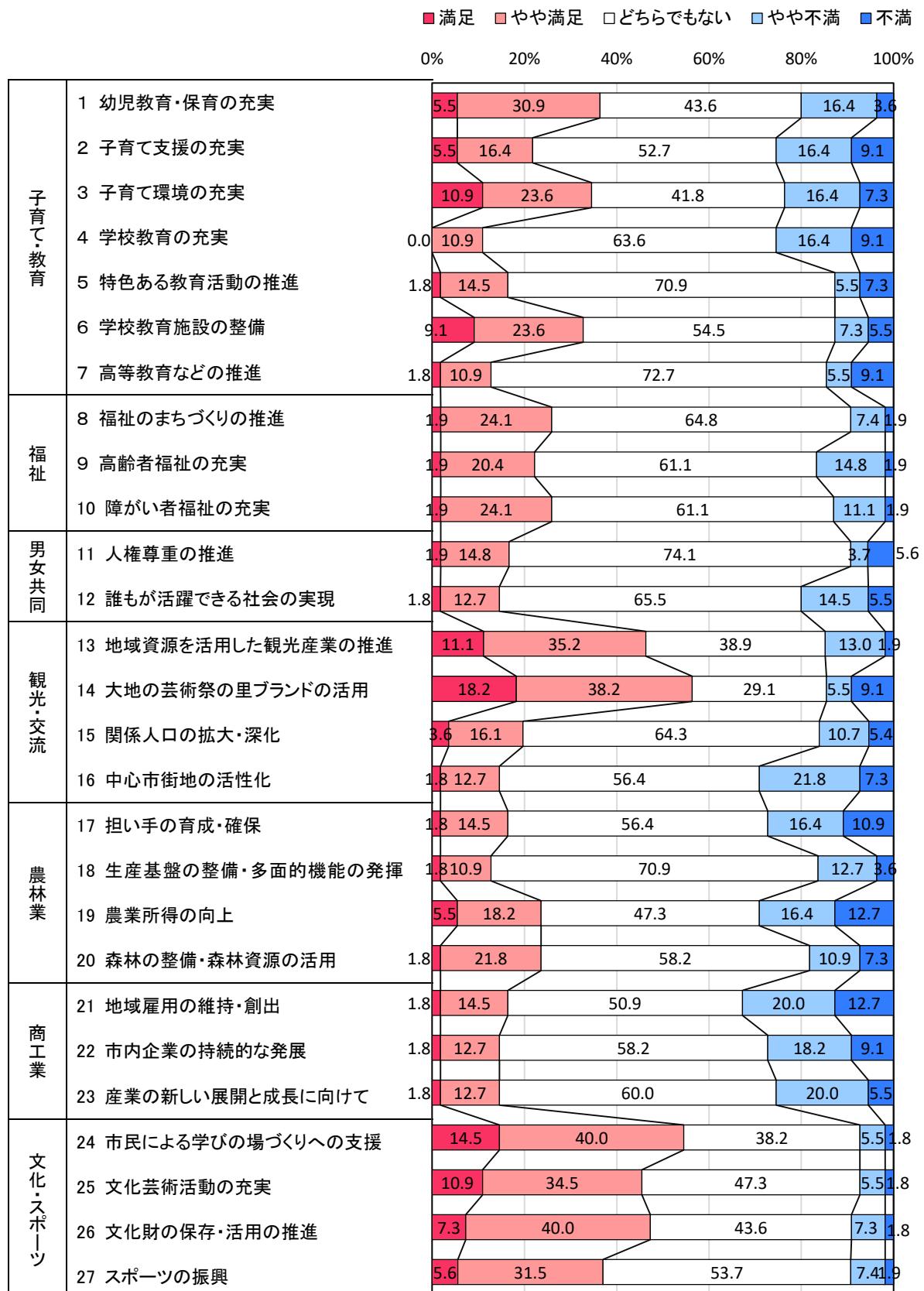


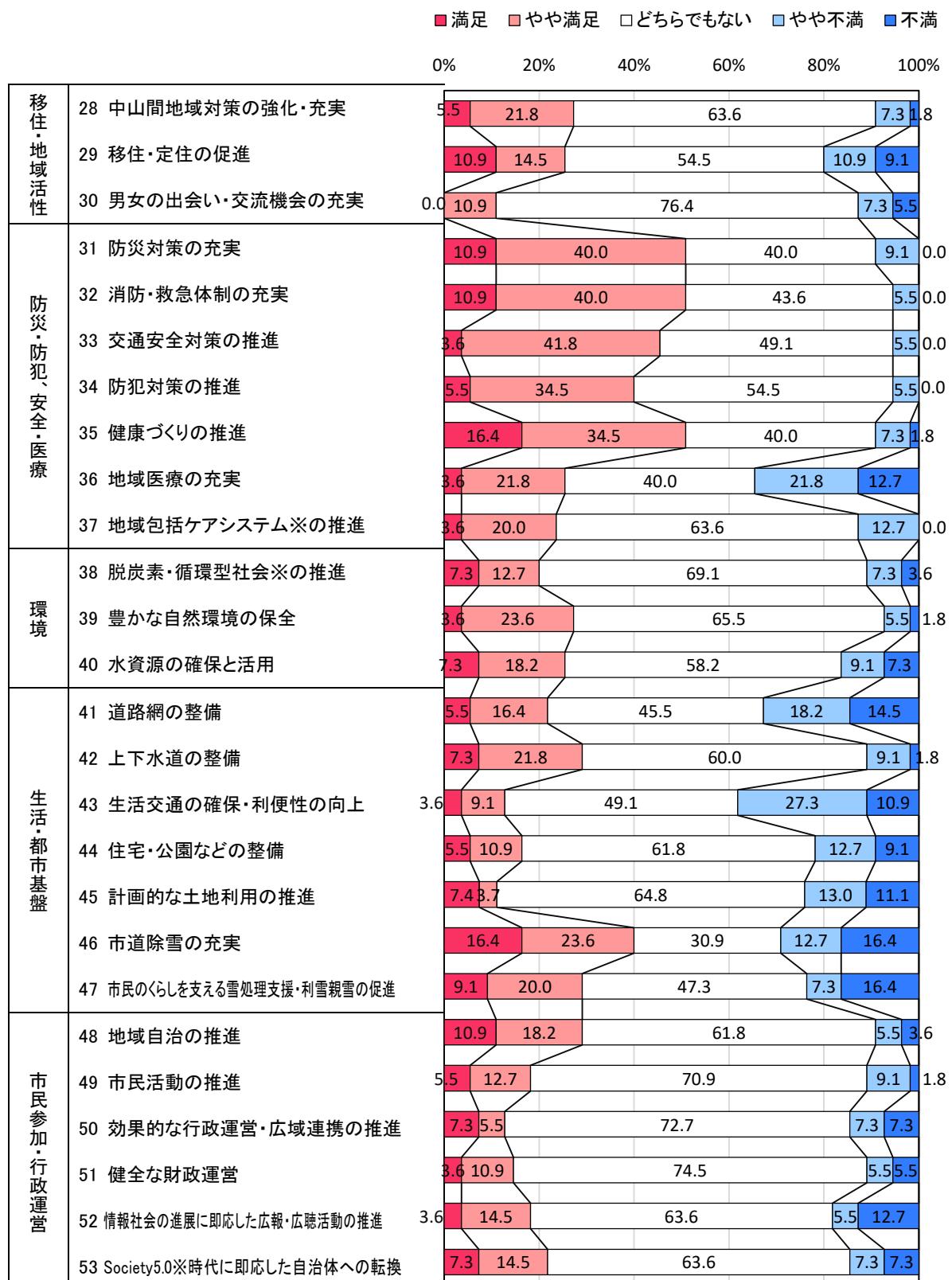
2. 20歳代



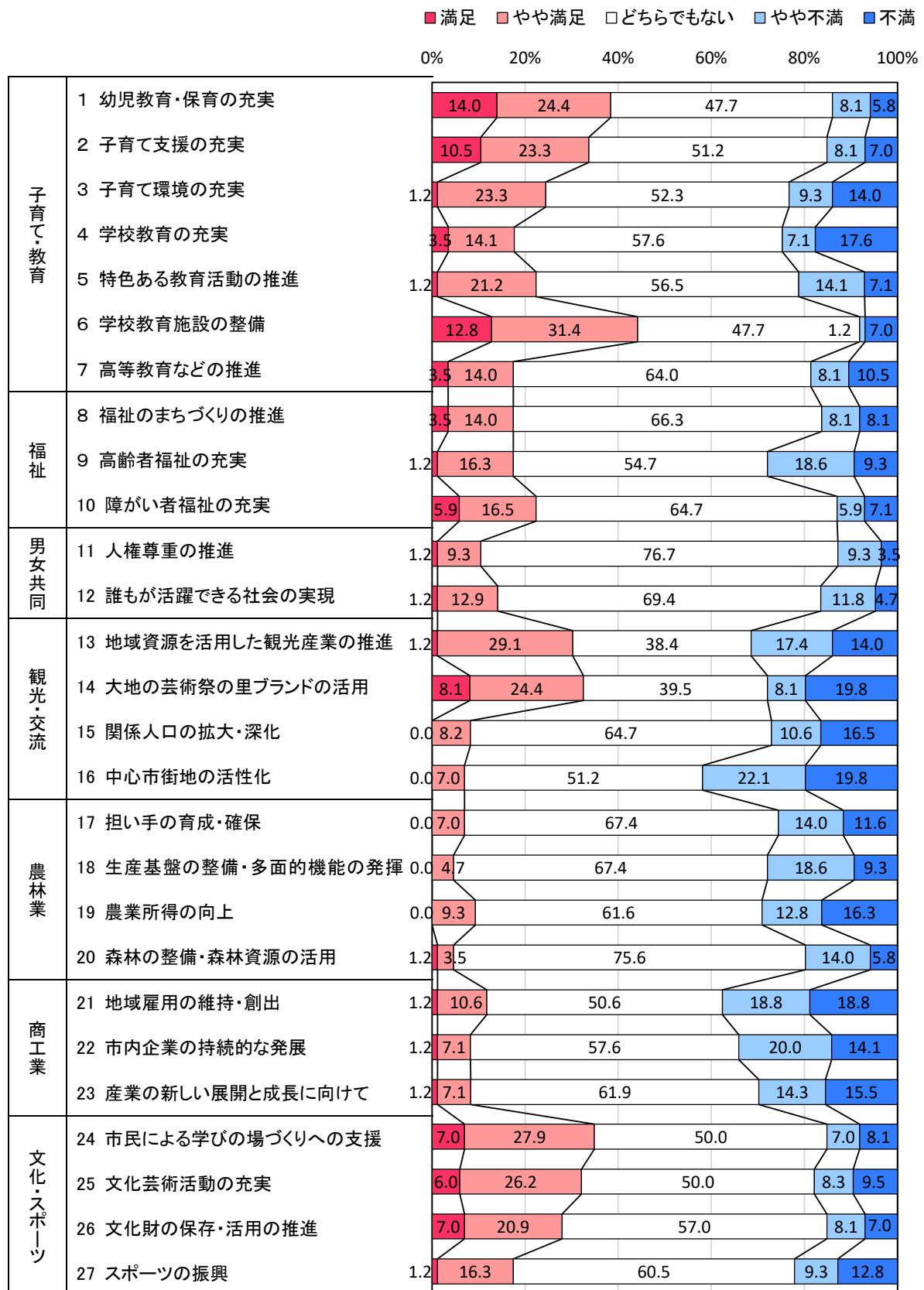


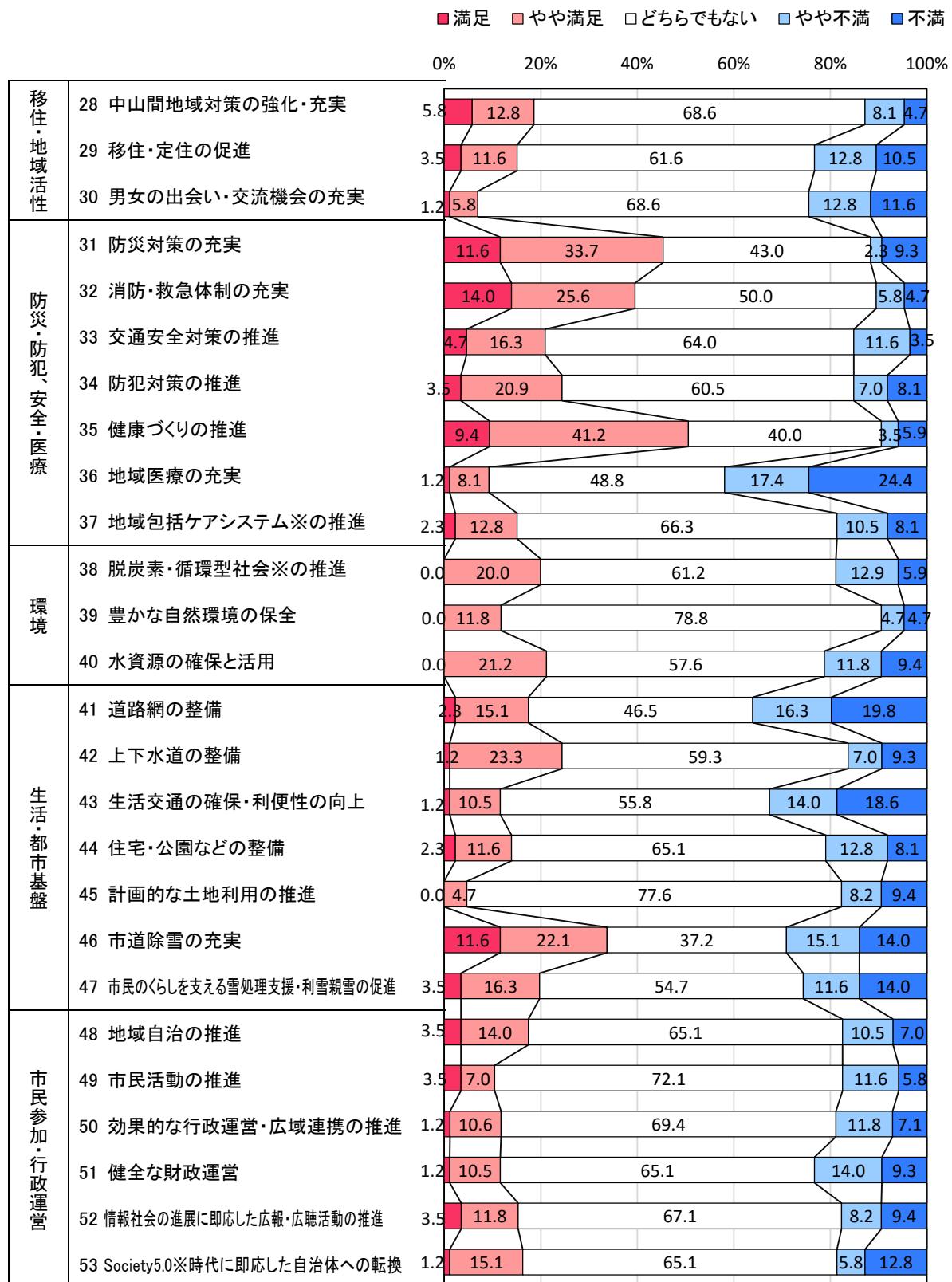
3. 30歳代



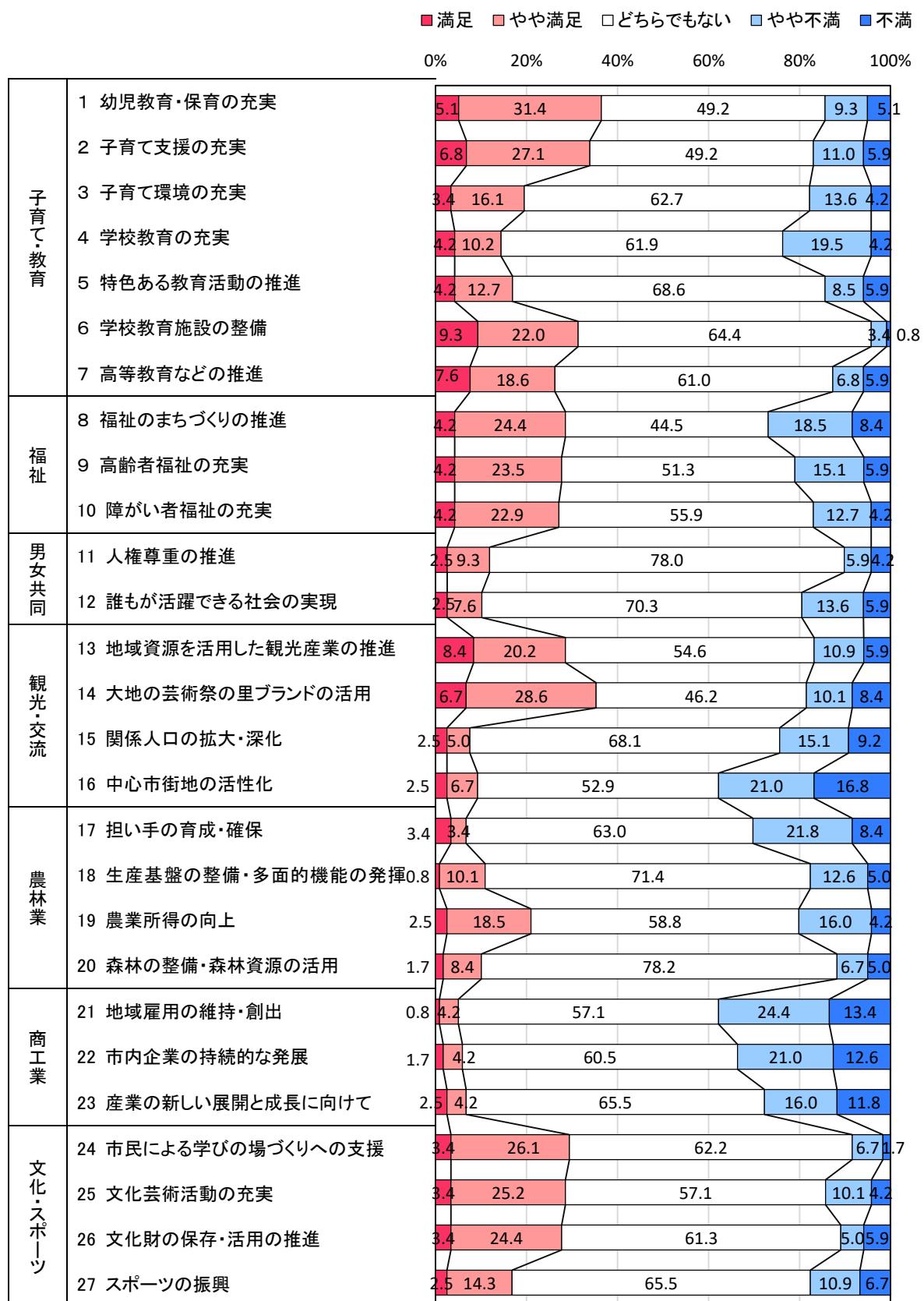


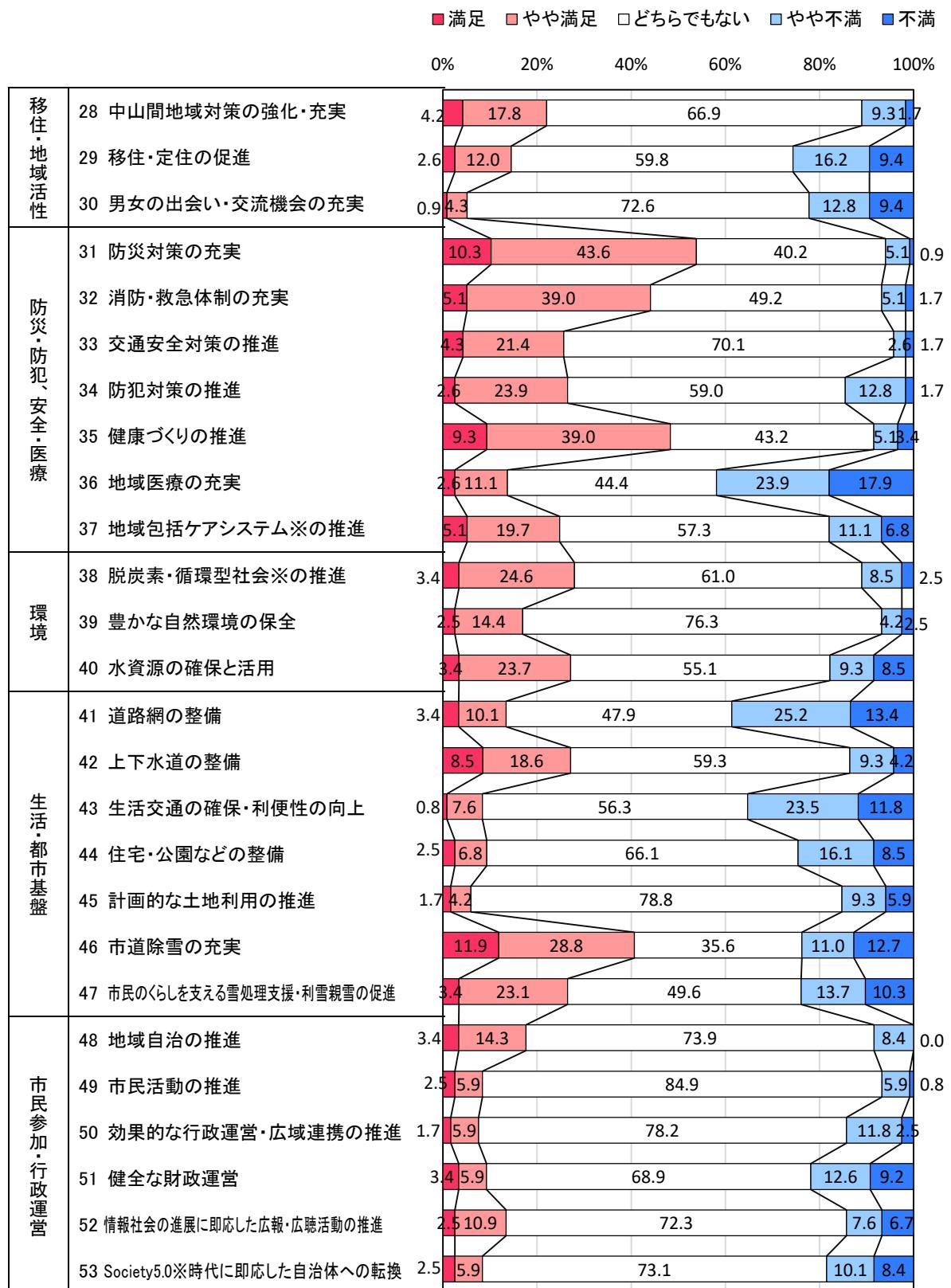
4. 40歳代



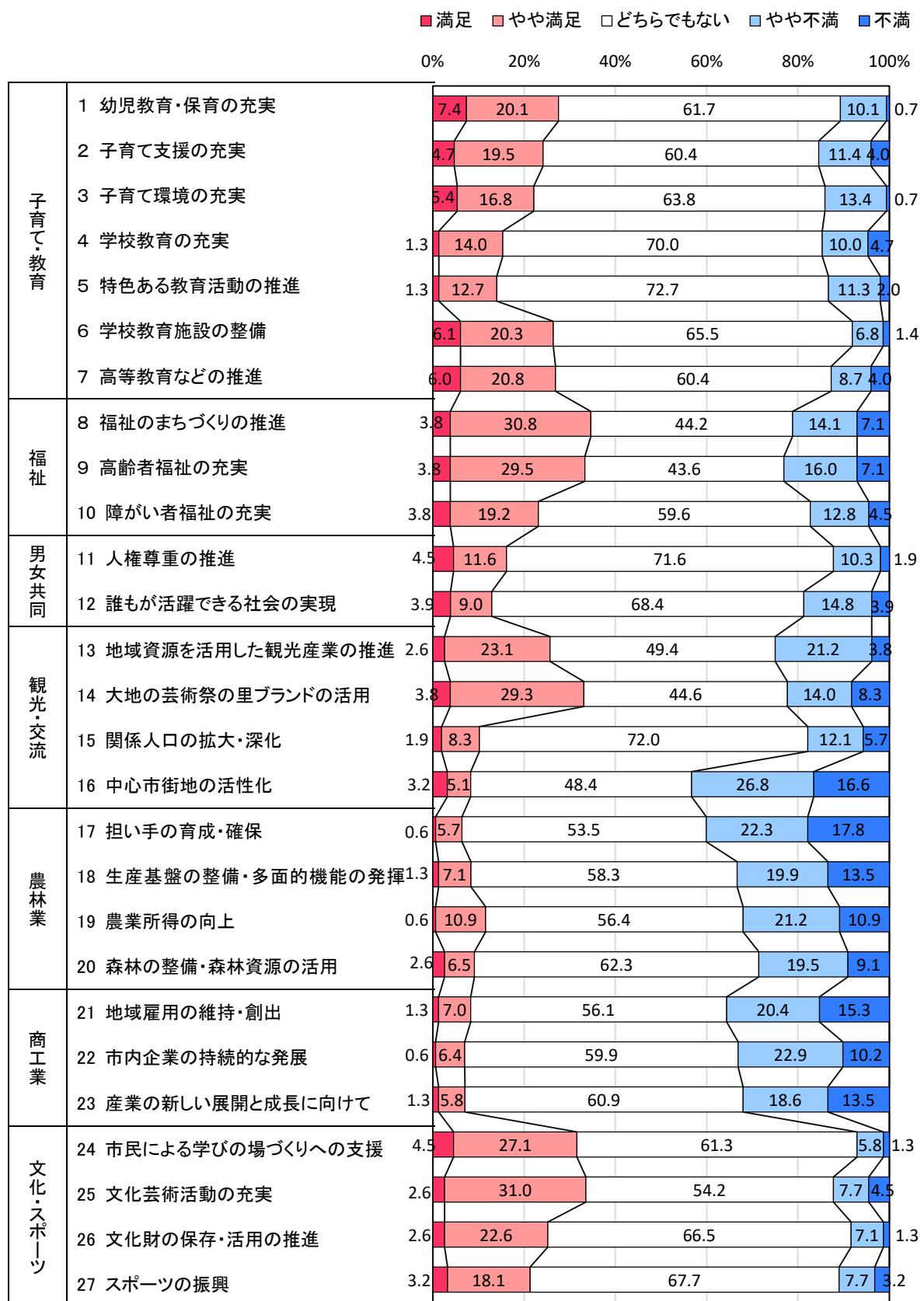


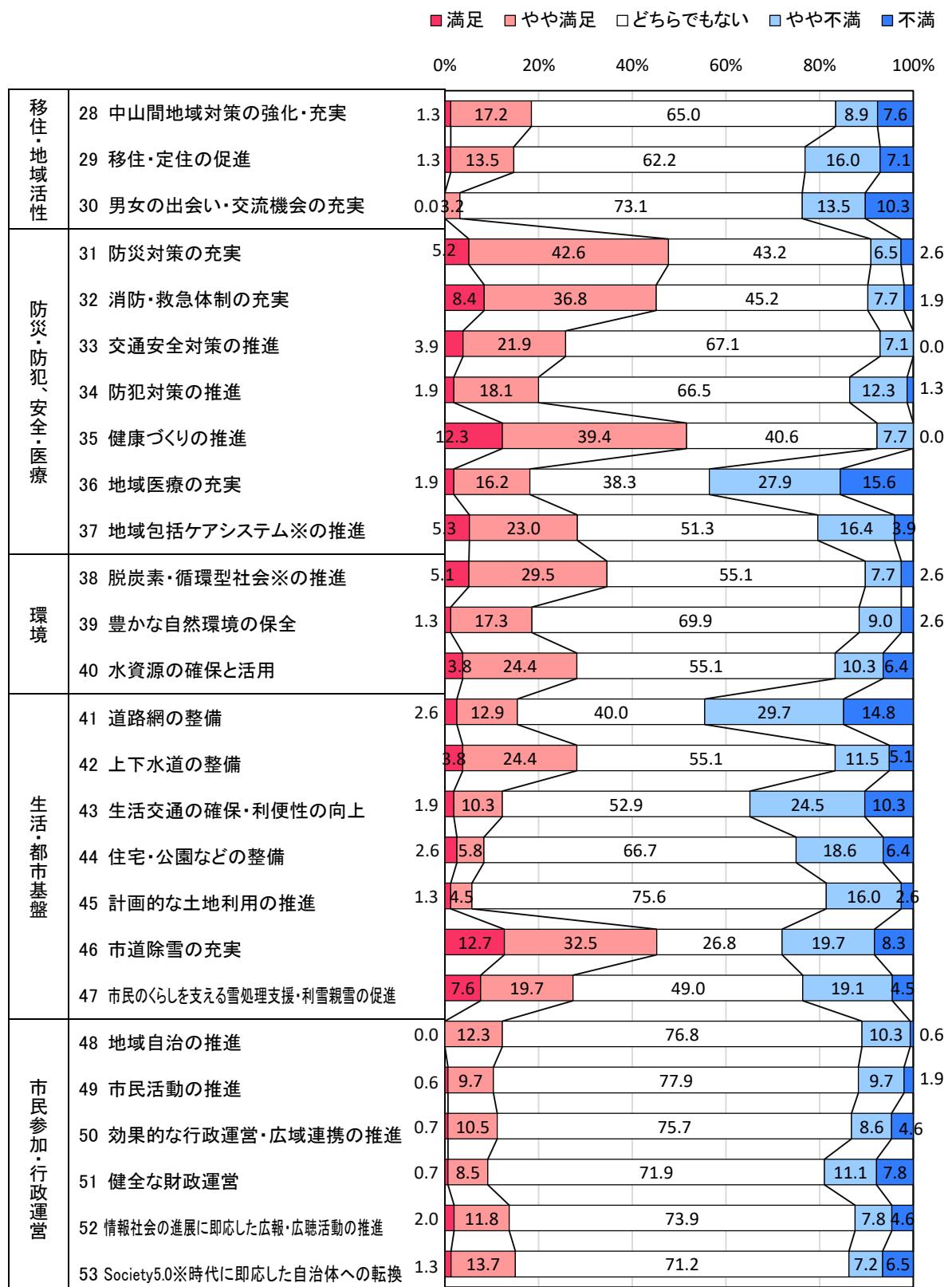
5. 50歳代



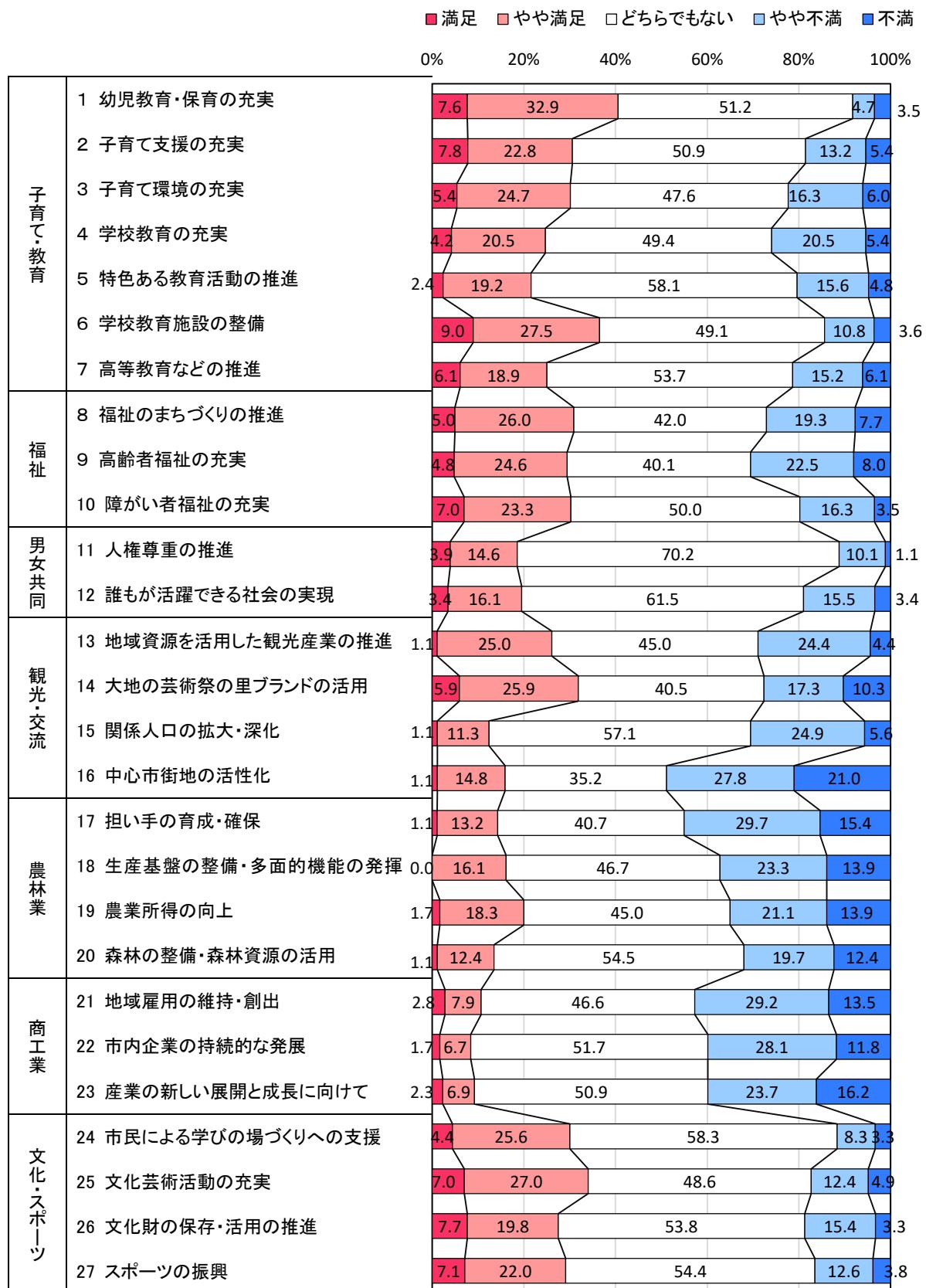


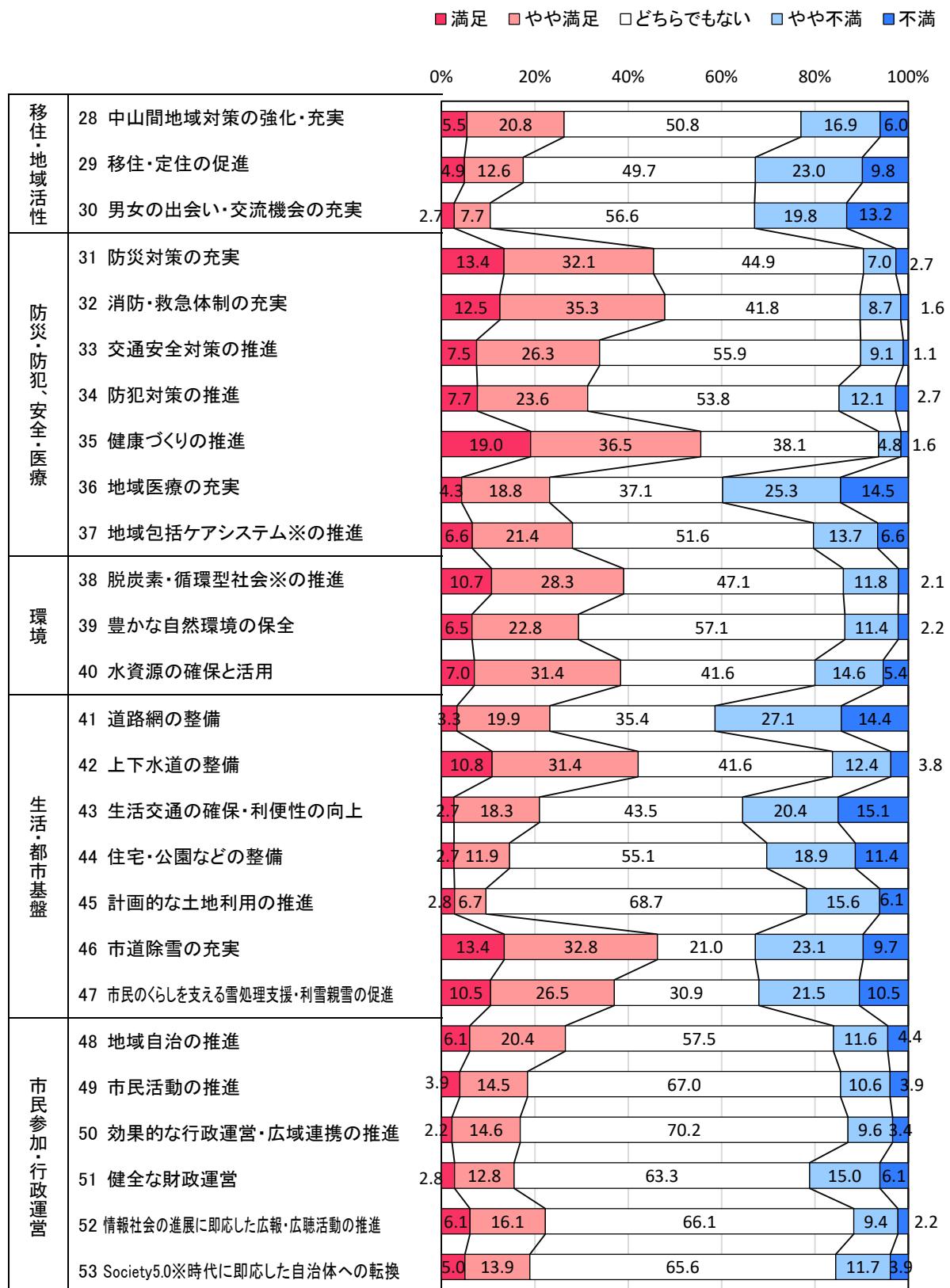
6. 60歳代



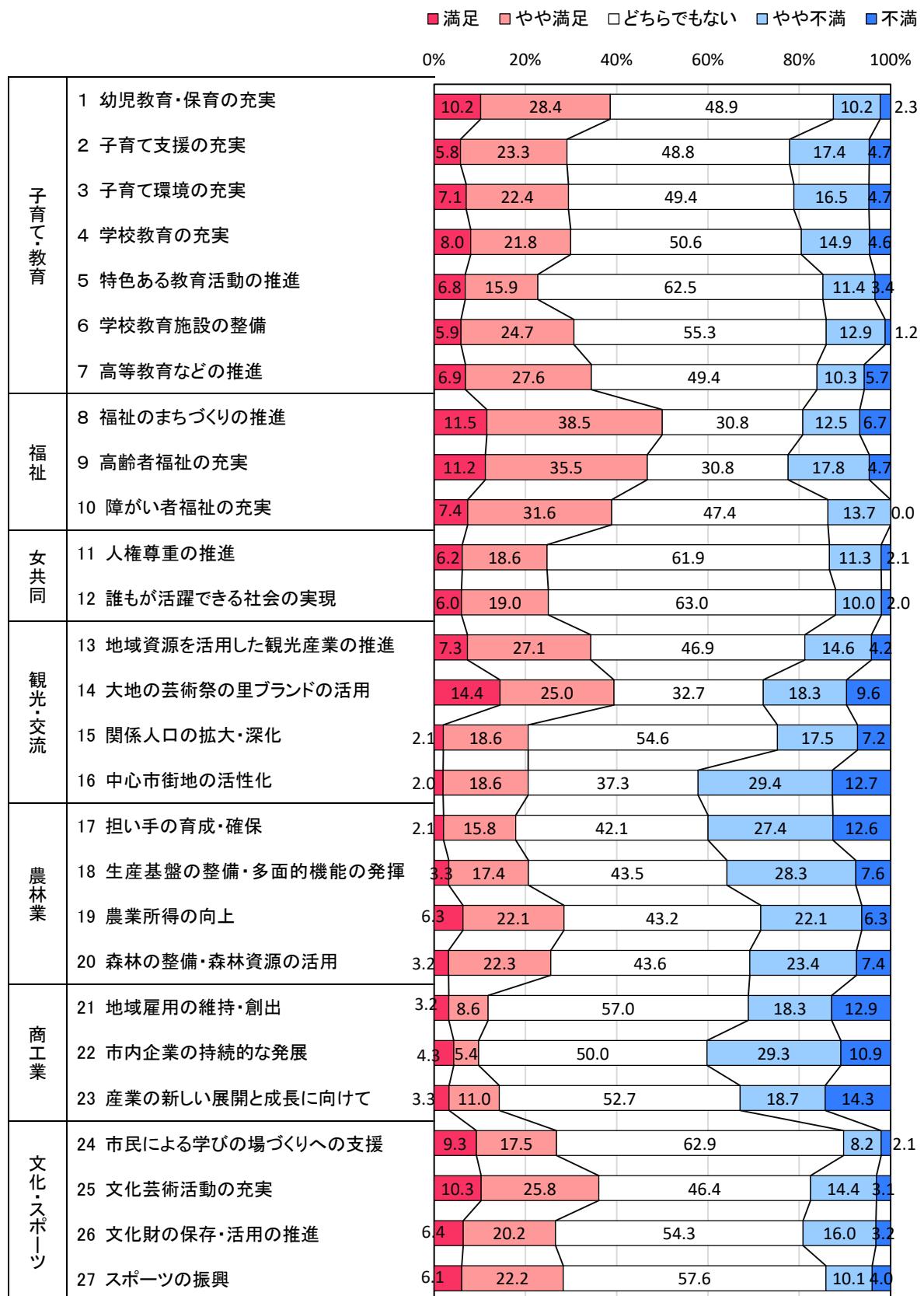


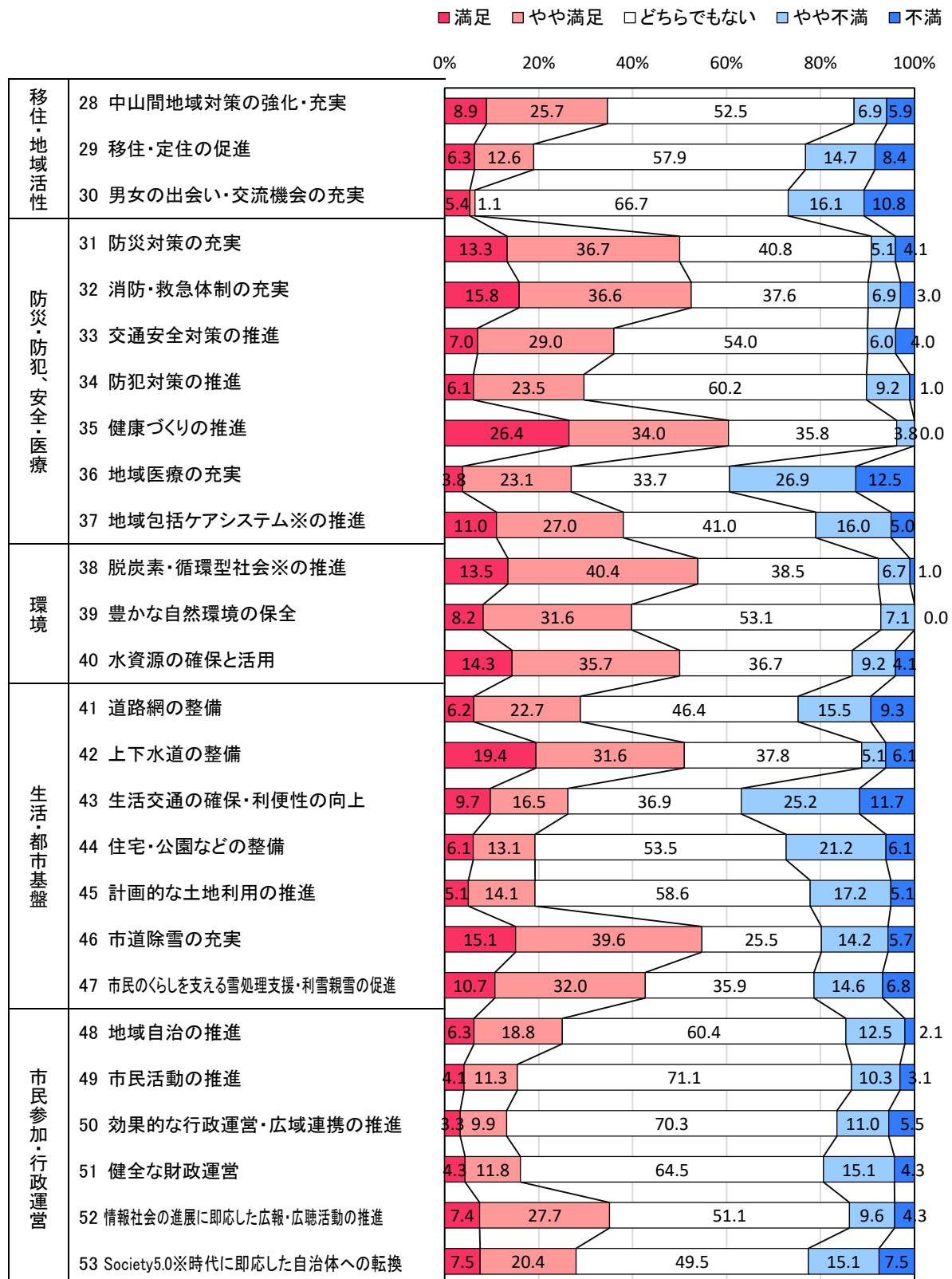
7. 70歳代





8. 80歳以上





＜過年度（H31～R5）との比較＞

【前回との比較・全体の傾向】

前回と比較して満足度が増加した項目は、順に「35 健康づくりの増進」(+26.5 ポイント)、「25 文化芸術活動の充実」(+14.8 ポイント)、「31 防災対策の充実」(+13.5 ポイント) となっており、満足度が減少した項目は、順に「15 関係人口の拡大・深化」(-4.5 ポイント)、「41 道路網の整備」(-4.3 ポイント)、「43 生活交通の確保・利便性の向上」(-3.3 ポイント) となっている。

逆に不満度が増加した項目は、順に「14 大地の芸術祭の里ブランドの活用」(+6.5 ポイント)、「15 関係人口の拡大・深化」(+5.4 ポイント)、「18 農業の生産基盤の整備・多面的機能の発揮」(+4.9 ポイント) となっており、不満度が減少した項目は、順に「28 中山間地域対策の強化・充実」(-19.0 ポイント)、「21 地域雇用の維持・創出」(-12.8 ポイント)、「7 高等教育などの推進」(-12.4 ポイント) となっている。

【前回との比較・年齢別集計】

前回と比較して満足度が増加した項目は、順にいずれも『10代』の「21 地域雇用の維持・創出」、「44 住宅・公園などの整備」(それぞれ+50.0 ポイント)、「7 高等教育などの推進」、「19 農業所得の向上」、「24 市民による学びの場づくりへの支援」、「35 健康づくりの推進」(それぞれ+41.7 ポイント) となっており、満足度が減少した項目は、順に『70代』の「1 幼児教育・保育の充実」(-41.8 ポイント)、「46 市道除雪の充実」(-37.1 ポイント)、『10代』の「28 中山間地域対策の強化・充実」(-33.4 ポイント) となっている。

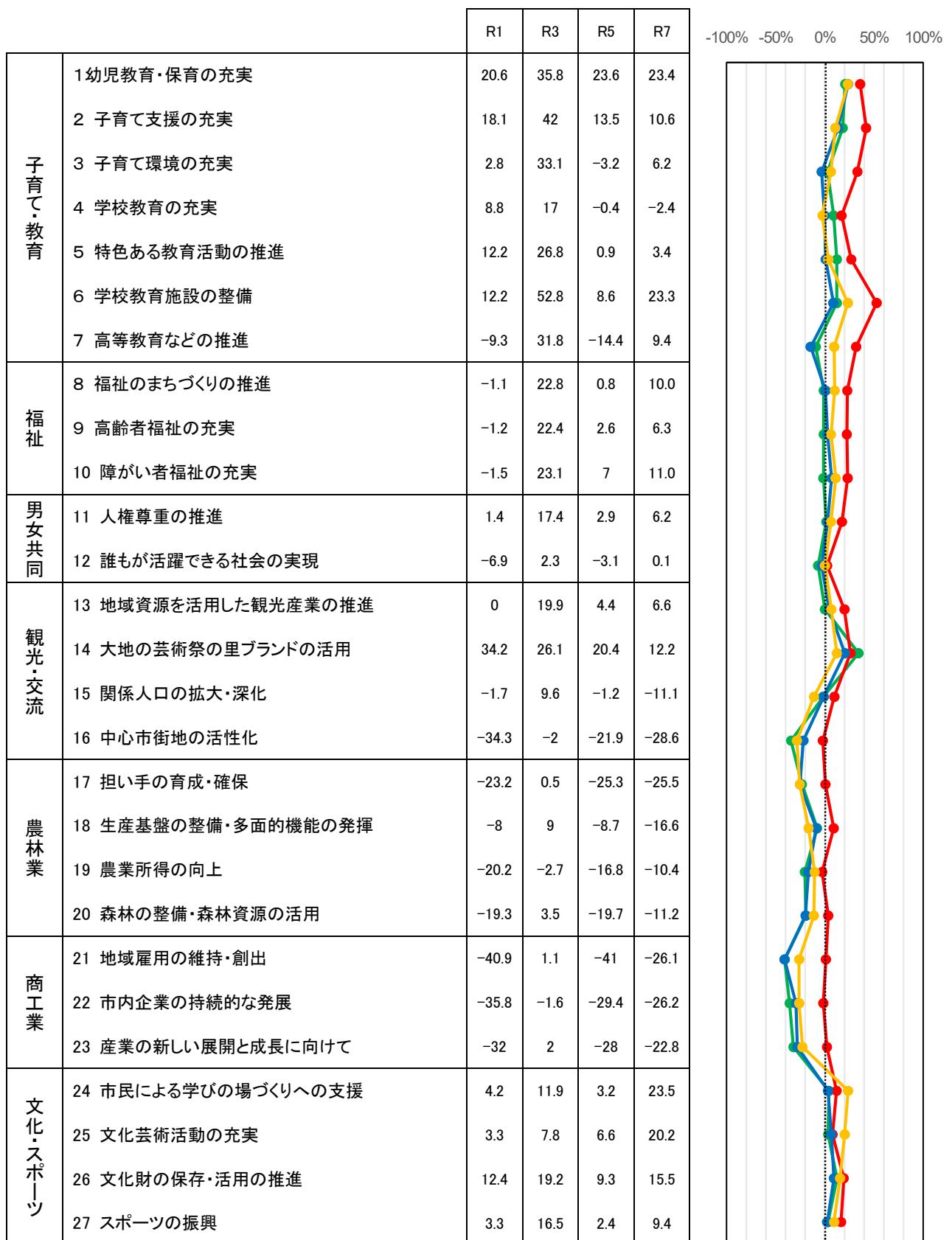
逆に不満度が増加した項目は、順に『70代』の「42 上下水道の整備」(+26.5 ポイント)、『80代』の「16 中心市街地の活性化」(+23.4 ポイント)、「10代」の「1 幼児教育・保育の充実」(+23.3 ポイント) となっており、不満度が減少した項目は、順に『10代』の「7 高等教育などの推進」、「21 地域雇用の維持・創出」(それぞれ-41.7 ポイント)、「70代」の「36 地域医療の充実」(-34.7 ポイント)、「10代」の「46 市道除雪の充実」(-33.4 ポイント) となっている。

【全体の傾向】

グラフの見方

表の数値＝満足度（「満足」回答率＋「やや満足」回答率）－不満足度（「やや不満」回答率＋「不満」回答率）

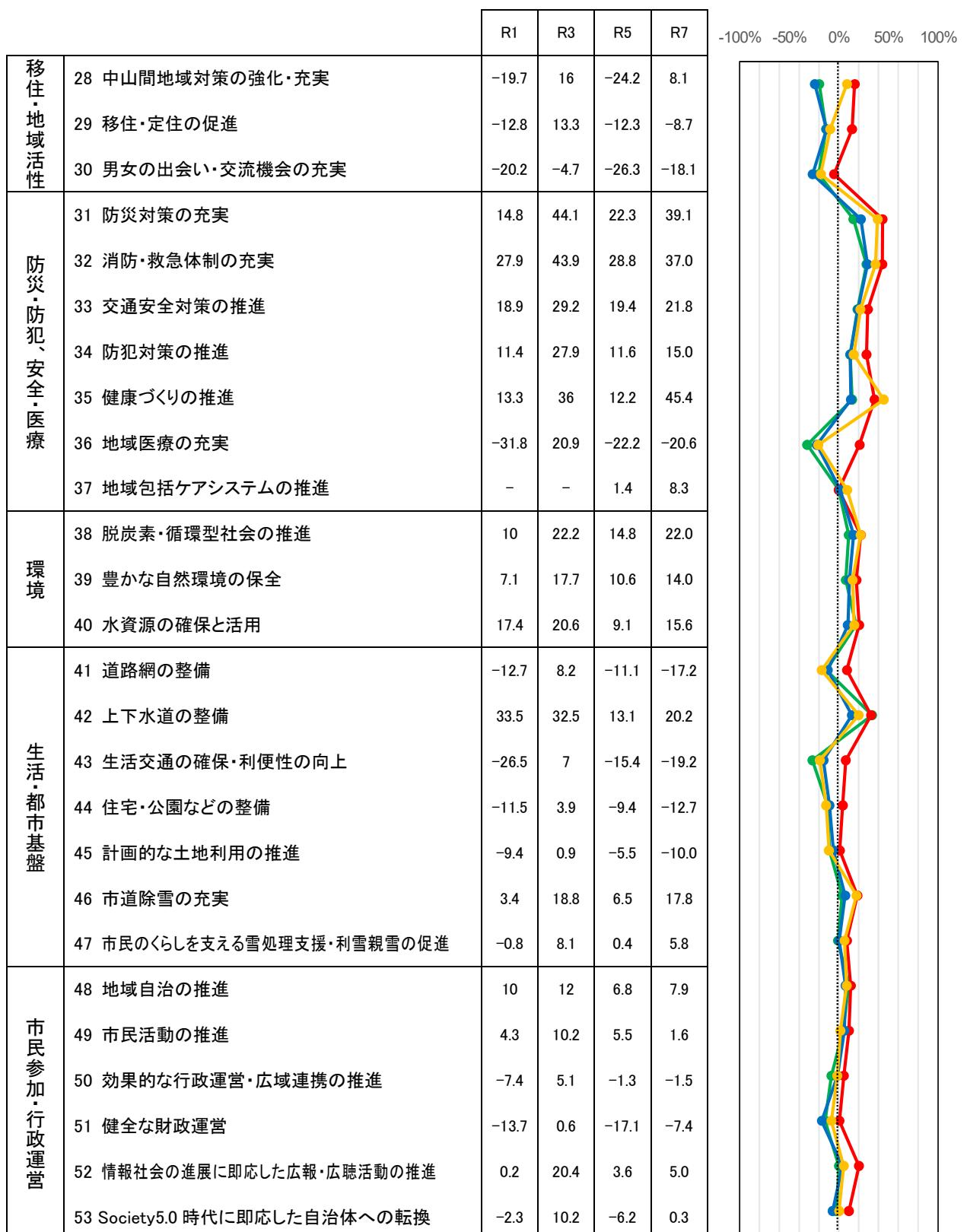
■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度



グラフの見方

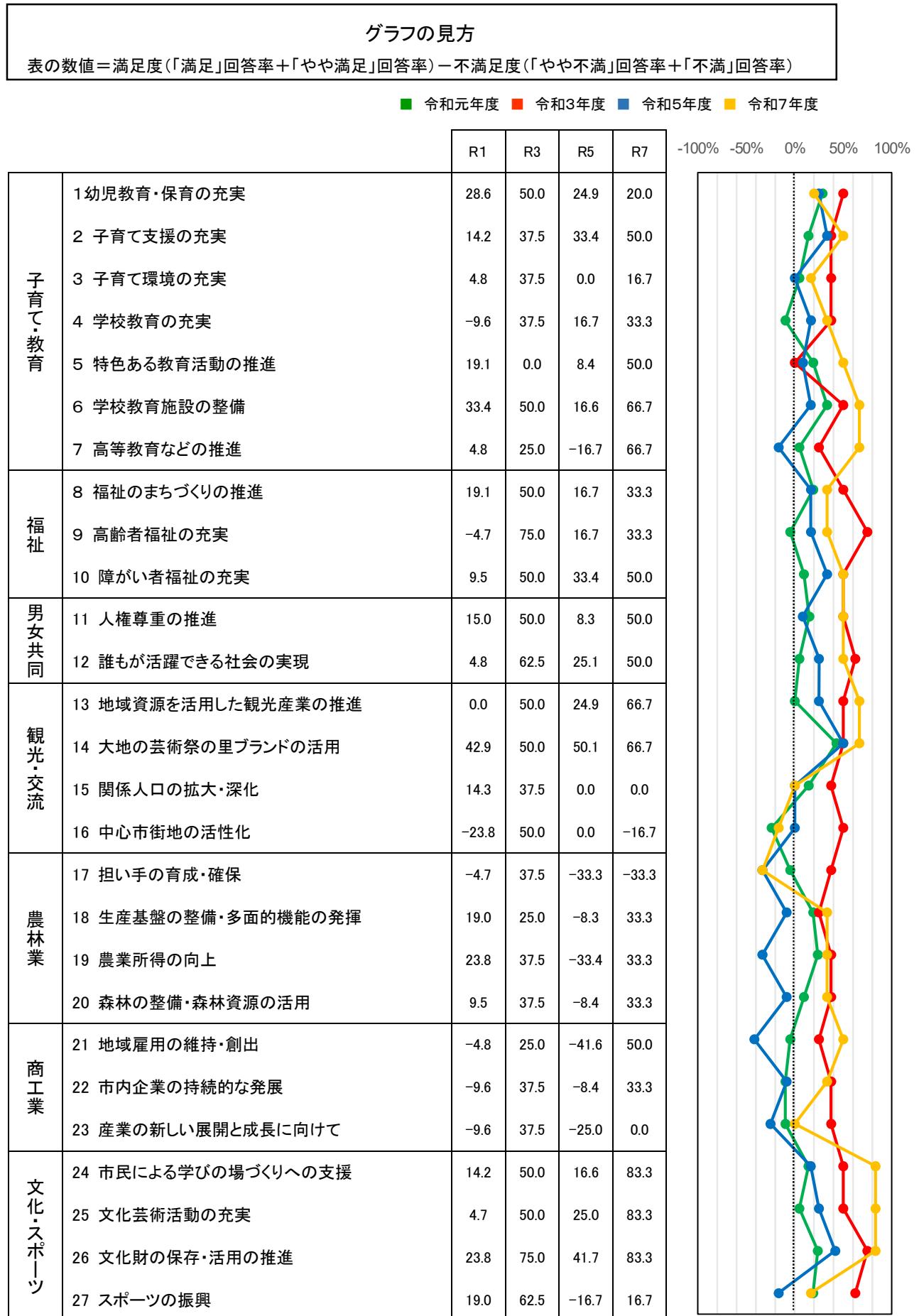
表の数値＝満足度（「満足」回答率＋「やや満足」回答率）－不満足度（「やや不満」回答率＋「不満」回答率）

■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度



【年齢別集計】

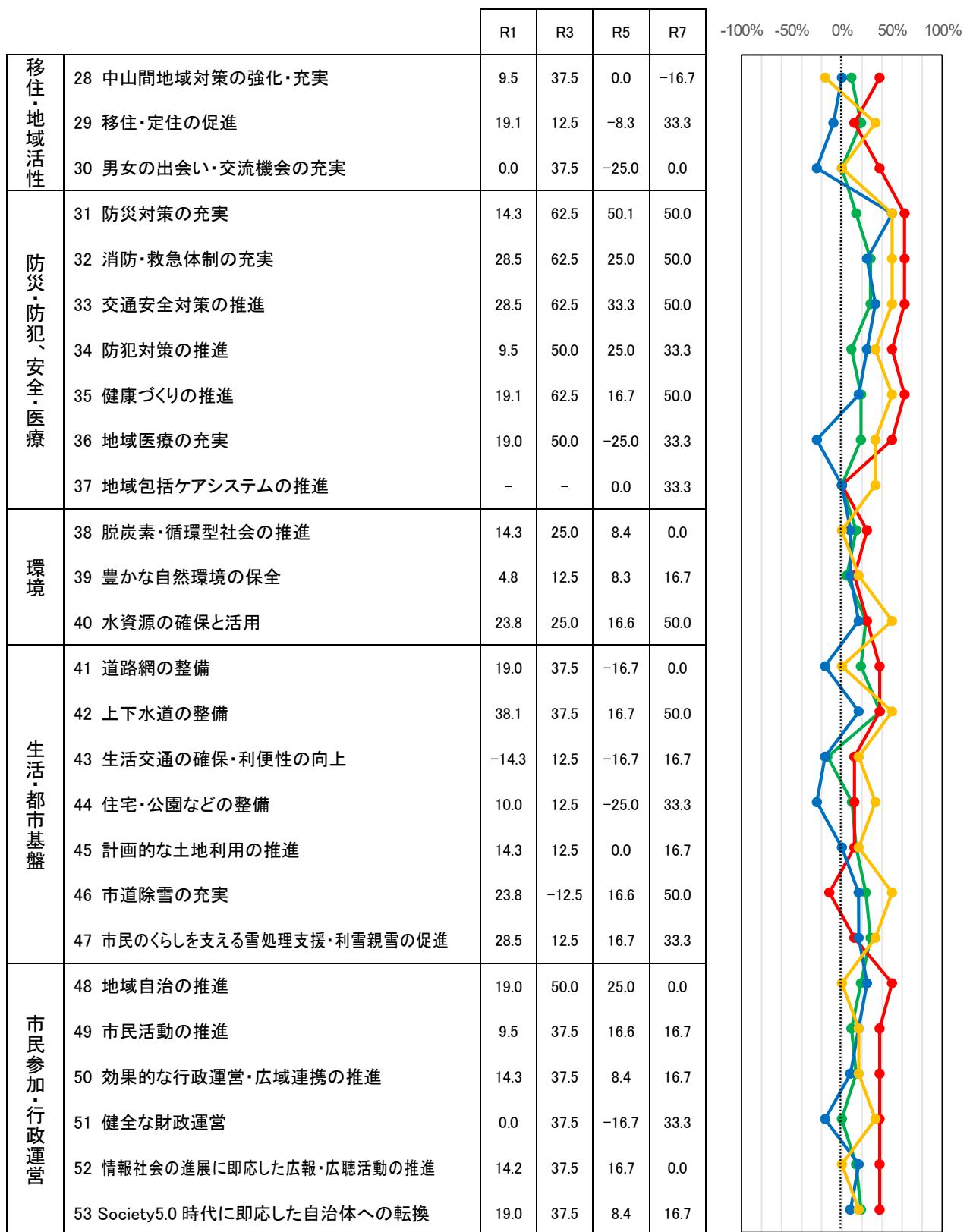
1. 10歳代



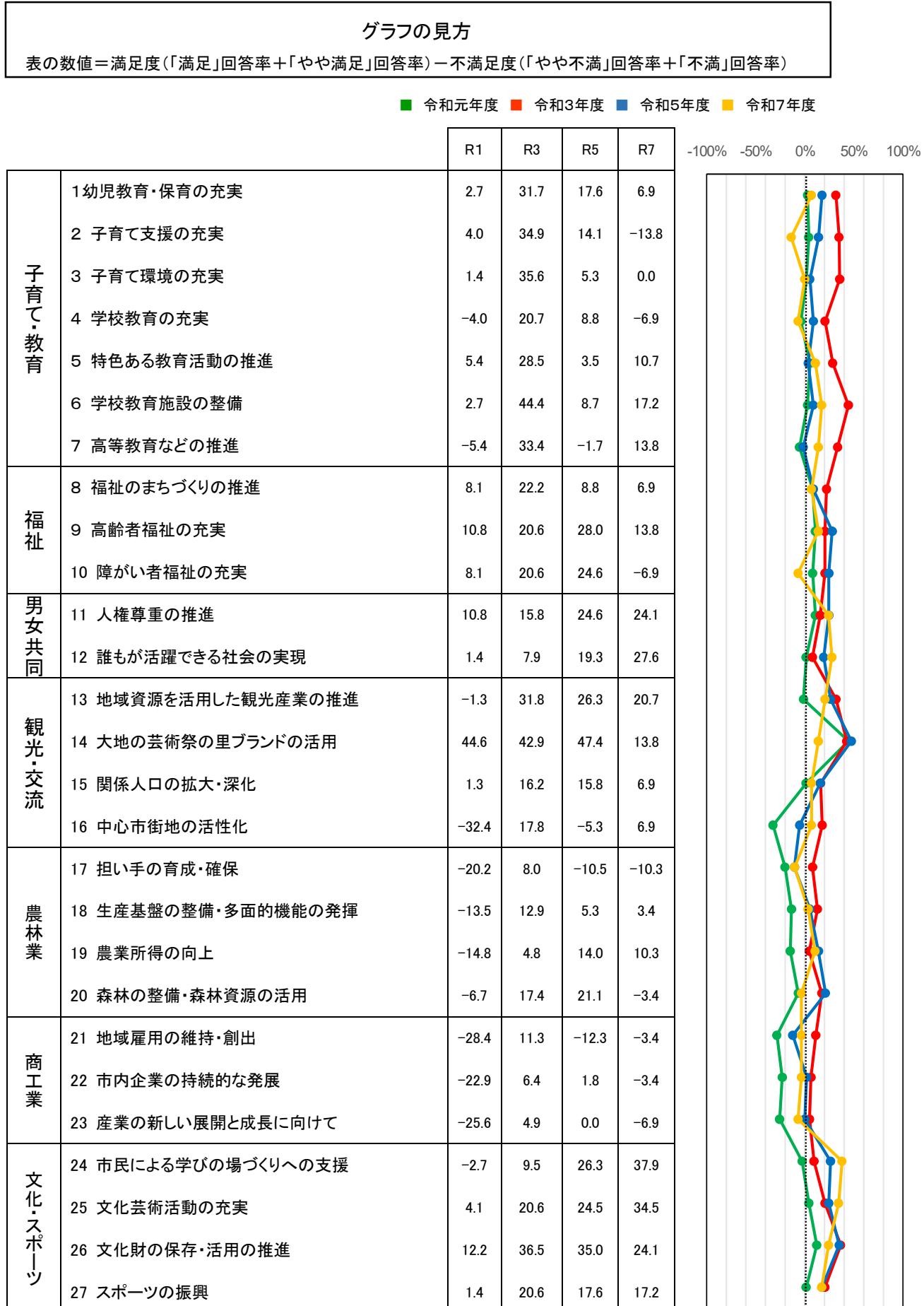
グラフの見方

表の数値＝満足度（「満足」回答率＋「やや満足」回答率）－不満足度（「やや不満」回答率＋「不満」回答率）

■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度



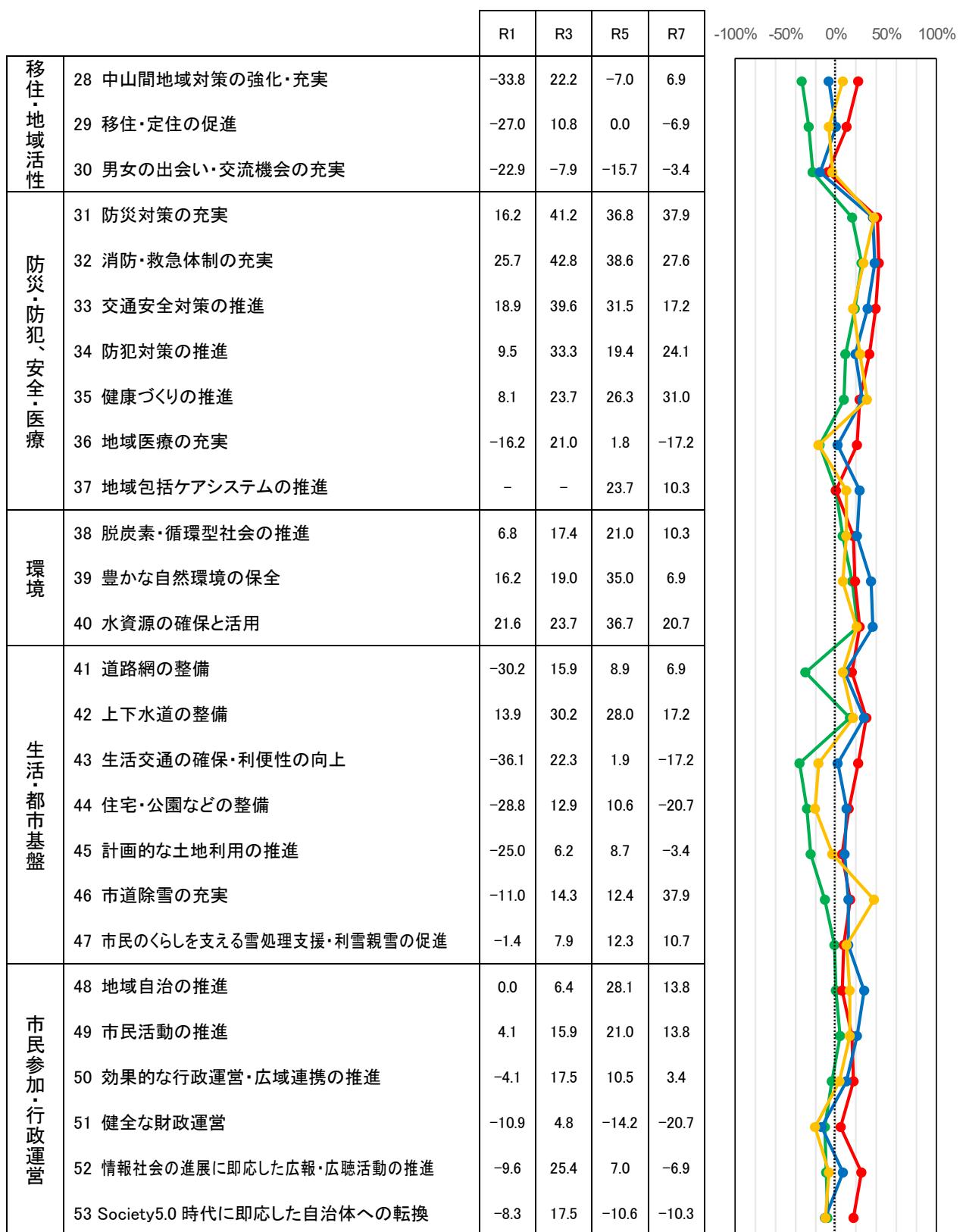
2. 20歳代



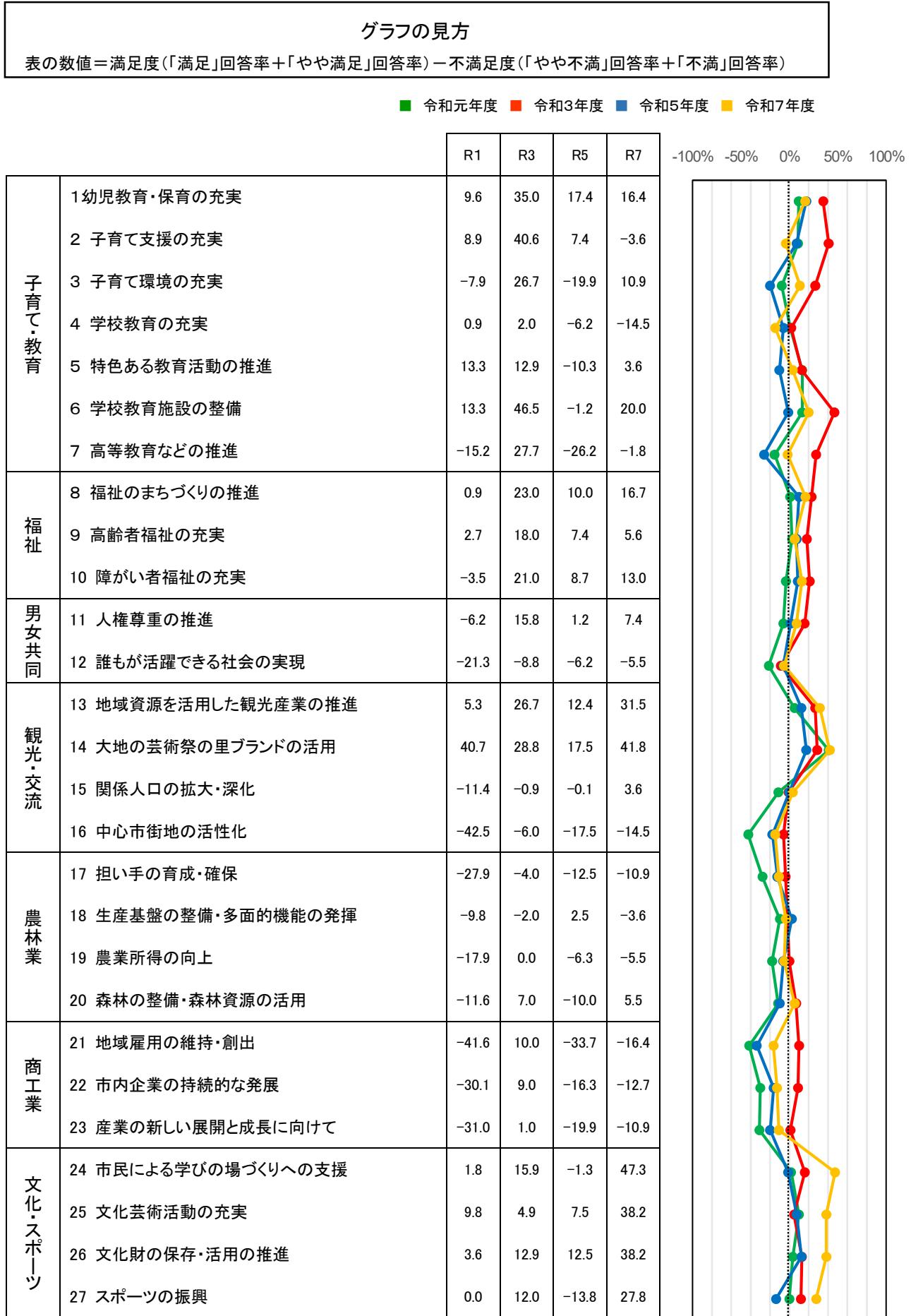
グラフの見方

表の数値＝満足度（「満足」回答率＋「やや満足」回答率）－不満足度（「やや不満」回答率＋「不満」回答率）

■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度



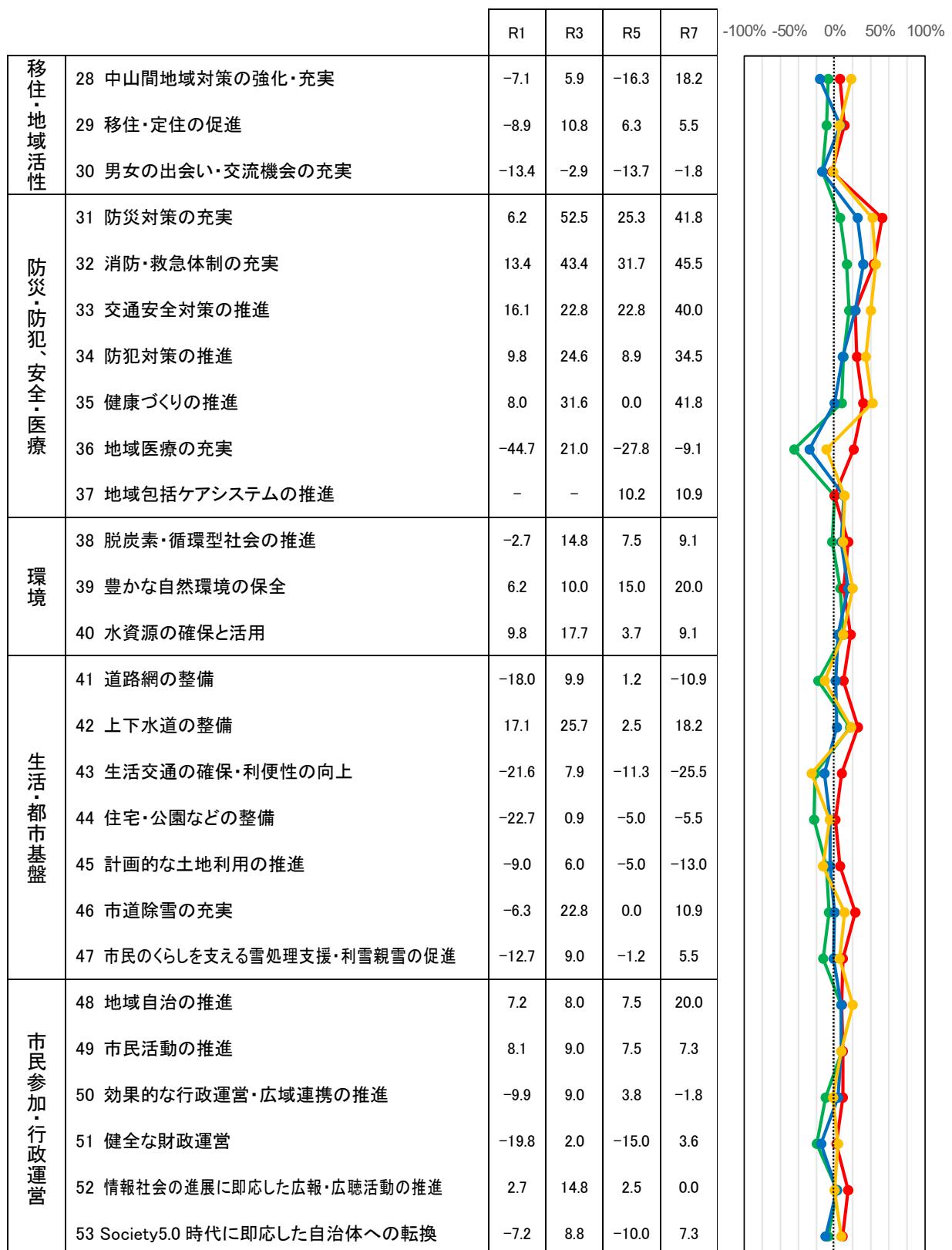
3. 30歳代



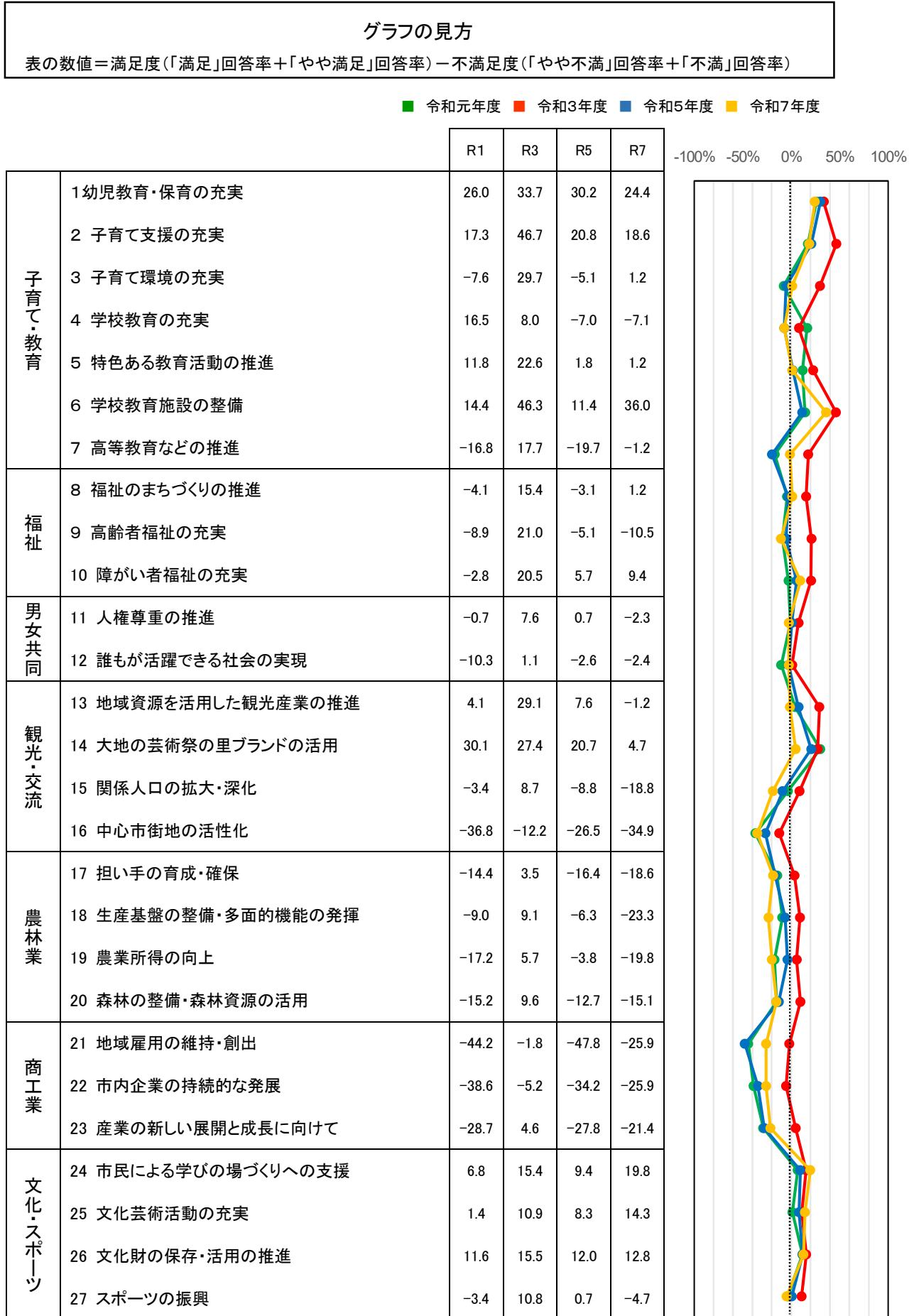
グラフの見方

表の数値＝満足度（「満足」回答率＋「やや満足」回答率）－不満足度（「やや不満」回答率＋「不満」回答率）

■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度



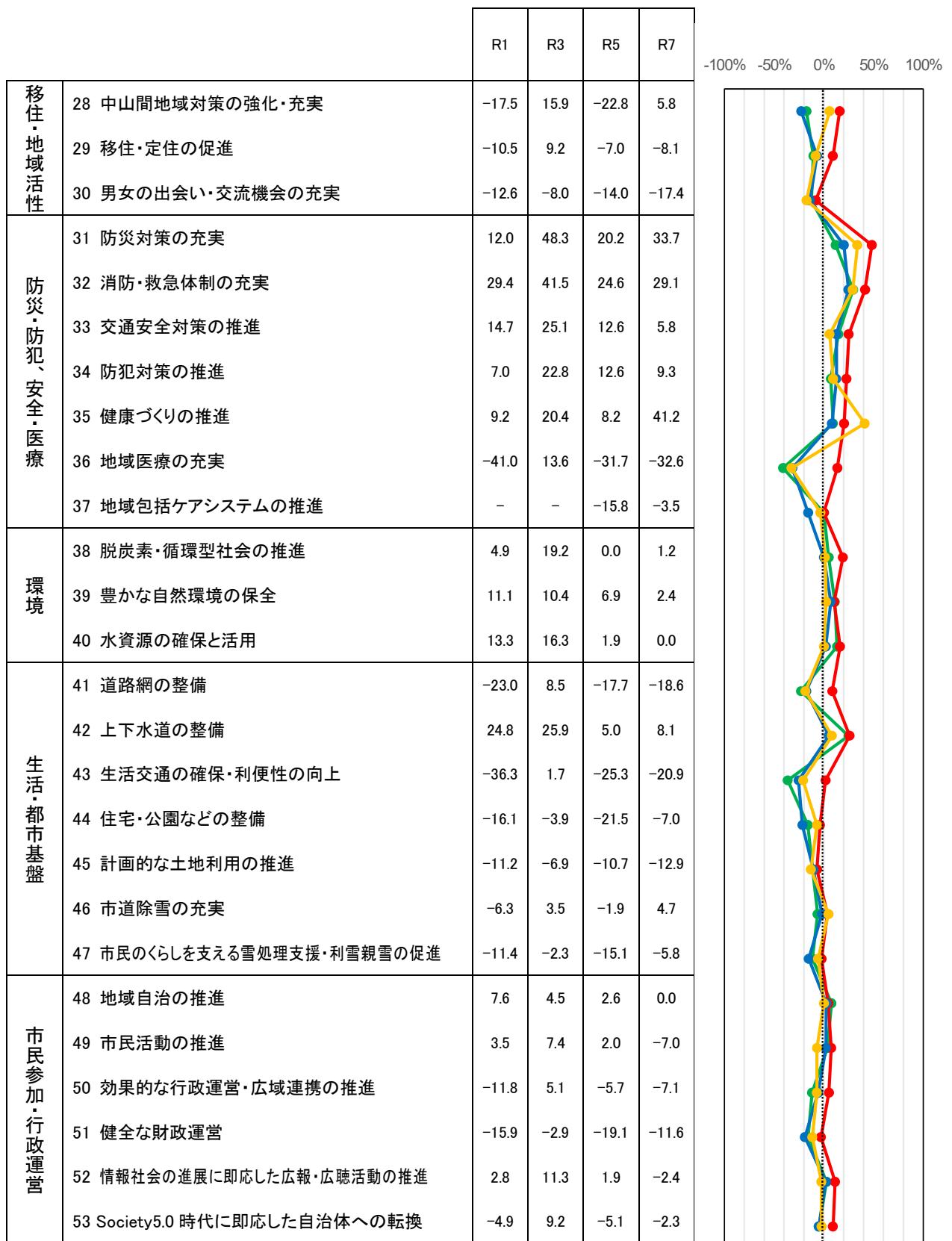
4. 40歳代



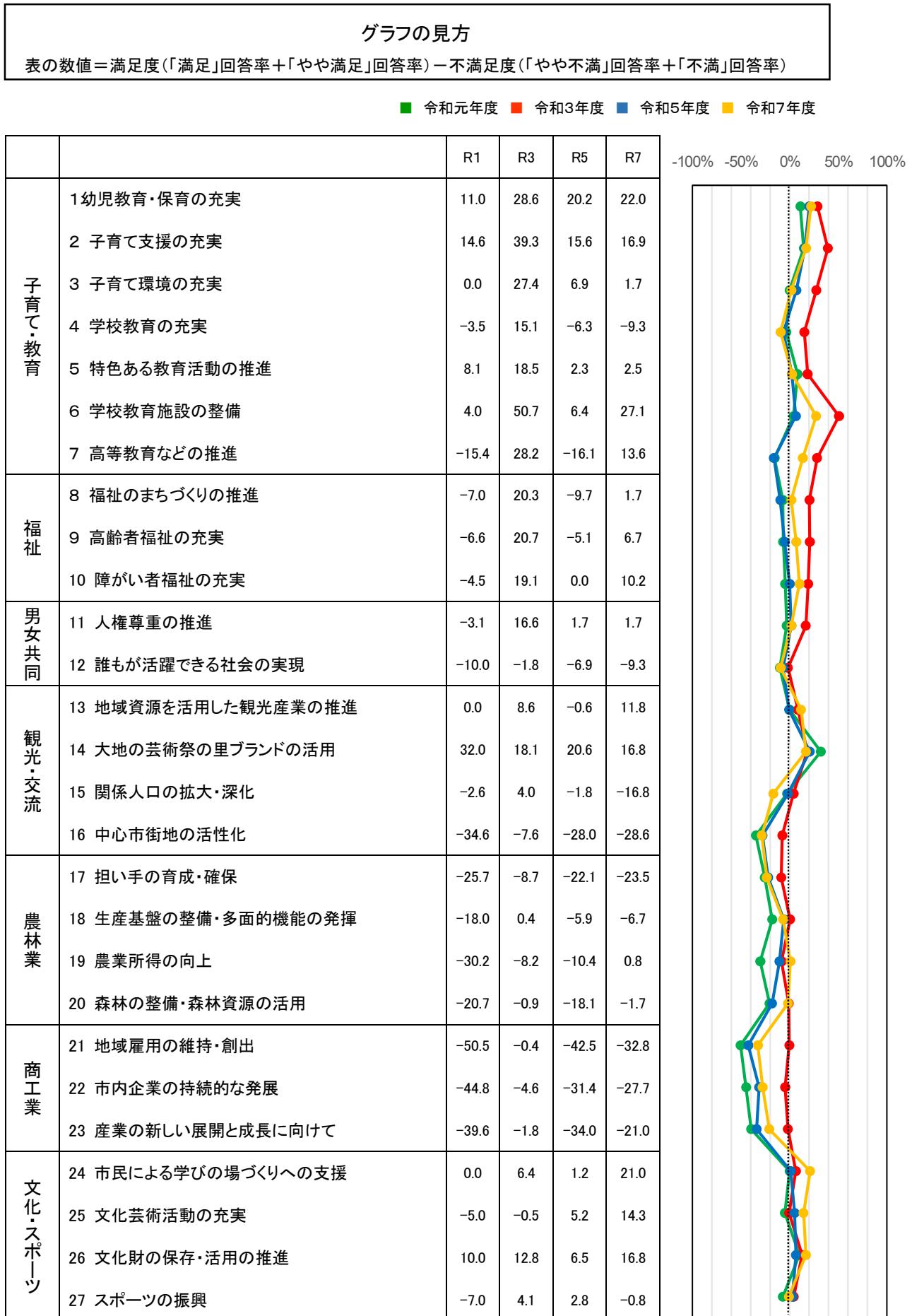
グラフの見方

表の数値＝満足度（「満足」回答率＋「やや満足」回答率）－不満足度（「やや不満」回答率＋「不満」回答率）

■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度



5. 50歳代

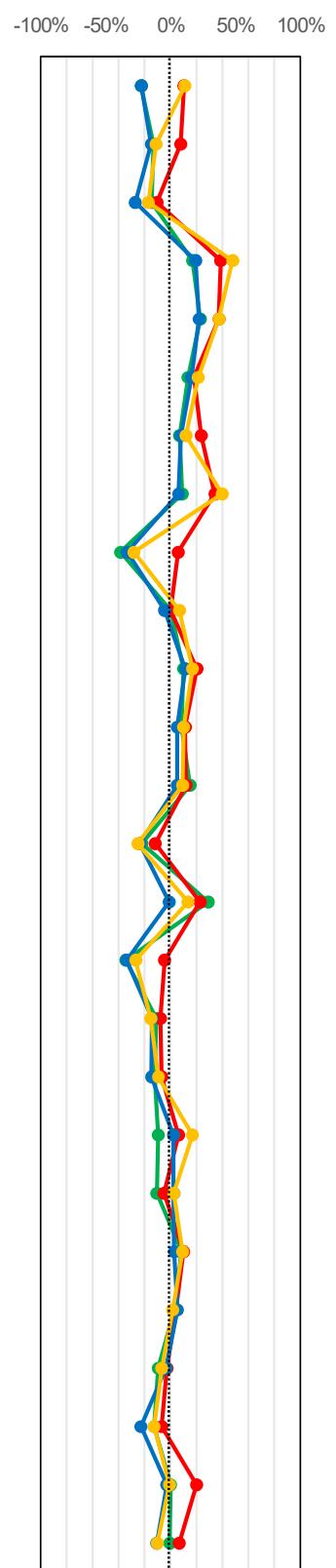


グラフの見方

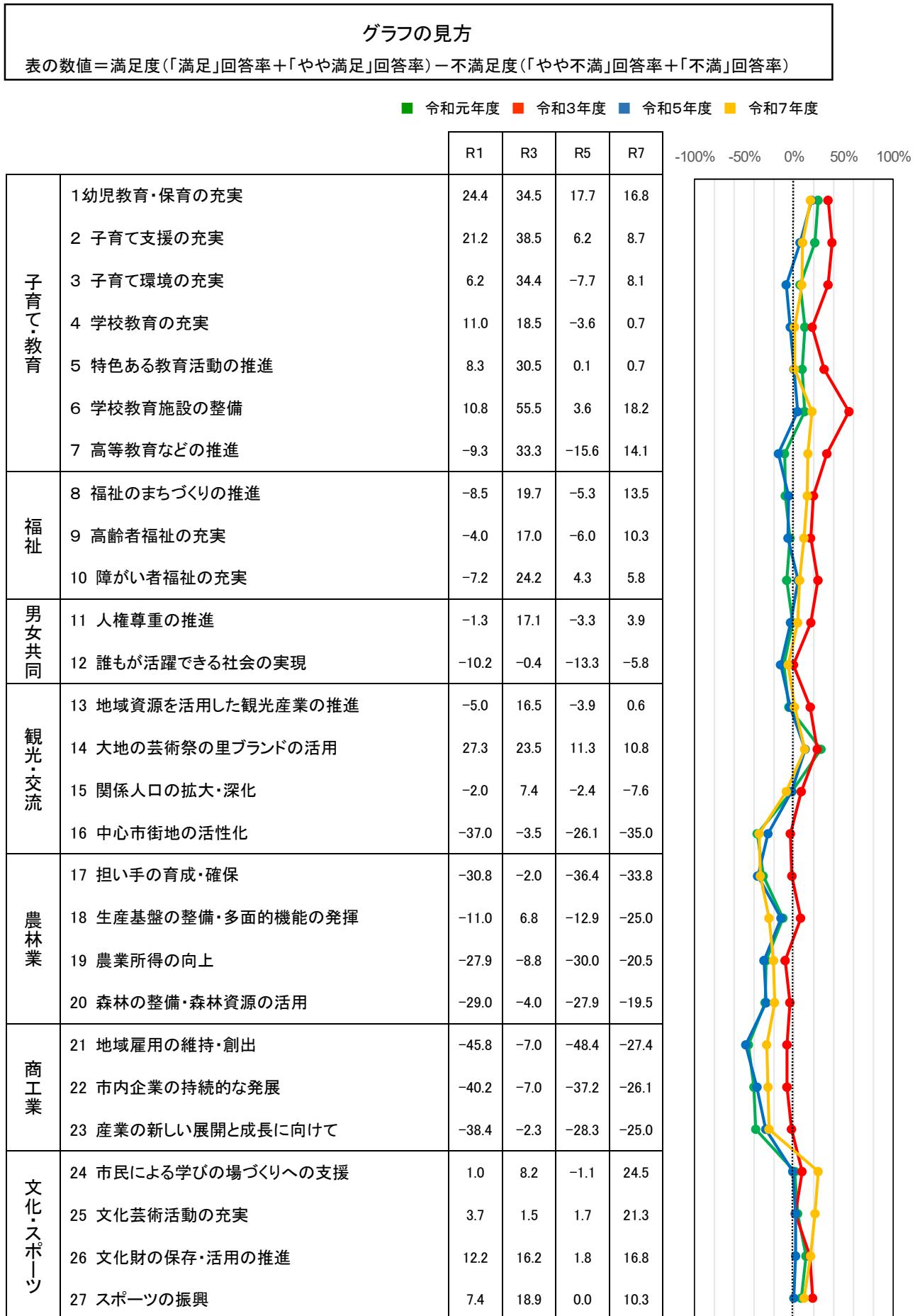
表の数値＝満足度（「満足」回答率＋「やや満足」回答率）－不満足度（「やや不満」回答率＋「不満」回答率）

■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度

		R1	R3	R5	R7
移住・地域活性	28 中山間地域対策の強化・充実	-22.7	10.4	-22.4	11.0
	29 移住・定住の促進	-13.0	7.8	-14.9	-11.1
	30 男女の出会い・交流機会の充実	-14.5	-10.4	-27.2	-17.1
防災・防犯、安全・医療	31 防災対策の充実	16.9	38.6	19.3	47.9
	32 消防・救急体制の充実	22.9	37.3	22.1	37.3
	33 交通安全対策の推進	13.5	18.1	16.1	21.4
	34 防犯対策の推進	7.0	23.7	8.0	12.0
	35 健康づくりの推進	9.0	34.1	6.3	39.8
	36 地域医療の充実	-38.5	5.9	-33.3	-28.2
	37 地域包括ケアシステムの推進	-	-	-4.6	6.8
環境	38 脱炭素・循環型社会の推進	10.0	20.4	11.5	16.9
	39 豊かな自然環境の保全	8.5	11.3	5.2	10.2
	40 水資源の確保と活用	15.0	11.9	5.2	9.3
生活・都市基盤	41 道路網の整備	-22.1	-11.8	-23.6	-25.2
	42 上下水道の整備	29.0	22.7	-1.1	13.6
	43 生活交通の確保・利便性の向上	-34.5	-4.6	-33.7	-26.9
	44 住宅・公園などの整備	-11.0	-7.8	-14.3	-15.3
	45 計画的な土地利用の推進	-12.1	-6.8	-14.6	-9.3
	46 市道除雪の充実	-9.5	6.3	2.3	16.9
	47 市民のくらしを支える雪処理支援・利雪親雪の促進	-10.5	-5.0	2.4	2.6
市民参加・行政運営	48 地域自治の推進	8.5	10.0	2.9	9.2
	49 市民活動の推進	3.1	4.1	5.3	1.7
	50 効果的な行政運営・広域連携の推進	-9.5	-2.8	-3.5	-6.7
	51 健全な財政運営	-12.5	-6.8	-22.8	-12.6
	52 情報社会の進展に即応した広報・広聴活動の推進	0.0	20.1	-2.9	-0.8
	53 Society5.0 時代に即応した自治体への転換	-0.5	6.8	-10.5	-10.1

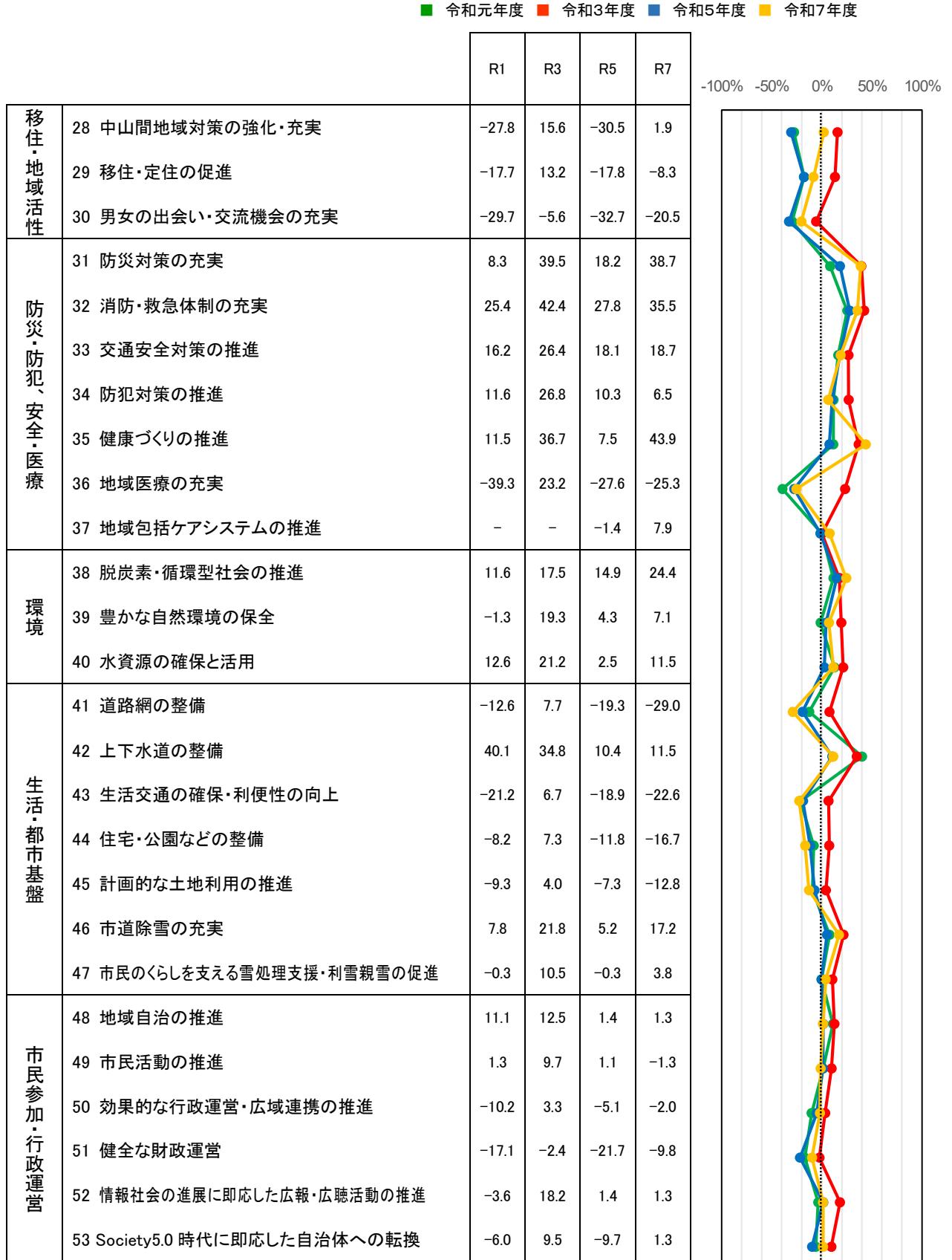


6. 60歳代

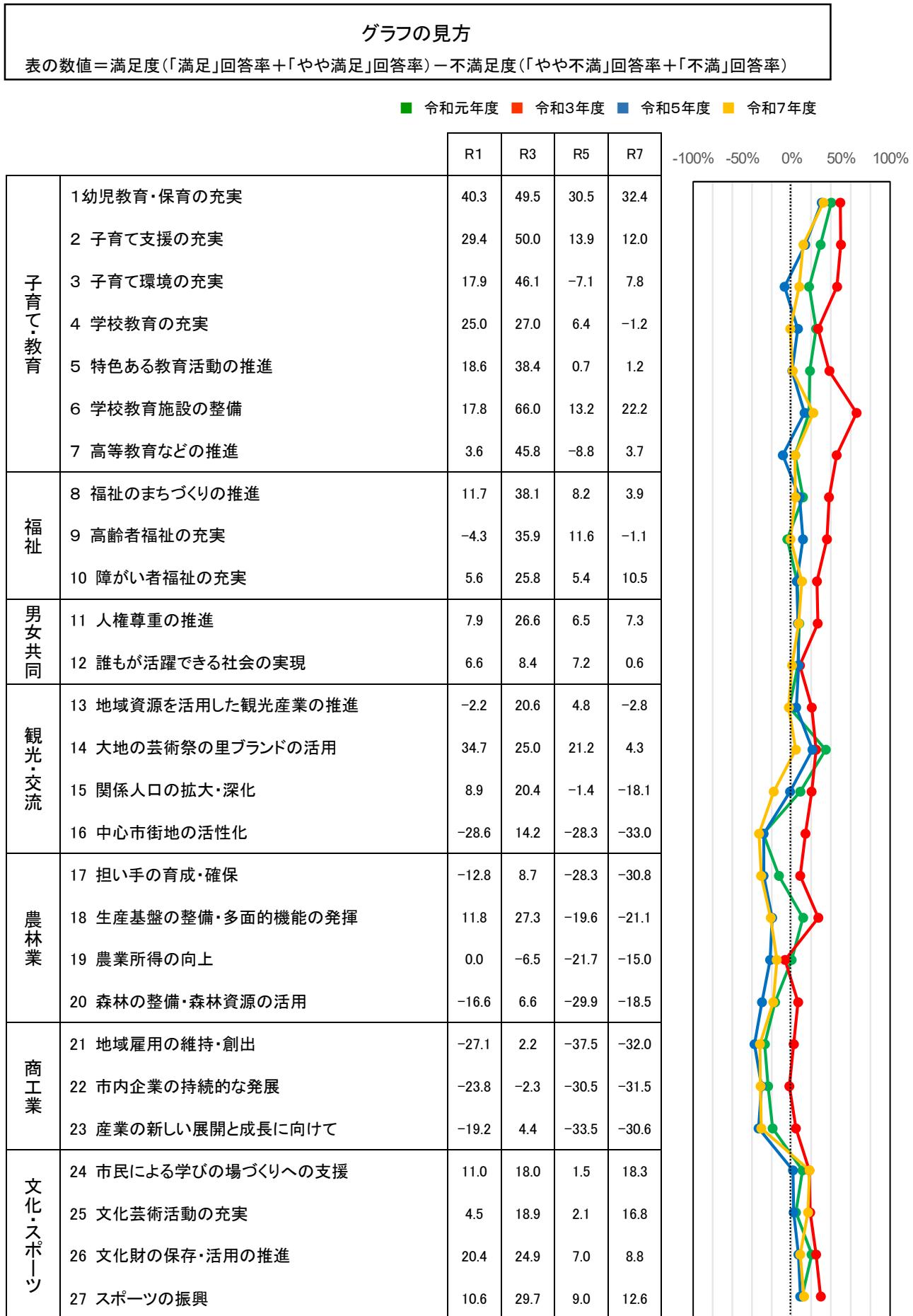


グラフの見方

表の数値＝満足度（「満足」回答率＋「やや満足」回答率）－不満足度（「やや不満」回答率＋「不満」回答率）



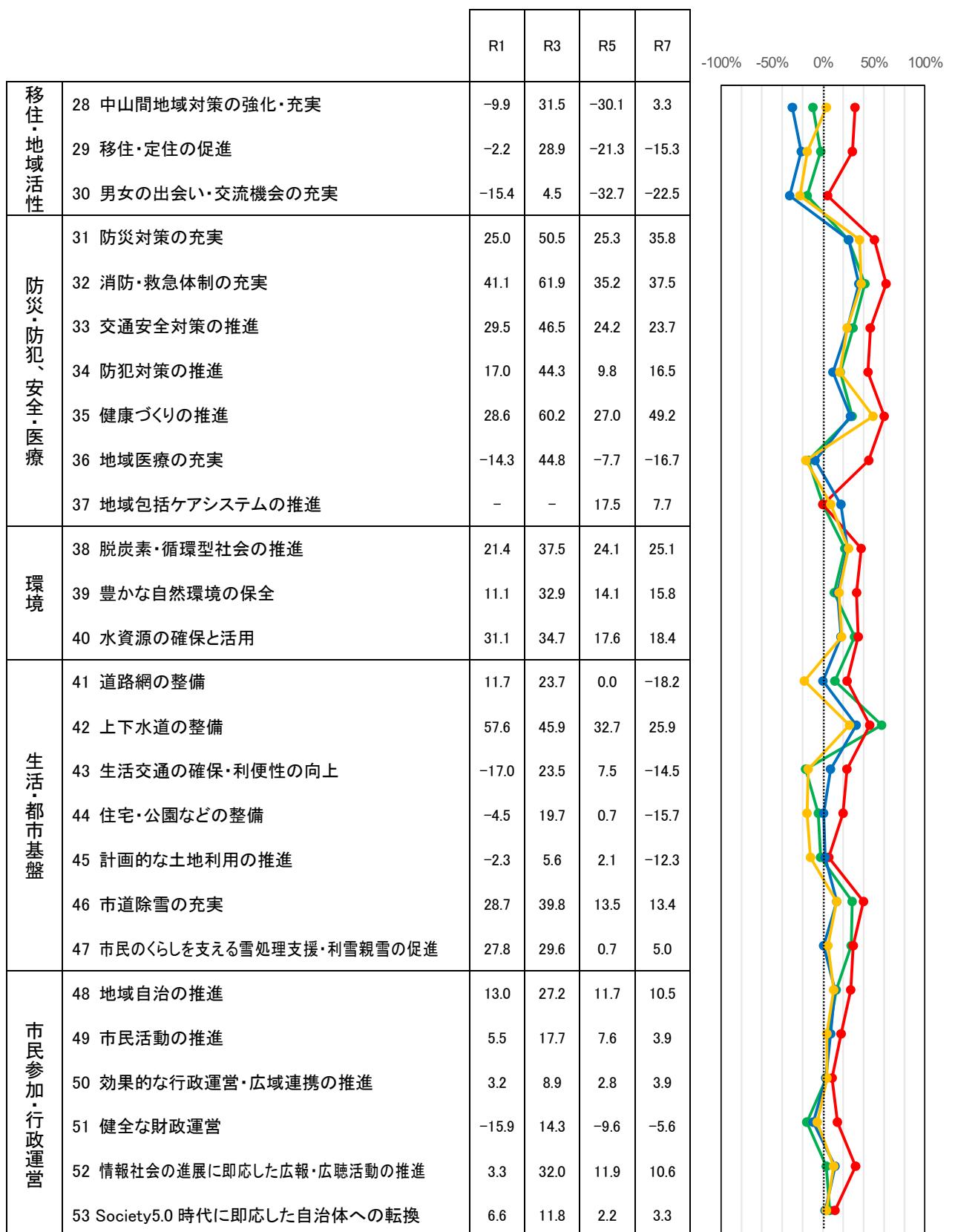
7. 70歳代



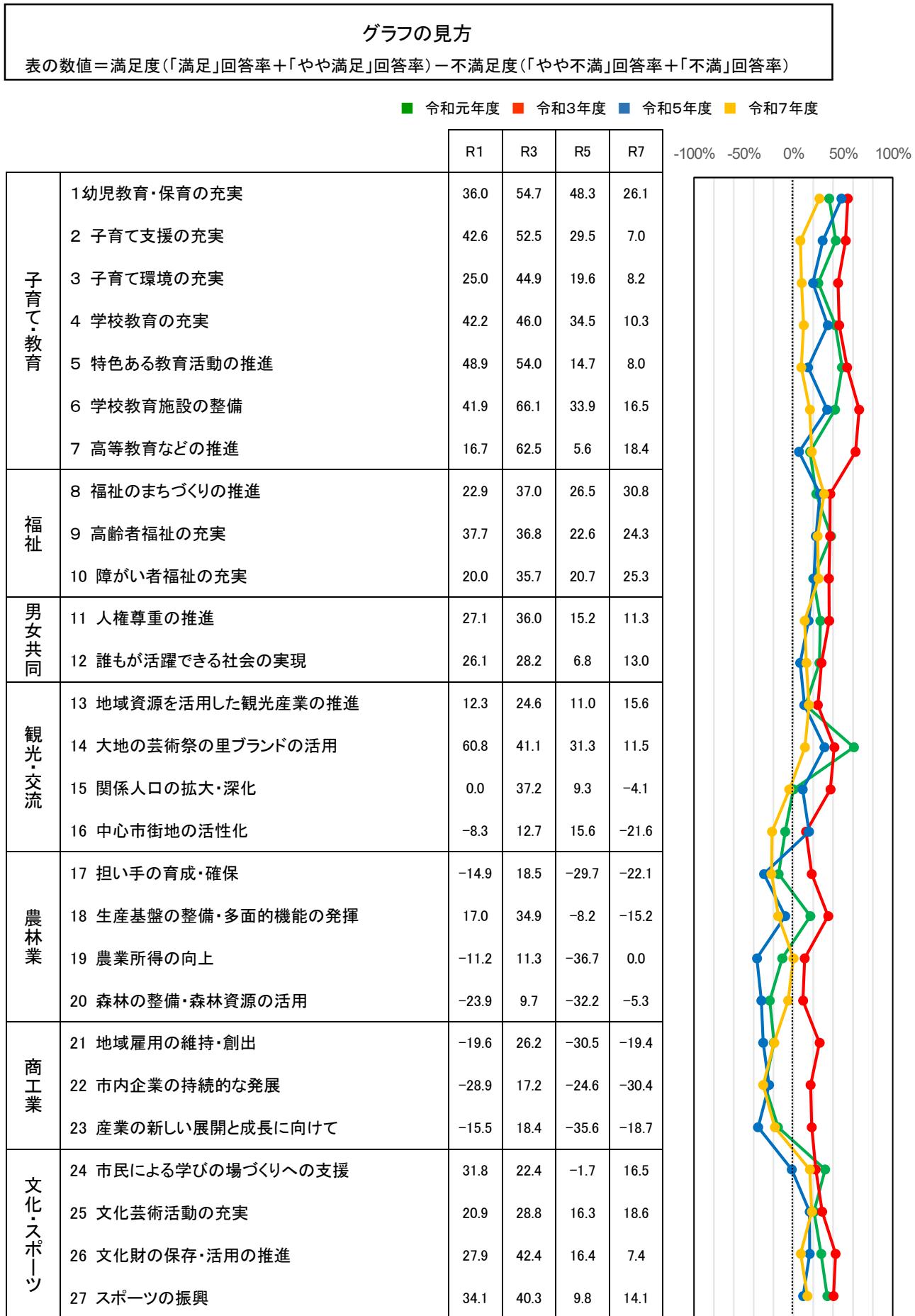
グラフの見方

表の数値＝満足度（「満足」回答率＋「やや満足」回答率）－不満足度（「やや不満」回答率＋「不満」回答率）

■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度



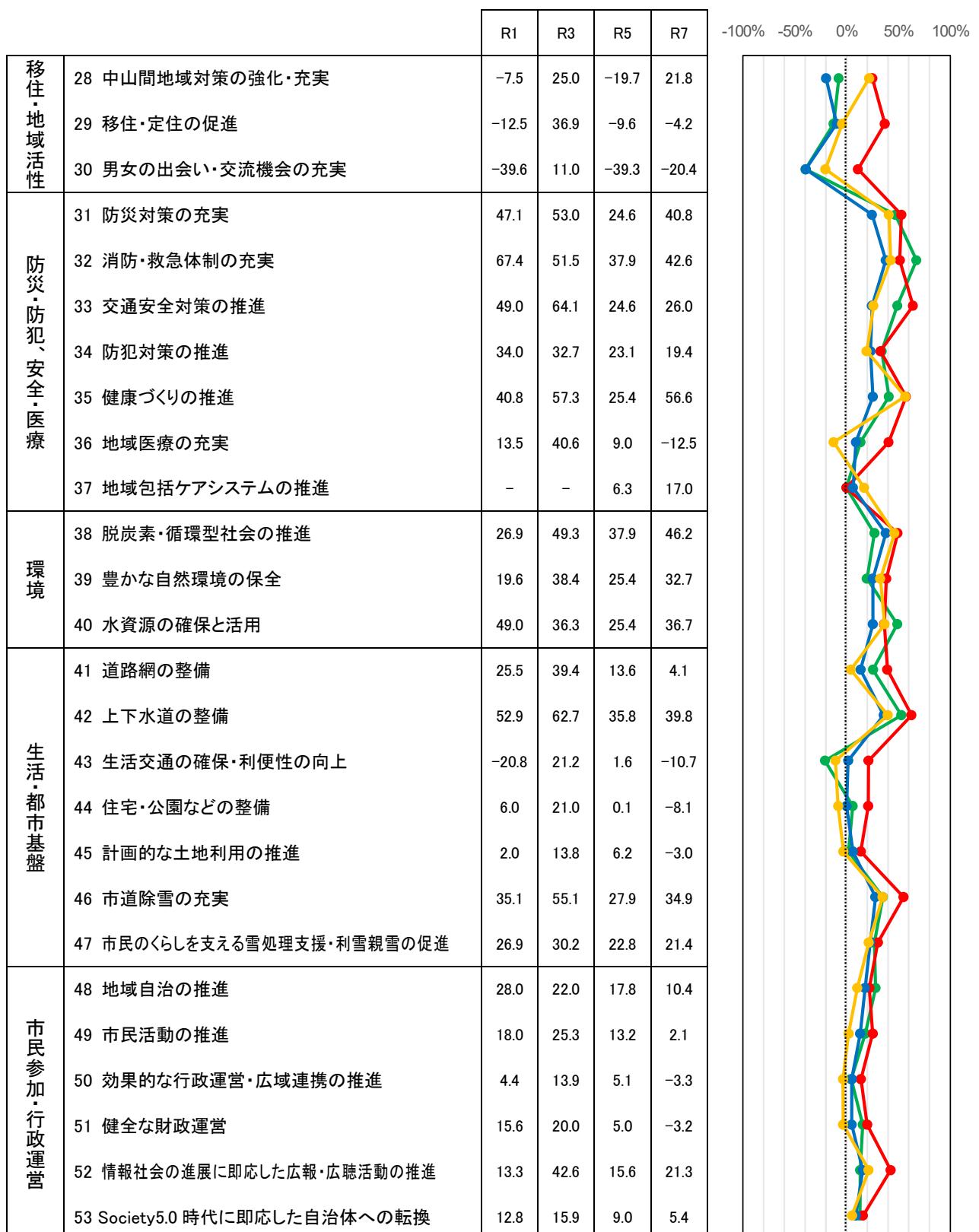
8. 80歳以上



グラフの見方

表の数値＝満足度（「満足」回答率＋「やや満足」回答率）－不満足度（「やや不満」回答率＋「不満」回答率）

■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度



・重要度について

【全体の傾向】

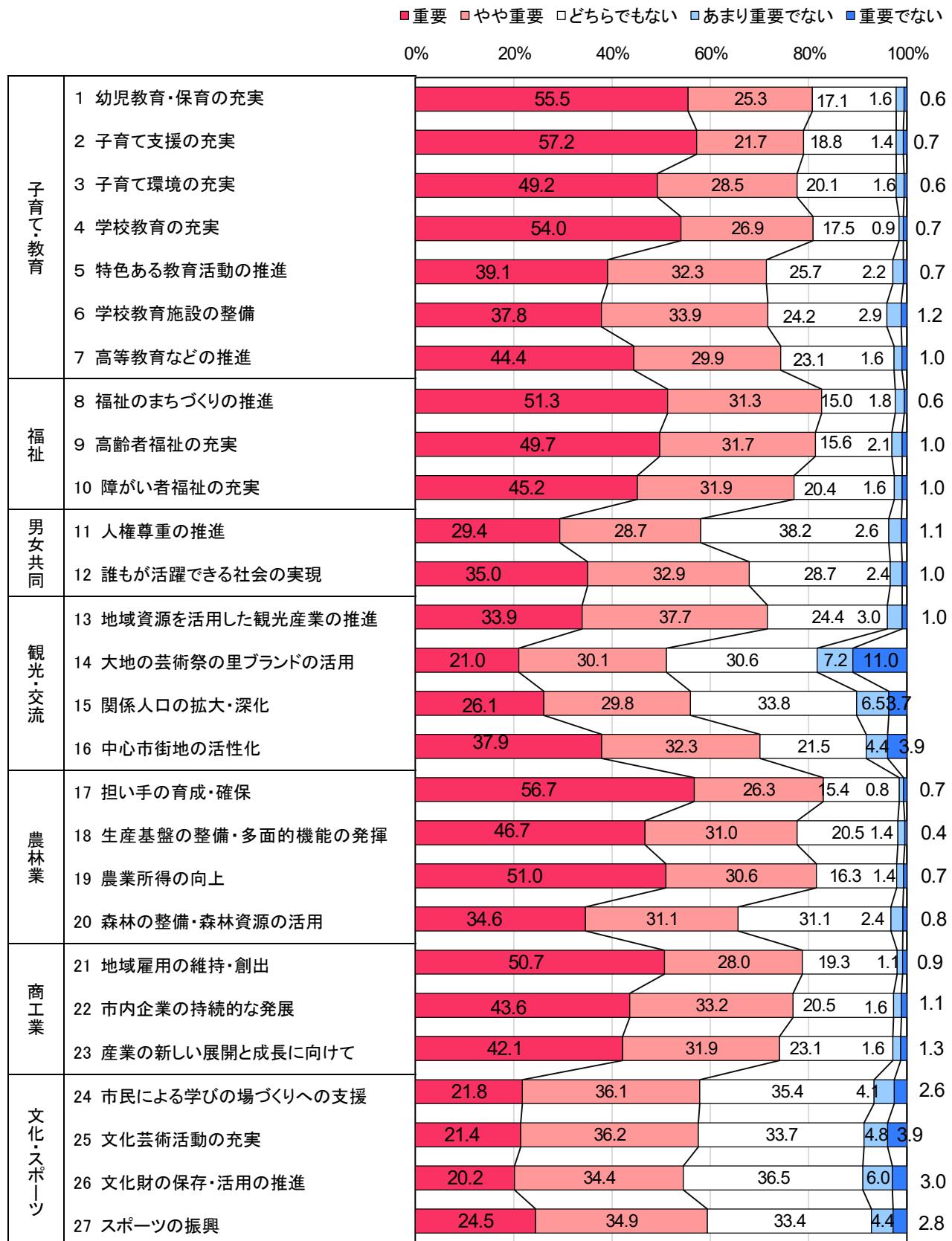
重要度が高いと評価された項目は、順に「46 市道除雪の充実」(90.6%)、「36 地域医療の充実」(89.4%)、「47 市民のくらしを支える雪処理支援・利雪親雪の促進」(86.7%)、「41 道路網の整備」(85.7%)、「42 上下水道の整備」(83.4%) となっている。

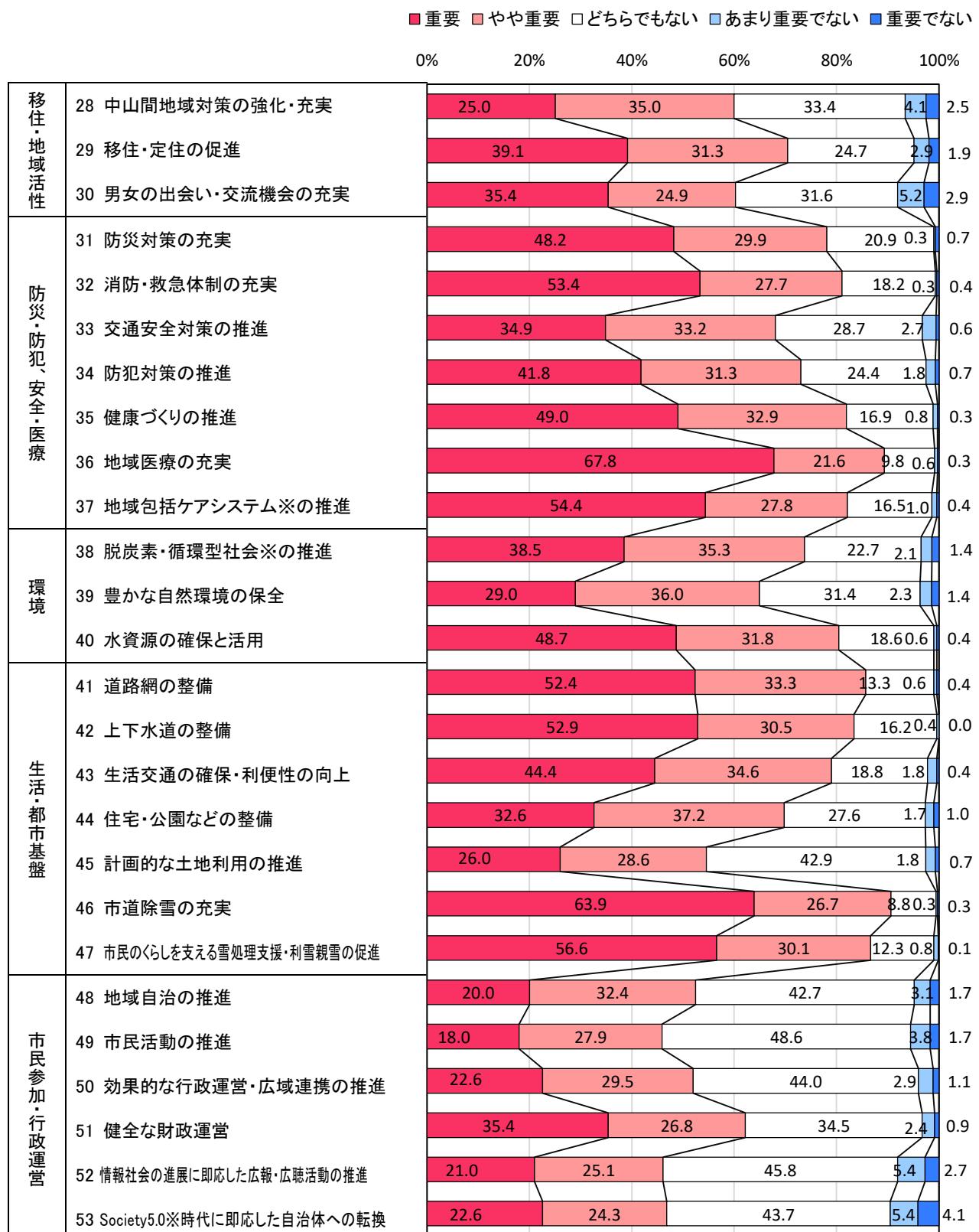
【年齢別集計】

【全体の傾向】において重要度が高かった項目以外で、年代別に重要度が高い項目をみると、順にいずれも『10代』の「3 子育て環境の充実」、「4 学校教育の充実」、「5 特色ある教育活動の推進」、「6 学校教育施設の整備」、「9 高齢者福祉の充実」、「10 障がい者福祉の充実」、「40 水資源の確保と活用」(それぞれ 100.0%) などとなっている。

年代によって重要度にもっとも大きく差が見られた項目は「52 情報社会の進展に即応した広報・広聴活動の推進」で、最も重要度が高い『80代』と最も重要度が低い『20代』との差は 46.2 ポイントとなっている。

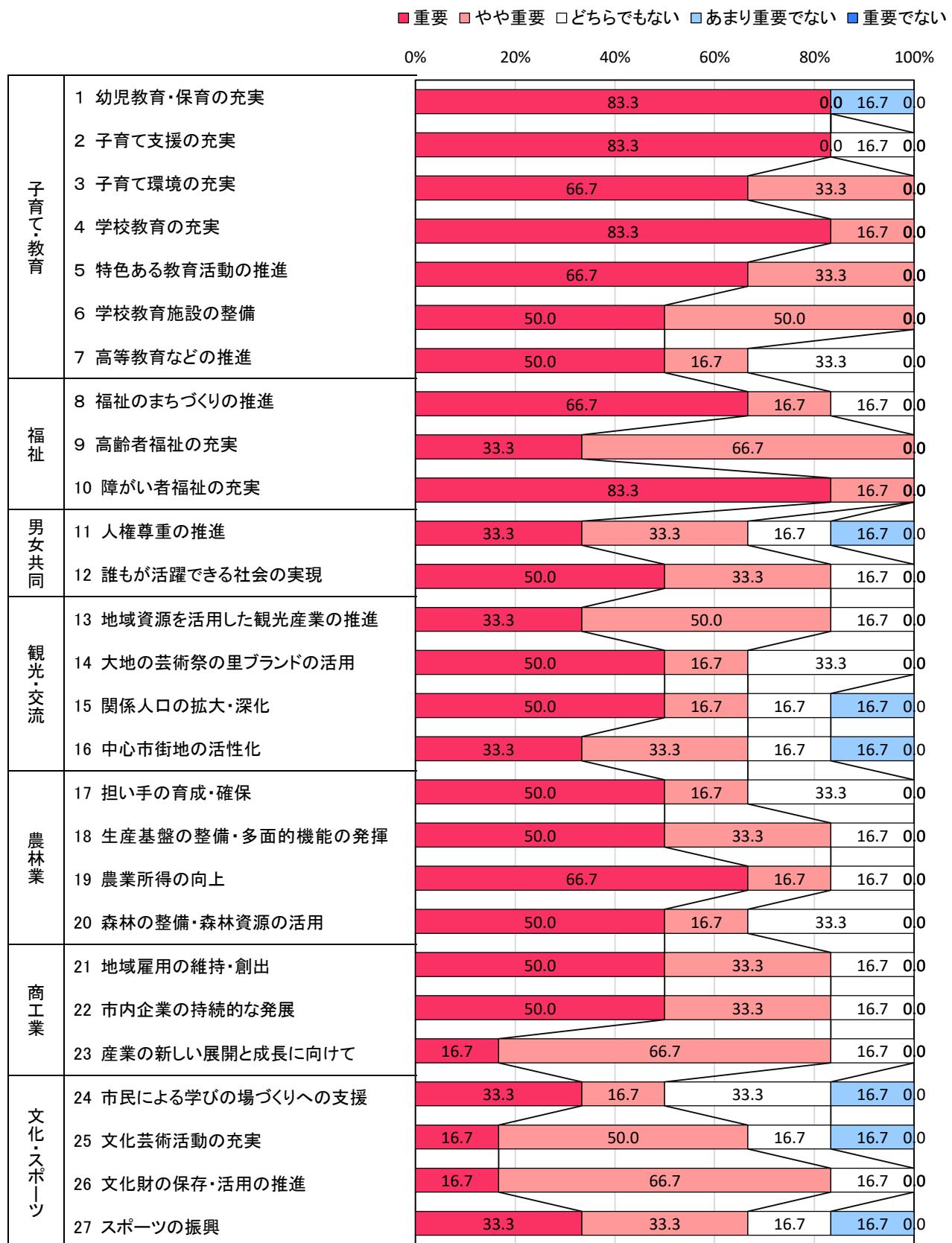
【全体の傾向】



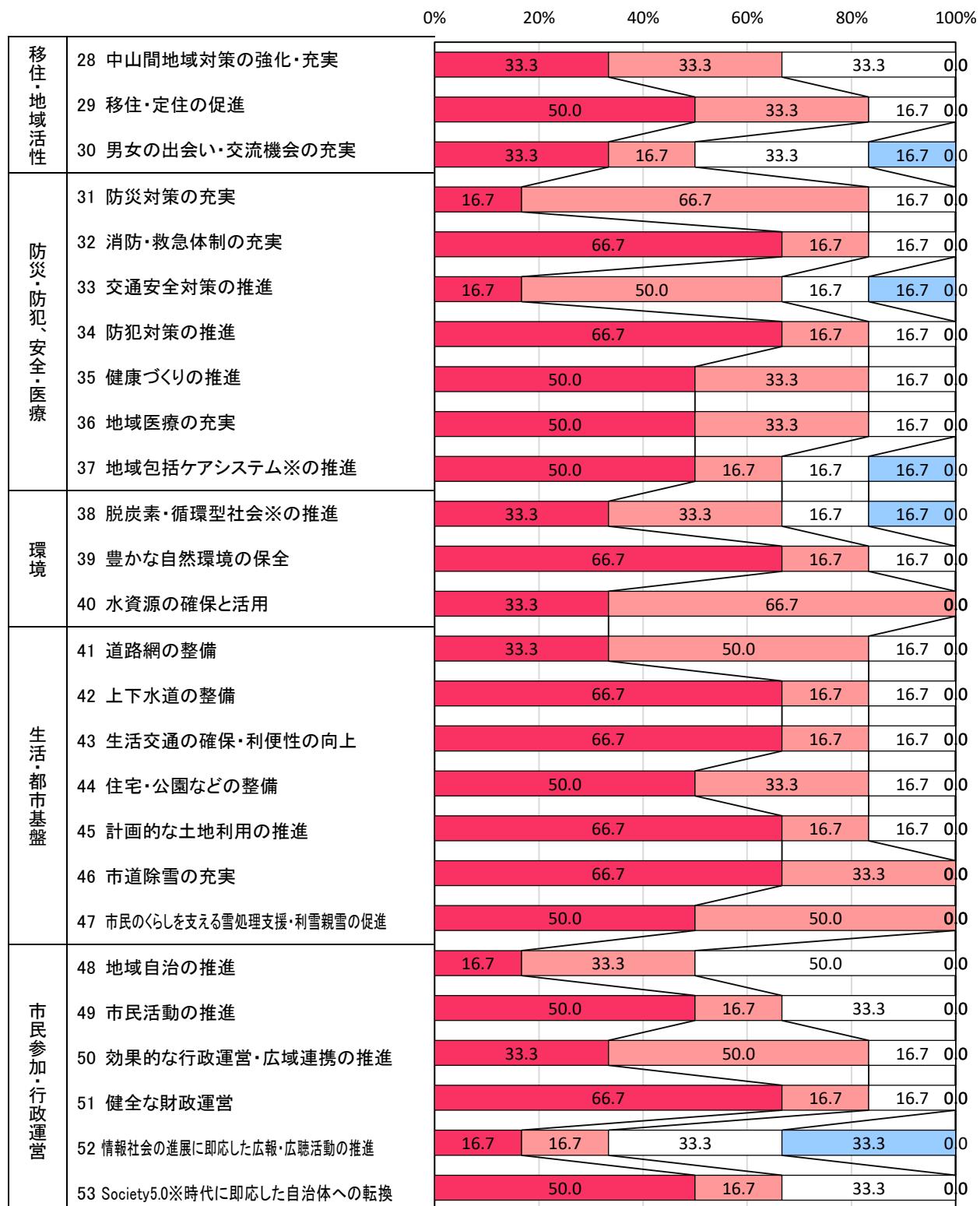


【年齢別集計】

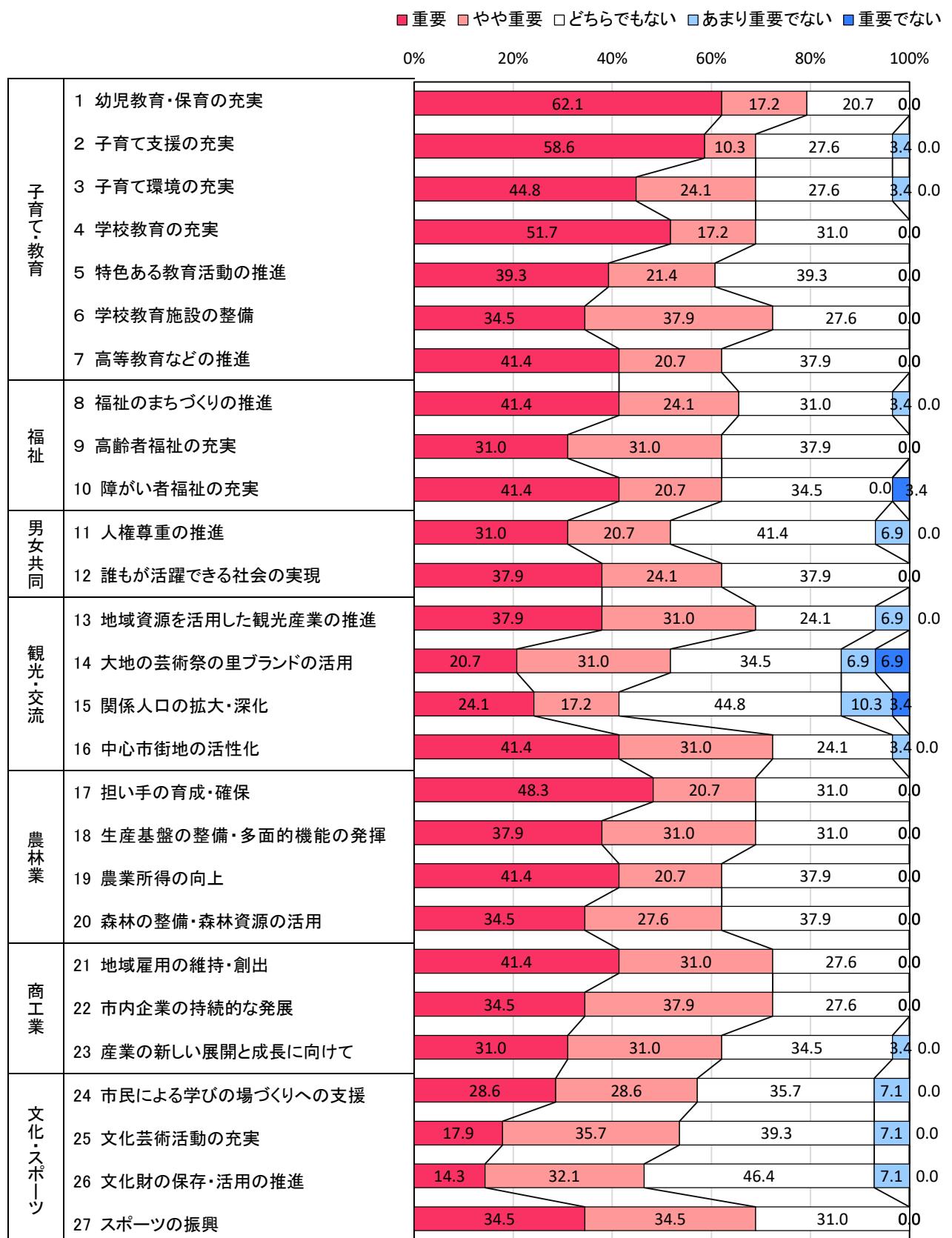
1. 10歳代

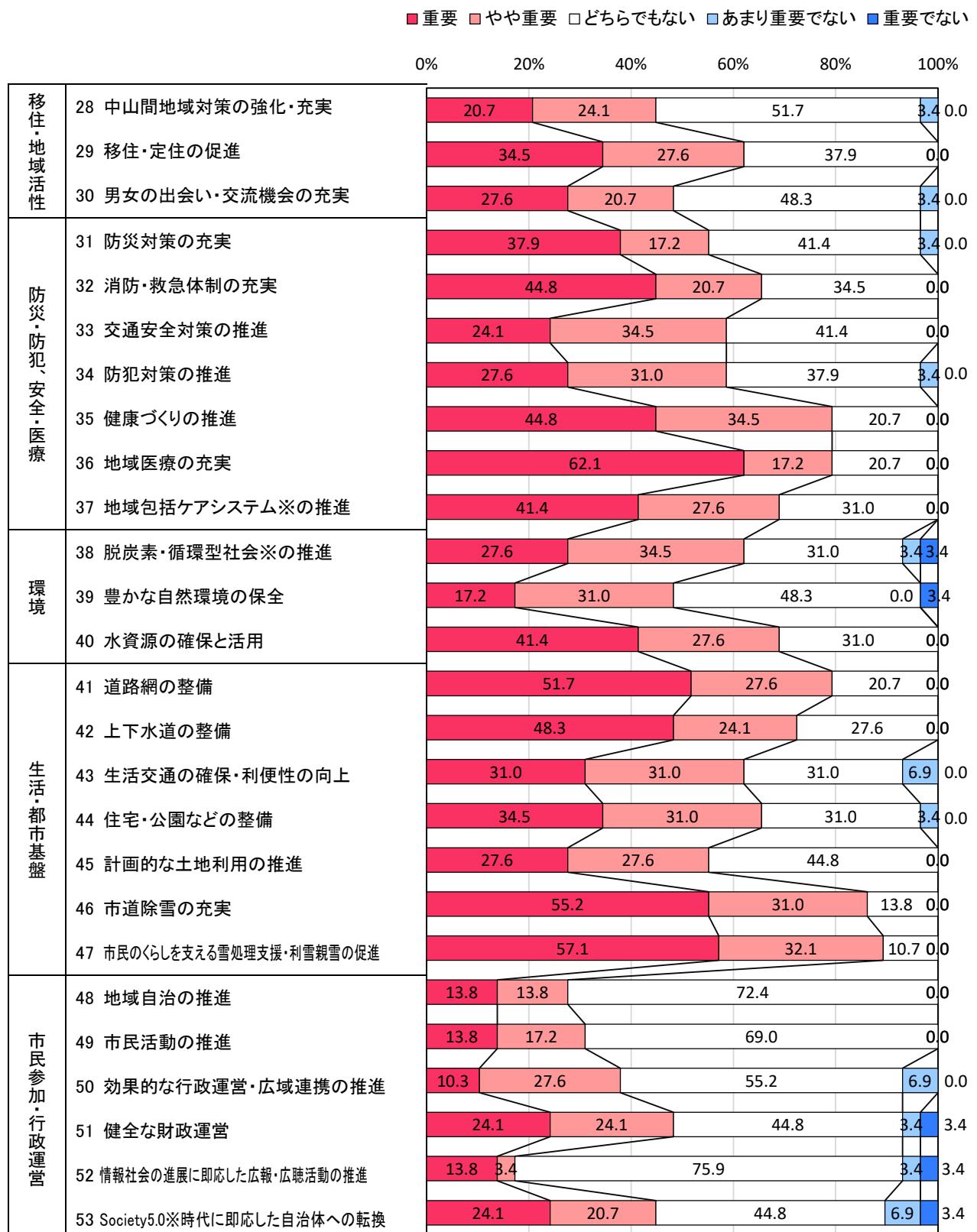


■ 重要 ■ やや重要 □ どちらでもない □ あまり重要でない □ 重要でない

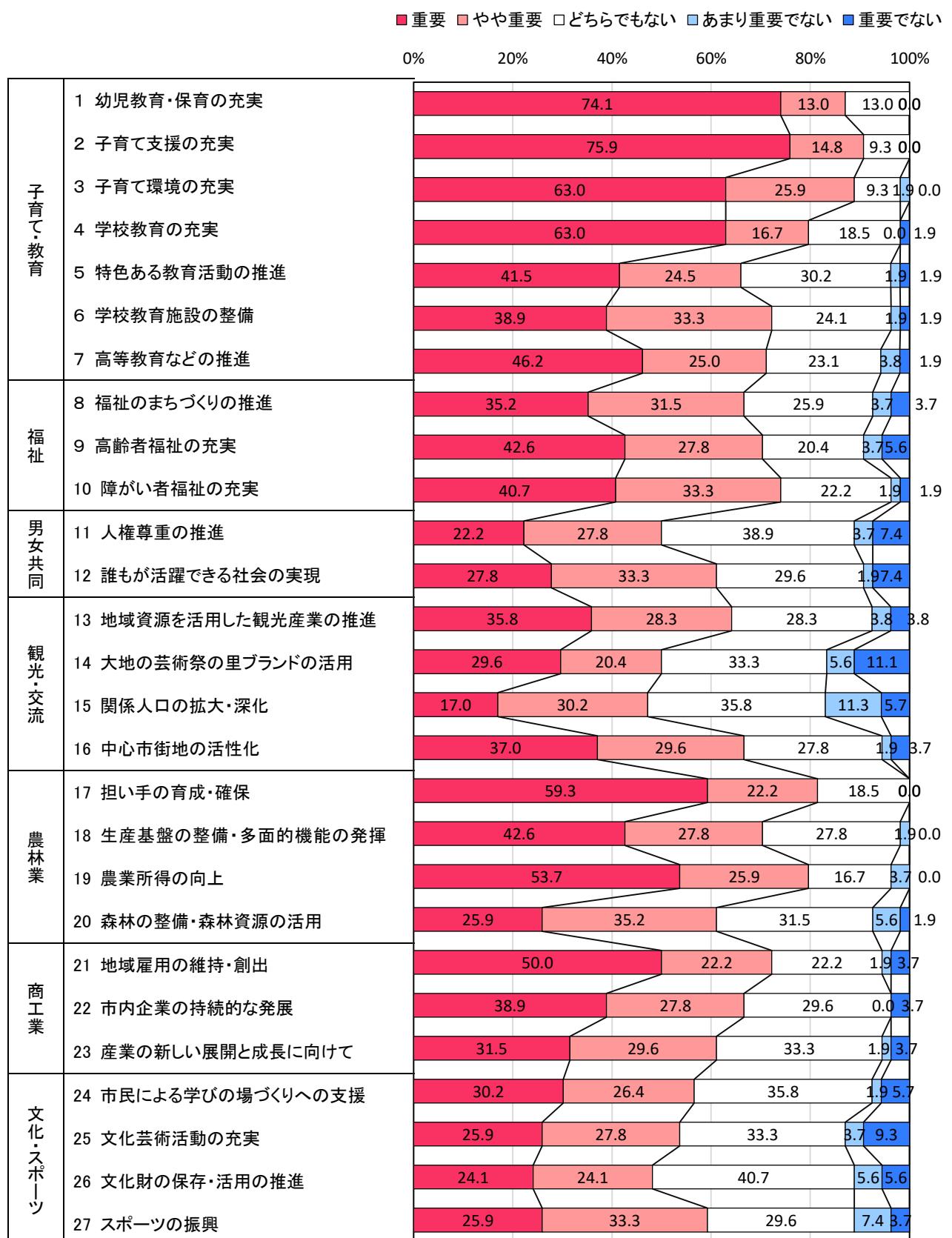


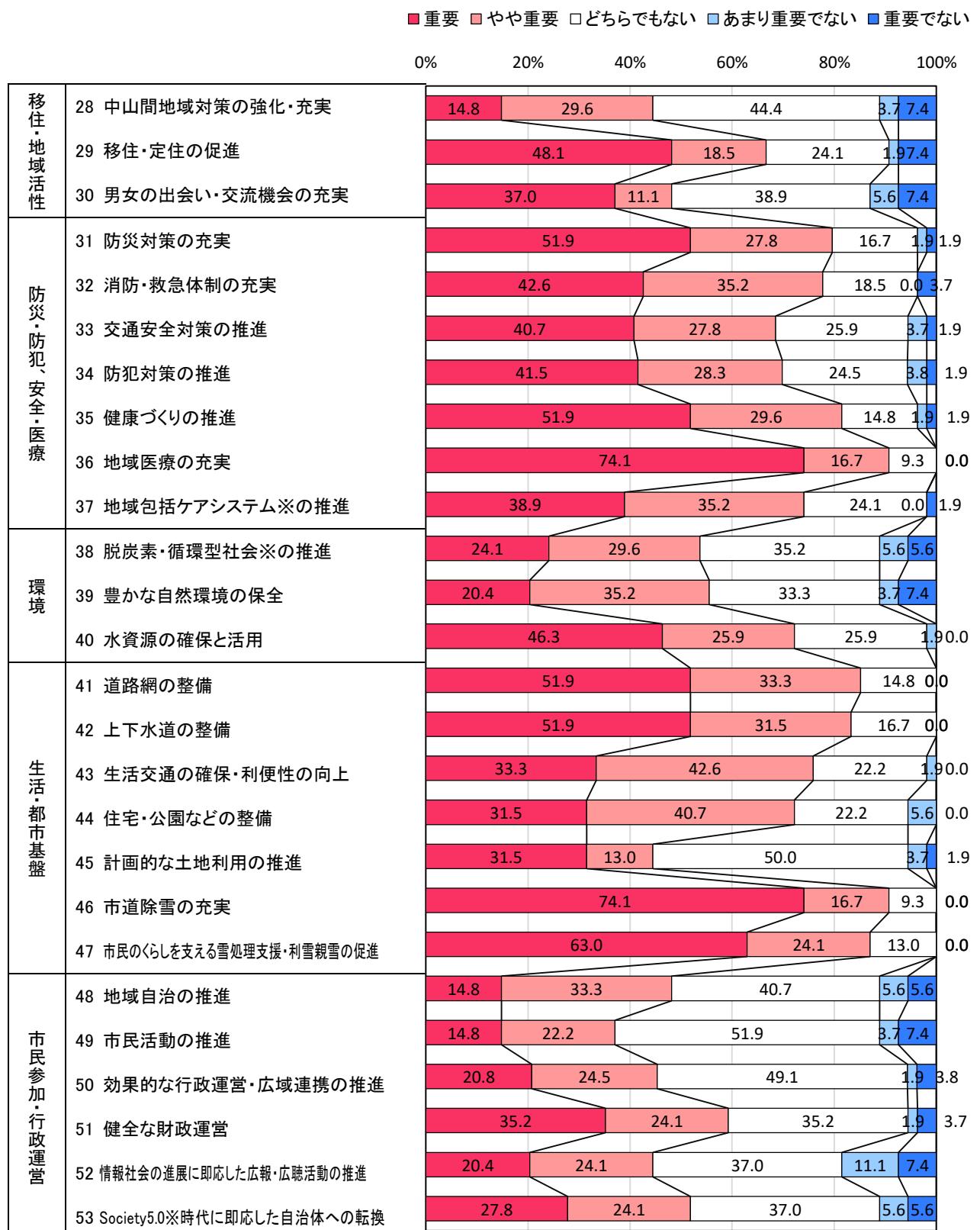
2. 20歳代





3. 30歳代

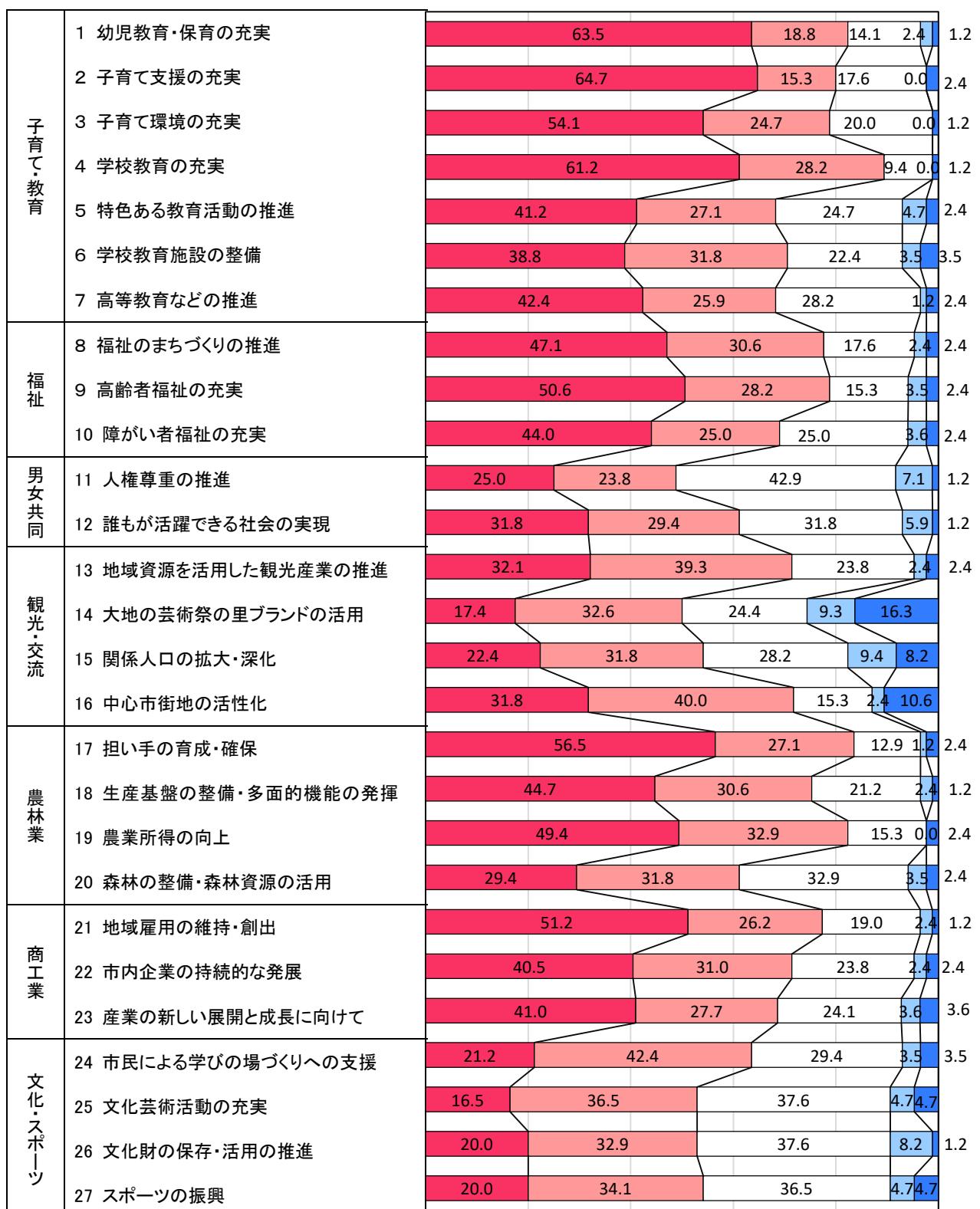




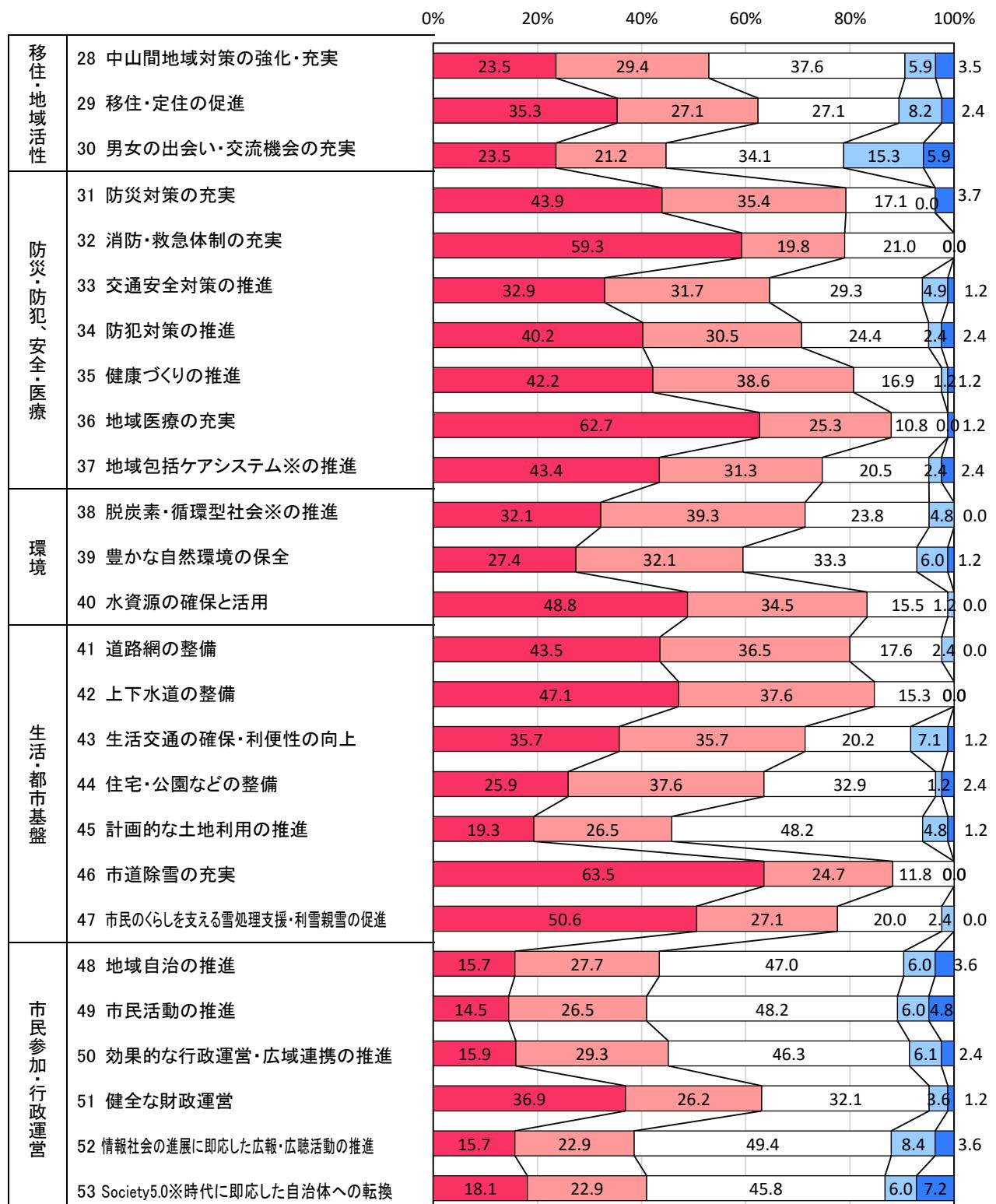
4. 40歳代

■重要 □やや重要 □どちらでもない □あまり重要でない □重要でない

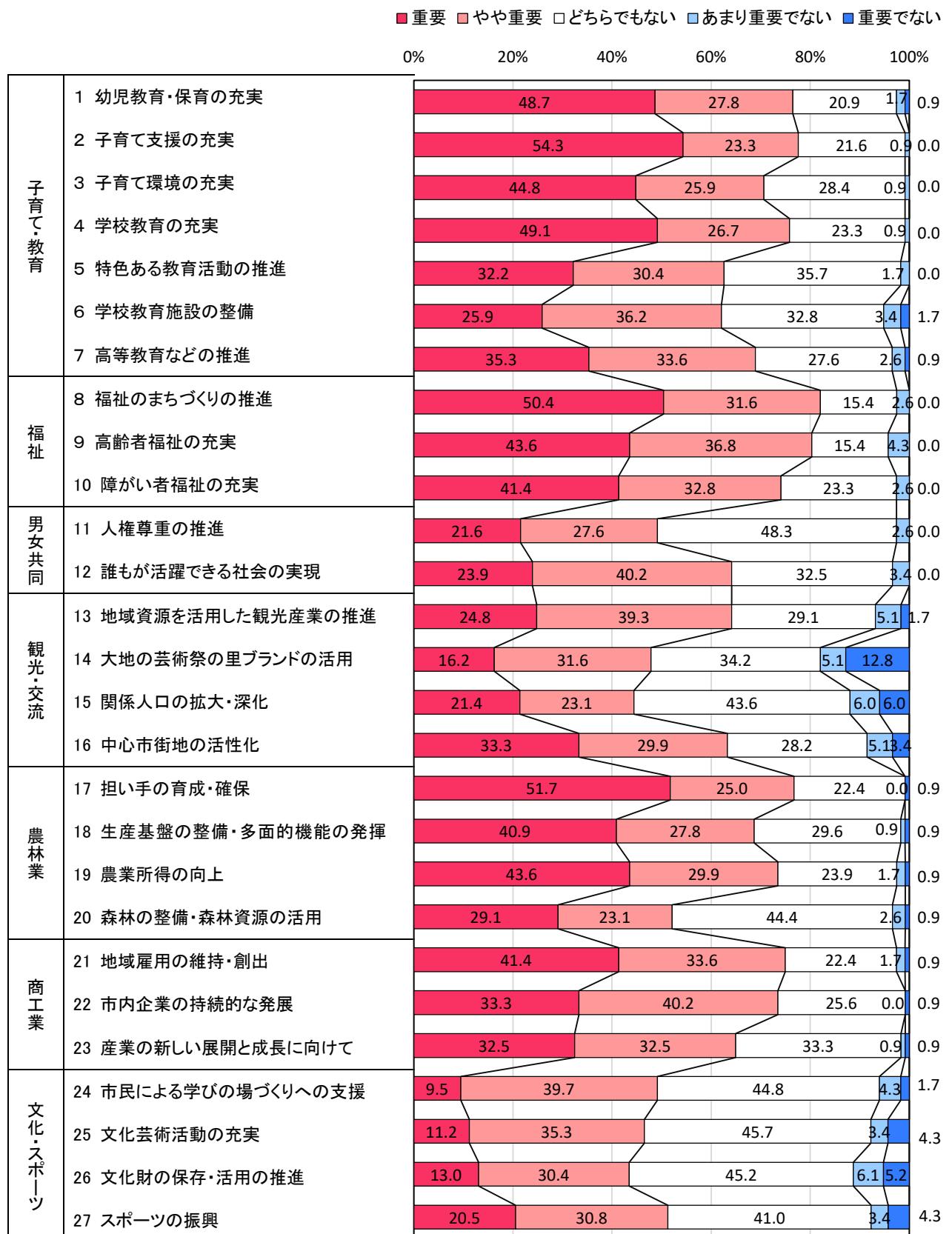
0% 20% 40% 60% 80% 100%

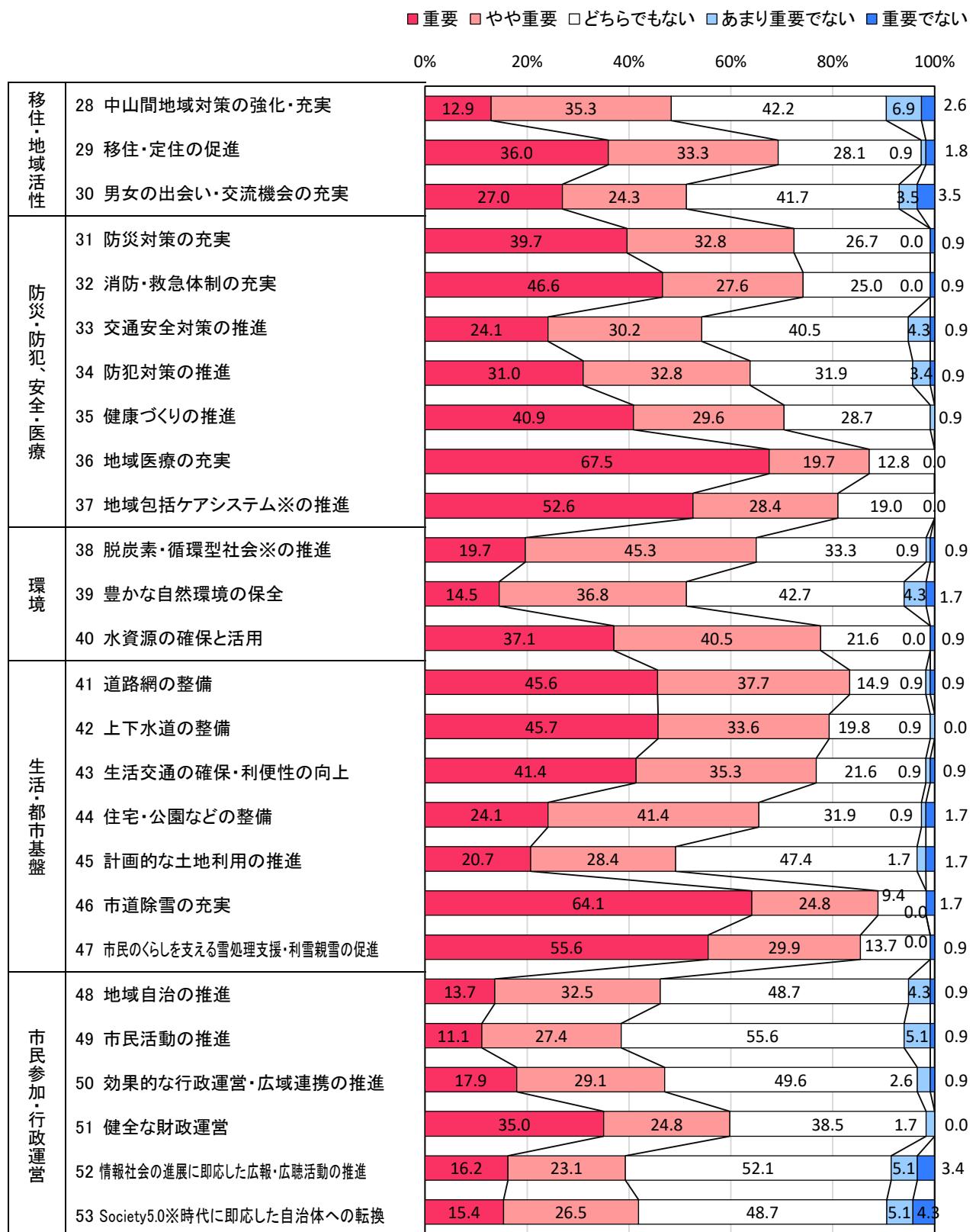


■ 重要 □ やや重要 □ どちらでもない □ あまり重要でない □ 重要でない

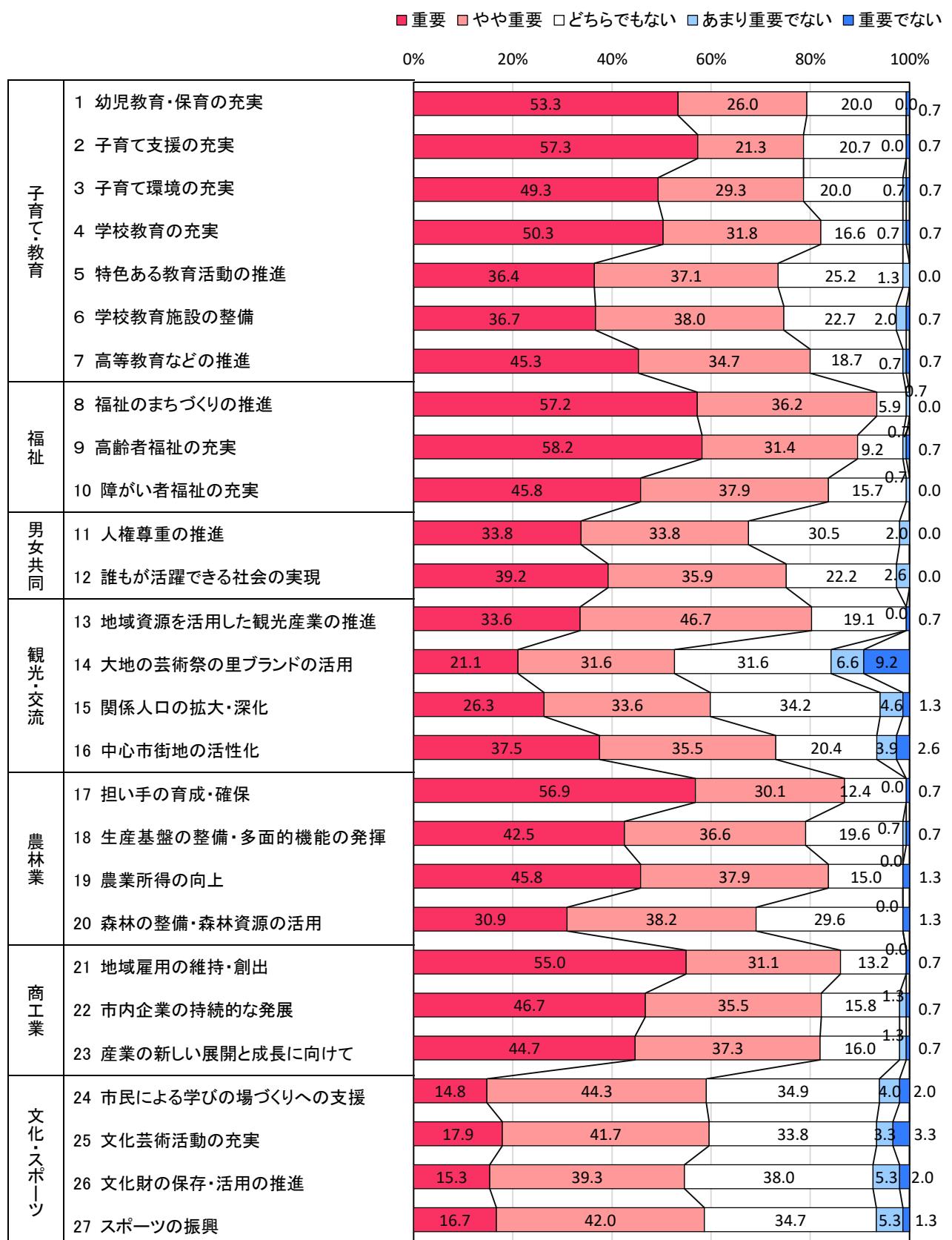


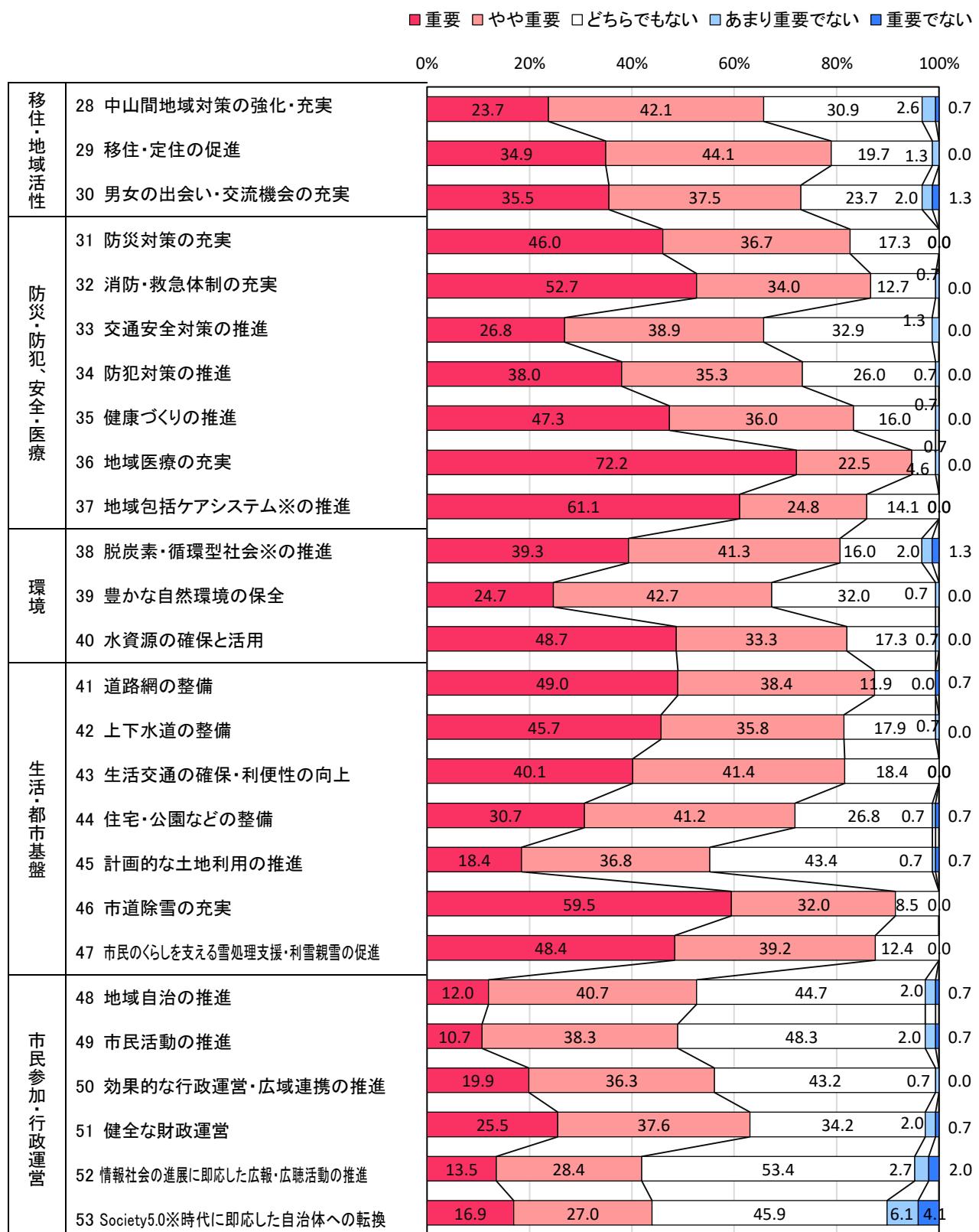
5. 50歳代



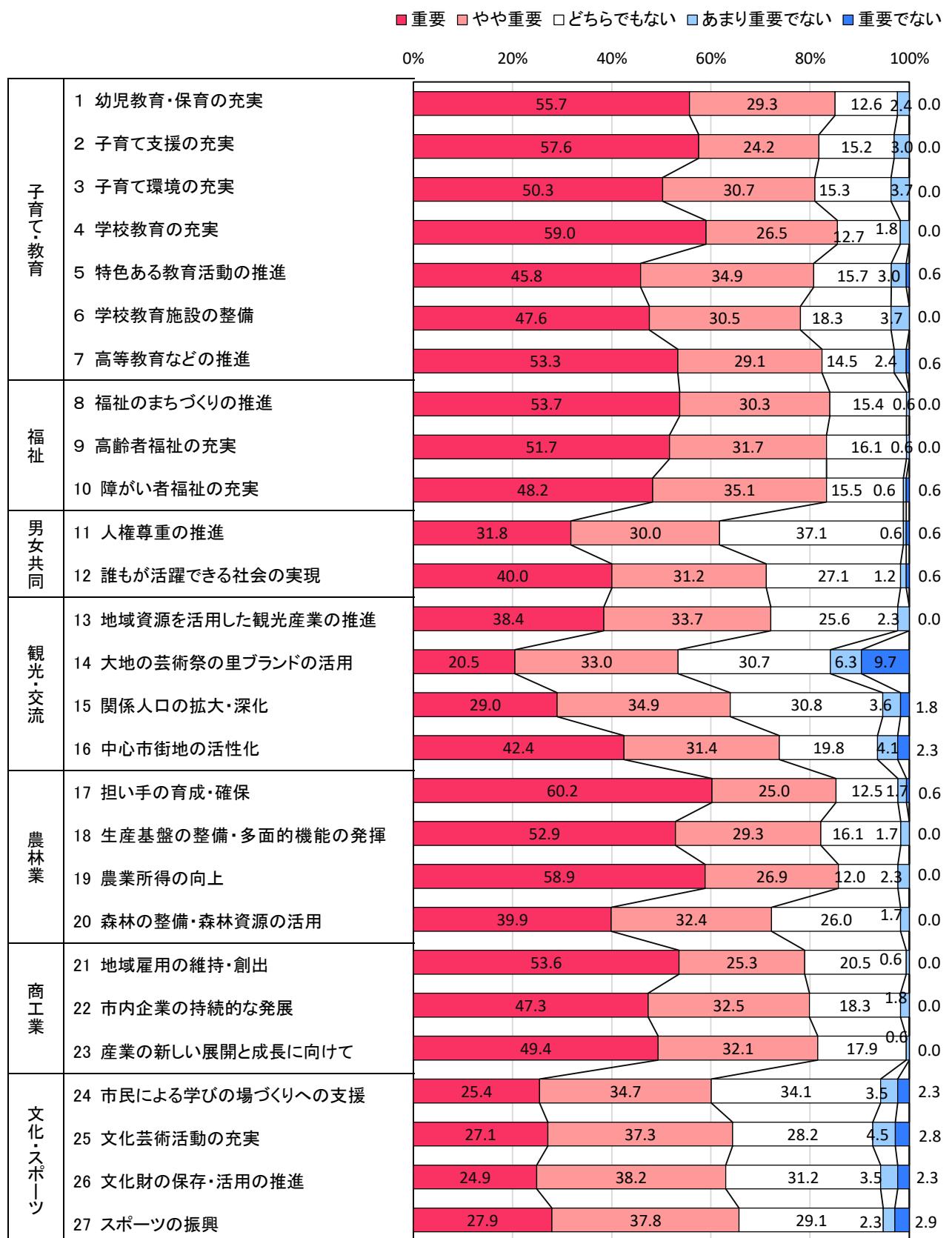


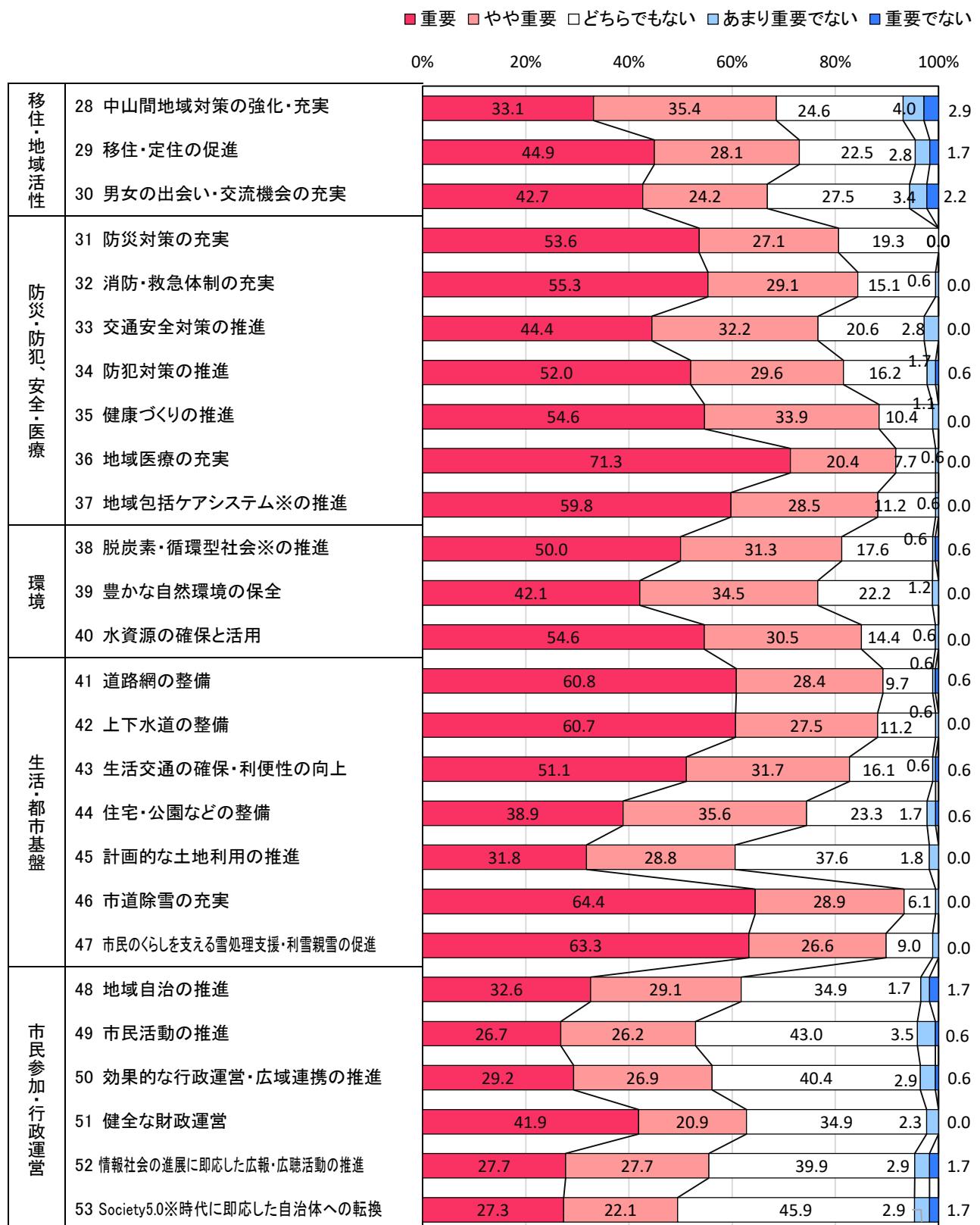
6. 60歳代



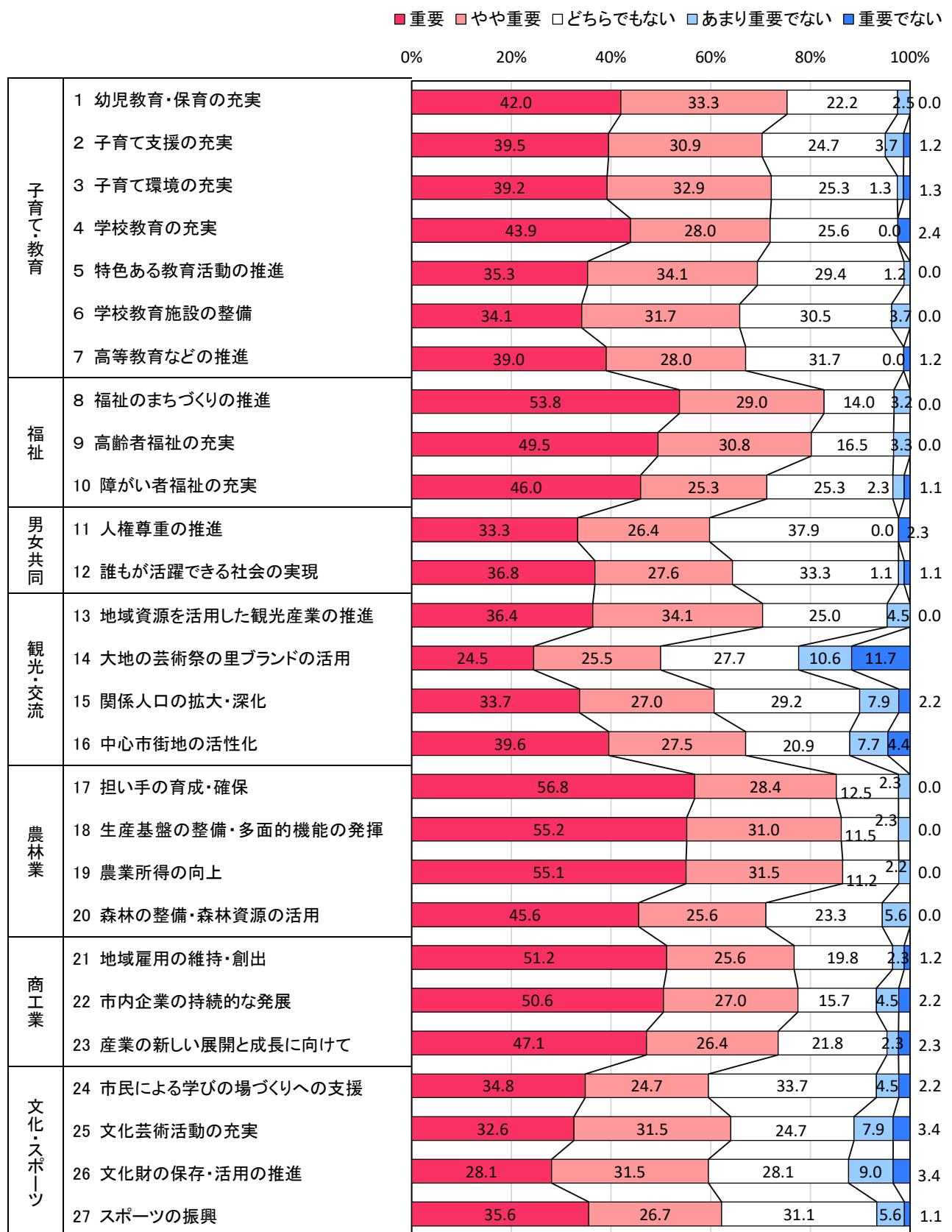


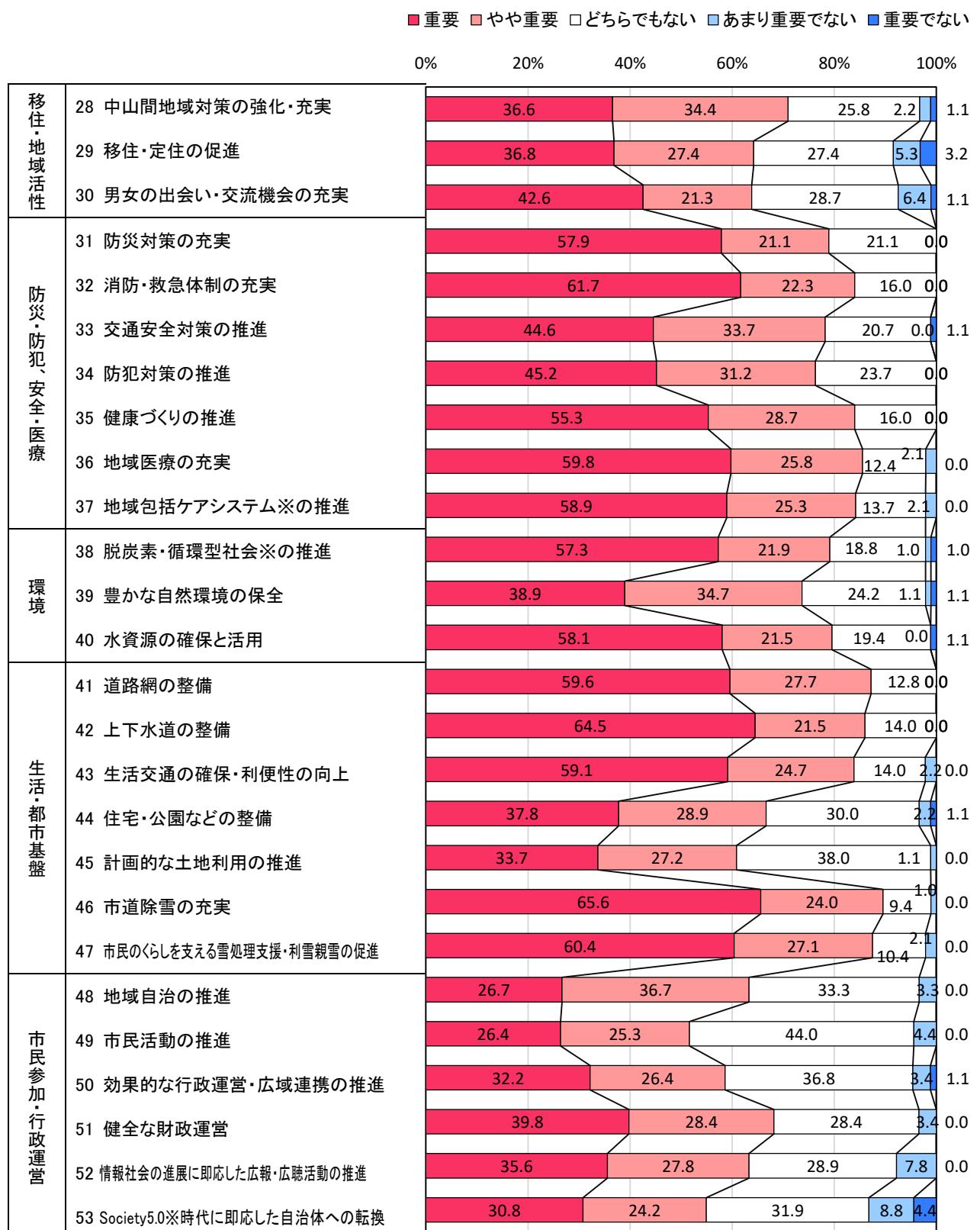
7. 70歳代





8. 80歳以上





＜過年度（H31～R5）との比較＞

【前回との比較・全体の傾向】

前回と比較して重要度が増加した項目は、順に「14 大地の芸術祭の里ブランドの活用」(+1.3 ポイント)、「35 健康づくりの推進」(+1.1 ポイント)、「48 地域自治の推進」(+1.0 ポイント) となっており、重要度が減少した項目は、順に「52 情報社会の進展に即応した広報・広聴活動の推進」(-2.6 ポイント)、「15 関係人口の拡大・深化」、「30 男女の出会い・交流機会の充実」、「53 Society5.0 時代に即応した自治体への転換」（それぞれ-1.9 ポイント）、「51 健全な財政運営」(-1.6 ポイント) となっている。

【前回との比較・年齢別集計】

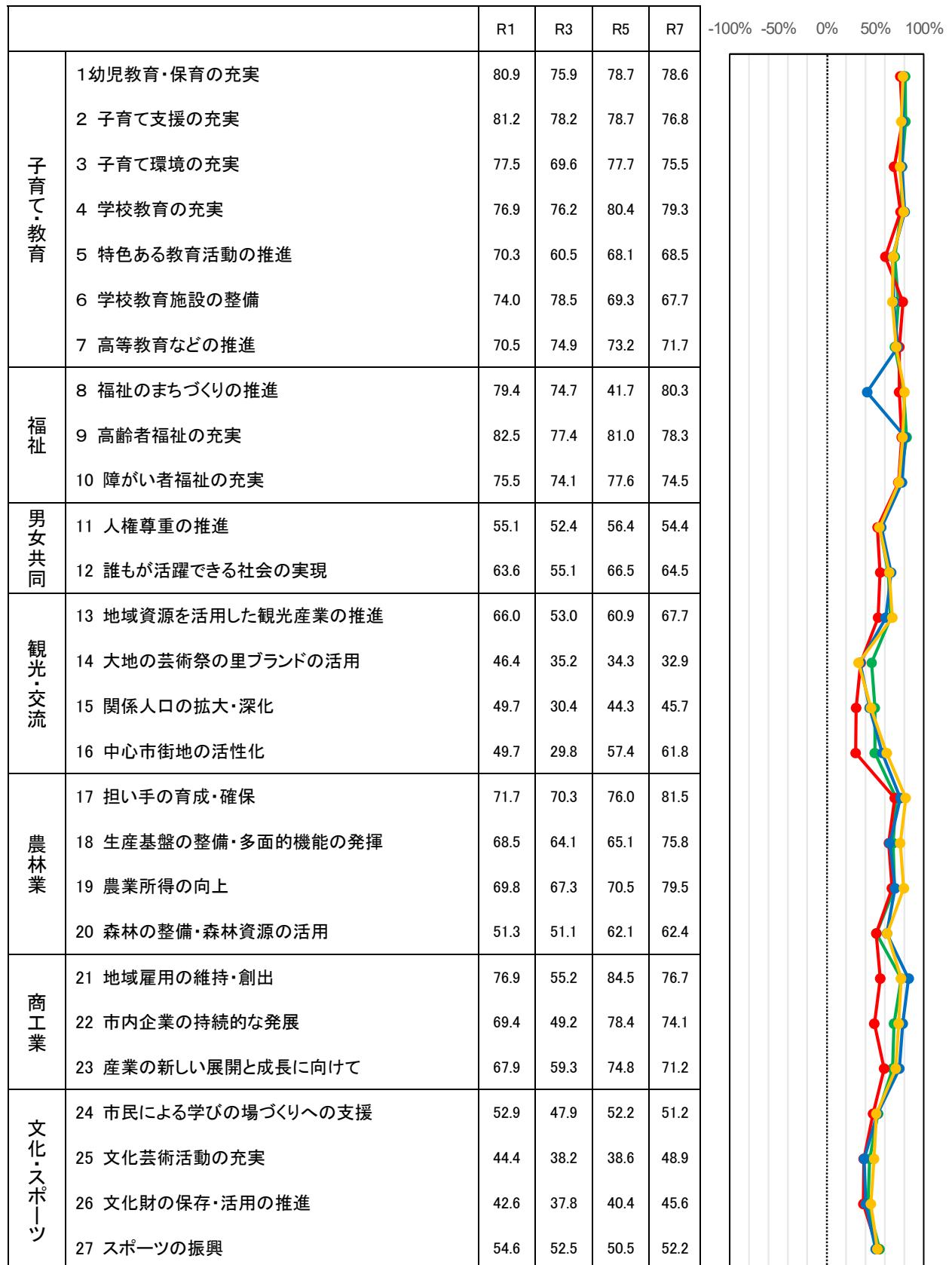
前回と比較して重要度が増加した項目は、順に『10 代』の「18 農業の生産基盤の整備・多面的機能の発揮」、「19 農業所得の向上」（それぞれ+16.7 ポイント）、『30 代』の「14 大地の芸術祭の里ブランドの活用」(+13.6 ポイント)、「25 文化芸術活動の充実」(+10.4 ポイント) となっており、重要度が減少した項目は、順にいずれも『10 代』の「52 情報社会の進展に即応した広報・広聴活動」(-33.3 ポイント)、「1 幼児教育・保育の充実」、「11 人権尊重の推進」、「16 中心市街地の活性化」、「27 スポーツの振興」、「37 地域包括ケアシステムの推進」、「38 脱炭素・循環型社会の推進」（ともに-16.7 ポイント）となっている。

【全体の傾向】

グラフの見方

表の数値=重要度(「重要」回答率+「やや重要」回答率)－非重要度(「あまり重要でない」回答率+「重要でない」回答率)

■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度

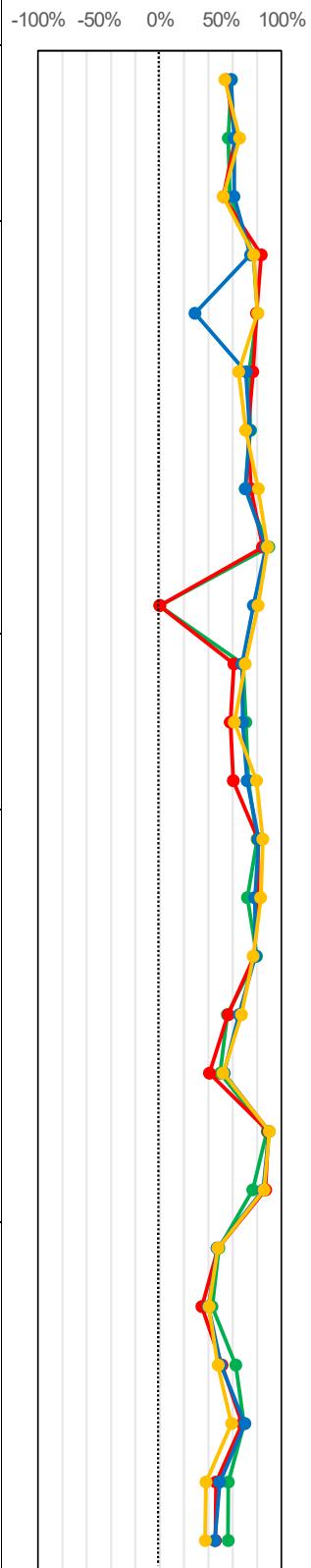


グラフの見方

表の数値=重要度(「重要」回答率+「やや重要」回答率)－非重要度(「あまり重要でない」回答率+「重要でない」回答率)

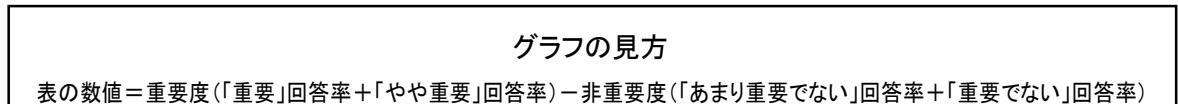
■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度

		R1	R3	R5	R7
移住・地域活性	28 中山間地域対策の強化・充実	58.9	54.8	58.6	53.4
	29 移住・定住の促進	56.3	62.3	61.1	65.6
	30 男女の出会い・交流機会の充実	57.5	52.4	61.1	52.2
防災・防犯・安全・医療	31 防災対策の充実	76.9	83.4	74.4	77.2
	32 消防・救急体制の充実	80.3	79.4	28.9	80.4
	33 交通安全対策の推進	73.3	76.6	70.9	64.8
	34 防犯対策の推進	74.4	72.7	73.9	70.5
	35 健康づくりの推進	70.1	74.9	70.5	80.8
	36 地域医療の充実	89.5	84.5	87.3	88.5
	37 地域包括ケアシステムの推進	—	—	76.9	80.8
環境	38 脱炭素・循環型社会の推進	68.4	61.0	67.7	70.3
	39 豊かな自然環境の保全	70.8	58.0	68.1	61.3
	40 水資源の確保と活用	72.8	60.4	71.7	79.5
生活・都市基盤	41 道路網の整備	80.0	80.9	81.3	84.7
	42 上下水道の整備	72.0	80.3	78.1	83.0
	43 生活交通の確保・利便性の向上	79.6	77.6	78.6	76.8
	44 住宅・公園などの整備	55.6	56.1	65.2	67.1
	45 計画的な土地利用の推進	49.7	40.9	52.8	52.1
	46 市道除雪の充実	88.1	89.1	89.8	90.1
	47 市民のくらしを支える雪処理支援・利雪親雪の促進	76.3	86.8	85.0	85.7
市民参加・行政運営	48 地域自治の推進	48.5	47.6	47.2	47.7
	49 市民活動の推進	43.0	34.6	39.9	40.4
	50 効果的な行政運営・広域連携の推進	62.5	51.1	50.2	48.0
	51 健全な財政運営	69.1	67.8	69.9	58.9
	52 情報社会の進展に即応した広報・広聴活動の推進	56.2	46.2	49.2	38.0
	53 Society5.0 時代に即応した自治体への転換	56.1	45.7	45.2	37.3

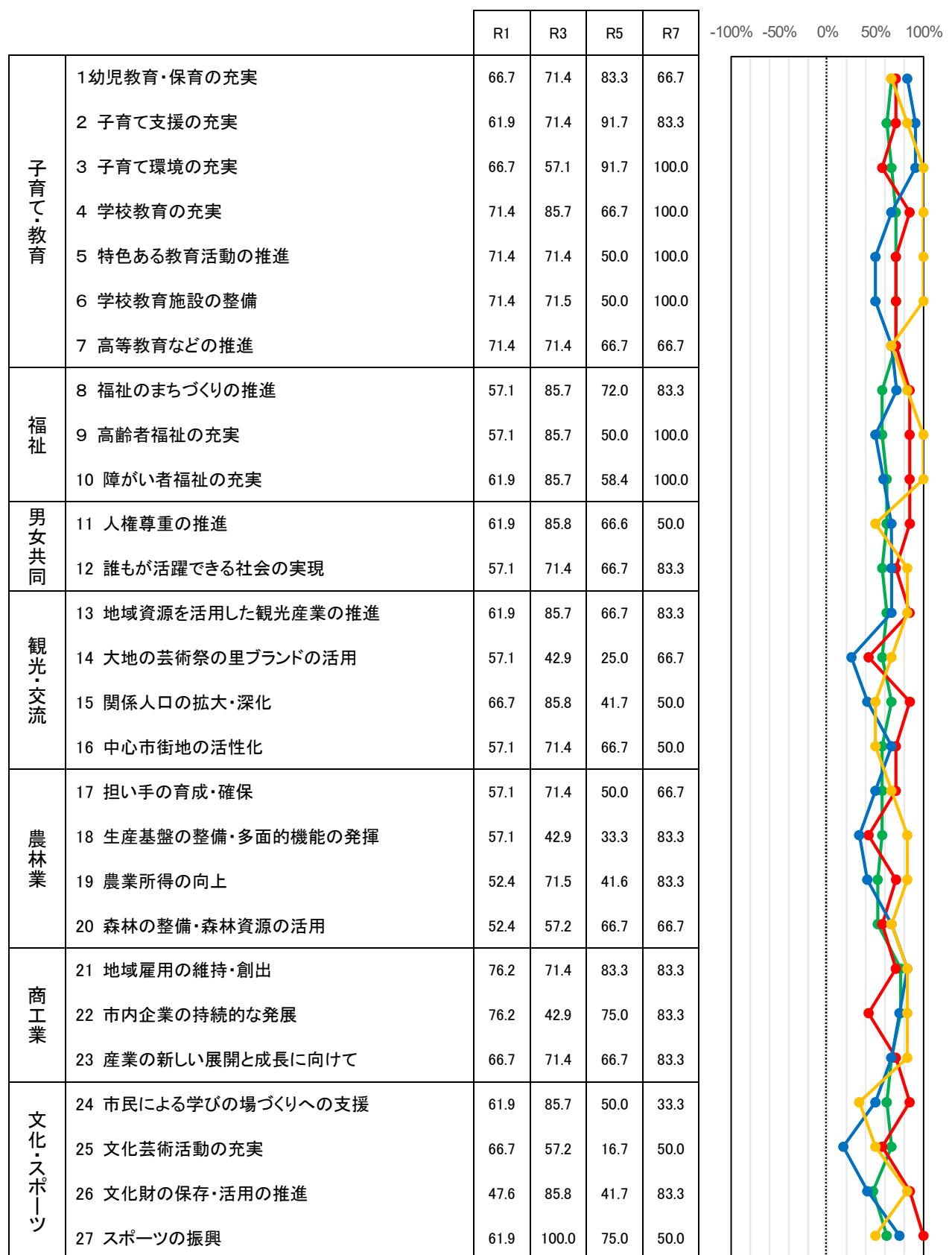


【年齢別集計】

1. 10歳代



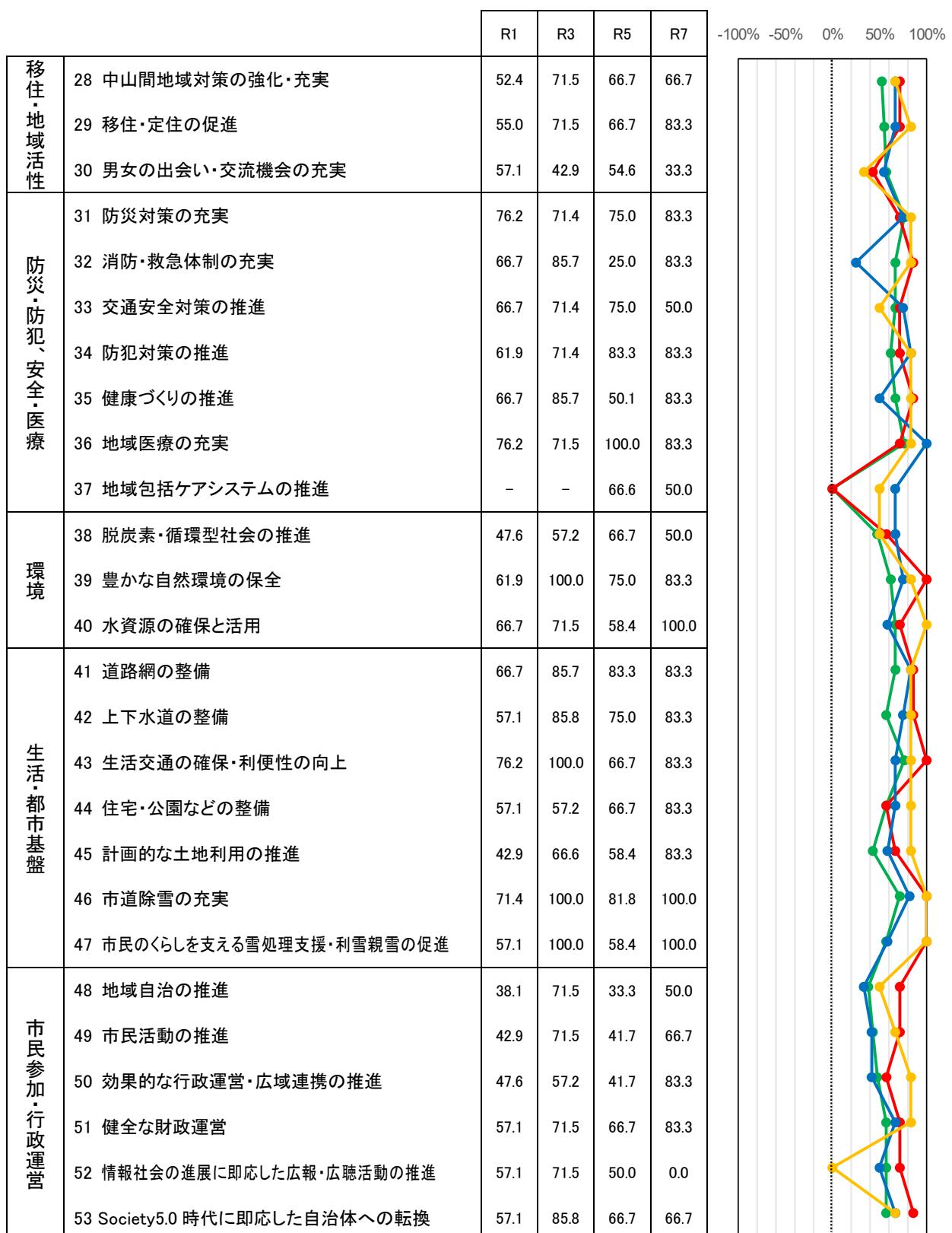
■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度



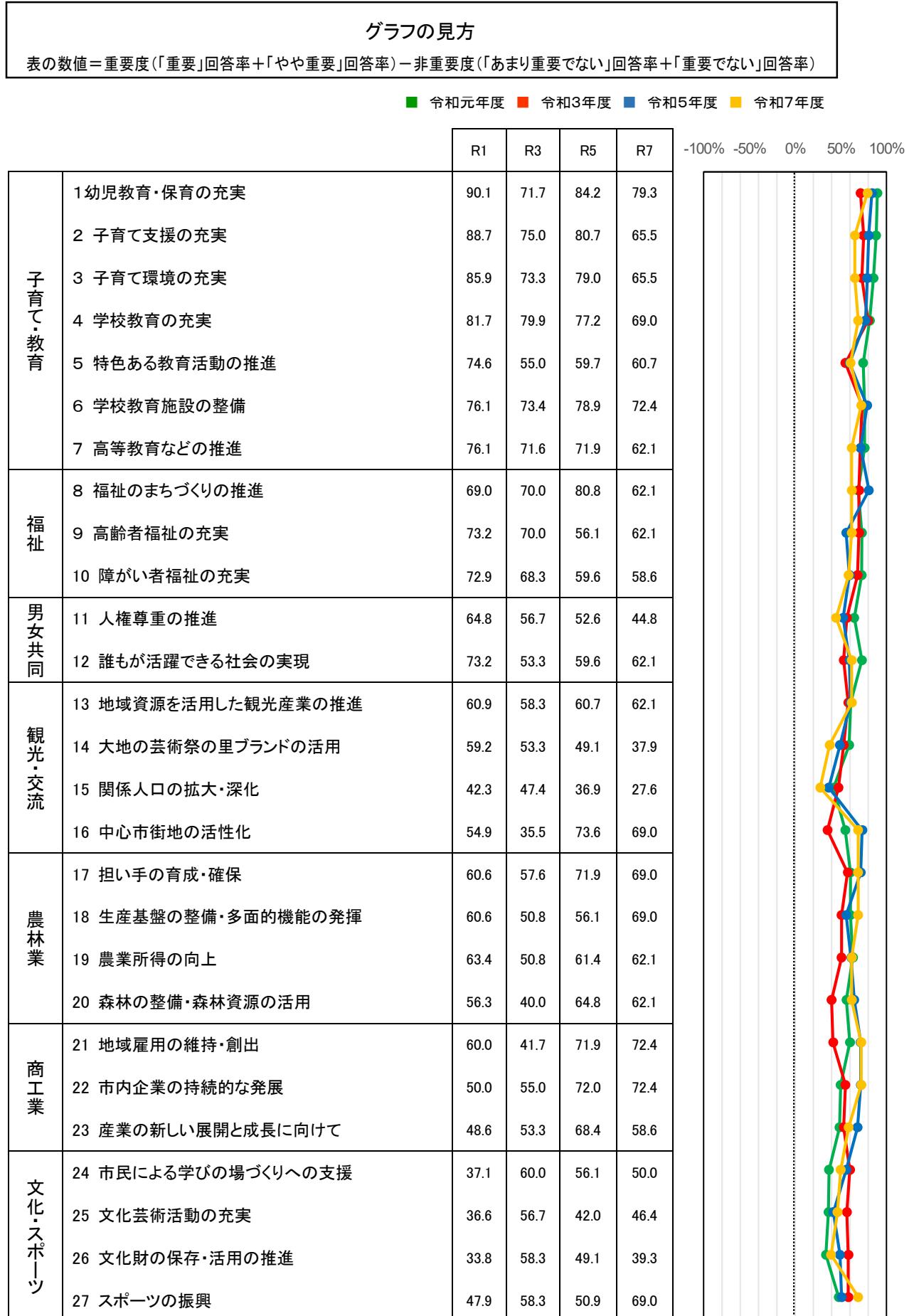
グラフの見方

表の数値=重要度(「重要」回答率+「やや重要」回答率)－非重要度(「あまり重要でない」回答率+「重要でない」回答率)

■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度



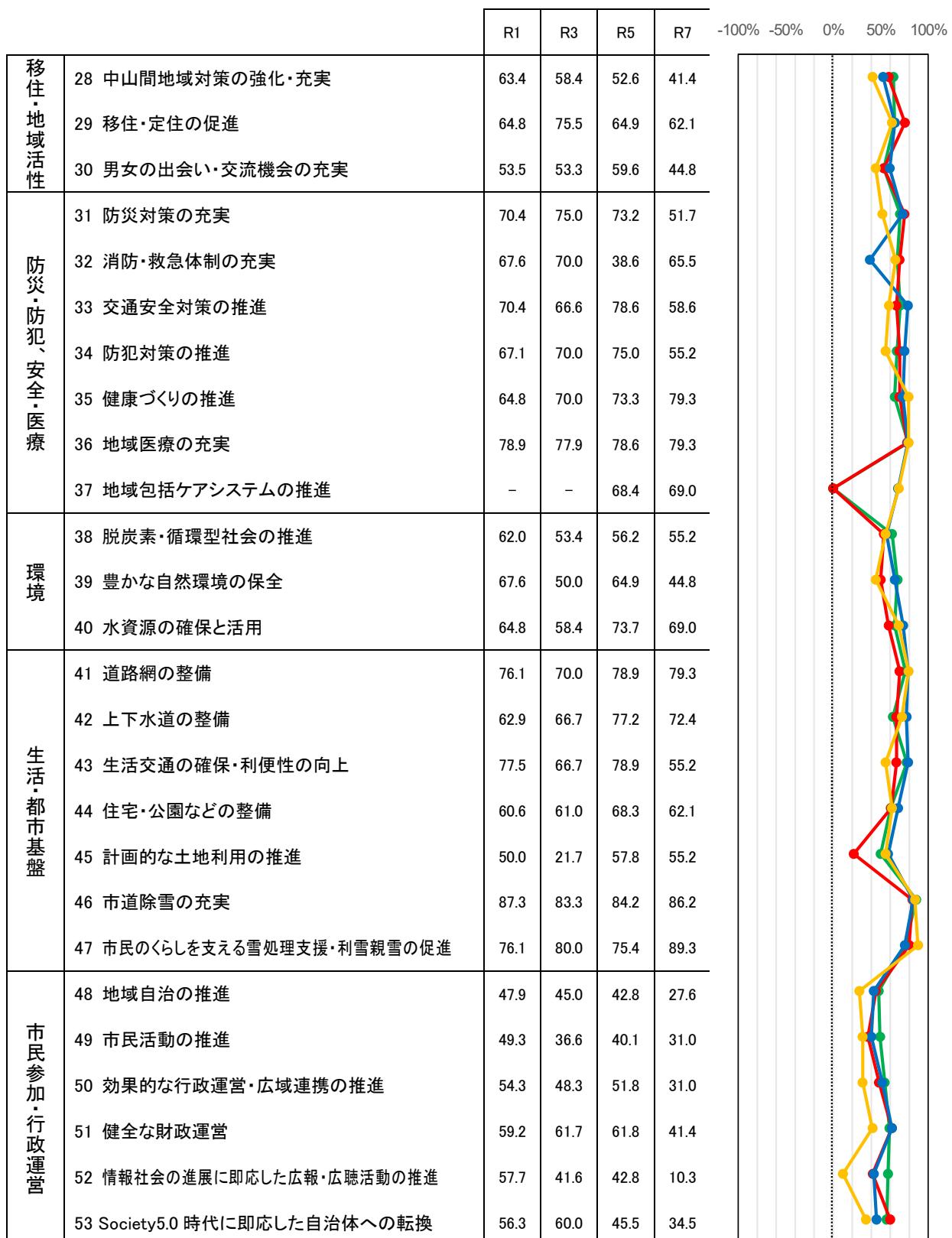
2. 20歳代



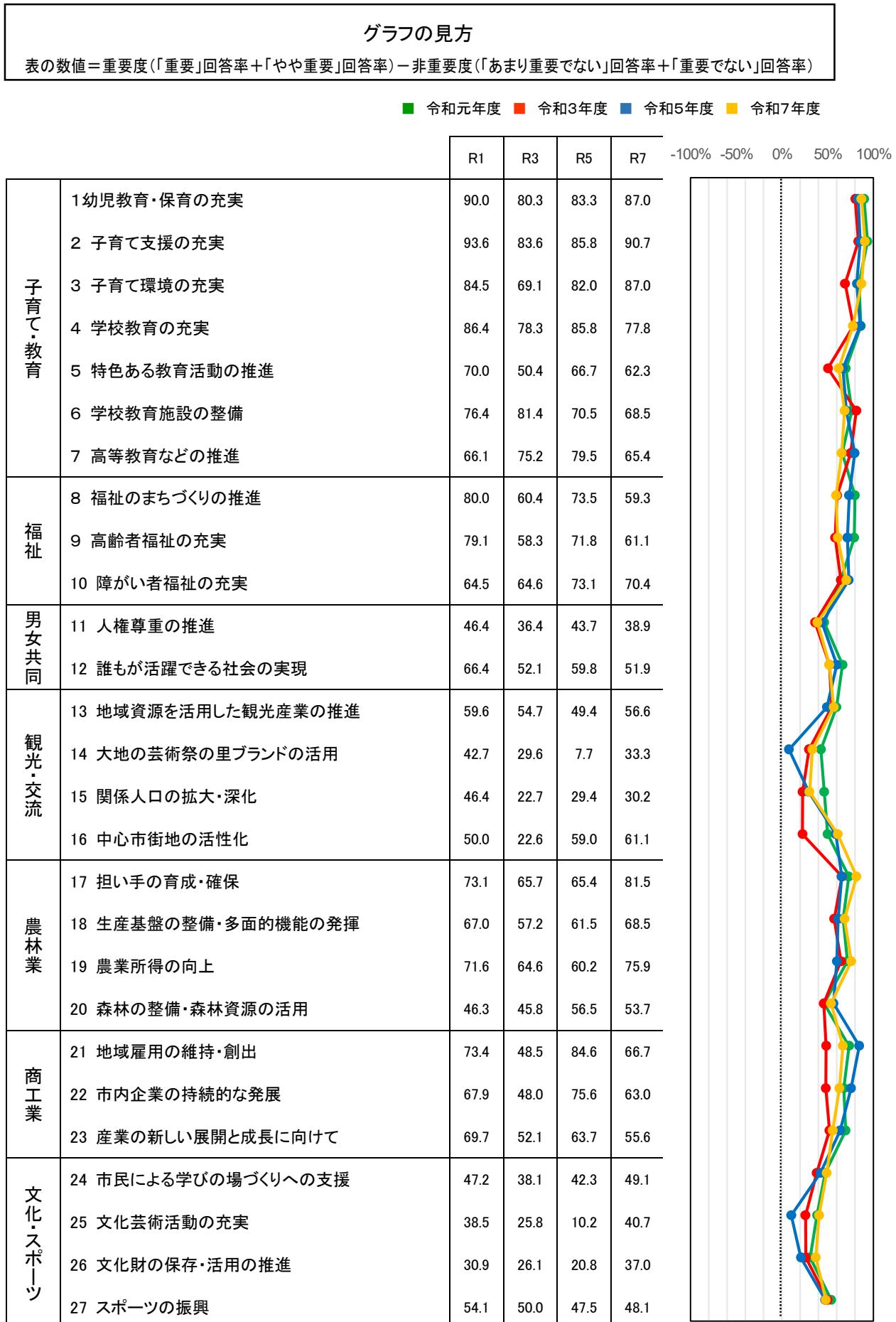
グラフの見方

表の数値=重要度(「重要」回答率+「やや重要」回答率)－非重要度(「あまり重要でない」回答率+「重要でない」回答率)

■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度



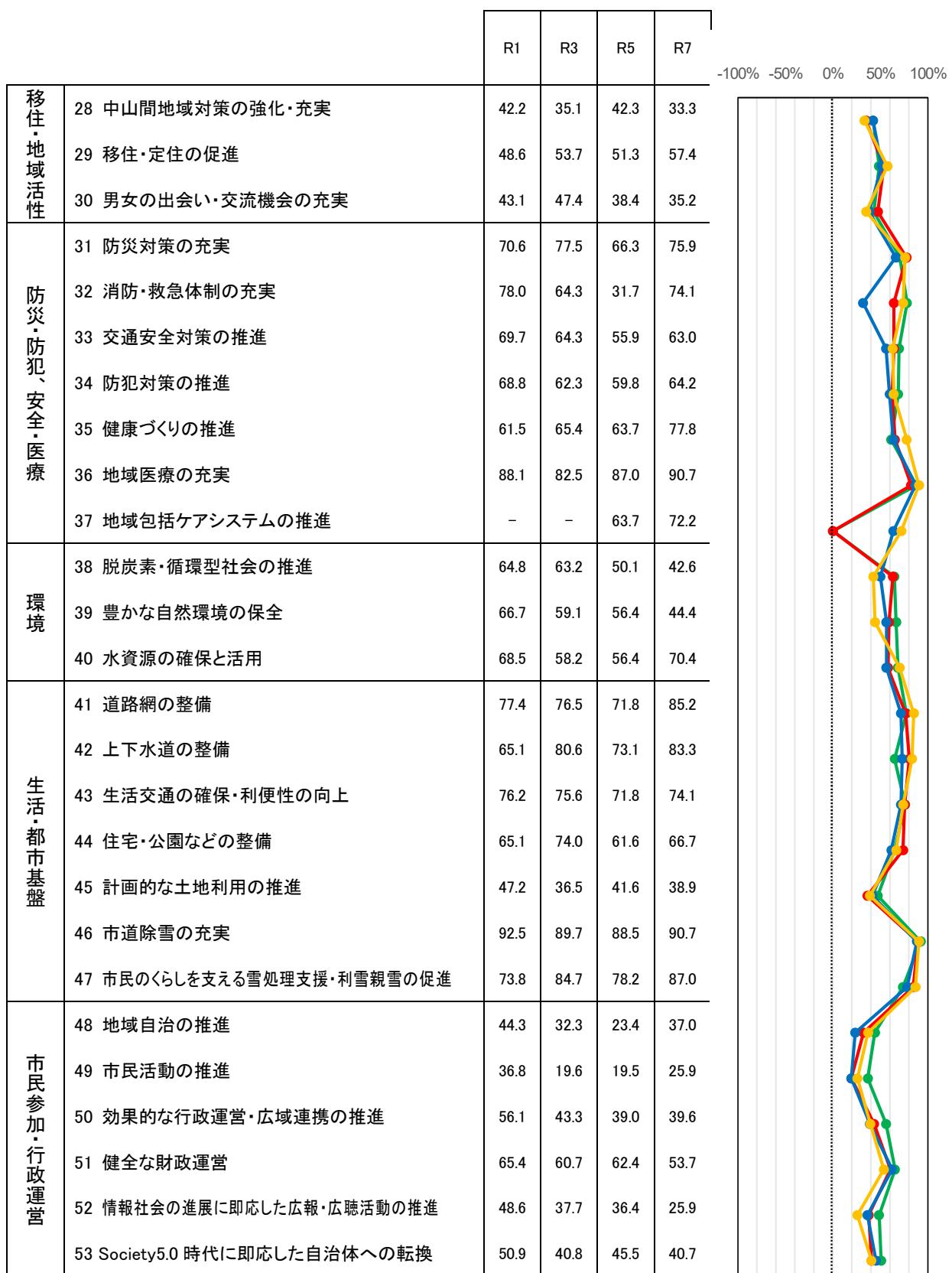
3. 30歳代



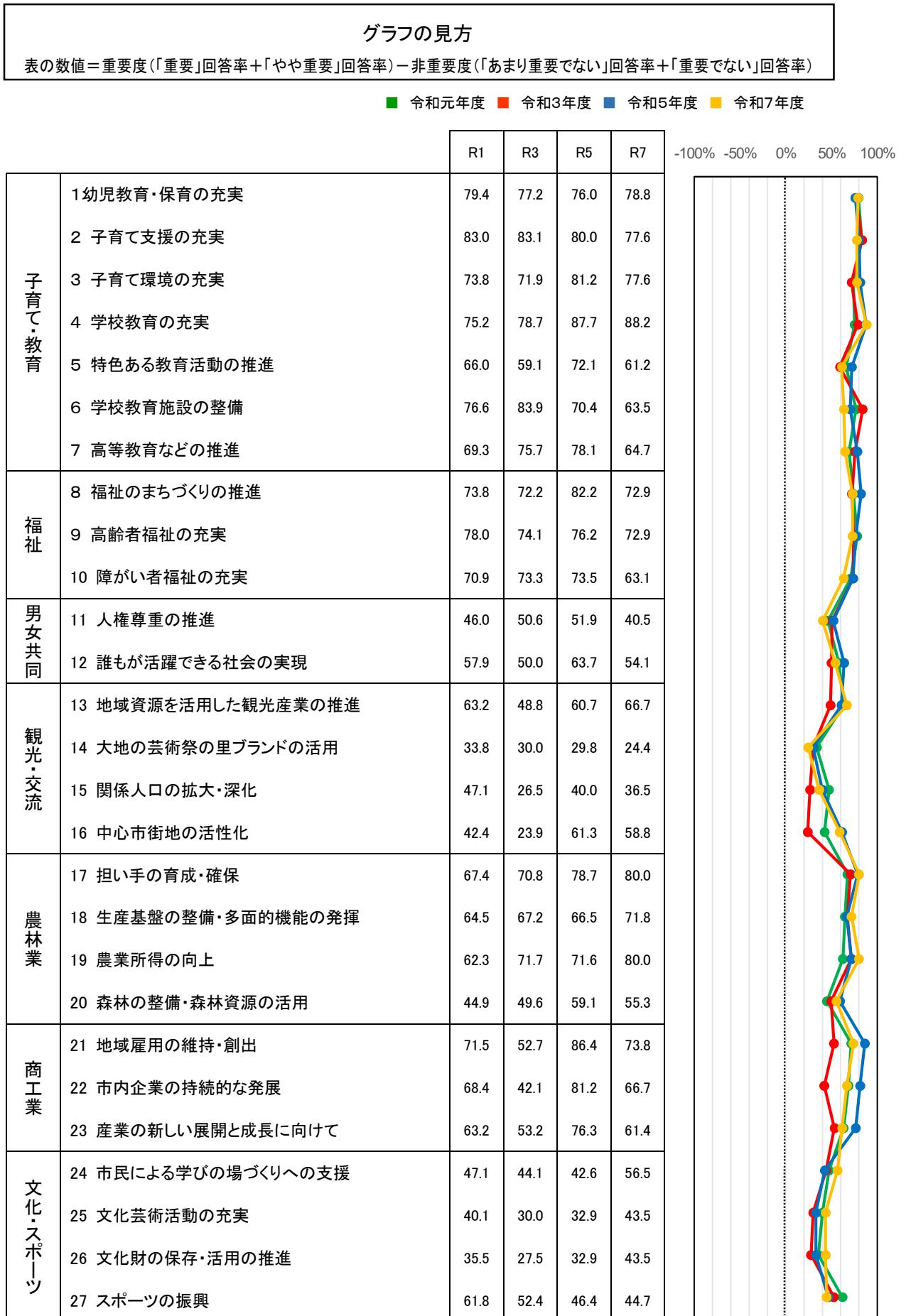
グラフの見方

表の数値=重要度(「重要」回答率+「やや重要」回答率)-非重要度(「あまり重要でない」回答率+「重要でない」回答率)

■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度



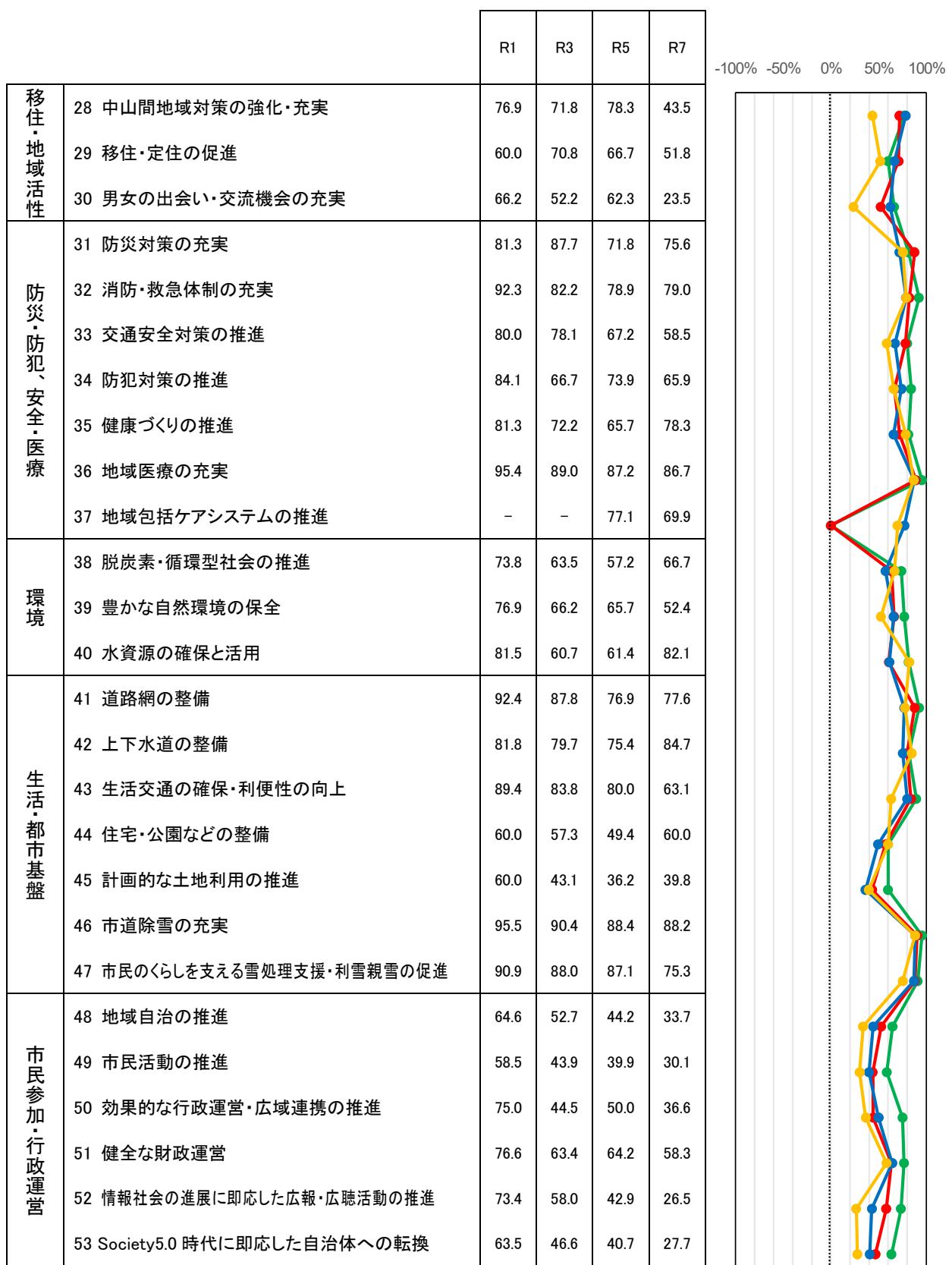
4. 40歳代



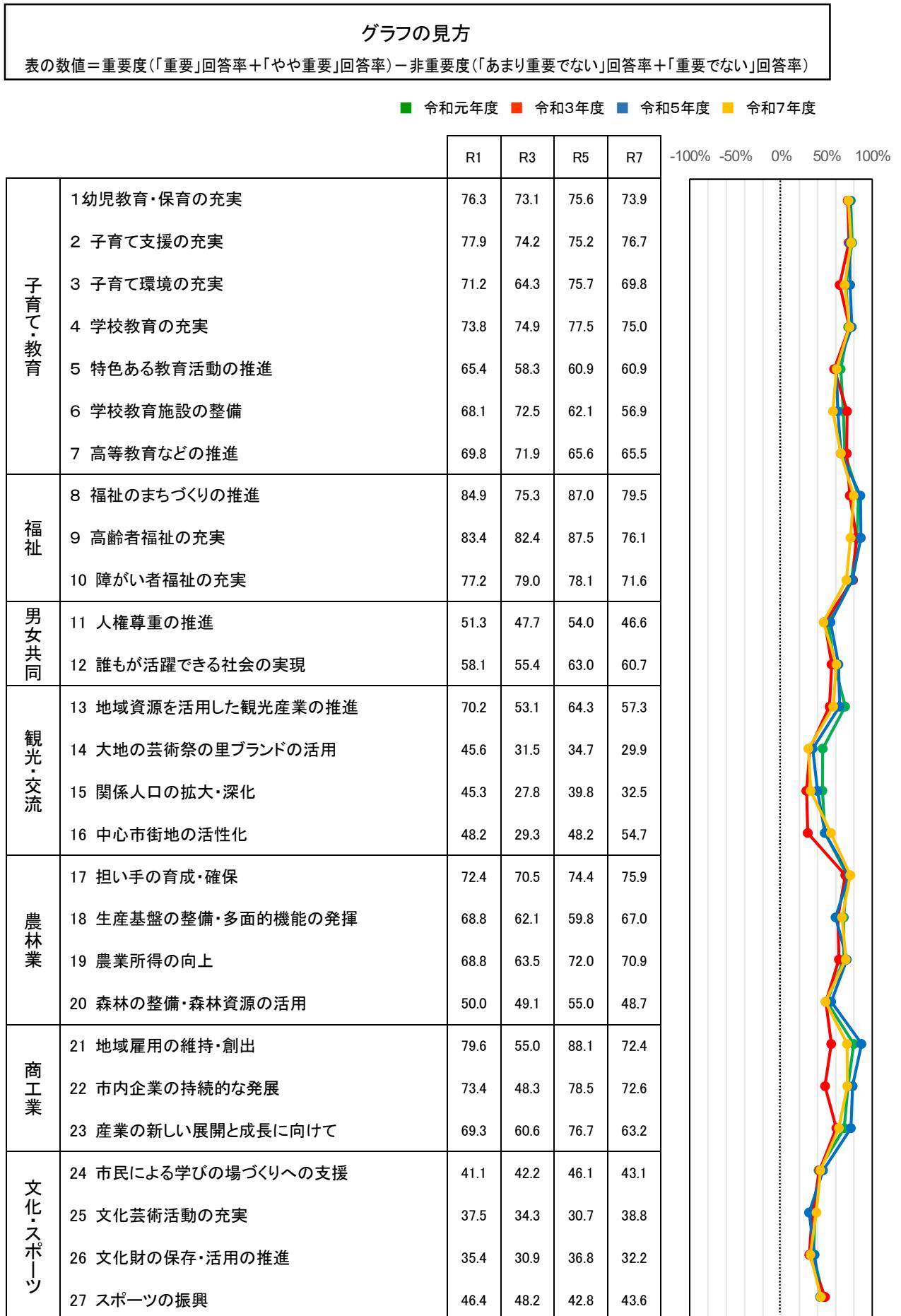
グラフの見方

表の数値=重要度(「重要」回答率+「やや重要」回答率)－非重要度(「あまり重要でない」回答率+「重要でない」回答率)

■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度



5. 50歳代

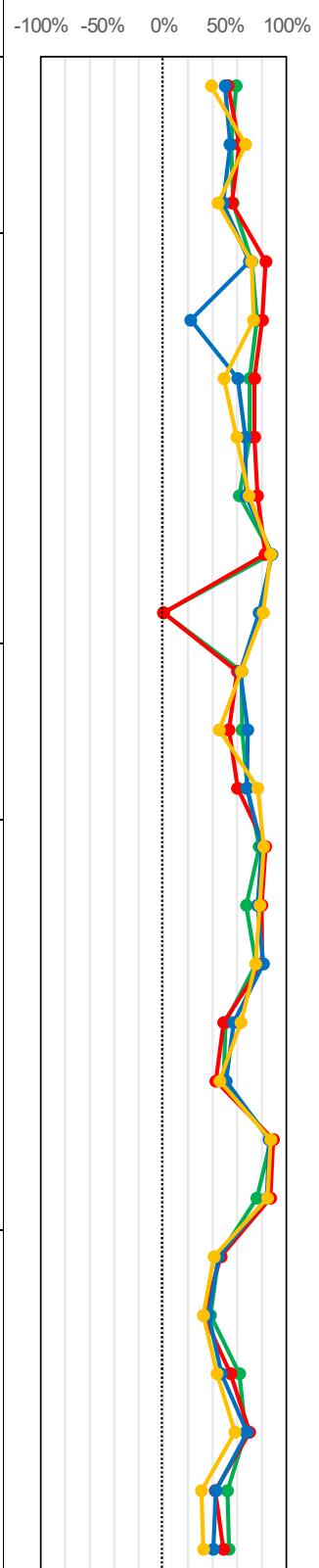


グラフの見方

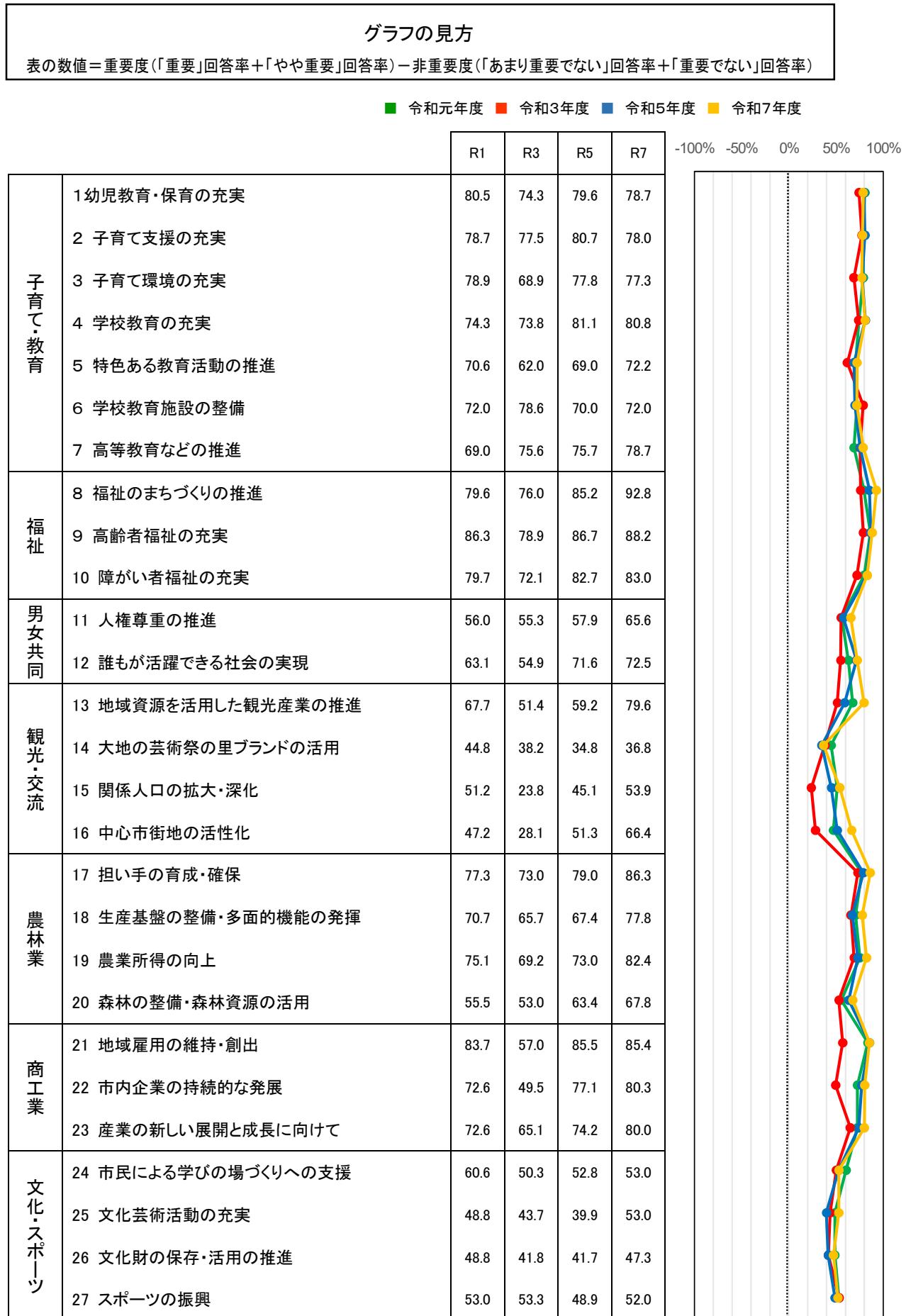
表の数値=重要度(「重要」回答率+「やや重要」回答率)-非重要度(「あまり重要でない」回答率+「重要でない」回答率)

■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度

		R1	R3	R5	R7
移住・地域活性	28 中山間地域対策の強化・充実	59.2	52.5	50.0	38.8
	29 移住・定住の促進	55.0	61.6	54.1	66.7
	30 男女の出会い・交流機会の充実	56.5	55.6	48.5	44.3
防災・防犯・安全・医療	31 防災対策の充実	71.9	83.2	69.7	71.6
	32 消防・救急体制の充実	76.0	80.4	22.1	73.3
	33 交通安全対策の推進	70.2	74.0	60.4	49.1
	34 防犯対策の推進	70.2	74.0	66.4	59.5
	35 健康づくりの推進	61.6	76.4	66.9	69.6
	36 地域医療の充実	87.9	82.7	88.2	87.2
	37 地域包括ケアシステムの推進	-	-	77.6	81.0
環境	38 脱炭素・循環型社会の推進	63.5	59.9	62.5	63.2
	39 豊かな自然環境の保全	64.0	53.2	68.4	45.3
	40 水資源の確保と活用	68.3	60.3	67.8	76.7
生活・都市基盤	41 道路網の整備	77.9	83.1	80.1	81.6
	42 上下水道の整備	67.4	80.0	76.6	78.4
	43 生活交通の確保・利便性の向上	75.3	80.3	81.3	75.0
	44 住宅・公園などの整備	50.5	49.0	57.1	62.9
	45 計画的な土地利用の推進	48.9	42.6	50.8	45.7
	46 市道除雪の充実	87.4	89.4	85.9	87.2
	47 市民のくらしを支える雪処理支援・利雪親雪の促進	75.9	87.0	84.1	84.6
市民参加・行政運営	48 地域自治の推進	45.0	46.8	44.9	41.0
	49 市民活動の推進	38.3	32.7	36.7	32.5
	50 効果的な行政運営・広域連携の推進	61.7	54.7	47.1	43.6
	51 健全な財政運営	66.8	70.0	68.0	58.1
	52 情報社会の進展に即応した広報・広聴活動の推進	51.9	42.0	42.6	30.8
	53 Society5.0 時代に即応した自治体への転換	53.2	48.7	40.5	32.5



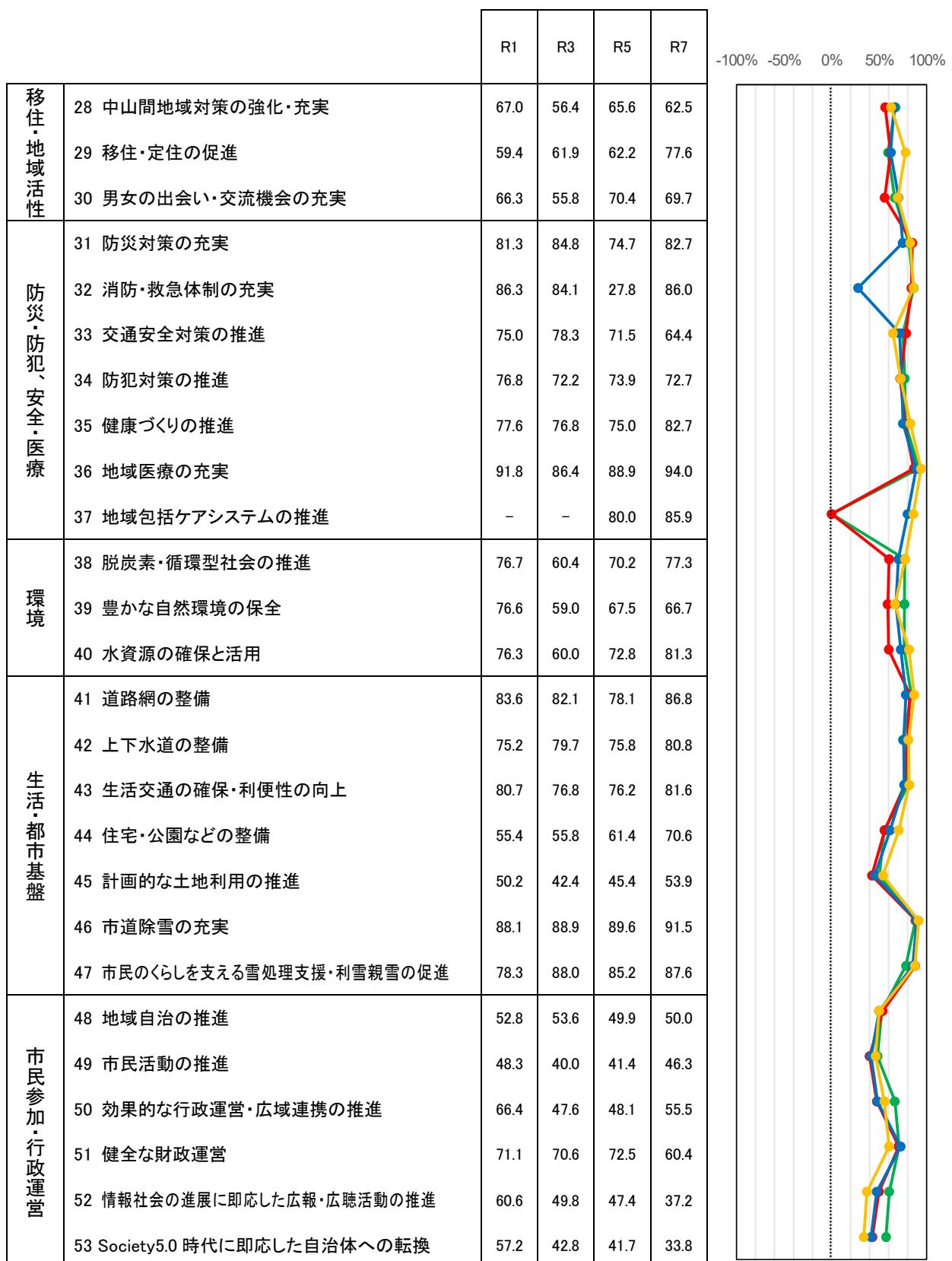
6. 60歳代



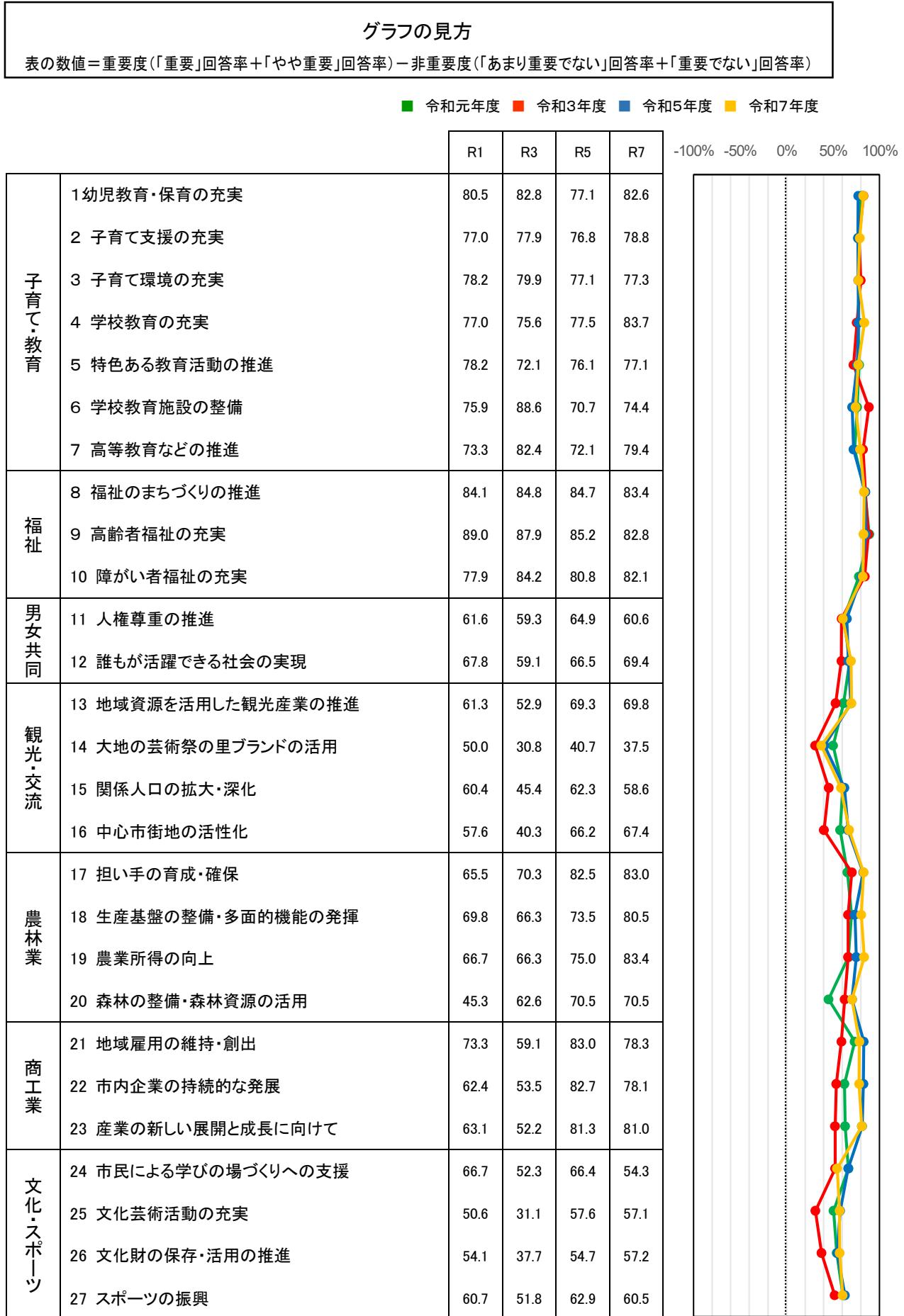
グラフの見方

表の数値=重要度(「重要」回答率+「やや重要」回答率)－非重要度(「あまり重要でない」回答率+「重要でない」回答率)

■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度



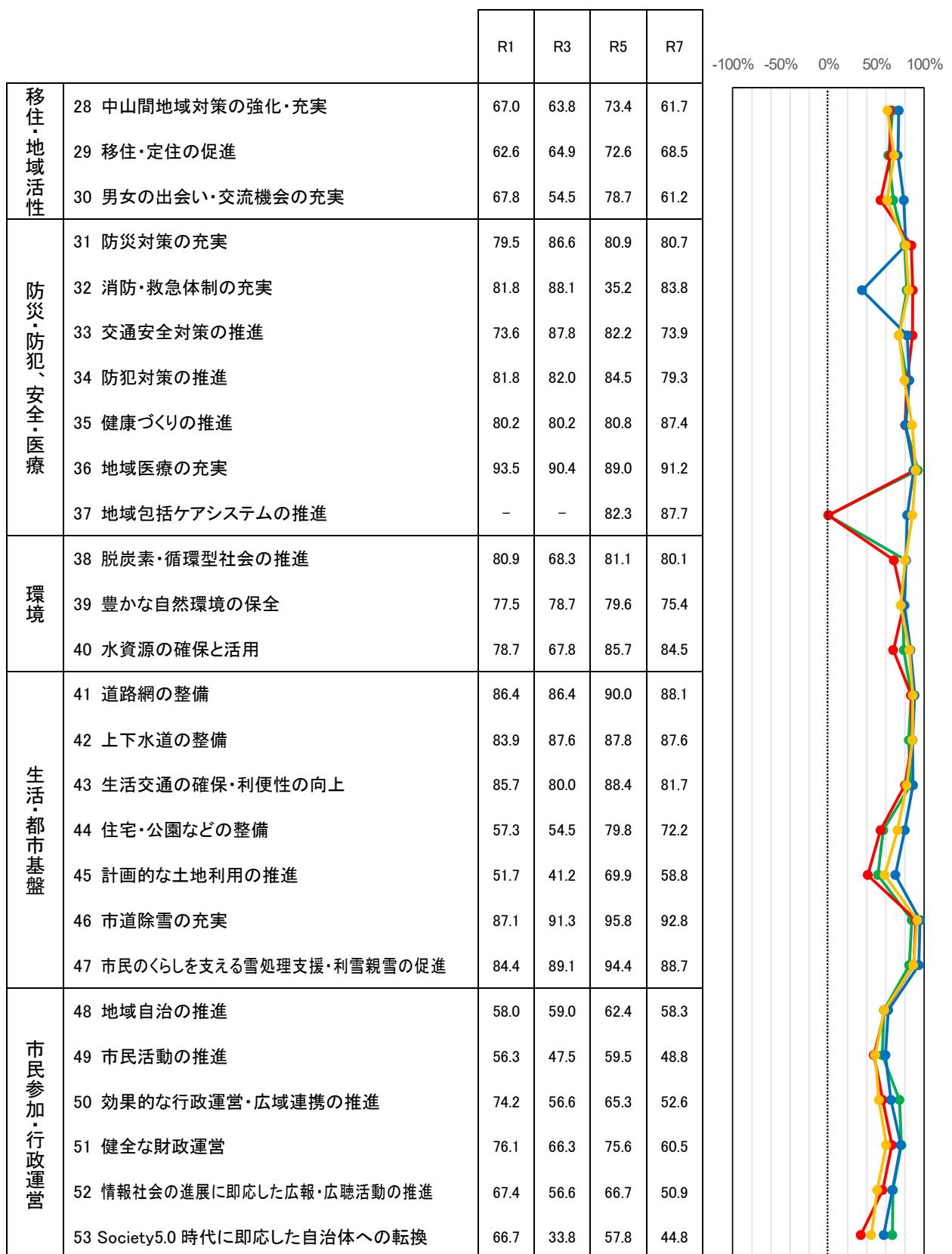
7. 70歳代



グラフの見方

表の数値=重要度(「重要」回答率+「やや重要」回答率)－非重要度(「あまり重要でない」回答率+「重要でない」回答率)

■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度

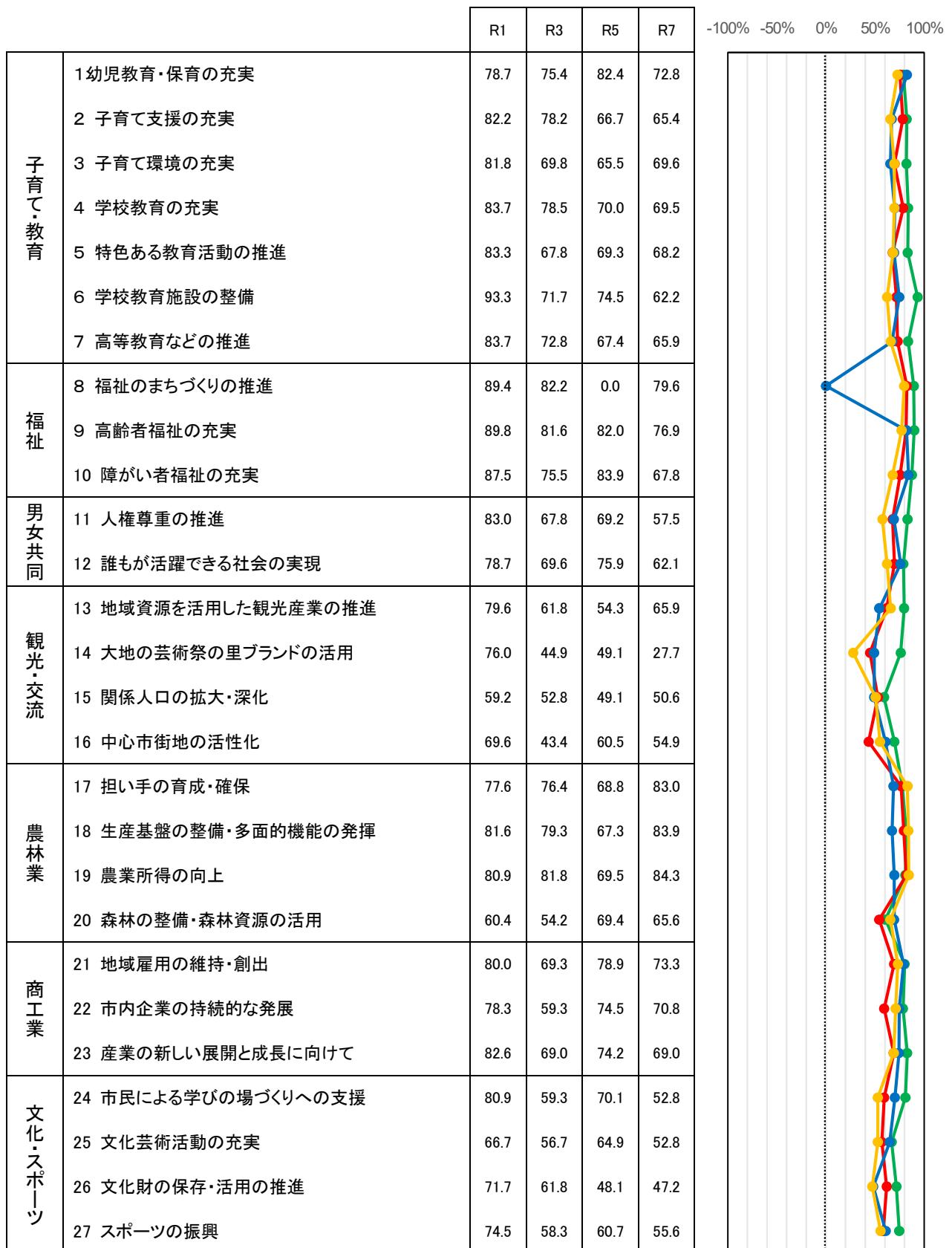


8. 80歳以上

グラフの見方

表の数値=重要度(「重要」回答率+「やや重要」回答率)－非重要度(「あまり重要でない」回答率+「重要でない」回答率)

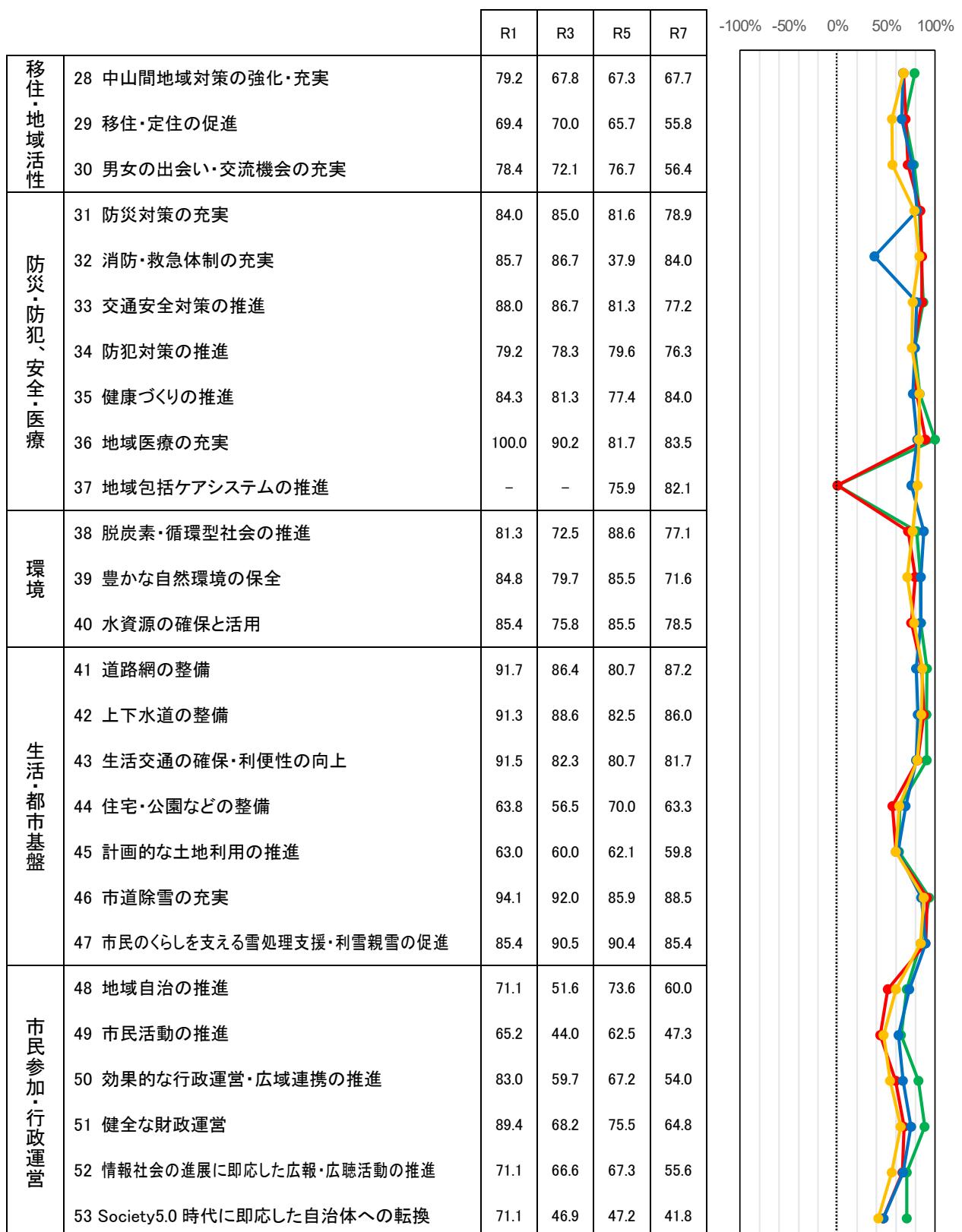
■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度



グラフの見方

表の数値=重要度(「重要」回答率+「やや重要」回答率)－非重要度(「あまり重要でない」回答率+「重要でない」回答率)

■ 令和元年度 ■ 令和3年度 ■ 令和5年度 ■ 令和7年度

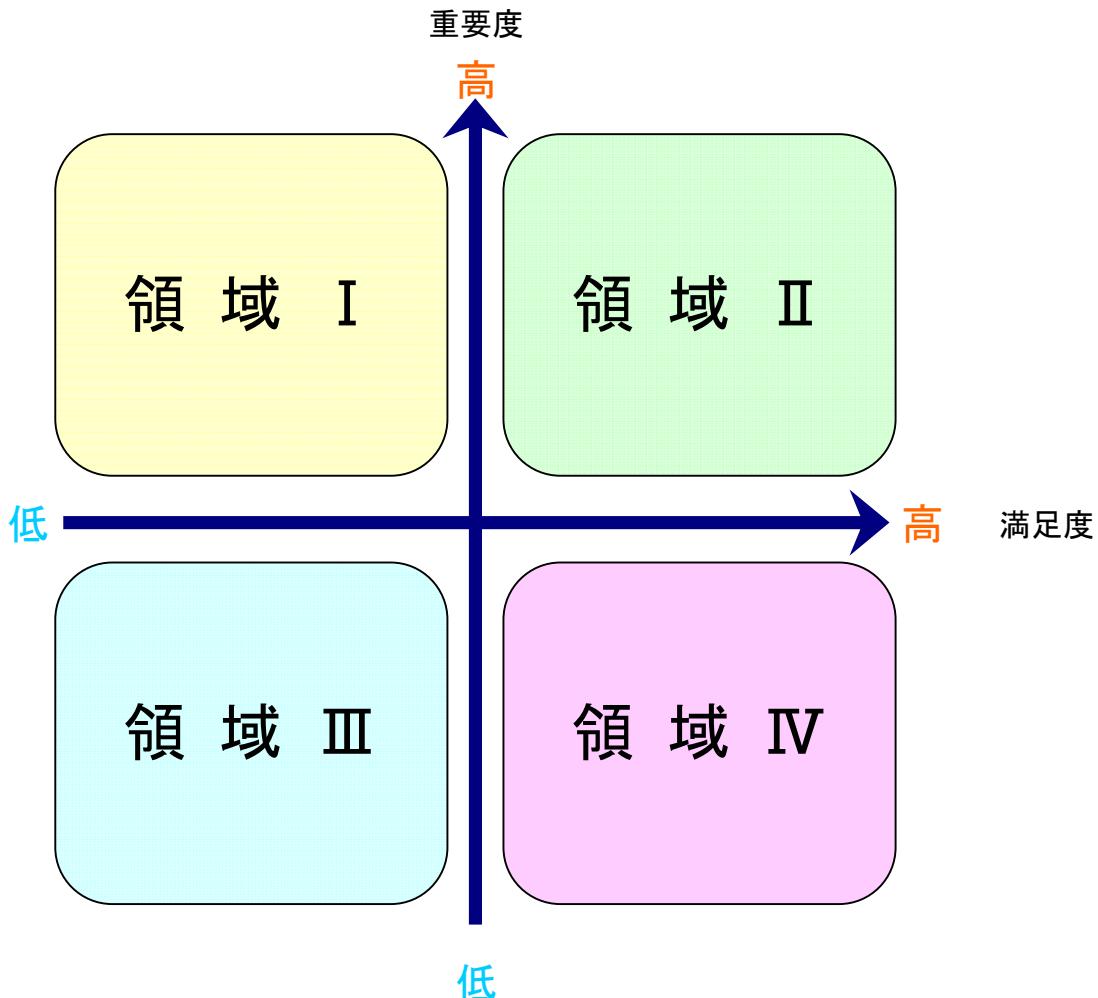


・満足度と重要度のクロス集計

■相対分布図

調査結果を集計・数値化した上で、問8①の満足度を横軸に、問8②の重要度を縦軸として図上にプロットし、『相対分布図』を作成する。

さらに以下の4つの領域に分類し、解析する。(下図参照)



領域 I	重要度[高]・満足度[低]	重点的な改善が必要なもの。
領域 II	重要度[高]・満足度[高]	現状を維持しつつ一層のレベルアップを図るもの。
領域 III	重要度[低]・満足度[低]	的確な改善が望まれるもの。
領域 IV	重要度[低]・満足度[高]	今後も継続して充実を図るもの。

■計算方法

満足度…満足4点、やや満足2点、どちらでもない0点、やや不満-2点、不満-4点として項目ごとに点数集計し、対象の総数で除することで度数を算出した。

重要度…重要4点、やや重要2点、どちらでもない0点、あまり重要でない-2点、重要でない-4点として項目ごとに点数集計し、対象の総数で除することで度数を算出した。

中央値…全要素を数値順に並べたときの中央に位置する値。

【全体の傾向】

重要度が高い一方、満足度が低いと評価された「領域Ⅰ」では、特に重要度が高い順に並べると「36 地域医療の充実」、「47 市民の暮らしを支える雪処理支援・利雪親雪の促進」、「17 農業の担い手の育成・確保」、「41 道路網の整備」、「4 学校教育の充実」となっている。

一方、「領域Ⅰ」のうち満足度が特に低い項目は、「21 地域雇用の維持・創出」、「17 農業の担い手の育成・確保」、「22 市内企業の持続的な発展」の順となっている。

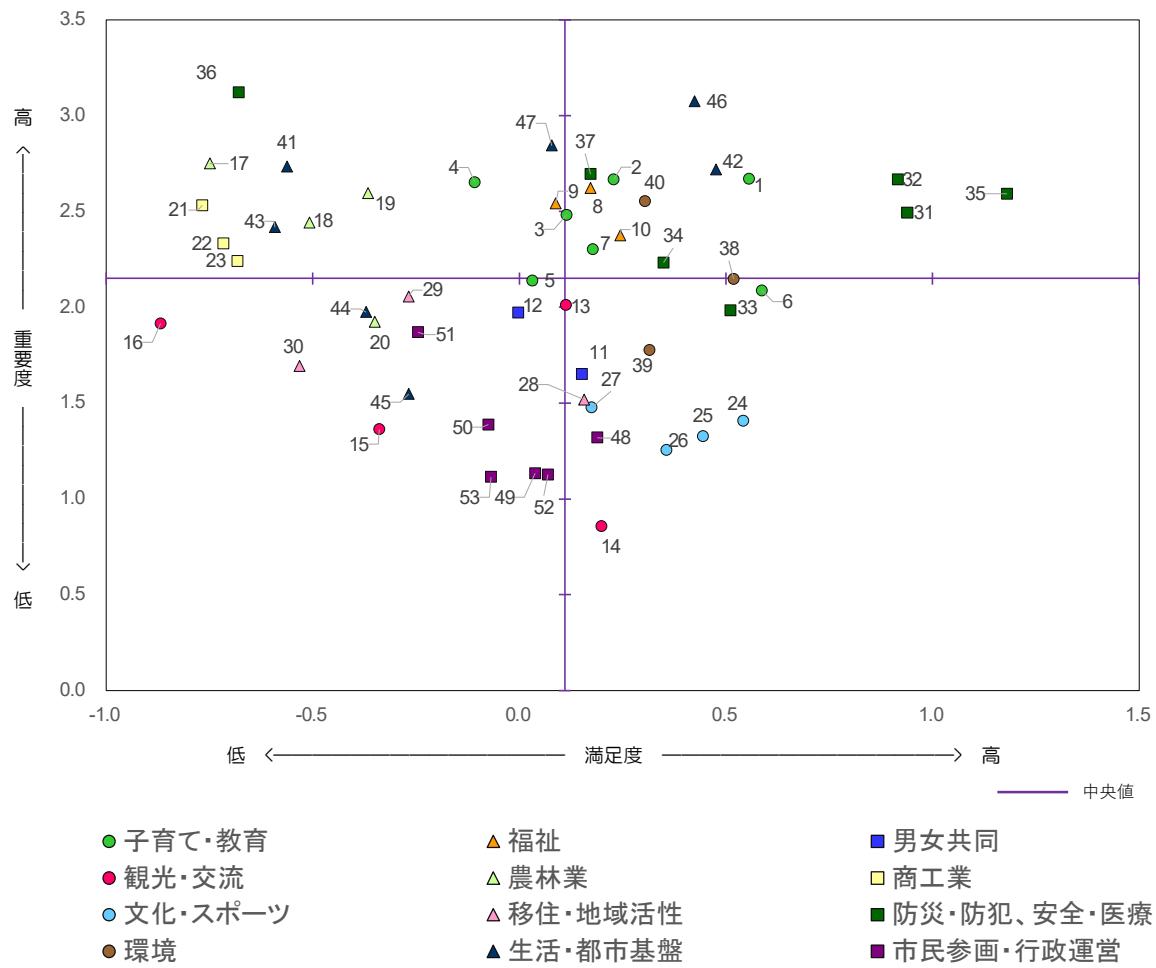
【年齢別集計】

全ての年齢で「領域Ⅰ」に属す項目は「4 学校教育の充実」、「18 農業の生産基盤の整備・多面的機能の発揮」、「22 市内企業の持続的な支援」となっている。

また、満足度の中央値が全体の中央値(0.11)を下回っているのは『20代』、『40代』、『50代』、『60代』、『70代』となっている。

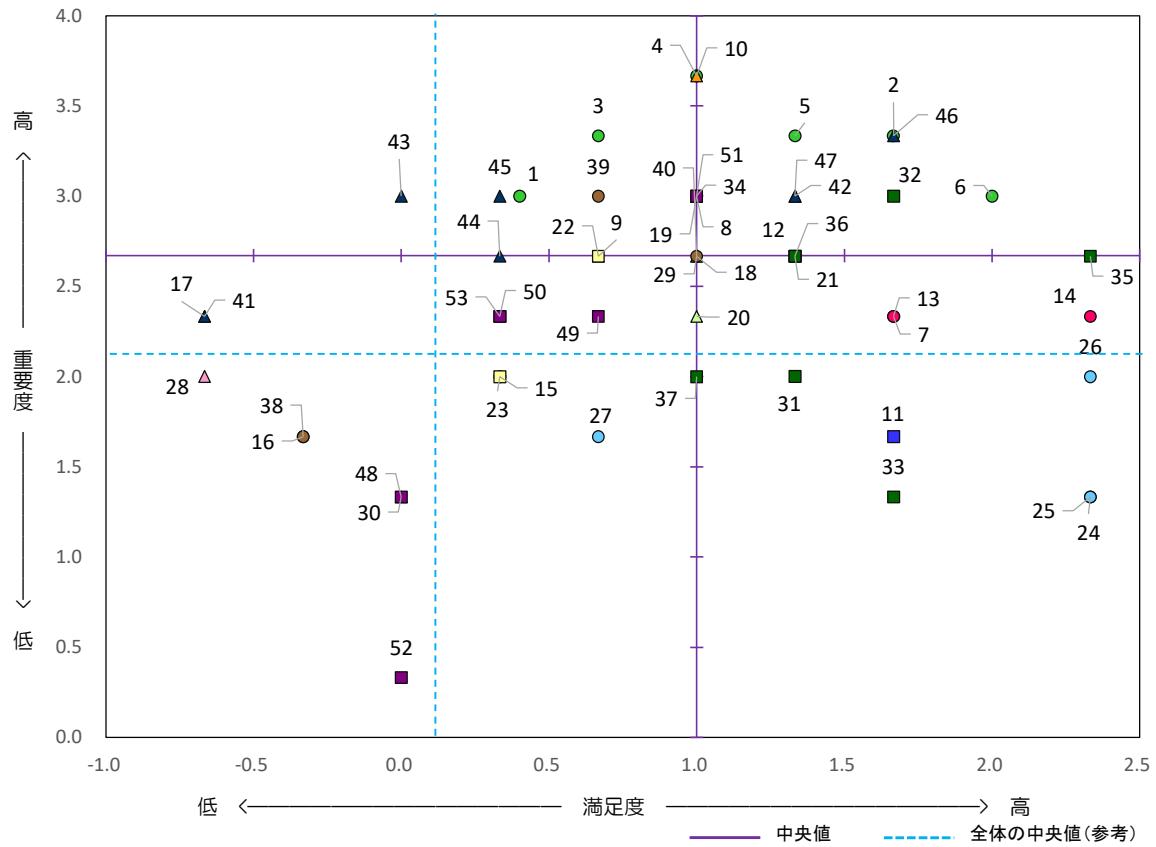
一方で満足度の中央値が全体の中央値を上回っているのは『10代』、『30代』、『80代』となっており、特に『10代』で大きく上回っている。

【全体の傾向】

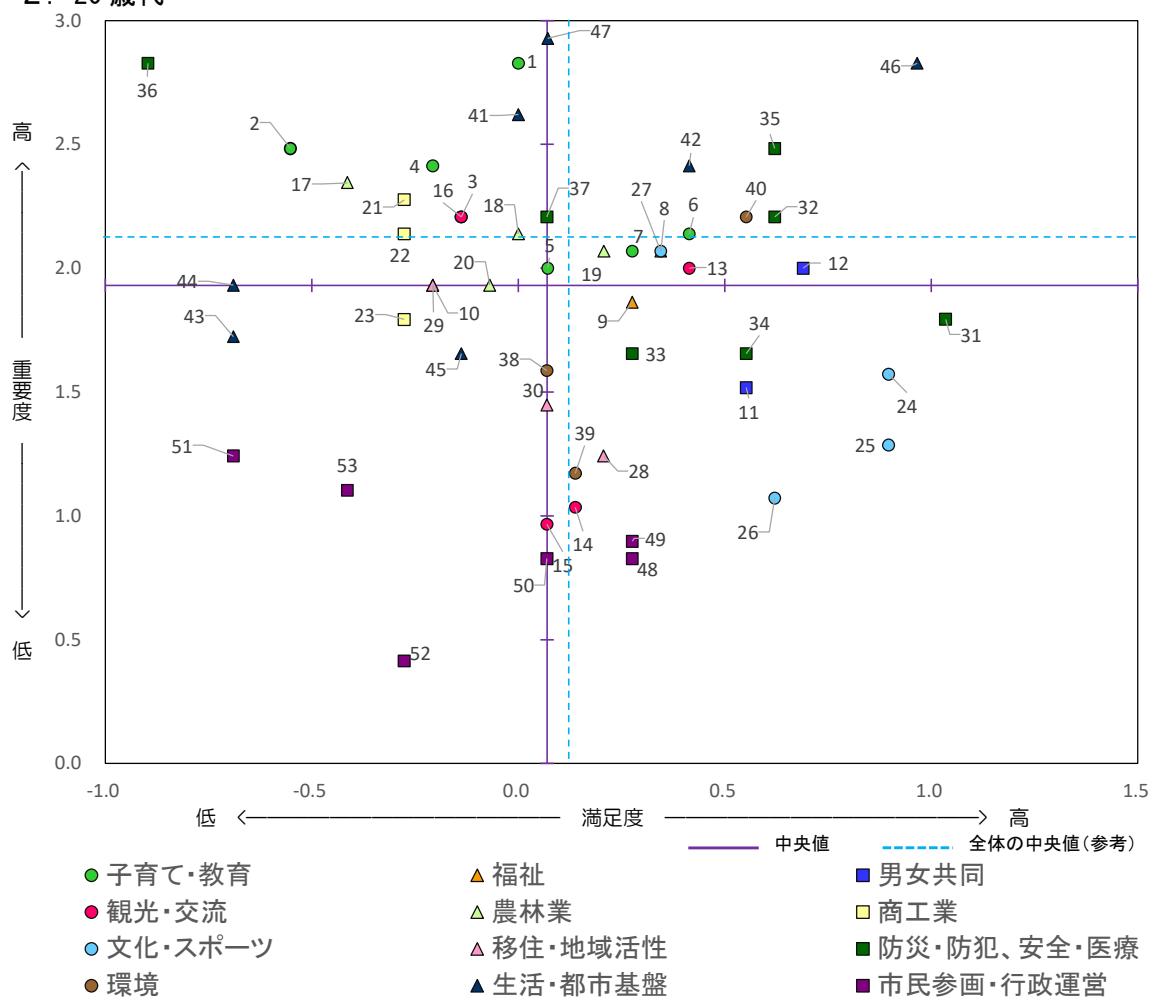


【年齢別集計】

1. 10歳代



2. 20歳代

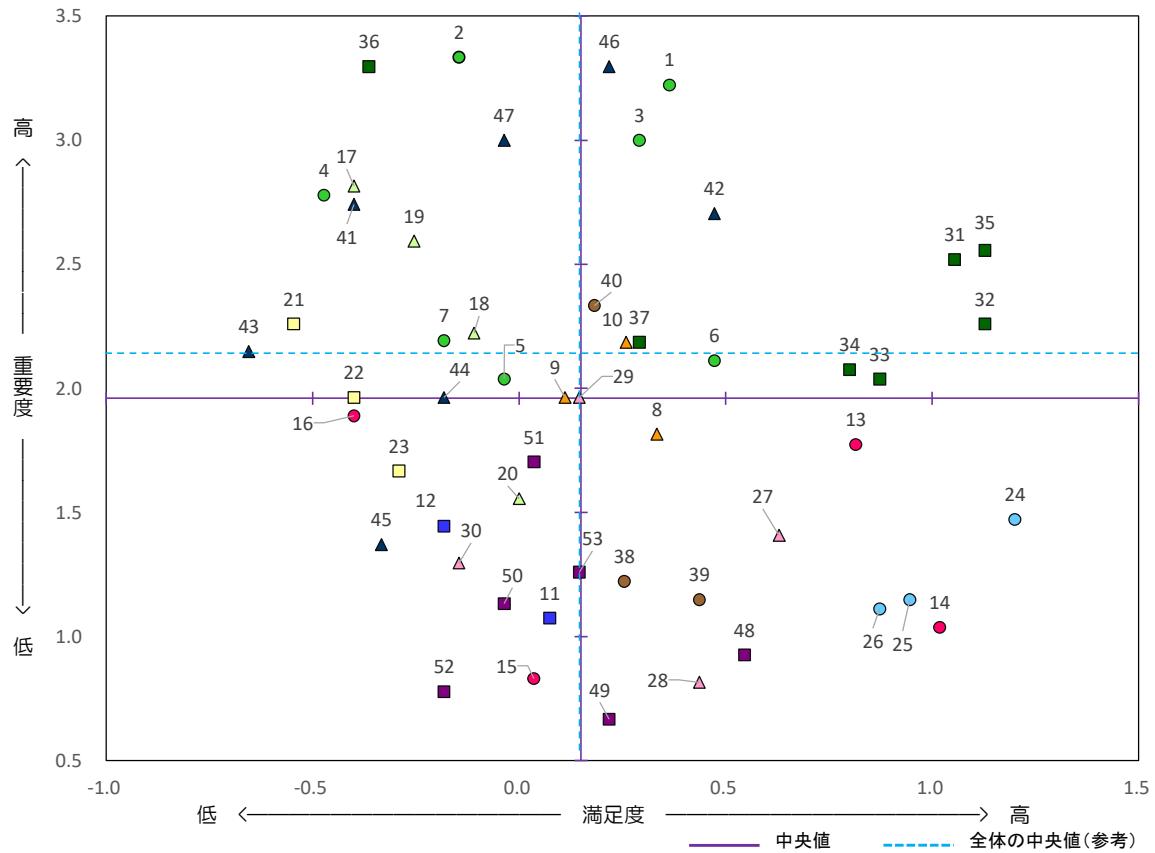


● 子育て・教育
● 観光・交流
● 文化・スポーツ
● 環境

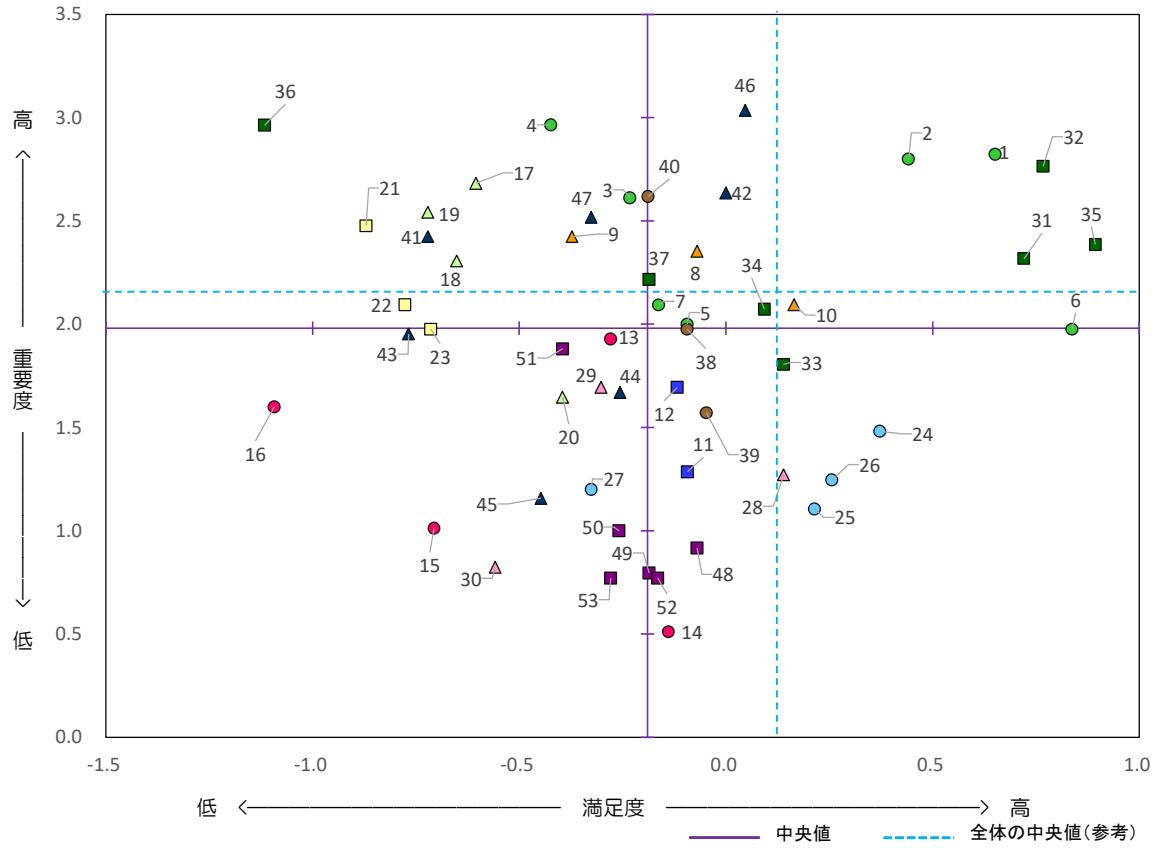
▲ 福祉
△ 農林業
△ 移住・地域活性
▲ 生活・都市基盤

■ 男女共同
□ 商工業
■ 防災・防犯、安全・医療
■ 市民参画・行政運営

3. 30歳代

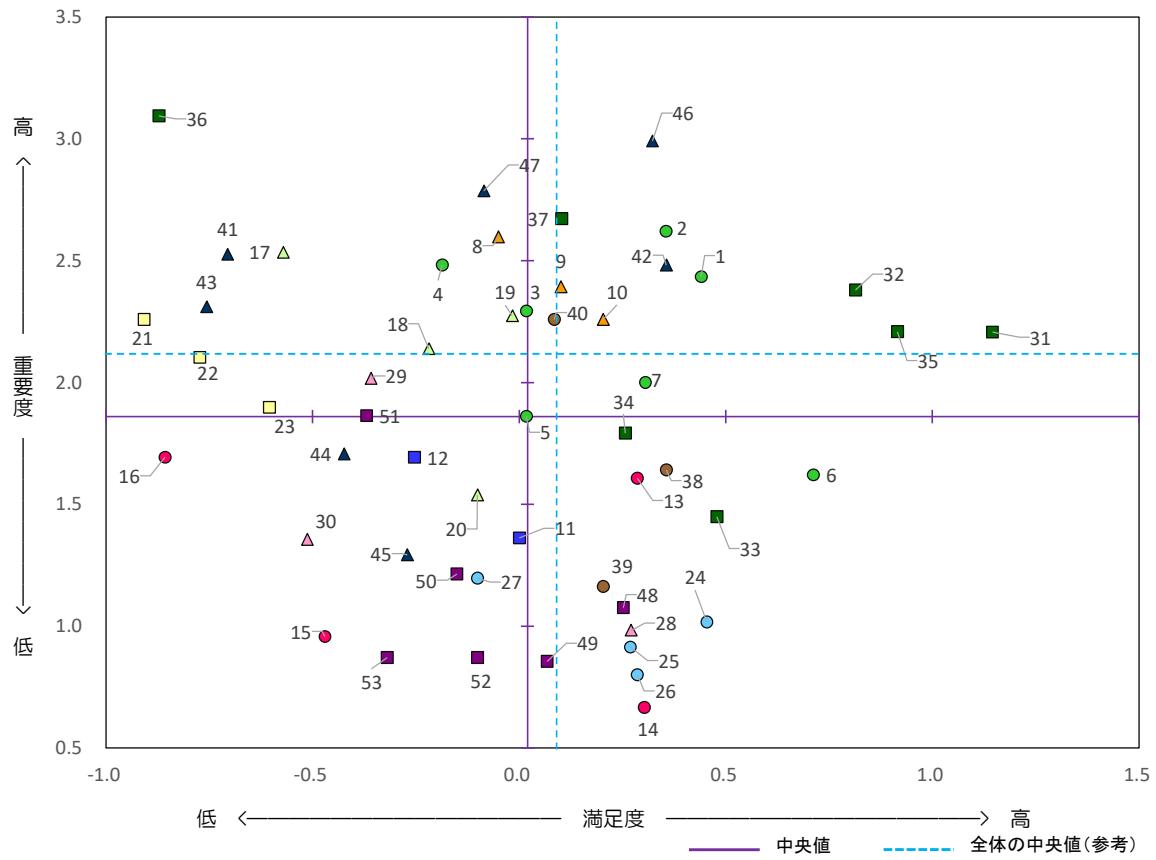


4. 40歳代

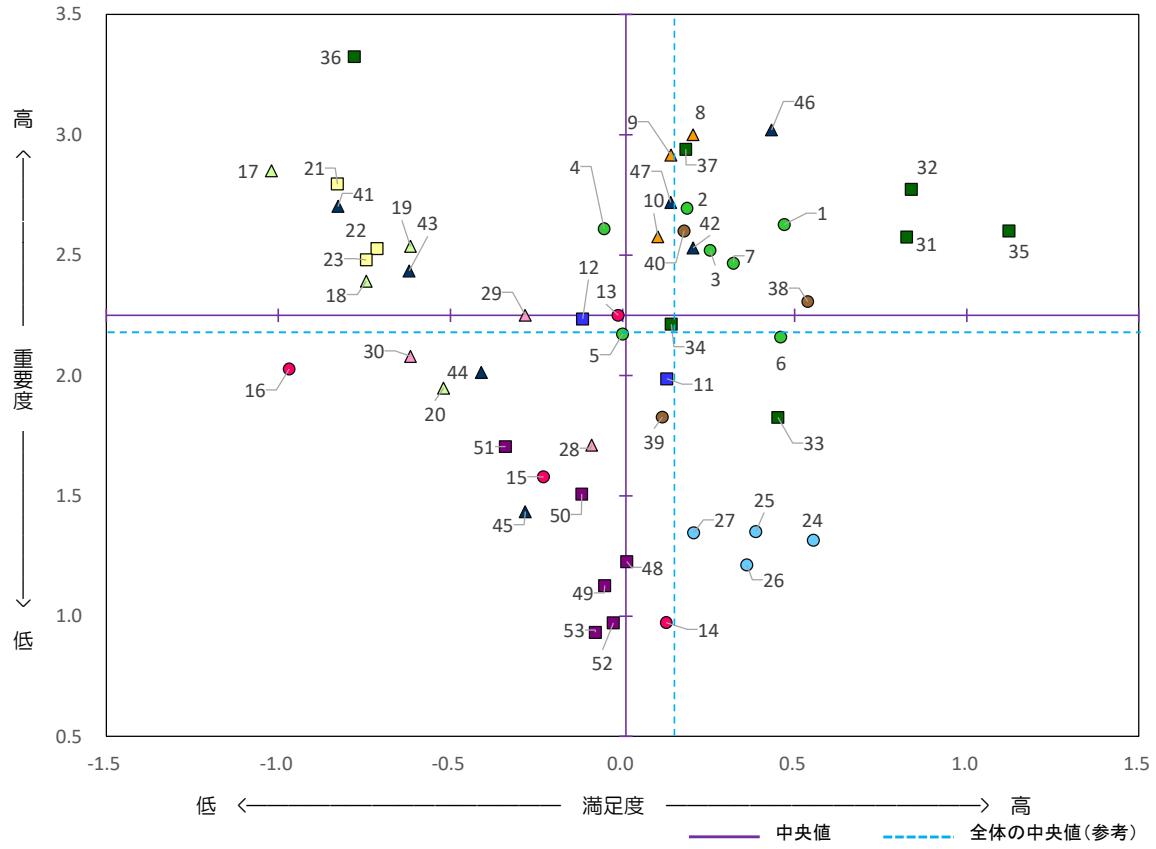


- 子育て・教育
- 観光・交流
- 文化・スポーツ
- 環境
- ▲ 福祉
- △ 農林業
- △ 移住・地域活性
- ▲ 生活・都市基盤
- 男女共同
- 商工業
- 防災・防犯、安全・医療
- 市民参画・行政運営

5. 50歳代

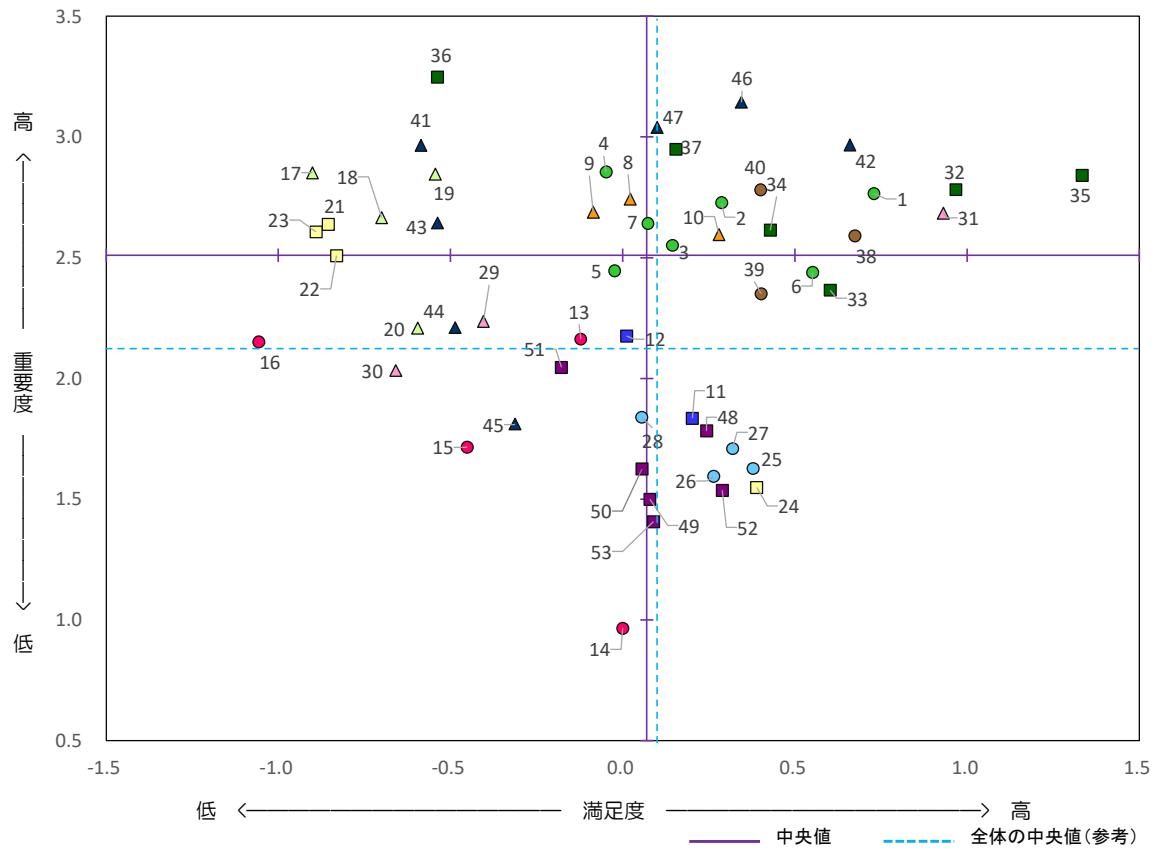


6. 60歳代

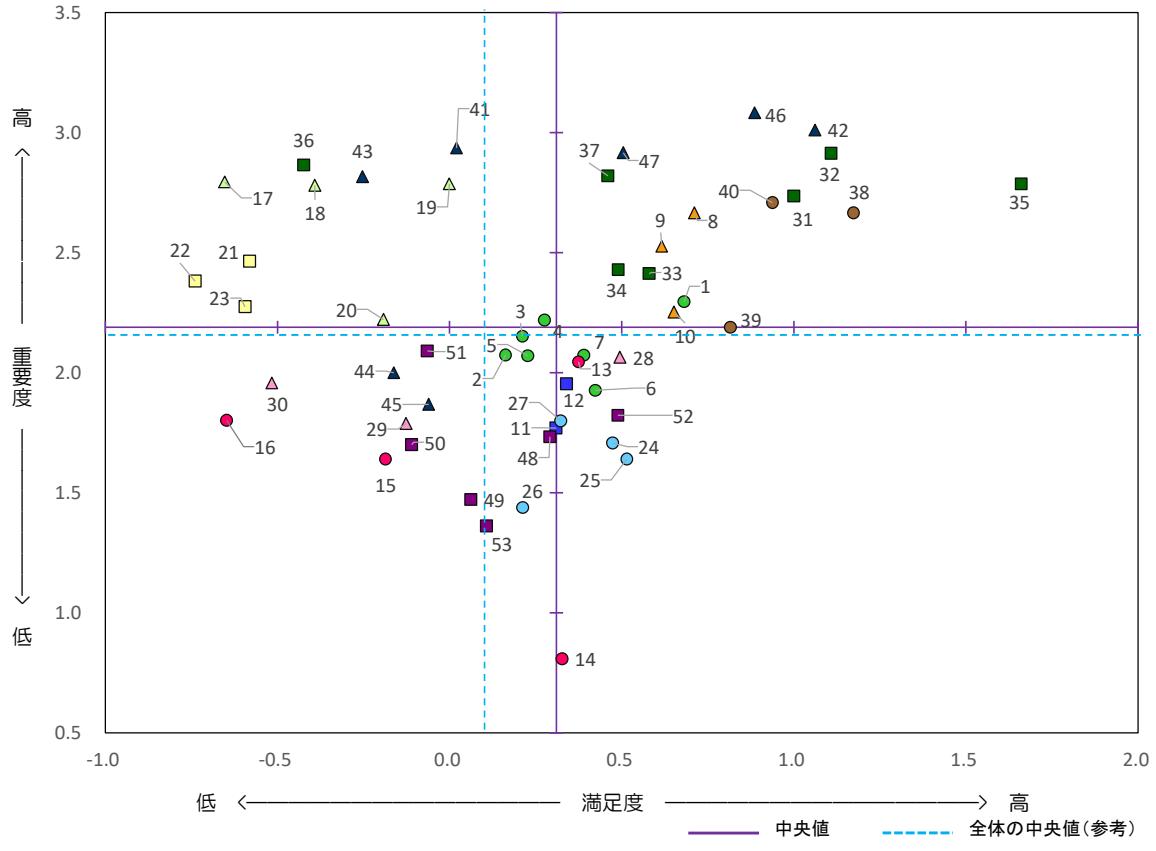


- 子育て・教育
- 観光・交流
- 文化・スポーツ
- 環境
- ▲ 福祉
- ▲ 農林業
- ▲ 移住・地域活性
- ▲ 生活・都市基盤
- 男女共同
- 商工業
- 防災・防犯・安全・医療
- 市民参画・行政運営

7. 70歳代



8. 80歳以上



- 子育て・教育
- 観光・交流
- 文化・スポーツ
- 環境
- ▲ 福祉
- ▲ 農林業
- ▲ 移住・地域活性
- ▲ 生活・都市基盤
- 防災・防犯、安全・医療
- 市民参画・行政運営

IV. 今後のまちづくりについて

十日町市では、人口減少・高齢化が進行しており、こうした人口問題の克服と地域活力の向上に向け、今後どのようなことが必要だと思いますか？

次の中から3つまで選んで下の欄に選んだ番号を書いてください。また、その理由を書いてください。

- 今後の重点施策

【全体の傾向】

「働く場を増やす」、「若者に魅力のあるまちづくり」、「子育て・教育がしやすいまちづくり」の順に多くなっている。

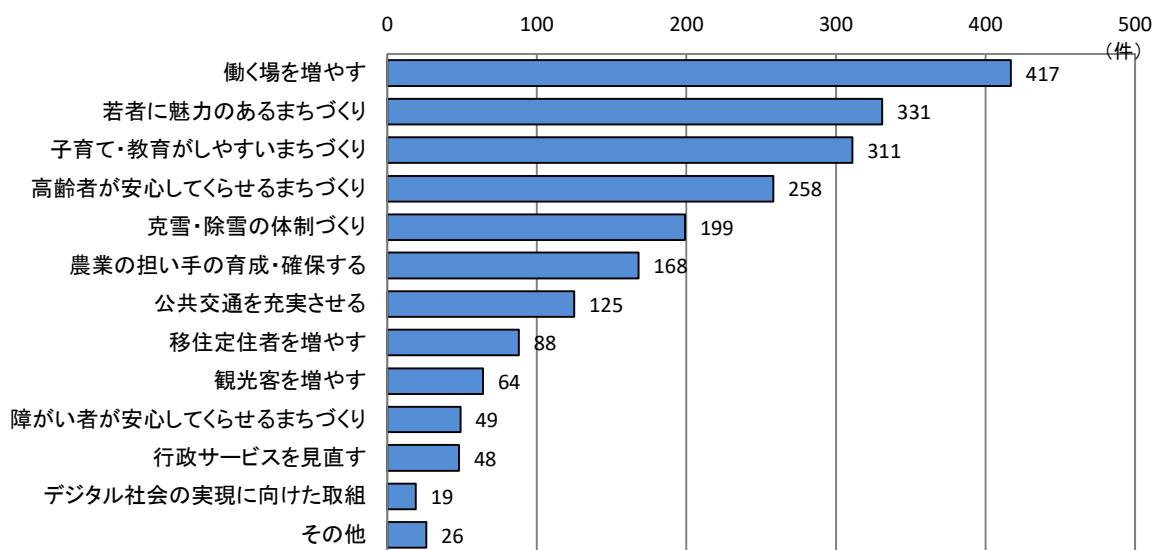
【年齢別集計】

全体の傾向で多く挙げられていた項目以外では、『10代』で「移住定住者を増やす」が多くなっているほか、『70代』と『80代』で「高齢者が安心してくらせるまちづくり」が多くなっている。

【全体の傾向】

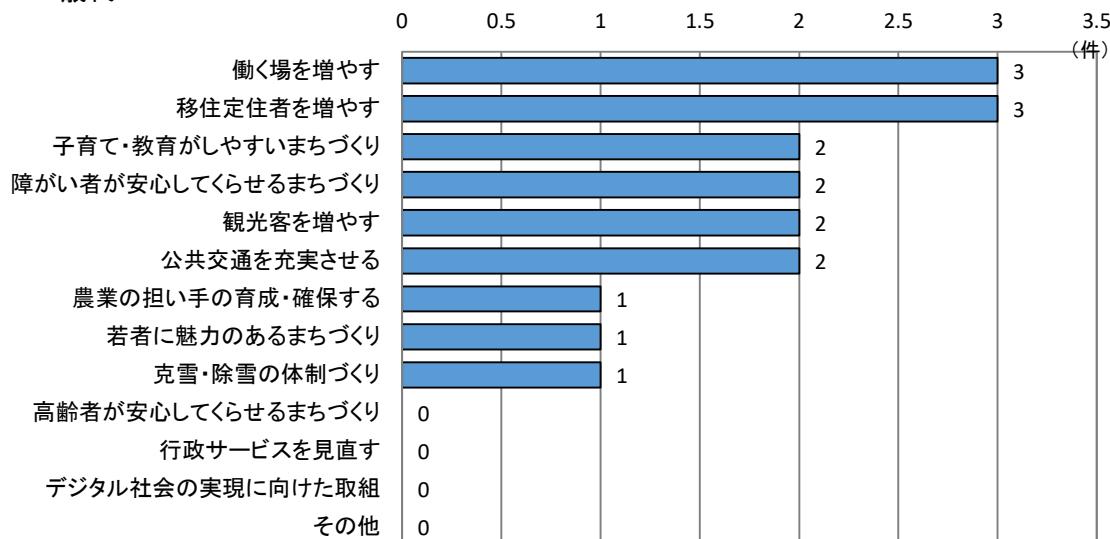
分類	件数	構成比
働く場を増やす	417	55.6%
若者に魅力のあるまちづくり	331	44.1%
子育て・教育がしやすいまちづくり	311	41.5%
高齢者が安心してくらせるまちづくり	258	34.4%
克雪・除雪の体制づくり	199	26.5%
農業の担い手の育成・確保する	168	22.4%
公共交通を充実させる	125	16.7%
移住定住者を増やす	88	11.7%
観光客を増やす	64	8.5%
障がい者が安心してくらせるまちづくり	49	6.5%
行政サービスを見直す	48	6.4%
デジタル社会の実現に向けた取組	19	2.5%
その他	26	3.5%
合計	2,103	280.4%

(無回答 : 172)

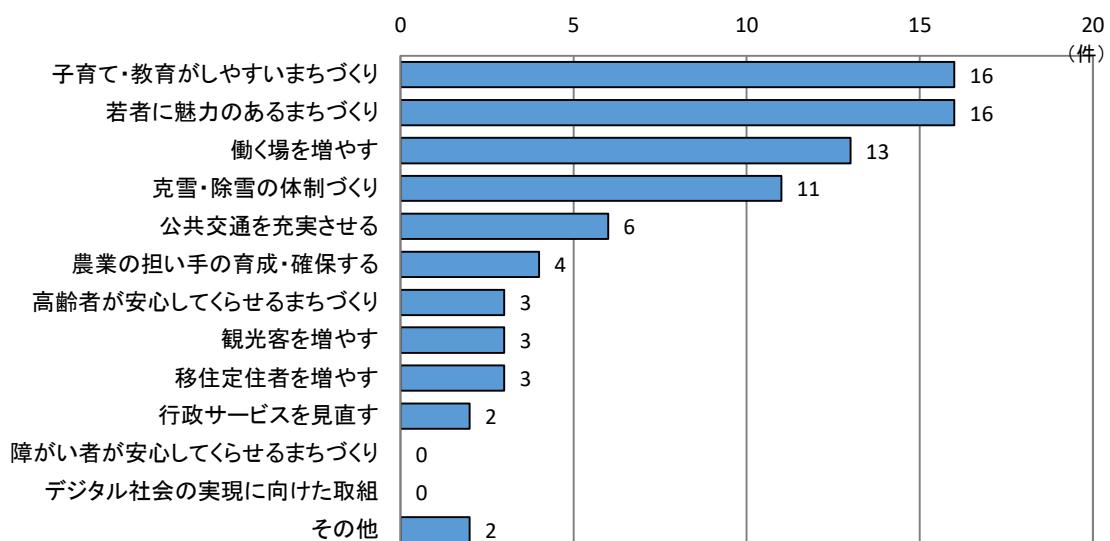


【年齢別集計】

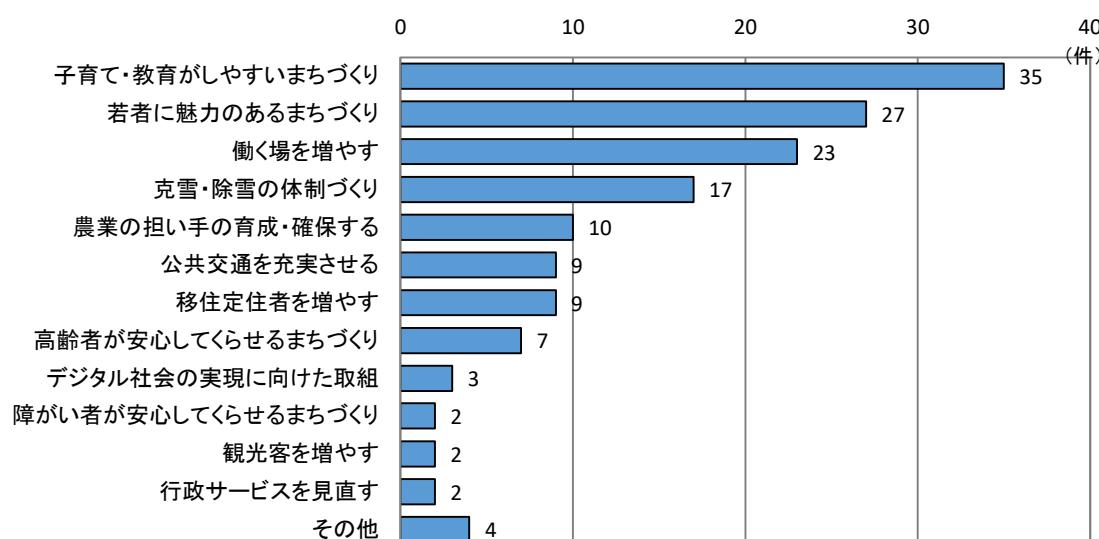
1. 10歳代



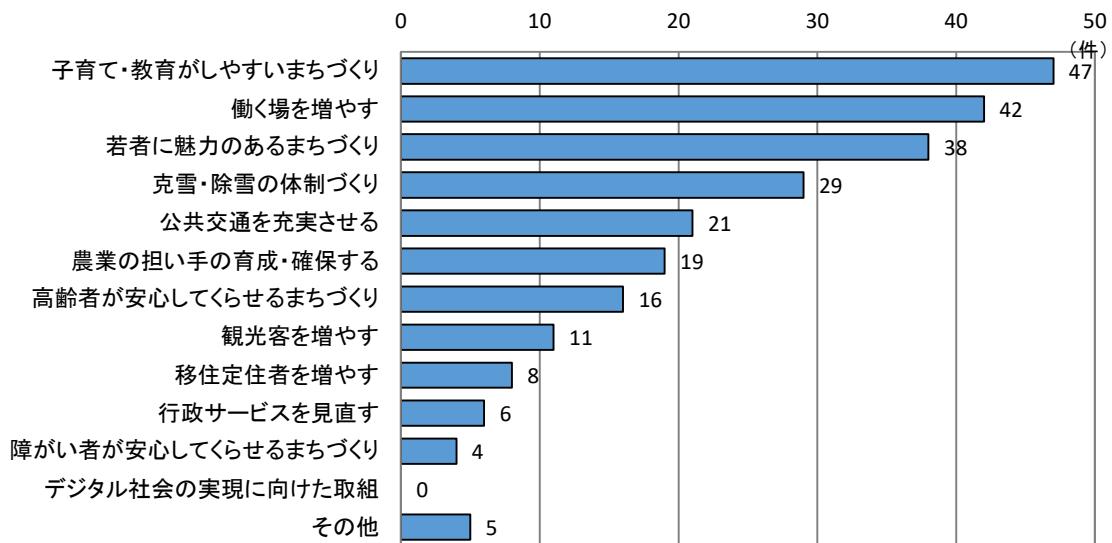
2. 20歳代



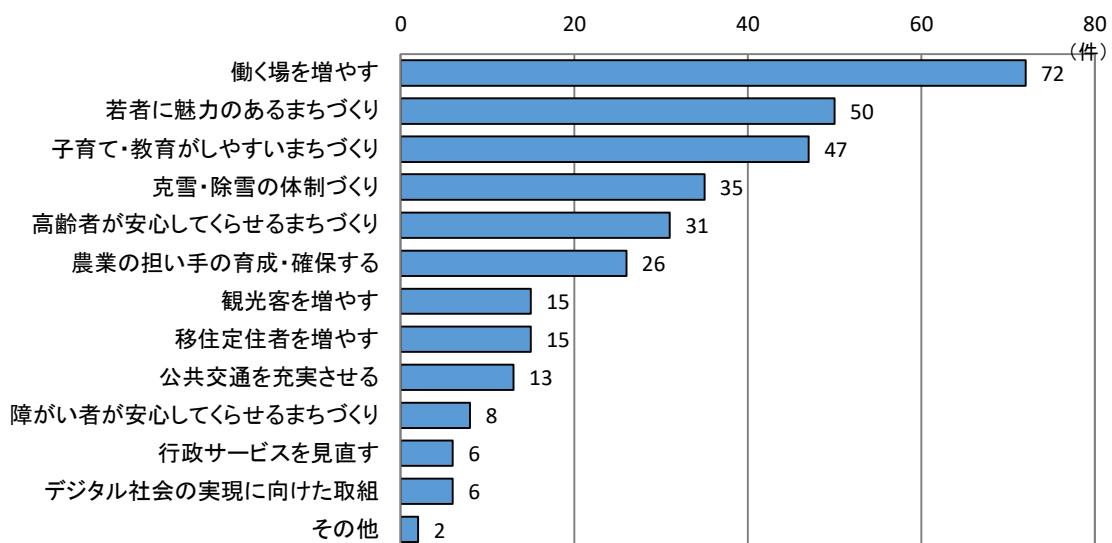
3. 30歳代



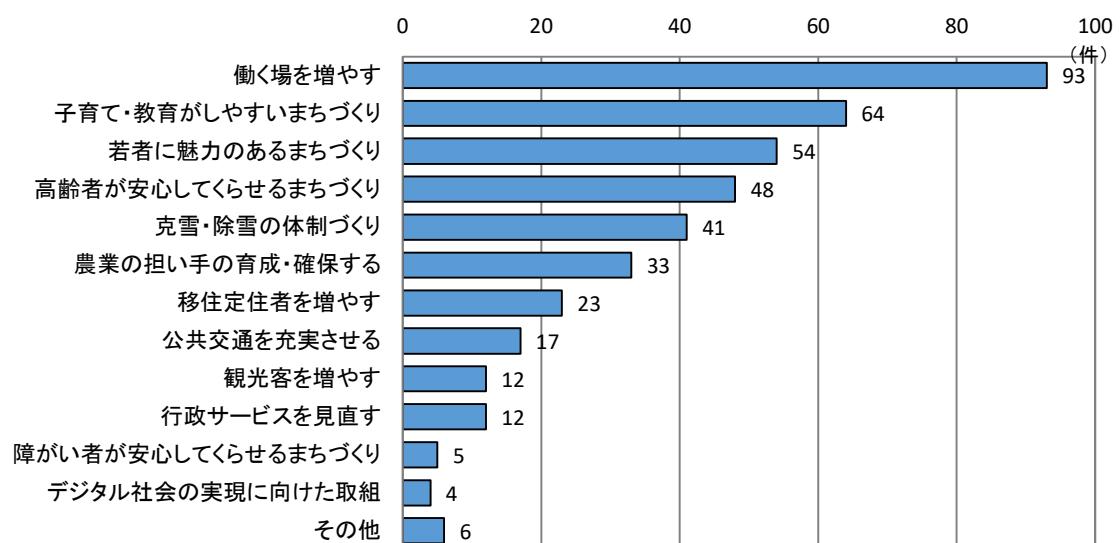
4. 40歳代



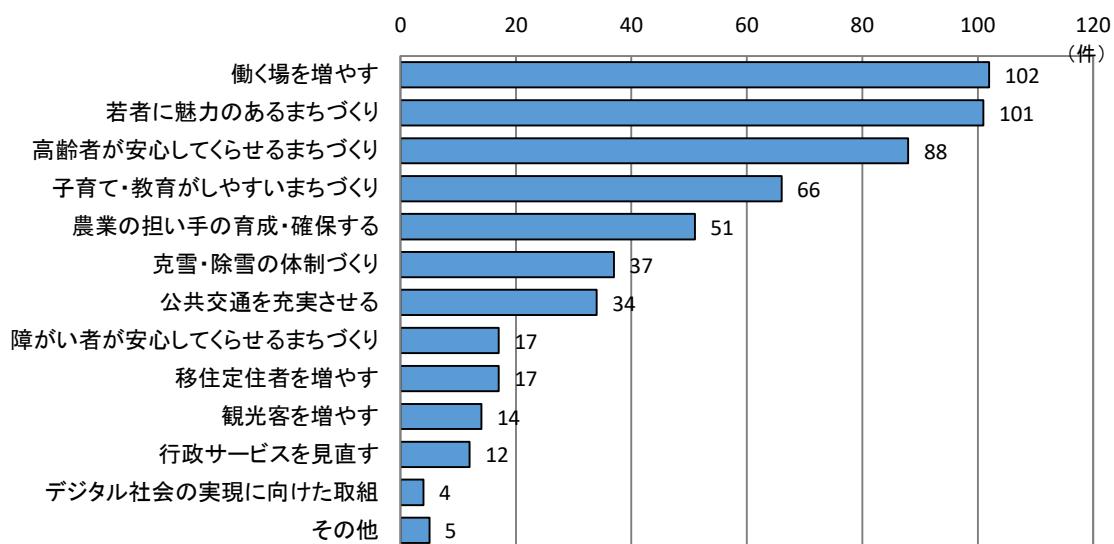
5. 50歳代



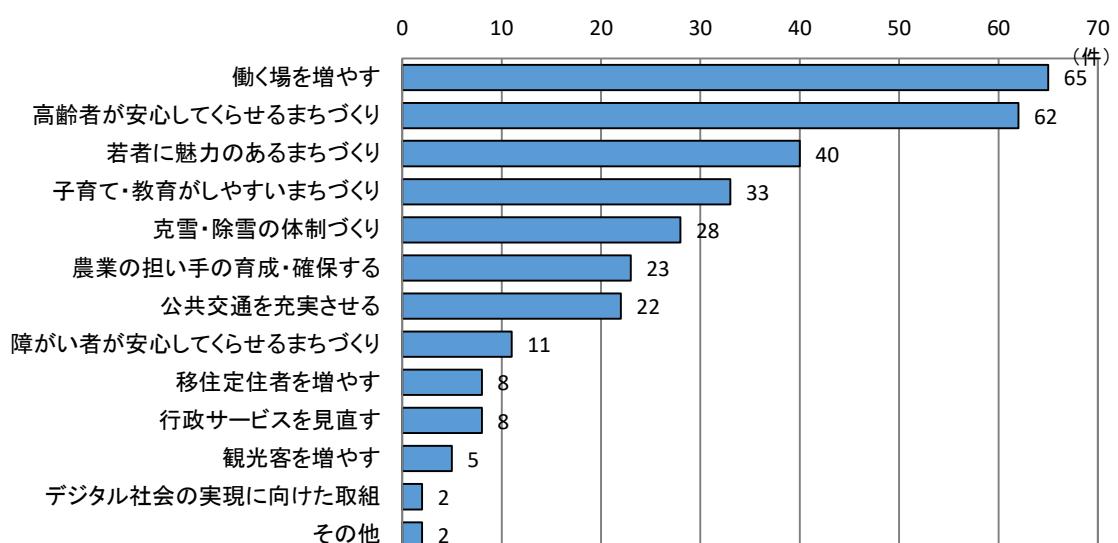
6. 60歳代



7. 70歳代



8. 80歳代



＜過年度（H31～R5）との比較＞

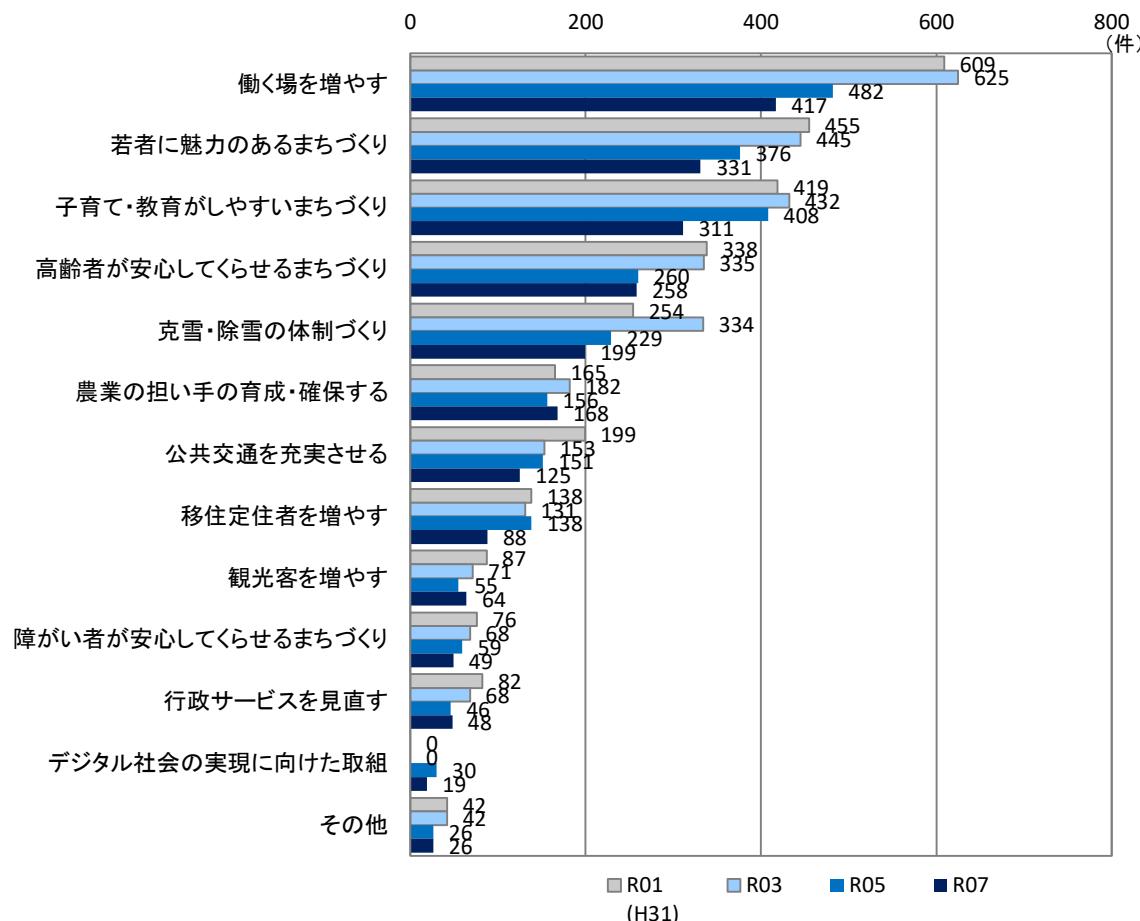
【前回との比較】

前回と比較すると、上位3項目については「子育・教育がしやすいまちづくり」とする回答数が前回から順位を一つ下げ（前回：2位、今回：3位）、「若者に魅力のあるまちづくり」が前回から順位を一つ上げている（前回：3位、今回：2位）。

各年代の上位3項目の中で、前回よりも票数が増えたのは、『10代』の「移住定住者を増やす」、『70代』、『80代』の「働く場を増やす」、「若者に魅力のあるまちづくり」、「高齢者が安心してくらせるまちづくり」となっている。

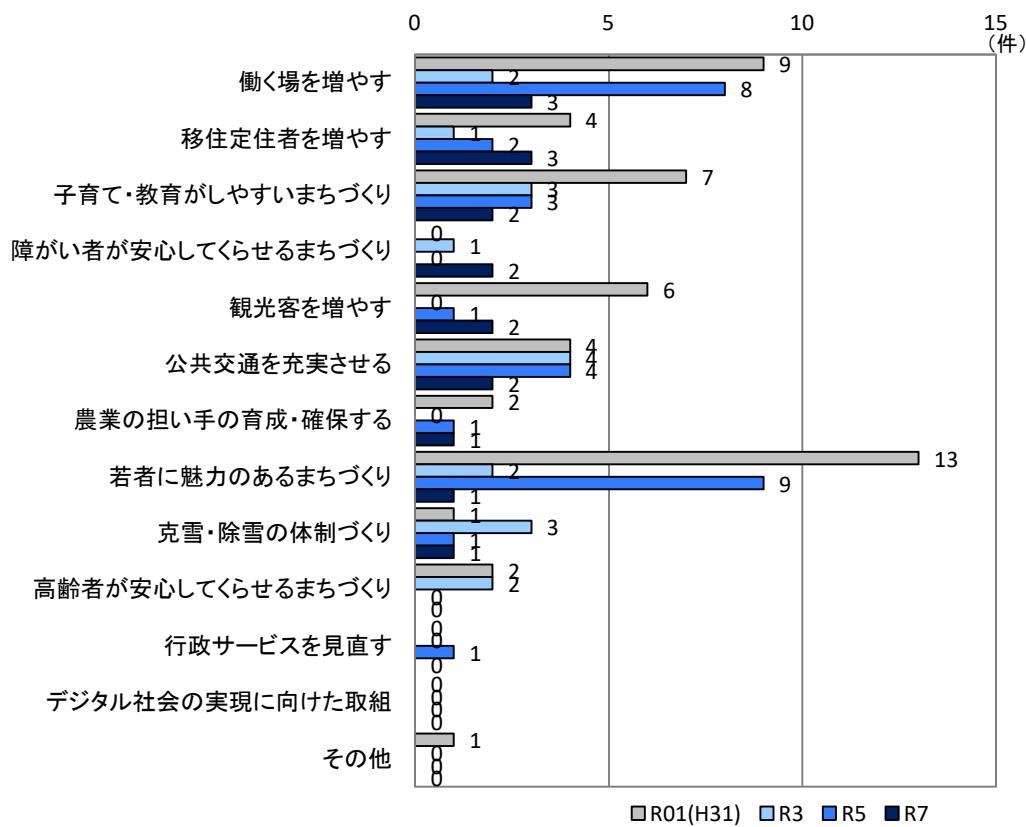
【全体の傾向】

分類	件数				構成比
	R01 (H31)	R03	R05	R07	
働く場を増やす	609	625	482	417	55.6%
若者に魅力のあるまちづくり	455	445	376	331	44.1%
子育て・教育がしやすいまちづくり	419	432	408	311	41.5%
高齢者が安心してくらせるまちづくり	338	335	260	258	34.4%
克雪・除雪の体制づくり	254	334	229	199	26.5%
農業の担い手の育成・確保する	165	182	156	168	22.4%
公共交通を充実させる	199	153	151	125	16.7%
移住定住者を増やす	138	131	138	88	11.7%
観光客を増やす	87	71	55	64	8.5%
障がい者が安心してくらせるまちづくり	76	68	59	49	6.5%
行政サービスを見直す	82	68	46	48	6.4%
デジタル社会の実現に向けた取組	0	0	30	19	2.5%
その他	42	42	26	26	3.5%
合計	2,864	2,886	2,416	2,103	280.4%

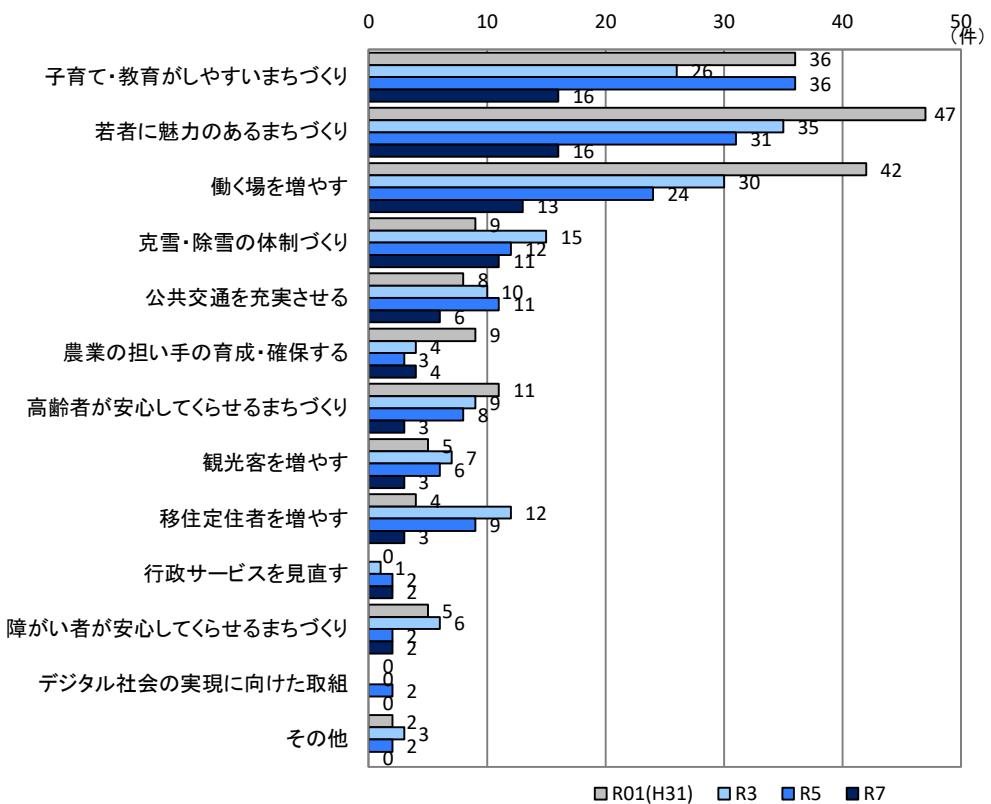


【年齢別集計】

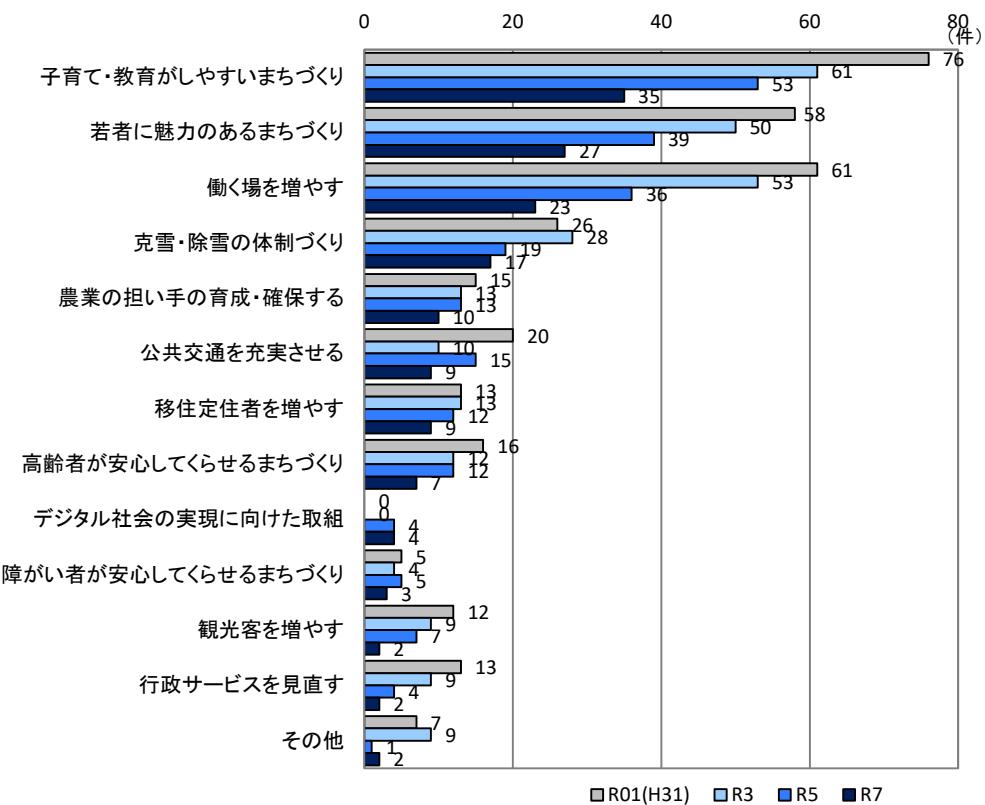
1. 10歳代



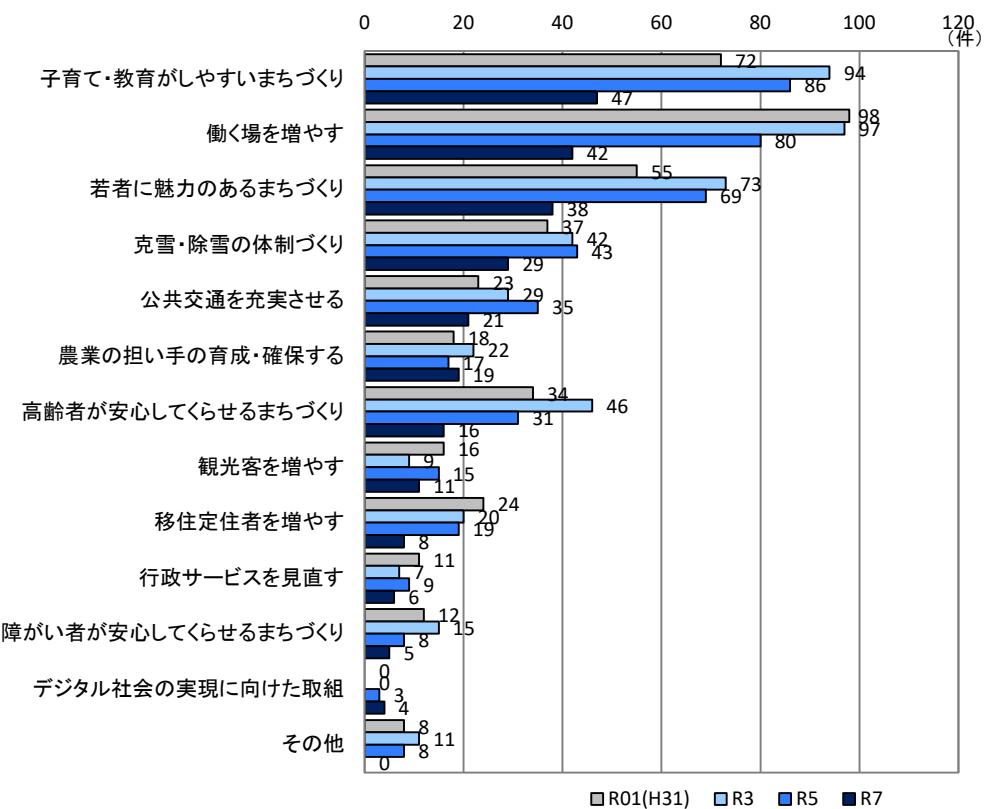
2. 20歳代



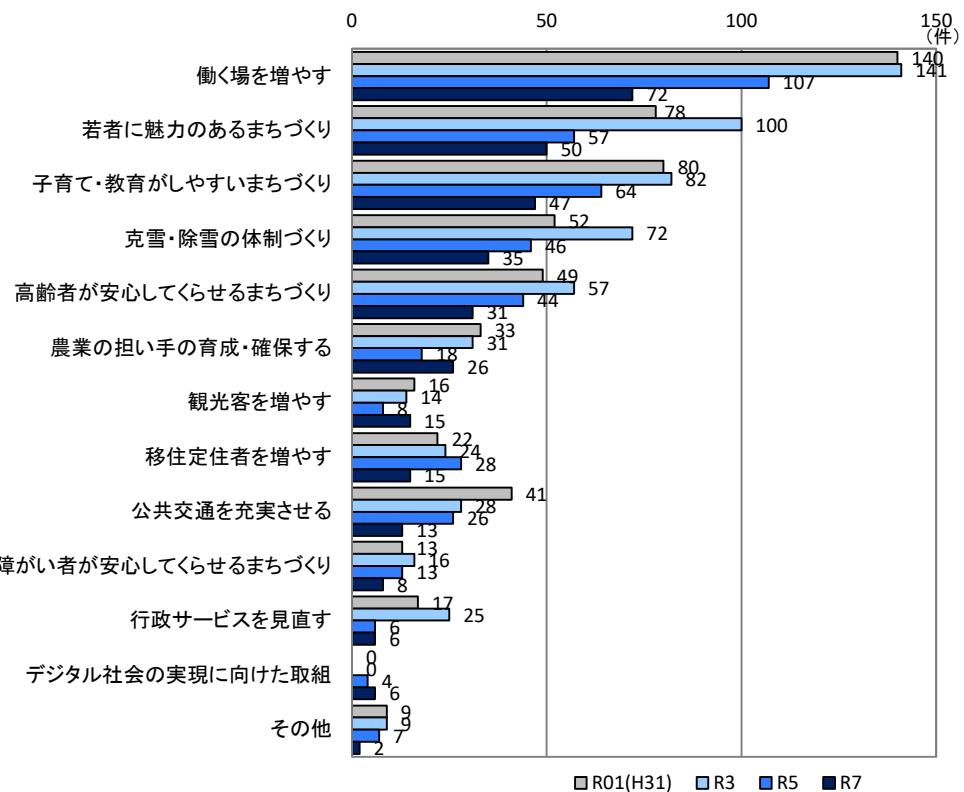
3. 30歳代



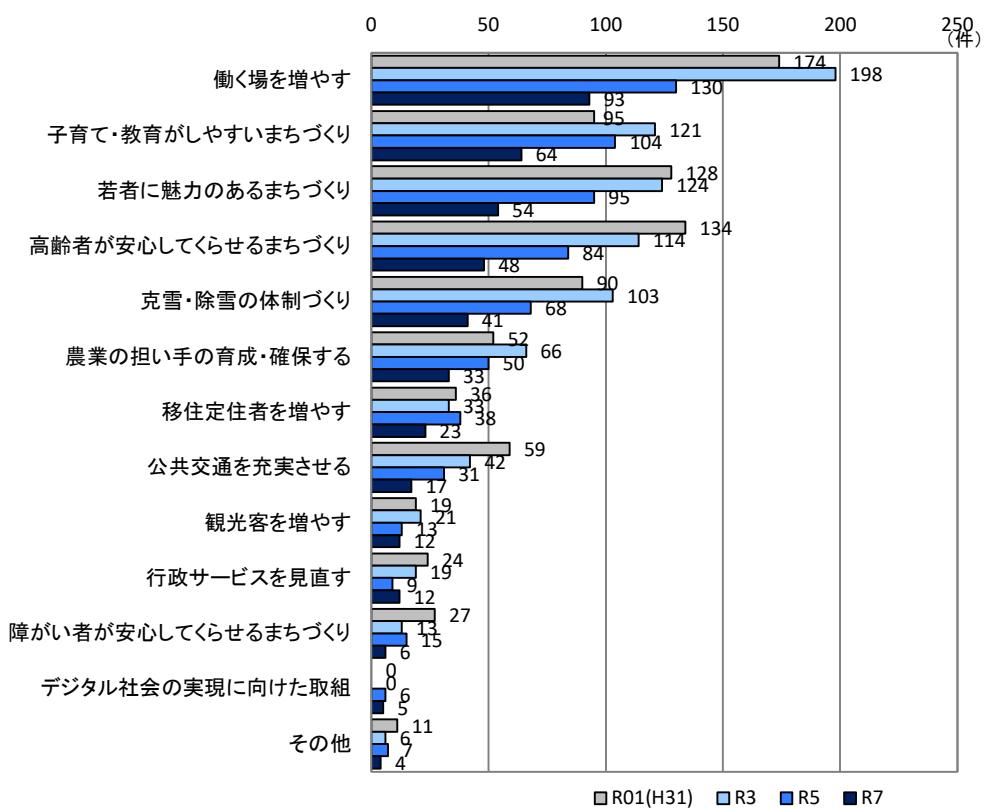
4. 40歳代



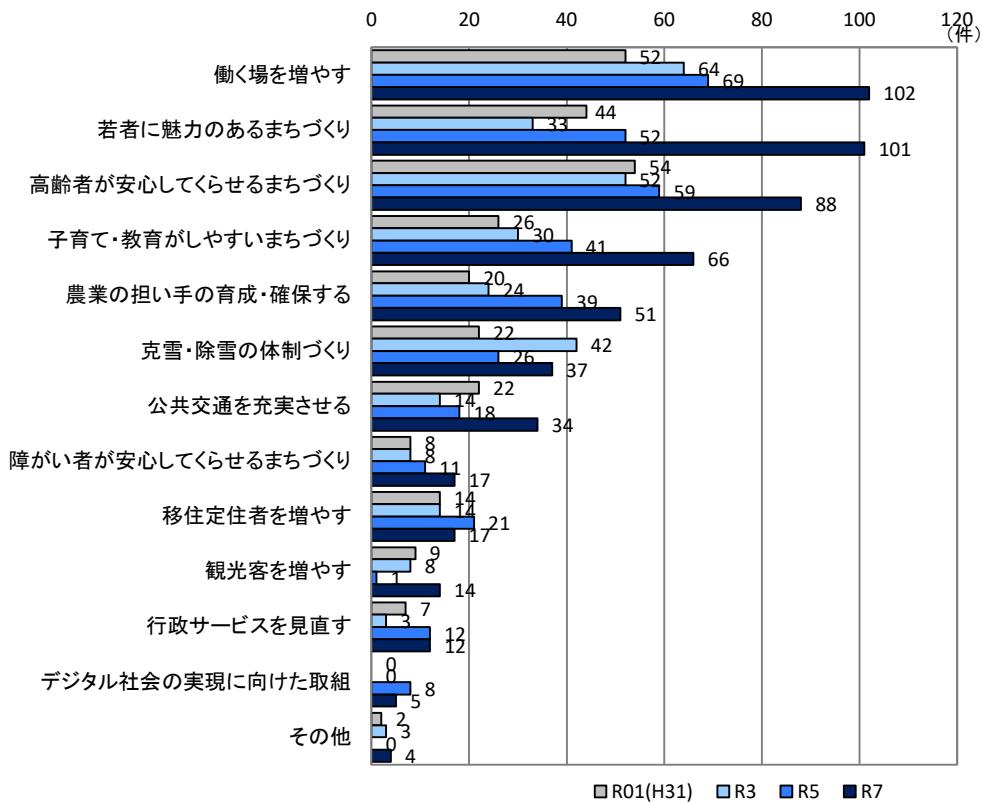
5. 50歳代



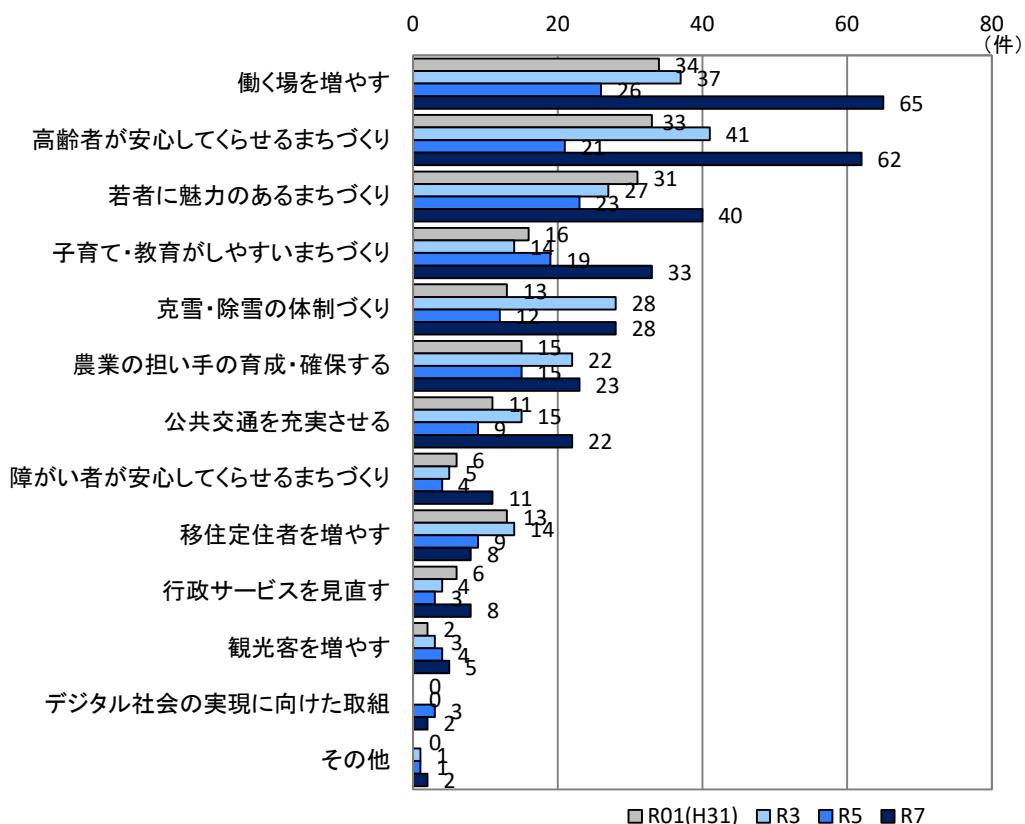
6. 60歳代



7. 70歳代



8. 80歳代



・理由

1. 子育て・教育がしやすいまちづくり【208件】

性別	年代	理由
男性	60代	子ども医療費・保育料・修学旅行費・出産費用等の助成又は無償化。修学資金・奨学金の免除（条件付き）。
女性	50代	子育ての体制が充実することで、出産が増えるかもしれない。
男性	70代	学校がないところに移住者は来ない。
女性	50代	若い世代が増えることにつながる。
男性	70代	子育てがしやすい環境を整え、出生数の増加につなげる。
男性	40代	子育て支援の、充実により、親が、働きやすい環境、整備。
男性	60代	子育て・教育施設及び環境の充実。
女性	20代	小児科を増やしてほしい、救急外来も。
女性	40代	子育てしやすければ生んでみようかなと思う人もいると思う。
男性	70代	人口減少を抑制する一つの手段。
女性	60代	結婚、出産その先の不安を少しでも減らして行かなければ。
男性	60代	子育てがしやすい町なら、若い夫婦が集まり、子供が増える、子供が増えれば人口も増える。
男性	40代	子育て、教育に関するさらなる経済的、時間的負担軽減は必要と考えるから。
女性	60代	都会から環境の良いこちらに移住しやすくするには、教育環境が大切かと…。
女性	40代	子育て・教育が大変だと移住、定住者が減るので。ミスマッチしか起こらない。
女性	40代	子どもを育てやすい町でなければ（住み続けたい町）人口は、増えない。
男性	50代	地方と都会では生まれた時点でスタートラインが違うので教育は大事。
男性	60代	子育てしづらければ定住しないから。
男性	60代	未来の十日町発展には、教育と人材の定着が不可欠。教育に「金」をかけていい現状を自覚してほしい。
女性	70代	若い人は良い事は拡散してくれるのでは！
男性	70代	出産から高校卒業まで無料にする。
女性	70代	子供の遊び場が少ない。
女性	70代	子供は地域で育てるという関係性が大切。
男性	40代	MEG03カードもケチらずにトレ宝も無料にして欲しい。年齢に問わず3人以上は有効にして欲しい。
男性	60代	教育環境の充実は最良の投資と考えるため。
男性	80代	人口問題のいの一番。
男性	40代	小学生でも医療費無償化。子育て中の親へも生活費支援（子の数関係なく）。
男性	20代	若い人を積極的に十日町に住んでもらえるように。
男性	30代	習い事の種類が少ない。
女性	50代	子育て世帯が安心してくらせるまちが必要。
女性	30代	子育てしやすくないと産んでも育てられない。
男性	70代	子育てしにくいまちでは、人口は増えない。
無回答	60代	子育て支援金を充実させて子どもを増やす。
男性	60代	若い人達（家族）に多く住んでもらうため。
女性	70代	若い世代に増えてほしいから。
女性	30代	子育てで魅力のあることをすることが必要。出産したら○才まで○円、給付するなど。

性別	年代	理由
女性	60代	保育、学校、医療費の無料化。
男性	60代	若者の市外流出防止。
男性	70代	子供が多くなる。
男性	30代	子どもが育てやすい環境は移住場所の選定ポイントとしてはかなり高いと思います。子育て世代は生産人口にもあたるため人口増加のメリットが大きいと思います。
男性	40代	子育ての前に既婚者を増やす。
男性	20代	子どもがいなくなれば、どんどん衰退するから。
男性	70代	子供の教育がこれからの中を発展させる。
女性	60代	県立病院が地元にあるのに夜間救急など対応できない診療科がある。産婦人科の停止や廃止があれば若い子育て世代は住めない。
女性	60代	保育園に人数制限があり希望する所に入園できない。
男性	60代	若者の結婚・子育てのため。
女性	80代	人口減少の歯止めになる。
女性	30代	子育て、サポートサービスが分かりにくい。
男性	60代	子供が安心して遊べる場所。
女性	80代	給食費の無償化などもっとできることがあると思う。
女性	80代	市として活気が出てくる。
女性	40代	子供をたくさん産み、育てやすい環境が必要。
女性	70代	担当者の人数を増やしてほしい。
男性	30代	子育て等に不安がある所へはいたくない。
無回答	60代	安心して働ける、住みたい、住み続けられる。
男性	40代	すでに手遅れ。
女性	50代	子供の人口減少がひどい。若者が子育てしやすい町にするべき。
男性	60代	保育が充実して、料金かからず、遠くに引っ越して通勤してた。母は強し。
女性	80代	子供がいなくなるとだめだから。
女性	50代	親が働きながらでも安心して子育てできる環境が必要だと思うから。
男性	50代	出産できる医院を増やす。
女性	70代	地方は教育に疎いと思います。のびのび教育ももっと必要かと。
男性	40代	別の所で暮らす判断材料になりやすいので。
男性	60代	金のかからない子育て環境を。
女性	30代	子育て中ですが、保育園にお金もかかり、なんのために働いているのか分からなくなる。核家族化が進み、母親がホッとできる時が全くない。
女性	30代	もっと気軽に子どもが遊べる場（公園など）が欲しい。
女性	50代	子育てしやすいまちを売りにして人が移住している地域がある。
女性	50代	住みやすい町でないと子供が増えない。
女性	70代	子どもが少なくなつて何とか増やせるようにしてほしい。
男性	70代	産婦人科の病院が少ない。
男性	30代	子供達が遊べる場所（公園など）が他の所とくらべると、少ないように思いますので、もう少しの用な所を作ってもらえたうと良いと思います。
男性	70代	なんでも無料は、おかしい。
男性	60代	子育てが一番大事。
男性	60代	若い世代が定着できる環境が必要。そのための支援を。
女性	30代	十日町病院で分娩できる。第2子からも助成券やMEGO3のような待遇有り。

性別	年代	理由
男性	30代	子供第一。
男性	60代	少子高齢化で子供をたくさん産み育ててもらいたい。
男性	70代	人口減少対策につながる。人材育成の必要がある。
女性	30代	共働きが多いため。
女性	80代	子育てがうまくできないと人口増えない。
女性	60代	子供が大事。
女性	80代	人口の増加。
女性	50代	学校給食無償化など。
男性	80代	子育て、教育、手当の補助。
女性	30代	子育てがしやすければ、人口が増えて若者の比率も上がると思う。
男性	70代	少子化が進行する中で、子育て支援、学校教育の更なる充実を図り、安心して子どもを産み育てられる環境づくりが必要。
男性	50代	出産費用の無償化、高校までの教育費無償化。
女性	70代	保育料の援助を手厚くする。小・中学校の給食費の無料化。
女性	80代	若い人のふたんを少なくする。
女性	50代	各地域の公園が衰退している。どこも草がぼうぼうで遊べる状況でない。
男性	20代	出産育児にはお金がかかり共働きしやすい環境が望ましい。
男性	50代	子育て支援「日本一」をめざし、若者が定住してもらえるようにしてほしい。
男性	30代	出産や子育て・教育に関する費用をもっと安くしてもらいたい。今ままでは若者は子どもを産むことができない。もっと手厚い自治体はほかにもあるし、それならそっちに移住したほうがという考えにもなる。
女性	40代	夫婦共働きでないと暮らしが安定せず、妊娠・出産で働きなくなるリスクを背おい、なおかつ子育てにお金がかかる事を考えると子どもを産まない、もしくは1人にとどめようと思う家が多いと思います。子どもが産まれたら、無償で保育サービスを受けられたり、時短勤務でも働ける職場づくりを推進するなどの取り組みが必要だと思います。
女性	70代	子供達を大切に育てる。
女性	40代	子どもが健全に育たない町は町ではないから。
女性	50代	若い世代が安心して子育てできれば、市外に出ていく必要がない。
女性	30代	支援がもっと充実すれば子どもも増えると思う。
女性	40代	サービスが増えて、負担は減らない。
女性	40代	子供も安心して、あづけられる保育園、学校（小中高）であってほしい。子供のためにも複式学級ではなく、学校の統合をした方がいい。
男性	30代	次世代の担い手を育てる必要性と、子育て世代から選ばれる町が必要。
男性	50代	子育ては行いやすいと思われるが、教育水準としては低いと思われる。図書館の充実などもう少し教育等にも力を入れる必要があると思う。
女性	50代	人が増えると、結婚、子育て、働ければ収入が増える。
男性	60代	今の若い人、移住してくる人が住みやすい環境をつくるため。
男性	50代	子育てがしやすい環境を作り、出産や入学などにお祝金を出など若者にアピールとかしないと人口は増えない。
男性	80代	出産数を増してほしい。
女性	20代	“少子化”というわりに子育て世帯にやさしくない。だから少子化が進む一方だと思う。
女性	30代	子どもたちを守りながら、子育てをする町になるように。

性別	年代	理由
女性	60代	孫達を育てる親達が心にゆとりがもてるよう。
女性	50代	子どもが中・高・大学生になってからの子育て支援が充実していると魅力を感じる。
女性	70代	充実すれば人口増が見込まれるかな？
女性	30代	子育て、教育がしにくいまちで暮らそうと思わないから（特に若い世代）。
女性	60代	土日が休みの大きい会社が必要。
女性	70代	子育てにかかる費用をすべて無料にする。
女性	70代	子育てをしやすく、今の人達は子供を満足に育てれない。3人だと生活に困るのだ。
女性	60代	子育てがしやすいまち（保育や病児保育の充実）でないと若い人たちが住んで、子供を持つことを考えることができない。
女性	70代	子供がどんどん少なくなる事は未来もない。
女性	60代	働く若い親達にとって育児休業をとりやすく、保育園の充実などは、重要な問題だと思います。安心して子供を育てられる制度をつくってほしいです。
女性	50代	学力向上（各教科の先生がたりないため学校合併）。
女性	70代	共稼ぎの子育ての方が増えてくると思う。仕事をやめずに子育てが出来るよう様方な手立てが必要だ。
女性	50代	子育て、教育はこれから若い人材の為に育成は必要。
男性	40代	結婚して、安心して子どもが産める環境、制度が充実していないと、若い人たちが出ていったり、戻って来ないと思う。
男性	40代	若い人への手厚い支援が必要（子供のおむつ無料などすればよい）。
女性	60代	将来の担い手を育てることが重要だと思うから。
女性	70代	子育・教育の充実は、最優先課題。
男性	40代	子供を増やすため。
女性	30代	保育、教育費等が無償化になれば子供を産む人が増えると思う。
男性	30代	次代を担う子どもが住みたいと思うまちづくりが必要。
男性	70代	基本です。
女性	70代	若者がここで働き、結婚をして、子育てが出来る環境づくり。
男性	50代	子供の室内遊び場、発達支援の教室（←就学すると）が足りなくて他の市に移りたくなる。学校にかかるお金を全てもしくは入学祝い金など出してほしい。援助してほしい。子供の医療費助かってます。
男性	70代	当地域の学力低下が著しい。子育てには教育環境の向上が必要。
男性	70代	若者が、定着するには、子育てのしやすさは欠かせない。
男性	60代	子育て教育がしやすくなる為にはまず財源の確保、市民全体の所得を増やさないと子育ても福祉も良くならない。
女性	60代	地元の人にも、（移住定住者を増やす）にも魅力的だと思います。
男性	80代	人が居なければ何も出来ない。
女性	70代	給食費が高い等の声を聞きました。第3子はとても…。
女性	70代	何といっても子どもは宝。しっかりした取り組みをされていると思っています。雪はいっぱい降るけど子育てしやすくてよい所だと自満できる市であるようこれからもお願いします。
女性	60代	安心して子育てができる環境。
男性	50代	子育て、教育に力を入れれば県外からの移住者も増えるはず。
女性	60代	高齢化を防ぐため。

性別	年代	理由
男性	70代	これが出来ていなければ住民はいなくなる。
男性	70代	出産からの子育て費用の補助。
男性	80代	子供の声が聞かれず、さみしい。
女性	70代	子供達育てるには保育、学校は大変良いと思う。
男性	80代	人口減少を遅らせてくれるから。
男性	40代	少子化と言われている中で子育て、教育は大事だと思う。
男性	40代	若い世代が残りたい、住みたいと思うには必要な事だと思う。
女性	40代	子供が楽しめて遊べる所が少なすぎる。
男性	60代	子供がいなくては、後が続かない。
女性	30代	子育てがしやすくないと若者も定住せず、子供も産めないです。人口が増加している所は、子育て支援や教育が充実していると思います。
女性	50代	人口流出を防ぐ為に対策が必要となっていくと思うため。
男性	60代	若い人々、結婚して子育てしやすいことがこの地域に住みたいと考えることにつながる。学校、病院があることが大切。
男性	70代	人口減少・高齢化を解決できうる大事を要素であり根本であると思う。
男性	80代	人口減対策として子育て、教育がしやすい環境づくりが必要。
女性	60代	少子対策というものの安心して子供を産めない。
女性	40代	子育てがしやすい所には移住してくる人もいると思うので、子育て世帯に優しいまちづくりが何よりも大切だと思います。
男性	70代	六日町、長岡の高校に行く人が多い。
男性	30代	人口の再生産のため。
男性	80代	中学校の合併をどうするのか。
女性	70代	何と言っても若さが一番。幼児教育が必要と思いました。
女性	70代	若い人達が安心して子供を生み、子育てできる様な支援が必要。
男性	60代	十日町なら、子育てが良いとかまでの口コミが出るような、対策。昔に比べれば、そうとう充実しているが、働く環境が悪く、その辺の原因があるのでは。
女性	80代	地域の宝、子どもたち、未来に希望を託すために育てる。
女性	80代	将来子供達がこの町を背負って暮らせる町になれる様な基礎作り。
男性	50代	安心した出産、市民のみんなが見守る子育て、教育、早期の小中学校合併。
男性	10代	子育てできないと人口は増えないから。
男性	40代	子どもに良い場所なら住み続ける理由になるので。
女性	50代	自然豊かな町だが、この基盤がないと若い世代は離れていく。
女性	30代	若い世代を増やし、人口減少を少しでも抑えたいからです。安心して若い世代が暮らす為には、安定した収入源が必要だと思います。
男性	40代	まちの担い手を育てることにつながるため。
女性	40代	自分が移住先を探すとしたら、小中高まで、子どもたちが楽しく過ごせる環境かどうかを重視すると思ったからです。
女性	40代	子供が3人以上いないとサービスが受けれない。なぜでしょうか。MEGO3カードは3人以上。1人でも2人でもっとサービスが受けれるようにして欲しい。我が家は上が19歳になったので関係ないですが、子供2人いてもなんのサービスも受けれなかった。なぜなんでしょうか。税金だけ取られて。
男性	20代	少子高齢化が進んでいるから。
男性	40代	人口増加に直結する問題であり、子育て、教育がしやすいまちで育った子どもたちが地元に残ることが考えられる。

性別	年代	理由
男性	70代	安心して働くから。
男性	20代	少子化解消に向け、安心して子育てできる環境づくりが必要。
男性	50代	そう思ったから。
男性	20代	出生率が下がってるから、子供を産みやすい、育てやすい街にしたいから。
男性	50代	教育機関の充実なきところに人は住まないから。
女性	40代	子育てしやすい環境がないと人口が増えないから。
男性	50代	子供が育てやすいと、若い人が集まり、街に活気が出るから。
女性	30代	十日町病院で分娩ができないと、出生数の増加には絶対につながらない。安心して産み育てられる環境が必要だと思う。
男性	40代	人口増加に繋がるから。
女性	40代	子育てしやすい環境であれば若い人たちの定住につながると思います。
女性	40代	子どもが生まれなければ人口が減る一方だから。
男性	40代	どの家庭も安心して子育てが出来る環境が大切だと感じます。
男性	30代	教育、こども達へ投資をしないことは、町の衰退に直轄するから。
男性	30代	子どもへの支援を充実させ、少子高齢化を食い止めるために一番必要と思う。
女性	20代	子育てのしやすさが定住につながると考えるから。
女性	30代	子供が居なければ地域が育っていかないから。
男性	60代	他の市町村から住みたくなるような子育て支援があれば良い。
男性	50代	子育てしやすい施設が少ない。
男性	40代	子育てがしにくかったら他の自治体に行く。
男性	40代	子供用品を買い物できる場所が少ない。
女性	30代	子育て世代への支援を手厚くし、働きながら安心して子育てできる環境を整えることが重要。
女性	30代	少子高齢化対策には欠かせない要素だと思う。
女性	30代	他の地区の子育て支援を見てみると十日町市よりも手厚いため。
男性	50代	子育て世代の移住促進のため。
女性	20代	自分にとって子育てしやすいかどうかが住み続けたい理由で重要だったから。
男性	40代	子育て支援の拡充、報奨金の増額。
女性	30代	未来の希望は子供の数にあると思うから。
男性	60代	子供がたくさんいなければならない。
男性	20代	子育てしやすいと感じなければ若者はそこで暮らそうとは思わないため。
女性	60代	自然を思いっきり利用した特徴ある子育てや特化した学力をレベルアップさせ、伸びやかな力強い子供達が育つ町なら、魅力を感じると思う！若い人が集まる。
男性	20代	出生率が年々減少しているから。小学校のクラスで少人数なのはあまりにも可哀想。人口増加が見込めないのであれば、学校の統合を早急にするべき。
女性	40代	人口減少をくい止めるため。
男性	40代	子どもがいなければ活力がうまれない。

2. 障がい者が安心してくらせるまちづくり【27件】

性別	年代	理由
男性	70代	安心してくらせるまちであれば人口流出が防げるとと思うし、移住定住者も増えると思う。

性別	年代	理由
男性	80代	核家族化が進む中グループホームの充実を望む。
女性	50代	いつもお世話になっています。親切な対応感謝です。
女性	10代	障がい者かんけいの施設が少ない。
男性	70代	働く所が無ければ若人がいなくなる。
女性	50代	家族に障がい者がいます。それを見ている家族の仕事が制限されています。障がいの程度でサービスが利用出来ないなど、諦めもあります。それぞれの困り事はあると思いますので、福祉サービスの充実と、気軽に相談出来る窓口があるといいです。
女性	70代	担当者の人数を増やしてほしい。
女性	70代	日常的に障害のある方との接点がないことが、安心して暮らせる町作りを阻んでいると思う。
女性	40代	自分が障がい者だから。
男性	70代	障がい者に教えない（金を出さない事に一生懸命）。
男性	80代	高額所得者や、低所得者、障がい者などを差別しない事。
男性	50代	人口の割合に対する障がい者が増加しているとみられるから。
男性	70代	生活弱者にやさしい町づくりをやってほしい。
女性	70代	若者が外に出でていかない様に企業を誘致して働く場所を作る。
男性	50代	障がい者の賃金が安すぎる。
男性	30代	グループホームを増やしてほしい。
女性	60代	弱者に優しい、まちづくりにイベントなどを通じて多くの人が関わり意識付けすることも大切かもしれません。
男性	80代	人を育てなければ農業は衰退する。
女性	70代	弱者にとって、頼れる市政を期待します。
男性	80代	命の問題だから。
男性	70代	障がい者がもつとたのしく動く場を増やす。
女性	70代	障がい者がいるので…。
女性	40代	ユニバーサルデザインをたくさん取り入れる（商業施設や企業等）。
男性	50代	そう思ったから。
男性	40代	色々な人が生活出来る街を目指したい。
女性	50代	私自身も障害者認定（等級4）ですが、まだまだ優先駐車場が少なく買い物するにも苦労が絶えません。
女性	30代	自身が障害者だから。

3. 高齢者が安心してくらせるまちづくり【147件】

性別	年代	理由
男性	50代	医療費等、社会保障費の削減が必要。
女性	80代	自分達が高齢だから。
女性	60代	高齢者が増えるのは避けられないことですから、運転をやめた高齢者が元気に外出で楽しめるよう、気軽に使える公共交通機関が必要です。
女性	50代	高齢化が進んでいるためである。
男性	80代	今冬のドカ雪の対策。
男性	70代	施設に待たずに入れる。

性別	年代	理由
男性	60代	高齢化が進んで、IターンUターンなどの支援が必要に思う。
男性	40代	社会的弱者とその家族に照点を合わせることにより、全世代が安心して暮らせるまちになるから（医療・保健・福祉の充実、安全第一のインフラ整備、交通弱者の補完）。
男性	80代	免許返納後に電動アシスト自転車、シニアカー、公共交通機関、タクシー等に補助を出す。
女性	70代	少子化より高齢者が多いのだから集まれる場所等考えてほしい。
男性	70代	看護施設の推進。
女性	70代	住民が安心してくらせるまちづくり。
男性	80代	高齢者の一人暮らしが多く不安。
女性	40代	介護施設を増やす（特養）。住所が十日町になるので。
男性	70代	施設が少ない。有料施設をもっと作るべき。
女性	60代	子どもへの支援は手あついのに高齢者への支援には問題を感じる。
女性	70代	おしゃべりが出来る場所がほしいですね。
女性	60代	高齢者の一人暮らしが増えている。一人でも安心してくらせる町づくりをしてほしい。
女性	70代	ずっと働き、地域に貢献してくれて、年を重ねて、本当に安心して暮らしてほしいと思います。
女性	80代	高齢者が安心してくらせるような町作り。
男性	70代	スポーツ等への支援（ゴルフ大幅に値引き等）。
女性	70代	高齢者をもう少し活用の場を。
女性	40代	不安があると安心して暮らす事ができない。子や孫がその姿をみている。
女性	60代	住宅の固定資産税の無料化（高齢者世帯）。
男性	50代	高齢者だけの住民が増加している現状を把握し、西口料金でケアや施設に入居できる体制が必要。
女性	80代	私は高齢者です。援助を受けながら施設で生活しています。動けなくなつてからの人生が長くならないと良いと思いますが心配です。
女性	70代	自分が高齢になり気になります。
男性	60代	高齢者が定年後に市外へ転居するのを防止するため。
女性	50代	山間地にサービスが行き届きにくい、制限がある。
女性	80代	老人ホーム少ないし、年金が少なくて、食べるのがやつと。
男性	60代	高齢者のための施設の充実。冬の為の高齢者の支援の拡大。
男性	70代	自分が高齢者であるため。
女性	70代	年金で入れる施設の整備を。
女性	60代	屋根の心配なく暮らせるには、どうしたらよいのか？高齢者はお金をかけられない。
女性	40代	高齢者が多いので対応必須。
女性	70代	担当者の人数を増やしてほしい。
女性	30代	おじいさんおばあさん達が安心安全に暮らせることが一番大切なので。
女性	60代	仕事をやめた後の生活が心配です。
無回答	60代	地域資源を生かせる、住みたい、住み続けられる。
女性	70代	高齢者から税金取りすぎと思う。
女性	50代	車の運転が出来なくなった高齢者の自由な移動手段の確保が重要だと思うから。
男性	70代	高齢者が増加（ふえる）ので安心してくらせる町作りが必要。

性別	年代	理由
女性	40代	高齢者の方が多いと思うから。
女性	40代	介護保険で利用できるサービスの拡大希望。
男性	70代	高齢者等が安心して住める十日町市に！
女性	70代	老人の一人家庭が多くなっているのでもっとコミュニティがとれる場が欲しい。
男性	50代	高齢になり車に乗れなくなったら。バスも1日数本しかない。
女性	50代	介護のために仕事を辞めなくてはいけなくなった場合の支援金など、年金受給までの手当等を考えていただきたい。
男性	70代	福祉がお金を出さないように利用できることを教えない。
男性	80代	現状から見て、対策を絶対に必要だから。
女性	70代	福祉施設に入りやすいように。
男性	80代	高齢者が安心して暮らせるように。
男性	70代	人生100年時代。
男性	60代	高齢化の実情に合った対応が必要。
男性	60代	1人高齢世帯が増えていて福祉サービスの充実が必要だから。
女性	30代	高齢者が多いため。
女性	50代	単身や高齢のみ世帯になっても、サービスを使いながらここで暮らせる体制づくり。
女性	70代	高齢者が安心して暮らす事は、介護者も元気でいられる様にする手立て。
女性	80代	高齢者の自律。
女性	50代	サービス（無償）を増やす。
男性	70代	高齢者の入居施設が余りにも不十分である。市外や県外に頼らざるを得ない現状は危機的なものと言える。改善を！
男性	50代	高齢者が車の運転をしなくとも良い町づくり。
男性	70代	無料バス巡回（車が無い、免許がない、為に）情報館、博物館）等の巡回。
女性	40代	病院が少なく、行っても待ち時間が長いです。病院数が多くなると安心して暮らせます。
女性	70代	施設利用（介護）となった時、市内の施設に入所の出来る様に願います。
男性	70代	地域で助け合える自助共助の和を広げる。
男性	70代	国民年金者でも入れる老人ホームがほしい。
女性	80代	老人施設の充実。
女性	70代	1人暮らしの高齢者が多いと思います。楽しくお茶飲み出来る建物が欲しい。
男性	70代	年寄りが、安心できるのは、医療の充実。
女性	50代	十日町市に住み続けたいと思っていても、高齢になり、車の運転ができなくなつた時の病院受診と買物が心配。
女性	20代	施設がたくさんあってもそこで働く職員の人数が少なく、負担が大きいため、安心してくらすためにも、人材確保や福利厚生を整えてほしいため。
女性	50代	外国人受入れは反対。治安の悪化、税金無駄使いにつながる。
男性	50代	入院施設が少ない。なかなか年寄りの面倒等を見ていられない人などが高齢者をあずけられる施設等も不足しているように思われる。
女性	70代	デジタル社会に向きすぎても？
男性	80代	高齢者は、必ず多くなる。その前に手を打つべき。体勢を整えておくべき。
男性	70代	70歳と高齢だが、不安ばかりで安心できない。
女性	60代	老夫婦2人の家が多く今後の町内の役割が出来るかどうか。
女性	80代	自分が高齢者なので…。

性別	年代	理由
女性	80代	高齢者の福祉。
女性	30代	車がないと生活が難しい。大雪の時の高齢者のみの世帯が大変なので。
男性	80代	私の地域の民生委員は一度も高齢者宅を回って来ない。他の地域の人たちに聞くと月に1回位回わると言われた。私も後期高齢者になって、足、腰が弱って今後屋根雪を片付けるのが心配です。市の何課に相談したら良いか分からず。前の民生委員は月に1~2回位回って来て困った事がないかと聞いてくれた。民生委員が他の地域では聞いて市の方に申請してくれていると言われました。
女性	70代	近くにスーパーなどがないと車がないと生活できない。
女性	50代	高齢者が増えているのに、バス・電車の本数が少なく、通院等で家族が送迎。仕事を休み、給料は減る。わかりますか？不満です。
女性	60代	免許証を返納しても、変わらず生活ができる体制。
女性	60代	道路の歩道が必要。
女性	80代	1人暮らしで安心してくらせるよう、見まわり等をして欲しい。
女性	70代	若者が楽しめる、家族づれが集まって楽しめる場所を作る。
男性	80代	高齢者で運転出来なくなった場合、冬場の買物等の場合、苦労する。
男性	70代	高齢者を狙った事件に遭わないために、老人対象のPRをお願いしたい。
男性	70代	夜間急病や突発的な事案が発生した場合タクシーなど運用されていない地域という事が聞かされている現状です。こうした市民の小さな問題に対処していく事で高齢者の安心につながるのではと考えます（救急車を要請する必要がない場合）。
男性	80代	子供達は他県に行っているので後は老々介護になるのかな。
女性	60代	免許の返納の為買物がいちばんの問題になるので乗り物など必要。
女性	60代	今、夫婦2人での生活で、若手がいなく、特に冬の雪堀りが先々心配です。
女性	60代	自分はもう高齢者になろうとしているので。
女性	70代	年をとて、認知症になった場合、地元に、高齢者施設が足りず、群馬の施設へ行く人が多いことを聞いて不安になる。
男性	30代	インターネットが、使えないとか…。
女性	80代	一人暮らしの高齢者が多く、不安をなくし人との交流必要。
男性	60代	高齢になるにつれ、生活環境のデジタル化についてゆけず、不安です。
女性	30代	高齢の方が、多い町なのに、支援が充実していないと思う。
男性	80代	人が生きていくには、健康第1、それには毎日の食事が第一。空き時間がいっぱいある中で、仲間で畠野菜作りに取り組む事。
女性	70代	福祉の充実。
女性	70代	77才の自身の目の前の問題だから。
女性	80代	自分がその年齢になっているから。
女性	50代	1人暮らしの方が増え、買い物難民の高齢者も多いので、サポートが必要だと思います。
女性	70代	高齢者の気楽に集まる居場所がほしい。
男性	80代	仕事が無ければ若者は居なくなる。人が居なくなれば町は死ぬ。
女性	80代	高齢者が安心してくらせるまちづくり。体力を鍛え、免疫力を付け老若男女の交流を計りスポーツ等では賞品を出し定期的に競技をして期待とその日をたのしみに頑張る。
女性	60代	住みなれた十日町で安心してくらしていける。
女性	60代	高齢者が最後まで地元で過ごされる事が大事。

性別	年代	理由
女性	70代	自身も、高齢者となり、この先安心して年を重ねたいです。
女性	70代	高齢者が楽しめる場所。
男性	70代	交通手段が少ない、若者がいない等1人暮らしが多くなる。
無回答	80代	市内の介護施設に入りたくも入れない現状、群馬県等他県に行かず今まで生活していた所（十日町）で生きてゆきたい。
女性	70代	高齢者が近くに体をきたえたりする所が月4、5回あると良い。
女性	60代	年を重ねる上で安心してくらしたい。
女性	70代	近所で声かけ、見配り気配りが大切かと思う。
女性	70代	福祉施設の充実。
女性	70代	隣近所の行きき交流が少ない。
女性	70代	人生100年時代に次世代のパワーをプラス。
女性	50代	人口流出を防ぐ為に対策が必要となっていくと思うため。
女性	70代	高齢者が群馬県の施設に行かなくても良いように増やして下さい。
女性	60代	市内を見ても老人ばかりです。高齢者がもっと元気に過ごせるように運動やレクレーションの充実を計ってほしいです。
女性	70代	病院など便利な所が多くあると良い。
女性	70代	車の運転ができなくなると生活できません。買い物の通院などで、乗り合いタクシーみたいのがあるといいかな。
女性	70代	高齢化が進んでいるので。
女性	80代	高齢者になると車に乗れなくなるため。
女性	80代	元気で達者がなにより、個人で日々楽しみを持ち、健康（食事、運動、睡眠、仲間とのつどい等に参加すること。
男性	70代	高齢者が1人1人孤立して、他の人の交流が少ない。
女性	60代	近くに歩いて買物できる店もなく、いずれ車に乗れなくなった時を考えられない。
男性	80代	バスの回数もへり、買い物が不便。
女性	50代	十日町の高齢化は待ったなしです。税金払ってるからサービスを使うのが当たり前ではなく、介護を受けずいかに自立するか、高齢者・支援者共に考えるべき。
女性	70代	高齢者が気楽に集まれる場所がほしいと思います。
女性	60代	子育て支援はかなり充実している反面、高齢者への支援がもう少し手厚くなったら安心してくらせると思います。
女性	80代	高齢者、どこにも行かれない。この地で終末を迎えるために。
男性	50代	健康のみではなく、生きがいを充実させる。
男性	40代	生涯定住をイメージしやすくなるため。
女性	80代	少子化の時代、高齢者のための施設等を増やす。
女性	40代	車がないと買い物するのに大変なのに 乗合タクシー等で高齢者が安心して暮らせるとは思わない。
男性	50代	入所施設の慢性的な不足。
男性	50代	自分が高齢者と呼ばれ一人で暮らすようになったら不安しかない。
女性	20代	健康面や経済面等で支援を要する高齢者が増えることが予想されるため。
男性	50代	そう思ったから。
男性	50代	冬場の除雪の事を考えるとから歳をとるごとに心配になります。
男性	60代	労働力は若者だけでなく高齢者を活用した施策で収入のある高齢者が年金以外の収入で消費が拡大するようなまちづくりを願います。

性別	年代	理由
女性	50代	老人家庭で送迎してくれる家族がなく、やむを得ず、車を運転し、事故を起こしてしまう状況、買い物や受診等に、利用できる乗合タクシー等をけんとうしてもらいたい。
男性	40代	介護タクシー等の設備強化、増台。

4. 観光客を増やす【46 件】

性別	年代	理由
男性	60代	映画やドラマの誘致。
女性	60代	観光客を増やすことで、町に活気が生まれ、高齢者にも刺激になります。
女性	40代	そうするには観光客（通年）を増やす必要がある。せっかく雪が降る豪雪地帯なのに、冬の観光客がぐっと減る。
女性	70代	雪の十日町だった雪まつりもなく観光客を増やす目玉がない。
男性	60代	どこからでも行きたいと思う町になるように。
男性	60代	人が集まればおのずと町の魅力が増す。
女性	50代	町中には同じコンビニ、薬局ばかり増えこんなに必要ですか？また来たいと思う物が全くない。
女性	20代	清津峡から十日町市内に観光客を呼び込み、お金を使ってもらうことが必要だと思う。
女性	70代	免許を返納した場合、病院、買物の補取はないのか。
男性	50代	大地の芸術祭は成功。維持と向上に更なる知恵が必要。山・川の自然を使った魅力ある町づくりが必要。
女性	50代	大地の芸術祭をもっと活かし、観光客を増やし活性化。
男性	40代	観光客が増えれば所得も増え税収も増える。
男性	50代	雪まつりの縮小などで、観光イメージの減少。
女性	70代	スーパーの買い物後に楽しめる所があれば。
男性	70代	大規模で良質のスキーム。
女性	60代	SNS活用（地域独自のイベントや特産品を積極的に発信する）。
女性	70代	芸術祭は1度まわればもう興味はない（遠すぎる）。
女性	70代	段十ろうに若者向きの歌手を呼ぶ。歌舞伎等も。
男性	70代	観光スポットの開発（食、見る、歩く）。上野、仁田等。
女性	50代	小布施にあって十日町にないものは何なのだろう。
男性	50代	ただし大地の芸術祭に頼りすぎ。
男性	40代	イベントやコンサートなどで、観光客を増やす。
女性	80代	大地の芸術も活用する。
女性	70代	すばらしい十日町にしてほしいです。
女性	70代	どれをということなく、みんな繋がっていると思います。人だと思いますので、きっかけがあれば意識の同じ人達が集まって、行動して繋がって働く場・仲間になれるよう、魅力ある町づくり。
女性	40代	観光客を増やせば、飲食店や街の発展につながると思う。そこから町に定住したいと思ってもらいたい。
男性	50代	外貨の獲得。
男性	50代	県外または、国内外から観光客多数にぎわいを見せたい。

性別	年代	理由
男性	70代	地場産業の衰退が進む中で、観光客に妻有地域の良さを強力に発信して消費して頂きたい。
女性	70代	観光客が来るようになれば、十日町にもぎやかになる。
男性	80代	わずかでも地元の経済のため。
女性	30代	十日町を知ってもらい、十日町でお金を使うようにして、経済をまわす必要があると思います。
女性	60代	雪まつりは町内ごとに雪像を作るとかもっと市民が参加できるようにして下さい。きもの祭りは現代のきもののファッションショー（リメイクではなく）など十日町の着物をアピールしてほしい。
男性	40代	外からのお金を稼ぐのは重要。ただし適度に。
男性	50代	大地の芸術祭など地域全体をまき込んだイベントは良いがやはり自然や芸術に興味がない人でも来地する観光がほしい。
女性	60代	大地の芸術祭では観光客が多く活気があります。他にも観光の目玉があれば更に活気づくと思います。
女性	50代	県内外から観光客に来てもらい町を活性化させ、十日町移住につなげる。
男性	60代	魅力的な観光地を開拓すべき。
男性	50代	大地の芸術祭だけでなく一年を通して集客出来る町作りが必要。
女性	40代	人が集まれば地域が賑わうから。市外県外からの観光客だけでなく、市内でのイベント特に食や買い物などのイベントに市内の人人が集まるだけでも活性化と思う。
女性	10代	十日町の魅力を色んな人に知って欲しいから。
女性	20代	十日町市でお金を使ってもらうこと地域活性のために大切だと考えるから。
男性	40代	もっと日帰り温泉を推して良いと思います。
男性	50代	アピール不足と感じる。
男性	40代	魅力のある町にしないと観光客も来ず、人口も減り衰退しかない町になるので、日中、夜闇わらず人が出歩いてる町になってほしい。
男性	10代	昨今ますます都会に人が集まる状況になっているため、自然を求めて訪れる人がいると思うから。

5. 農業の担い手の育成・確保する【124 件】

性別	年代	理由
女性	60代	高齢者ばかりでなく、若者が農業に魅力を感じるシステムを作る。
男性	40代	米からはじまりおいしいものがたくさんあるので生産から加工、販売まで若者がかせげる農業のシステム作りをして育成をはかればよいのでは。
男性	80代	農業で生活するのは無理。
男性	70代	区画整備ができないなら、農道の整備軽トラックが通る道。
女性	60代	個人でも農業法人でもしっかり生産安定した利益があれば人材定着活気がでる。
男性	40代	将来的に食に関する仕事は重要度を増すと考えるため。
男性	80代	農道と水路を見て回る。
男性	70代	新規就農者や農業者への支援活性化。
男性	60代	みんなでこの土地を利用して農業だけではない、花や公園など魅力ある町づくりをすべき。
男性	40代	米農家の補助金などの対策をしなければ、10年後の未来はない。
無回答	60代	農業の法人化。
女性	70代	食料の自給率を高めるという観点と若者の雇用確保。
女性	40代	米どころなのに農業する人が減っている様に感じる。
女性	60代	若い人たちも働く場所がなければ結婚子育てを考えることができない。
女性	50代	農業に興味のある若者はいると思います。もっと上手にPRしたり昔ながらの考え方を押しつけないで農業従事者も色々な意見をとり入れてもらいたい。
女性	70代	この十日町で農業を大事にして行ってもらいたいと思います。
男性	60代	法人化を進め効率のいい体制をつくる。
男性	60代	農地を維持するため。
女性	70代	令和の米騒動みたいなのは困るから。
女性	40代	耕作放棄地を活かす。地元ブランドの開発など、次の施策を。
女性	30代	年々担い手が減少しているから。
男性	70代	世帯収入が上るような、職場がなければ、全ての解決につながらない。
女性	50代	高齢化が進んでいるため、必須。
女性	80代	食糧自給率を上げた方がよい。
男性	50代	中山間地の非農耕地問題、平場でも進むのでは…。
男性	60代	まず食べる物の確保。安全面から考えても自給自足。
女性	60代	米問題が大きなことから、担い手をどうするか。
女性	70代	自分で自分の食をまかなうことができれば、どこでも暮らして行くことができると思えるのではないか。
女性	30代	新潟の大切な食文化を絶やさないでいって欲しいから。
女性	50代	農家の高齢化が目立つため。
女性	60代	外国に頼らず、この土地で作った作物を食べたい。
男性	60代	年収が低く、なかなか若い人がつかない。
男性	40代	すでに手遅れ。
男性	60代	農作物生産企業（会社）参入。
女性	80代	食は大事。
女性	80代	農業所得者（特に稻作）の収入を増やしてあげて！！
女性	50代	農家の後継者がいない。高齢化がすすんでいる。
女性	70代	米の高騰となっても農家はうるおってないから。

性別	年代	理由
男性	80代	地域の特色であり、これを守る必要がある。
男性	60代	私は兼業農家ですが、子供たちは、都会で生活しているので、後を継ぐ事もありません。今後田畠の基盤整備を行政で行い、だれでも作れる田畠にしてもらえば幸いです。
女性	30代	サラリーマンスタイル農業、農業学校開校。
男性	70代	農業は大切な産業。
男性	70代	耕作放棄地が出ないようにすることが大切である。自然災害防止にも。
男性	60代	自給自足は農業の基本だから。
女性	60代	自給自足が大事。
女性	60代	この十日町の地に遠い昔から受け継がれて来た農業をなくす事は出来ないと思うし、ましてやこれからからの食を考えれば大切な分野にちがいない。
女性	40代	魚沼というブランド、豊かな自然、農業は頑張れる分野。
男性	60代	休耕田他、ダメな、象徴が目立ちすぎです。
女性	70代	農業は育成は大切。どうしたら良いかわからないが、大変ですが楽しくて良かったと思われること！
男性	70代	高齢化による田畠の荒廃を防止。
男性	60代	国際競争力のある農産物をスマート農業で生産、日本一若い生産者年齢、日本一安い、日本一の生産量、何かで日本一になれば話題になり人口も増えると思う。
女性	70代	高齢者がスピード化している。若い農業者即確保して欲しい。
男性	20代	代々の田んぼはあるものの働きながらでは体が休まる暇がない。
男性	70代	農家を継ぐものがいなくなり、集落の維持が、できなくなってきたている。
男性	60代	楽しくて、儲かる農業になればいい。
女性	50代	高齢化、資材の高騰・担い手不足で耕作をやめる人が増えている。地域資源を活用しないのはもったいない。
女性	70代	美味しい農産物を作ってもらいたい。
女性	50代	新しい農業（スマート農業）への移行。
女性	20代	農家の高齢化がすすみ、農業をやめる所が増えているため、農業の魅力を発信し、興味をもってもらうことから始めることが必要。
女性	40代	1次産業は基本なのだから、誰かではなく、自分の分くらいは自分で何とかするくらいの気持ちをもつ。
女性	70代	担い手不在。近いうちに離農する。
女性	50代	農業家も高齢になり、若者の育成が必須となる。高額な機械代を補助、修理の補助など必要。
女性	70代	働きやすい、賃金など取り組んでほしい。市からの補助必要。
女性	60代	旧来ではある主産業を担保していく為には必須。
女性	70代	米不足がさわがれているけど田んぼは多くあるのに植えてない所が多い。
女性	60代	どのような政策をしたらよいかわからないが高齢化していることは確かなので、重要課題ではないかと思う。
男性	70代	農家の高齢化が進み農業の担い手がいない。
男性	60代	休眠農地を活用する方法を考えるにあたり、若者の働く場に続していくのではないか？若い女性の農業にたずさわっている現状をもっと広く、アピールしてもよいのでは？どこに軸足をおくのか？観光と農業の両輪でいくのかを方向性として打ち出した方がよいではないか？
男性	20代	継ぐ人がいないと町が衰退していく。

性別	年代	理由
女性	70代	今、問題の米作り、何しろ後継者がいない。
女性	70代	農業は廃業してもすぐに再開する事はむずかしい。まずは食を守るべき。
女性	50代	農業だけでも暮らしていける収入が必要（補助）。
男性	40代	後継ぎが、県内外に出ていくと、親が所有する田んぼが後々、やっかいになる。農作物も、自分で育ててやるとか若い人は仕事しているとなかなかできないと思う。何かしらの補助や制度が必要。
男性	40代	農業離れを防ぐため。
女性	70代	若者が農業に魅力を持つてもらえるように…。具体策の考えは、もっていませんが…。
女性	80代	若者が農業を嫌がっているから。
女性	50代	農業全体の人手は減少傾向にあるようですが、農業に興味をもつ若者が増えているそうなので、全国に呼びかけて、市をあげて就農のサポートをしていけば、移住者も多くなるのではないかと思う。
女性	30代	やっぱり十日町の強みを活かすため！
男性	60代	農業の担い手の育成・確保には前で書いたのと同じく財源を確保した上で機械の補助。
女性	60代	今後の食料問題にも密接に関わる大切な課題だと思います。
女性	70代	荒れた土地が多い。
女性	70代	高齢になり耕作できなくなった田んぼが人家のすぐそばでも見られるようになりました。米不足の今、荒れないうちに何とかならないものでしょうか。
男性	50代	県外で農業をやりたい人達は思った以上に多いみたいです。
女性	70代	米のことが話題になっていますが、とても大事な事と考えます。
女性	60代	土地はあるのにもったいない（雑草が生えている田）。
男性	80代	若人が住みやすいように。
無回答	80代	現在の米不足に関して、農業のない手をしっかり育て上げ米を買いとる中間だけがもうける事だけはやめてほしい。
男性	80代	米の生産の魅力を伝え、信濃川沿のこしひかりがいかに他と比べておいしいか…。
女性	70代	今後農業大事になる、食べものがいちばん大事。
男性	70代	高齢化が進み担い手不足が心配している。
女性	60代	このままでは、十日町の農業人口は減る一方。なんとかしなければなりません。
男性	40代	農業は食べて行くのに大事だから。
男性	40代	十日町だけの事ではなく全国的に取組むべき内容と考える・6番に通ずる事にもなる・地域の強みは守るべき。
男性	60代	農業ができる環境にある事を有効に活かす。
男性	50代	若い人でも農業で生計が立てられる様になれば定住し人口が増えるのでは。
男性	60代	企業委託、担い手の高齢化。
女性	70代	収入が少なく、重労働、これを何とかする様に！！
男性	60代	米づくりを支援し、米の増産と若い人をつなげる支援をする。米不足で国民が食べられない危機を救うため。
女性	70代	農業は必要な産業だから。
男性	80代	今以上の放棄地を増やさない事が必要。
女性	70代	現在の米問題、その他の食料品が輸入にたよっているのが不安。
男性	70代	耕地の集約化、魅力ある労働環境、設備費の軽減。

性別	年代	理由
男性	30代	市内中心地より外側の農地をうまく活用。高齢の方々の技術継承は最重要事項なので、農業（土木）で生きる為の術を今、在住の人間が学ぶべき。
男性	50代	人材不足？
男性	80代	安心して農業経営が出来るように。
女性	50代	これだけ農地があるのに活用できていないのが残念。農業体験、人気の住み込み農業などに力を入れてみては？？
女性	80代	大地を大切に有効活用。米作り、大切に、食の保障。
男性	70代	農業は、国の基、農業が衰退したら十日町市も発展が望めない。
女性	40代	今後、食料自給率を上げていく喫緊の課題と考えます。若い世代の就農希望者が、集まらなければ、先細りが目に見えており、焦ります。
男性	50代	田んぼを持っているが45才でUターンした時にトラクター等の価格があまりにも高く個人では持続できないと感じた。法人などで若い世代の人が始め易い環境になればと思う。
男性	50代	若い人の定着。
男性	50代	後継者が不足して、基幹産業である農業が衰退することがないようにしてほしい。
男性	40代	農業が今後の若者の就職する産業として重要なから。
男性	40代	耕作放棄地が増える以上、土地の有効活用できる人材や方法の模索が官民協働で必要。熟練農業者の知見の継承も含め必要だと思います。
男性	50代	新しい農業のやり方！山間地での農業に適したやり方、方法！
男性	30代	耕作放棄地の増加と担い手の不足は中山間地域の持続可能性を高めるために大切だと思う。
女性	50代	お米をはじめ、たくさんの農地が有るにもかかわらず、十分に活用されているとは思えません。若い世代へチャンスを拡大し、ある程度の所得を補償し生活できる水準にして欲しいと思います。
男性	50代	若い人もやりたくなる支援。
女性	30代	恵まれた風土での安定した米作り、農作物の生産は将来の子ども達のために必要。そのための働き手の確保は力を入れて取り組む必要がある。
男性	10代	新潟県と言えばお米、というイメージは全国共通であり、十日町市もコシヒカリをはじめとした様々な品種のお米の生産が盛んである。せっかくの強みなのに、人手不足で失ってしまえば、勿体無いにもほどがあり、強みがなくなってしまうから。
男性	50代	地域の魅力づくりの一環として。
男性	60代	今、法人でも作業を断らざるをえない。農業従事者は、減少するばかり。
男性	60代	農地放棄が増えてきているから。
女性	30代	今の時代、農業ができるることは大切だと思うし、せっかくの水源やきれいな空気を活用しておいしい作物をたくさん作ってほしいから。

6. 働く場を増やす【279 件】

性別	年代	理由
男性	50代	創出していくねば滅びる。コモンを形成。
女性	80代	人口が増えて、賑やかになるから。

性別	年代	理由
男性	40代	質が問題。
女性	60代	若者はもちろんだが、高齢者にも仕事がほしい。
女性	50代	働く場が少ないことで若い人が県外・市外へ出ていき戻らない。
男性	70代	若者が働く職種が少ない。働く場を増やして若者流失を防ぐ。
男性	40代	若者の働く場所を増やす事により、市外への人口の流出を減少させる。
男性	60代	企業、工場等誘致。
男性	30代	企業誘致に力を入れてほしい。
男性	20代	働く場が少ない町に若者が来るはずがない。
女性	20代	パート、バイトでも短時間で働く場所がほしい。
女性	60代	市外で学んだとしても帰ってきて働く場所があれば戻ってくる。
女性	20代	人材育成・採用基準の見直しをしなければ、人手不足に間に合わない。
女性	40代	働く場を増やしたら、若い人も戻ってくる！？
男性	40代	基本だが、最重要課題、1、3が充実しても職場がないことには持続しないため。
女性	60代	職場が数少なければ、やはり都会へと流出してしまうため。
男性	60代	働く場が増えれば、人口も増える。
女性	60代	自然豊かなこの地域が少子化で人口減少が進んでいる。若い人の働く場、産業を発展させることが大切。
男性	60代	仕事を選べない。
女性	70代	働く場がないので若者は地域に残れない。
女性	40代	働く場がないと（ので）人が出ていく。残る人も困るし企業もね。
男性	80代	若者働く場所がない。
女性	40代	働く場所がなければ、人は呼びこめないから。
女性	70代	企業誘致、地場産業がない。働く場所があれば人が集まる。
女性	70代	どうしたら働く場を増やす？
男性	50代	若い人は、大学等で都会へ行ったら戻れる職場がない。
男性	70代	企業誘致をもっとしてほしい。
女性	40代	地元に帰ってきたくても働く場がない。
女性	50代	低賃金、大手企業なし。
無回答	60代	企業誘致。
男性	60代	働く場所がなければ定住できないから。
男性	40代	仕事がないと遠方へかよわなくてはいけないため。
女性	70代	若者が働きやすい仕事場をふやす。
男性	40代	働く場を増やせば人、物が動く。人、物を動かす事が1番！
女性	70代	仕事があれば帰って来たいという声もある。
男性	40代	とにかく産業が無い。働く場所が無ければこの街は終わる。アウトレットを誘致する。
男性	60代	収入の確保が何よりも大切と考えるため。
男性	80代	働く場があれば若人が居住する。
女性	40代	若者が帰って来ない。
女性	50代	若い人がいなければ人口減少・高齢化は免れない。
女性	30代	隙間時間に働く単発の仕事を増やしてほしい。
女性	50代	スーパーや食品だけでなく医療などの従事者も増やして欲しい。
男性	70代	よい働く場がなければ、若者はまちから出て行くしかない。
男性	40代	市外、県外からの若者が就職してくれる可能性が増える。

性別	年代	理由
女性	60代	若い人の働く場が絶対に必要。
女性	70代	家の中にとじこもっていないように軽作業はないのか。
女性	50代	企業誘致して下さい。小千谷や南魚沼市で働いている人は多いです。十日町市に働く場所がないからです。
女性	80代	高齢者の働く場がほしい。
男性	70代	若者の流出防止。
男性	70代	若者に魅力ある仕事場が少ない。
女性	30代	働く場を増やすのも必要だが賃金を上げる必要あり。
男性	60代	若者の働く企業が増える事。
男性	70代	若者が多く。
男性	50代	市営運営を含め、雇用促進が必要。ルートインが出来るが大地の芸術祭でも宿泊は十日町にいない。収益ダダ漏れ。
男性	30代	Uターンをしたいと思っても働く場所がないから帰れないという話は良く聞きますし、地域の方たちと話していても仕事がないから帰ってこない方が良いと言っているという声もあるため。
男性	50代	まず、若者がのこれるような雇用体制を作る。
男性	70代	六日町までの高規格道路。十日町インターから六日町まで。
女性	60代	とにかく、賃金が安い。地場産業の衰退化にかわる工場、産業の誘致が急務。
女性	80代	働く場があつてこそこの生活だと思う。
女性	60代	会社が少ない。外から大規模な会社に来てもらう。
男性	60代	若者のUターン人口を増加させるため。
女性	50代	ネットは普及しているが、働く場の職種が限られている。
女性	80代	若者達がその土地に居てくれる。
女性	30代	仕事の種類が少なく感じる。
男性	70代	若者が残る手段があまりにも少ない。
女性	80代	少しでも、働く場所があれば。
女性	80代	働く場がない。
男性	70代	良好で安定的な雇用環境の下、子育て支援がいる（住環境、医療、税）ダブル要件になる。
女性	60代	働く場がないと人が来ません。
男性	50代	働く場が無い為、県外人口流出になつてゐるのでは…。
男性	70代	若者が定住できるため。
女性	70代	若者が選べる仕事が少ない。
女性	60代	若い人が働く場所の確保。
女性	70代	働く所がなければ若い人も来ない。
女性	80代	大学を出て、帰りたい若い人は沢山いるが仕事がないので都会へと行つてしまつます。
男性	70代	進学のために首都圏に住むと地元に戻る魅力的な職場がない。
女性	30代	少しでも暮らしやすい町作りのため。
女性	50代	サービス業のようなおなじ職種しかない。薬局ばかり多い。
男性	30代	したいことが見つからず仕方なく勤めている人が多い。
女性	50代	若者が働く場所が多ければそれなりの魅力があるのではないか。
女性	60代	65才以上の働く場所が少ない。
無回答	60代	働きたい人が働ける場、住みたい、住み続けられる。

性別	年代	理由
女性	50代	大学を出ても働く場がない。雇用もなければ賃金低すぎて誰も帰ってこない。
女性	70代	田舎暮らし好きでも働く場がないと都会にでてしまう。
男性	60代	勤務先が無いのに、残れない。
男性	50代	地元の企業だけでは遠のいていく。
男性	70代	働く場がないと若者が定住しない、人口増加が見込めない。
女性	40代	ハローワークの求人票は同じような企業ばかり。
女性	80代	働く場がないと暮らせない。
女性	50代	定年後でも選択できるくらいの職種が多いといいと思う。
男性	40代	選択肢が少ないと人が居なくなると思うので。
男性	60代	若い人が働きたいと思う仕事を提供されたい。
無回答	80代	若者が働く場所がもっと多くあってほしい。
女性	30代	子育て中心に働けて、賃金もそれなりの金額でなければ、この物価高についていけない。
女性	50代	働く場がなければ若い人は住まない。
女性	50代	進学して卒業後に働きたいと思う場所が少ないとため。
男性	60代	十日町市内にはまだ働く場所があるが、山間地にはない。
男性	80代	地域を維持して行くためには、これが基本と思う。
男性	60代	私の長男も、前に都会で働いていたのですが、一度家に戻ってきた時がありました。十日町で就職口を捜したんですが、ありませんでした。長男は、都会に就職口が見つかり、家を出て行きました。若者が希望を持てる十日町市にしてほしいです。
男性	70代	人口の流出が少なくなるように。
男性	30代	仕事が少ないから、若い人は、県外などに出て行ってしまっていると思いますので、仕事を多くし、お金も高くすれば良いと思います。
男性	80代	元気なうちは、働けるように。
男性	60代	高校を卒業すると市外に出てもどってこない。
男性	60代	収入がなければ生活できない。
男性	30代	若者が定住できる。
男性	70代	若者の働く場を増やし人口流出をくい止める。
女性	70代	町全体に元気、人口、明るさが増える
女性	30代	若者が地元に残りやすいと思う。
男性	60代	若者が働く場がないと流出してゆく。
女性	80代	働く場がないと生活しづらいか？
男性	60代	公共交通を整備すれば企業もくるのでは？
男性	80代	働く場所があれば担い手や若者が増えて子供も増えて町中も賑やかになり助け合って楽しく生活ができるから。
女性	50代	若者が進学後、地元で働きたいと思える働く場を積極的に企業誘致するべきと思う。
男性	70代	都会に行ってしまうので、帰って来て、働く所を増やす。
女性	80代	若者の働く場所。
男性	50代	働く場を増やす前に、賃金見直しをするべき。
女性	50代	企業誘致し、働く場を増やす。
女性	80代	生活するには収入がないと！！
男性	50代	高規格道路を利用した企業誘致が必要だと思うから。

性別	年代	理由
男性	80代	企業誘致し若い人の働く場を。
男性	30代	増やすと同時に採用率を上げてほしい。
女性	60代	企業誘致。
男性	60代	人口減少を止める事は無理、その事を問題としたり克服するという事を考えるより、住みやすい町づくりをお願いします。
女性	70代	産業をもっとふやしてほしい。子供達はみんなこの町から出て行きます。
男性	70代	各企業への支援。勤めやすい（働きやすい）若い人材の登用を指導する。
無回答	無回答	十日町は古く経営も良くない工場などが多いので大手企業の工場が参入できるよう土地も増やしたほうがいい。派遣会社なども増やしたほうがいい。
男性	70代	中、大会社を十日町に入れる。
女性	50代	若者の魅力ある企業の誘致。
男性	80代	市にある森林資源を利用開発するような働く場が出来ないものか。
女性	60代	若者が、十日町にのこってくれるよう、働く場を増やしてほしい。
男性	60代	働く場がなくては、若者は出て行く。
男性	70代	働く場があれば人口は増える。
男性	60代	帰って来たくても、働く場がないので帰れない。
女性	50代	専門学校や大学を卒業した子どもたちが地元に戻り生活するには安定した働く場が必要。
男性	50代	働く場所がないから市外へ出て行くので必要。
男性	30代	大企業の誘致など収入向上も見込め長期的に安定した仕事ができる環境の整備。今ある企業への補助や個人事業主への補助が市民所得向上や財政力上昇につながると思う。
男性	50代	難しいですが企業誘致を実施し働く場を増やす。
男性	50代	他地域に比べ賃金が安く、職種も少ない。
男性	30代	若者のIターン、Uターン促進=人口増加。
男性	50代	職場が少ない。また給与も都会に比べて低い。どうしても若い人は、選べる職場が多くある地域へ行こうとする。人口減少が進むのは必然。魅力のある職場を増やすことが大切。
女性	50代	若者が定住してもらえるよう、企業を誘致する。
女性	80代	若者が働く場所を増やして欲しい。
女性	70代	働く場給料アップのみ。
女性	50代	働く場があれば人が増える。
男性	60代	若い人が働ける場を増やし定住、Uターンがしやすい環境をつくる。
男性	80代	特に若者が、この町で働き続ける事が出来て生活が安定する位の収入が必要。
男性	70代	気軽に働く機会がない。
男性	50代	買物弱者、除雪が大変な人、農業などを助ける色々な仕事があればと思う。
女性	70代	地域に合った仕事、産業の取組がほしい。
男性	80代	活気ある町にしてほしい。
女性	20代	若者がはたらきたいと思える場所が少ない。
女性	60代	農業の周辺産業で魅力的なものがもつとないか？
男性	40代	大きな事業主が会社を設立し、十日町の産業を活発にする。
女性	50代	働く場や賃金を増やさなければ、働く世代の人はいなくなる。
男性	70代	生活基盤となる収入を上げる。
女性	50代	大きい工場などがなく働ける職種も限られている。

性別	年代	理由
女性	60代	若物のUターンを増やす。
女性	60代	小学校の運動会を見学してきたが、少子化を実感した。働く場の確保も大事だが、働く人が減少している。魅力あるまちづくりも難しい。
女性	60代	若い人には働く場所が特に必要。
女性	80代	大学を卒業されても働く場がない。大手企業くるようなまちづくりをお願いします。
男性	70代	学校を出ても働く場が少なく、県外へと出てしまう。
女性	70代	大学を出ても町には働き場所がない為帰らない。大企業を持って来て欲しい。
男性	70代	企業まかせでなく、行政も協力し、地元企業の出張、授業や職場、体験を中・高校生に実施し、将来的に地方就職に結びつくよう検討する。
男性	80代	農業の方も老化しているので組織を作り若者が継げる様に、他の産業がほしい。
女性	80代	若い人が働く所がない。企業を連れてくる。
女性	60代	とにかく、全てのもとは、働く場があることだと思う。実際私や私の知人たちの子どもは、ふるさとに帰って来たいが、仕事がないので帰郷できない。
女性	70代	大変な事です。働く場が少なすぎ！！
女性	60代	若者が十日町に帰ってきてても、学校で勉強したものをいかせる職場が少ない。
女性	70代	働く場が大切です。若者がUターンできるから。
女性	60代	働く場所がなければ若い人も、もどってこない。
女性	50代	農業の会社をつくる（増やすなど）若者主体。
女性	70代	大学進学等のため、家から出ても、仕事がないため戻ってくる機会が少なくなる。
男性	60代	決まった職種を大事にしそうした為、新しい働く場が入ってこなかつた。
女性	70代	多様な魅力的な働く場を増やすことは、1、2、5、9等も充実する。
女性	50代	とにかく働く場所、人口の増加のため。
女性	40代	増えれば、働く場所も増え、人口にもつながると思う。
男性	60代	私の高校のクラスメイトは大半が県外へ進学し、首都圏に就職しました。半世紀を経た今も状況は変わらないように思います。
男性	40代	人口流出の防止のため。
女性	60代	若者の働く場が必要だと思うから。
女性	70代	働く場所がなければ人はいなくなる。
男性	70代	若者の人口流出を防ぐため。
女性	40代	いろいろな職業の人が働く場が必要。
男性	70代	高齢者で意欲のあるのに、働く場は少ないのではないか。広報の拡大。
男性	80代	生きて行く中で、やる事の無い人程あわれな人はいない。安くても良いと思う。市の方で働く場を作ったらいいと思う。
男性	30代	賃金を確保し、地元産業が潤うためにも、力を入れてほしい。
男性	60代	若者の働く場を増やす。
女性	70代	若者をはじめ、年齢問わず、働く場がほしい。企業誘致、経済発展、中小企業への支援。
女性	70代	空店舗を、起業したい方を支援し、ブロックの地域に溶け込み活性化できる町を通り全体商店街全体で提示し、SNSで発信する。
女性	70代	働きたくても、年齢などで無理。シルバーとしては、あるが…。
男性	50代	短時間で働ける場所が少なく妻が働けなくて困っている。
女性	80代	若者が都会に出ていかないように。

性別	年代	理由
女性	60代	働くうちは働きたいが、若者の方が必要とされている現常です。
女性	50代	市内に実家があっても、市外・県外で働く若い方が多いので。
男性	70代	若者が、住んでくれる町にするため。
男性	60代	都会との賃金格差をなくす。
女性	70代	8、9につながる。
女性	80代	働く場を増やす。ボランティア活動から有料化へ。
女性	70代	働く所が、あれば、若者も十日町に居ると思う。働くかないで遊んでいるという事は親にも迷惑をかける事になると思う。
女性	60代	やりがいのある仕事。生活の基になる収入。
女性	80代	沢山の安定された会社が出来る勤務できるよう。
女性	60代	若者の働く場が少ない。
女性	60代	若者の市外への流出を防ぐため。
女性	70代	若者の働く場がない（あったとしても、生活（安価）は出来ない）。
男性	70代	生活するのに収入になる働く場が必要。
女性	70代	年に関係なく働きたい人が、働く場所。
男性	60代	働く場が増えると移住定住者が増え若者も職場があることで地元に残る。又戻ってくることが出来るのでは。
男性	70代	働き場が無いため若者が戻ってこない。
男性	80代	人口を増やすには仕事、会社が必要。
無回答	80代	十日町には若者が楽しめる所が少ないと聞く。魅力ある街を目指してほしい。
女性	70代	若者が大勢地元で働けば町が元気になる。
女性	70代	若い人の働く場（結婚、子供できれば、どんな仕事でも頑張れる）。
男性	40代	若者がどんどんはなれて行く中で働く場所は必要だから。
女性	70代	若者に働く場が有れば市外、県外に出ていかない。
男性	70代	子供達3人とも、市外で、働いている。
男性	70代	働く場を増やして若者が居座るようにしたい。
女性	70代	若者を増やす。
女性	60代	やりたい仕事がなければ市外へ出てしまうから。
男性	60代	働く場所がなければ若者は地元に残らないし、移住定住者も増えないだろう。
女性	70代	働く場所が無く子供達が帰ってこれない。賃金が安く帰れない。
女性	70代	若者の地元離れの防止。
男性	60代	東京の大学に行っても、それを生かせる職場があればUターンする者も増えるはず。
男性	50代	働く企業が少ない為、若い人が十日町で生活できない。50才以上の働く所がない。「年齢：不問」となっていても40才以下とか。親が高齢で十日町に帰ってきたくとも就職先があまりに少なすぎるため戻ってこれない。
男性	50代	働く場が増えれば、人は集まって來るのでは。
女性	40代	求人を見ても介護しかない。
男性	70代	企業誘致など積極的にしてもらいたい。
女性	50代	人口流出を防ぐ為に対策が必要となっていくと思うため。
男性	40代	若者が働く場（給与が良いとか）があれば、地元に残り、この地で結婚や子育てもしてくれるので?
男性	60代	若い人々が結婚して子育てしやすいことがこの地域に住みたいと考えることにつながる。学校、病院があることが大切。8にもつながる。

性別	年代	理由
女性	70代	6番をやり9番につなげる町にする。
男性	70代	人口減少・高齢化を解決できうる大事を要素であり根本であると思う。
女性	70代	企業誘致を望む。
男性	60代	大地ではなく企業誘致を。
男性	80代	若者が地元に定着するため必要。
女性	50代	年齢関係なく、働く場が多くなり雇用が増えるといいのでは無いでしょうか。
男性	50代	大手の働く場がまったくない。
女性	50代	高校を卒業して都会に出た若者は帰ってきても働く場が無いという理由で戻ってこない。働く場があればIターンも増えると思う。
女性	50代	定着。
女性	60代	(Uターン希望者が増える) 人目を引くような大規模な企業誘致で労働人口増加働く活力が生まれる。
男性	70代	とにかく若者の働く場所が少ない。出て行くしかない。
女性	60代	求人の年齢制限なしや延長など働けるように。
男性	50代	とにかく人口の流出をおさえたいので、働く場を作らないといけない。
女性	40代	働く場もそうだが賃金の底上げも必要。
女性	70代	若い人が十日町で充実した暮らしができる用な仕事が必要。
男性	60代	人口減少の対策の為、働く場が有れば人口が増える。
男性	60代	働きの場が少なく感じる。先細りの、政策でなく、企業に長くいてもらえるように、アフターが少なくない。
女性	80代	若者達が働ける若い町に。
男性	70代	魅力ある働く場がなければ、新卒者はどんどん市外に出てゆく。
男性	40代	収入がない場所では暮らせないので。
女性	30代	若い世代を増やし、人口減少を少しでも抑えたいからです。安心して若い世代が暮らす為には、安定した収入源が必要だと思います。
男性	40代	生活する上での収入確保は基本事項であるため。
女性	80代	若者が十日町に移住しやすい働き口があると良い。
男性	30代	仕事がなく、市外に出ているがよい仕事が、あれば地元で働きたい。
男性	50代	若者の雇用先が圧倒的に不足している。
男性	60代	障がい者が安心して働ける街づくりをして欲しい。
男性	40代	働く場、というよりも条件の良い職場、職業、企業があると良い。若者が地元に残りやすくなるように。
男性	40代	市内の各企業が人手不足に陥っている状況なので働く場所がないわけではないのでは、労働環境や待遇面が市外や都市圏の企業と遜色ない働く場所が増えると良いと思います。
男性	70代	職業選択が容易なら住みやすいから。
男性	20代	職の選択肢を増やさないと法人税などの税収も見込めない、雇用もうまれない、人口が減り続けるなどのマイナスの事しか考えられないため。
男性	50代	生活のためには働いて稼がなくてはならない。そして居住して、税金を納める循環をつくる必要がある。
女性	40代	働いて稼ぐ場所がないと定住して家庭を持つ事が難しい。
女性	30代	働くところがないと生産年齢層が増加しない。妊娠出産に伴って仕事を辞めざるを得ない場合もあるため、子育てしていても仕事が続けられるよう職場・企業への支援も必要だと思う。

性別	年代	理由
男性	50代	高校卒業し専門学校、大学に行くと他県に就職をする。十日町にはここという産業会社等が無い。Uターンを待っているのでは人口減少しかない！
男性	70代	グローバル的産業の誘致。
男性	30代	働く場がないと若者の転出が増え少子化の進行が加速するため。
男性	40代	働く場所が少ない、所得が少ないので高齢化が進んでいると考えています。高齢化抑制のため、企業や工場誘致を進めて欲しいです。
女性	30代	子供を増やすためにも若い人たちの働き場を増やすなければならないと思ったから。
男性	60代	3で述べた高齢者の労働力を活用できる働く場が必要。
男性	50代	都会に比べ魅力的な企業が無い。
男性	40代	まずは働く場所がないと住もうと思えない。
女性	50代	子供達が大学等卒業し地元へ、帰ってきたくても、仕事がない。若者が来なければ、出会いも結婚もお産もなく、子供がふえない。
男性	10代	自分自身、地元に帰りたくないと思う理由が働く場が少ないと想うのであり、やはり都会と比べて職種も給料も少ないとなると、人が出ていってしまうのは致し方ないことだと思ってしまうから。
女性	20代	新卒で十日町に帰ってきたが就職先がなく半年アルバイトをして過ごしたから。また大卒を活かせる仕事がなかった。
男性	60代	好きな仕事が限られ、上場企業が少ない。
男性	60代	仕事が無く低賃金だから、若者が戻って来れない。
男性	60代	働く場があれば、若者が出て行かない。
女性	50代	高校卒業後の流出を防ぐため。
男性	20代	若者の人口流出が激しいから。大手企業を誘致したほうがいいのかもしれない。
女性	40代	若者が出ていかないようにするため。
女性	50代	住む理由になるから。

7. 公共交通を充実させる【98 件】

性別	年代	理由
女性	60代	公共交通機関が充実すると、高齢者が助かるだけでなく観光客も増えます。
女性	60代	車がないと行動できない。
男性	20代	高速道路がほしい。
男性	80代	補助等不満。
男性	20代	遅い時間まで動くタクシーなどがない。
その他	20代	高齢化が進むのはしょうがないこと、免許返納した高齢者が充実して過ごせるようにしてほしい。
男性	60代	交通の便が非常に悪い。
女性	70代	市内無料か100円バスで買い物しやすい環境作り。
女性	40代	車を誰もが乗って維持できると思わないでほしいです。
男性	80代	車頼りの現状に不安を感じる。
女性	40代	中学生のバスの時間は、満員。乗れない時もあり、ひどい。
男性	60代	交通、道路網の整備で人の流れが変わる。
無回答	60代	十日町などによるSNSでの十日町のPR。

性別	年代	理由
男性	40代	除雪等間に合わせず1人暮らしでやっているため。
男性	50代	高齢者が免許返納出来る体制作り。
女性	50代	年々バスが減便し生活に支障をきたしています。
女性	40代	山間地の人達の苦労がある。
男性	20代	十日町は非常にバス・電車の便が悪いので改善すべき（1日の便が少ない）。
男性	40代	電子マネーなどが使えない電車、バスは都会の人は困る。
女性	70代	年をとると、病院通いが必須です。通う事が自分ではできなくなる人が大勢います。公共交通を本当に充実していただきたいと思います。
女性	80代	公共交通が充実できると良い。
男性	70代	車がなくても不便でない。
男性	70代	高速道・鉄道（新幹線）も無く交通網の谷間。
男性	80代	間もなく免許返上、通院、買物などに公共交通があれば…。
男性	70代	山間地への移動手段の充実。
男性	40代	観光客を増やすには交通機関（道路含む）が必要。
女性	40代	電車の本数がとても少ない。あまり利用しようと思えなくなるので悪循環になる。
女性	60代	車生活をしてきた高齢者は車がないとどこへも行けません。バスが必要です。
男性	70代	高齢になり車の運転をひかえると、買い物にも病院にも行けない。
女性	30代	越後交通の長岡行きの5時台が無くなつて不便になりました。
女性	50代	諸事情で車の運転がしたくても出来ない人もいる。そういう人が自分で自由に移動出来るようになると良いと思うから（難しいとは思いますが…）。
女性	40代	新潟間高速バスの維持（増便も）。
女性	50代	観光でも日頃の暮らしでも交通の不便さがあり、車が必要になる。
女性	70代	バスと、タクシーの中間のような、乗り物は無いか。
男性	80代	高齢者がいつでも出かけられる足、補助金制度。
女性	30代	自分の車だけでは、年をとつたら難しいから。
男性	60代	ほくほく線の活用（新幹線計画？）。上沼道の早期開通（特に十日町、六日町間）。
男性	80代	公共交通がうまくいってないと働く場所に行くのも大変。
男性	30代	とにかく車がないと生活できないのがダメ。
女性	60代	年寄りが増えている。
女性	70代	公共交通の充実を測る事が、大切。
男性	30代	人口減少のためか、バスの本数が減って不満。
女性	80代	年寄りになり車を手ばなすと歩く時が多く、もう少しバスがあると良い（市内）。
女性	40代	高齢になると車の運転ができなくなります。通院や買物の時どうすればいいでしょう。乗合タクシーを多くすればいいのでしょうか。
女性	70代	バス利用が少ない事もありますが、本数が少なく不便になっているので、乗り合いタクシーなどの取り組みを考えて欲しい。
男性	60代	町中に出たくても出れない人がいる（バスがない）。
女性	50代	免許証返納者へのサービスの充実。
女性	40代	交通が不便すぎる。車が使えないでのなおさら。
女性	30代	上越から十日町に繋がる上沼道を早く作ってほしい。どこに行くにも山道なので開通すれば客も増えると思う。

性別	年代	理由
女性	40代	車がないと生活できないのは高齢者にとって不便。
男性	50代	新幹線、高速道路がなく、電車で長岡、新潟に行きにくい。
女性	60代	交通関係が不便である。高齢者の買い物等にもタクシーが必要であったり、冬期間は特に大変だと思う。市の助けをかり移動スーパーやネット配達の地域をどんどん増やしてほしい。
女性	30代	車よりもスマートな公共交通になるといいね。
女性	50代	車がなければ生きていくのに必要なことが出来ない。車を維持するのにはお金がかかるので、車がなくても生活できる所に住もうと思う。
男性	80代	車の運転ができない。
女性	30代	車がないと生活が難しい。
女性	70代	免許を返納した後に病院やスーパーなどに行くバスなどがあれば安心できると思う。
女性	80代	交通の便が悪く、買物にも行けない。
女性	80代	車が、なくても、移動できる様にする。
女性	60代	高齢者の二人っきりでの病院通いが心配。
女性	40代	アクセスの不便さは十日町に来て、本当に感じた。車がないと死活問題。
男性	40代	買い物は長岡や上越といったところに行くことが多い（食料品は充実）。道路の整備（自動車なしでは生活できない）。お年寄りが出掛けやすい交通手段も。
女性	80代	誰でも気軽に利用できる、市内を廻る小型バスはどうか？
男性	70代	他地域との交流をしやすくして、観光客を増やす。
女性	70代	高齢者が自由に外出。
女性	70代	1人、2人の高齢者の暮らしの足だから。
女性	60代	バス小型でも良いのでは…。数を増やしてほしい。
女性	30代	市外との交通便が悪いため。
女性	70代	市営バスが走っていますがいつもガラガラ…。でも利用する人が一人でもいればそれは大切なバスです。もっと利用しやすいように、コストがかからないようにするにはどうすればと考えます。
女性	60代	運転しない高齢者の移動手段はとても大切。
女性	70代	交通の便を向上（不便）、とにかく不便な所。
女性	70代	土日の運休は困る。
女性	70代	高齢者が多くなるので（家にこもりつきりにならないために）。
男性	40代	若者が元気が出るような社会。
男性	70代	昔から不便な地域。車からの脱却ができない。
女性	70代	店がちかくになく不便。
女性	60代	車社会ではあるが、ガソリン価格も高く…厳しいとは思うが、交通手段は大事。
女性	70代	一言で表現するなら「陸の孤島」、余りにも不便。
女性	70代	高齢者は、免許証返納したら、買い物、病院に行くのも大変！！
女性	70代	バスの時刻を2時間おきではなく1時間くらいにして下さい。
男性	40代	免許のない人の移動手段のバスなど、本数が少ない。津南方面から長岡まで行くのに、乗りつぎがあり不便！！昔はあったのに！
女性	70代	交通の便が良いと歩く人が多くなるから。
女性	80代	山間地なので市のバスを土曜、日曜も運行してほしい。
男性	70代	季節に影響されない交通インフラの整備、鉄道の有効整備。
女性	50代	高速道路のインターをつくり、県外とのつながりを活発にするべきだと思う。

性別	年代	理由
女性	80代	高齢になると移動手段が（買物等）ないと家にとじこもりがち。市内のバス等に期待している。
男性	80代	車がないと生活出来ない。
男性	10代	利便性を求めて都会に行く人もいるし、観光客も来にくいくらい。
男性	50代	都市へのアクセスが悪い。
男性	50代	高速網の整備。
男性	20代	中心地以外が気軽に時間関係なく動ける環境が必要。
男性	50代	移住定住、交流人口を増やすなら、公共交通は重要。時間を気にせず乗れるくらいの運行があれば最高。
女性	40代	車がないとどこにも行けないのが不便です。高齢者は買い物にも行けない。バスの本数が急に減ったりなどしているので、住民の声を聞いたほうが良いと思います。
女性	10代	電車とか動いて無い時間とかが利用者にとって待ち時間が多かったりするから。
男性	40代	高校生以下、高齢者などは車がないと自由な移動が困難。
男性	40代	交通の便が悪すぎるので十日町市に行ってみようかなと思う人がことごとく来れてない現象がある。とにかく高速道路一本で来れるようにしないと絶対にだめ。流通よくなれば有名どころのお店もでき、人が集まると思う。なぜ数十年前からこれをしないか謎。衰退する一方。
女性	30代	高齢者になると車を持っているか、ある程度お金を持っていてタクシーを使えるか、身内で車を出してくれる人がいる人しか市内に出られないように思うため。
女性	60代	上沼道等に魅力を感じていません。湯沢駅や長岡への順高速道路が欲しいです。多くの十日町市民は長岡で癌治療をしています。連日の放射線治療の通院の片道80分は辛いものです。また、少しの大雪くらいで不通になってしまう上越線とほくほく線、陸の孤島化している昨今の交通事情！これでは地元離れが加速してしまいます。

8. 移住定住者を増やす【58件】

性別	年代	理由
女性	60代	人口流出が多いため。
女性	50代	出生率も低いので、やはり移住者を増すべきだと思う。
女性	70代	英会話教育→お金がかからず出来る！
男性	70代	外国人でもよいから山間部を中心に移住者を招き、持続可能な社会を目指す。
女性	60代	YouTubeなどで、農村での生活の良さを知ってもらう。
女性	50代	市内だけで人口を増やすことには限界がある。1、6が充実すると8にもつながる。
男性	80代	雪国になれない人が集落にきても逃げ出す。
女性	20代	交通網と1人でも暮らせる部屋があれば、貸し出すこともできる。
男性	60代	移住者等の定着が必要と思う。
男性	60代	①、⑥が充実すれば移住者も増える！
女性	60代	魅力（地域の）発信し、移住者を増やす。松代地域などは、テレビ放映などで発信されているためか地域起こしがれつつある。
女性	70代	竹所などをもっと広報し、こへび隊を定着へ。

性別	年代	理由
女性	10代	人が減っている。
男性	70代	P R 不足。
男性	50代	高齢化を考慮した雇用と支援、定住者を増やすための町づくり。
男性	20代	人がいなくなれば、なにもできなくなる。
男性	80代	選ばれて住み続ける町のため、Iターン、Uターンの促進を。
女性	50代	人口減少があきらかなので、外からの人を増やす活動。
男性	70代	特養施設の充実を図り、関東方面（募り）の入居者と共にその家族に空家を利用してもらう。
女性	40代	働く場所が限られているので移住する魅力はあまりない。
女性	70代	全国から募集をして来てくれた人には支援をして住みやすいようにする。
男性	60代	空き家の活用。
女性	80代	インバウンド（外国人観光者）含め外人移住・定住者を増やす（例：野沢温泉のように）。
男性	60代	交通の便が悪すぎる。峠道や、狭い道など冬は行きたくないと思ってしまう。道が良ければ人の流れもあります。まずはそこからなのでは？
男性	30代	人口を増やす。
男性	60代	少しでも人口増加になれば…。
女性	60代	子供の少ない昨今一番考えないといけないと思うがどうしていいかわからない。
女性	70代	移住定住者を増やして、農業の担い手の育成を、確保する。
女性	80代	若い移住者を増やして活性化を図る。高齢者の移住は望まない。
女性	30代	移住定住者を増やし、発信することで、人口を増やせると思う。
無回答	無回答	アパートの家賃、高すぎるのでそこをなんとかしてほしい。単身者向けに移住者の支援などももっとあつたほうが良い。
男性	30代	人口が増えなくては様々な行政サービスが縮小してしまう。
男性	60代	若い人の人口を増やして活性化するために必要。
女性	60代	人口減少を少しでもなくす。
男性	60代	若い人が親と一緒に生活し、他県にいかないでほしい。
男性	70代	十日町にのこってもらいたい。
男性	80代	各地で有る、風水害、地震の少ない十日町。人が生きて行くのに何か楽しみがあれば十日町はこの上ないいい所です。
男性	30代	人口減少に歯止めをする施策を。
男性	20代	十日町の良さを分かってくれる方を、寄り込み、アピールする。少しでも定住者で人口を増やしていく。
女性	70代	棚田プロジェクトで移住された方々が山地にて活躍されており、それぞれの地域のアンテナショップを街中に開く。
女性	60代	移住定住者の新鮮な力が必要。
男性	50代	いろんな考えの人達が移住してくれればいろんなアイデアがでてくる。水上、白馬のように、多少なりとも外国の方達も入っていいのでは。
男性	40代	定住者が出るような街づくり。
男性	50代	四季がはっきりあり、ちょうどいい田舎の演出で若い子育て世代が集まって来くれればいいかな。
女性	40代	人口増加。
女性	40代	若い人の移住者が増えれば活性化にもつながるし、新たな職へもつながるかもしれないから。

性別	年代	理由
女性	60代	畠付空家をPRして有効活用できれば良いと思う。
男性	30代	都市での生き方とは違う事を十分理解しつつ、十日町で生きる・育てる魅力を見つけられる方々から移住してもらい、人を育て、巣立てる地域を目指す所からスタート。
女性	50代	この町は自然、文化、人、魅力がたくさんあるところなのだからよそからだって住みたいと思う人はたくさんいると思う。どんどんアピールするべき！
女性	60代	上記により増える。
男性	10代	今いる若者が出ていけば、どの道こどもは増えないから。
女性	40代	十日町は良いところですが、仕事が無いのがネック。就農希望者に魅力的な街になって、移住ファミリーが増えれば、農業の担い手問題の解決にも光がみえるのでは…。
男性	50代	既存企業も人手不足なので、マッチングや就業環境を良くすることで、市外から若い人が増えてほしい。
男性	40代	少子化が進む以上移住者を増やすしか人口維持に繋がらないから。
男性	30代	移住者に限らず、二拠点居住者や関係人口を増やすことで、地方の衰退に歯止めをかけることができる。
男性	40代	税収減による現役世代負担軽減のため、活気溢れた十日町にするため。
女性	30代	十日町市だと高校卒業すると大半の人が外へ進学するので卒業後に帰ってくる人や、十日町市に魅力を持ってくれて移住してくれる人を増やすことによって活気あふれる街になってほしいのと、十日町市が消滅するのを防いでほしいです。
男性	50代	地域の良さを発信できる人を増やすため。

9. 若者に魅力のあるまちづくり【218件】

性別	年代	理由
男性	60代	若者の働く場が少なく子供が少ない。
女性	70代	特殊な教育の場（例えばアートスクール、子供アクターズスクール）。
男性	70代	若者が定着したいという環境がなければ地域の持続は考えられない。
男性	20代	若者に人気の施設を作る。
男性	70代	長らく若者の流失が止まらない。若者の定住を促す施策が必要。
男性	40代	十日町を魅力ある都市にする事で、十日町に残りたい人を増やす。
男性	40代	子育ての支援も大事だと思うが若者が市外に出ていくことを防ぐのも大事。魅力のあるまちにして若者の流出を防ぐ。
男性	30代	若者に魅力あるまちづくりには働く場の確保が必要。
男性	20代	若者に芸術は興味が少ないので遊ぶ場がほしい。
女性	40代	若者に魅力のあるまちなら引っ越してくる人も！？
男性	70代	若者の割合が増えれば町の活性化に繋る。
女性	60代	若者が定着できる所でなければ。
その他	20代	アパートが高い、給料が低い（若い人のみ）などの要因から、十日町には来たくない、住めないという声をよく聞くため。
男性	80代	若者が働く場、出会いの場等への努力をお願い。
女性	40代	若者に魅力があると、十日町へ帰ってくる（留まる）。それが結婚と子供増につながる。

性別	年代	理由
男性	40代	若者を魅きつけるには若者のアイデアが必要で、解決は難しいですが、これをやらなければ人口減は止まらないから。
女性	60代	企業誘致が必須。
女性	60代	地域の産業のきものを年に数回、きものまつりを開催する。
男性	70代	若者が県外にでないよう移住できる町づくり。
女性	70代	若者が住みたくなる町になる？
男性	60代	若者が出ていく町なので安心してこの町に住みたいと思えるようすべき。
男性	50代	6と関連しますが、若い人が戻ってこれないと地方は消滅してしまうのでは。
男性	70代	働く企業を増やすにつきる。
男性	40代	予算が無いといって暗い話ばかり、財源確保！！
女性	50代	高校卒業後、大学進学を理由に都会へ利便性、魅力を求め、出ていくため。
男性	60代	「ここにいれば楽しい」と思えることがあれば町をはなれない。
女性	70代	ファミサポに農家の嫁が依頼できない話を聞いたが。
女性	50代	若い方が就職し安心して生活できるようにしてほしい。
男性	60代	若者の定着こそ将来の十日町を救うと考えるため。
男性	20代	1と似ていてやっぱり若い人に住んでもらうのが人口増加につながる。
男性	30代	スタバ、アウトレット、イケア、コストコなど人が集まるような場が必要。
女性	50代	観光地になるより働く場を増やすべき。
女性	30代	若者が住みやすくないと都会へ行ってしまう。交通も不便で車のない若者には住みづらい。
女性	50代	子どもや高齢者を支える人たちが暮らしたいと思えない。
男性	70代	若者に定住してもらうために必要である。
男性	40代	ファミリーレストランやファストフード店などが増えれば若者が居やすい。
無回答	60代	高校卒業生がみんな市外に出ていってしまうから。
女性	60代	若い人が地元に帰って来たい！と思えるまちに。
女性	50代	十日町市は低賃金で他人の事を気にしすぎる所があり、若者は息苦しくなると思います。1度出てしまうと帰って来ないのでUターンIターンには積極的な支援と資金提供を厚くする。十日町っていい所だと思ってもらえるような人づくり。
男性	70代	今度の休みどうする？長岡か上越へ買い物のするか？隣市にお金がおちない。
男性	60代	定住人口を増やしていくため。
女性	40代	若い人達が自信をもって暮らせる街に！
女性	30代	年々担い手が減少しているから。十日町の若者が減少しているから。
女性	30代	若者がずっと住み続けたい、また戻ってきてても良いと思えるような、生活・仕事などが必要。
男性	60代	若者の定着率を上げてもらいたい。
男性	30代	政策を行う際、どうしても人口の多い高齢者のための政策を優先しがちかもしませんが、若者と高齢者では考え方、ライフスタイルなどは全く別物であることを考慮した上で、若者にとって魅力のあるまちとは何かをぜひ検討して下さい。
男性	50代	6に重複するが、働く場の無さ、賃金の安さが原因だと思う。十日町に新たな企業参入は期待できないなら、せめて賃金アップはすべき。
男性	30代	雪があるため、降雪を苦としないサービスが必要。
男性	20代	何事にも後継が必要。
女性	60代	娯楽施設がない。河川公園の整備をしてほしい（他の自治体のような公園作り）。

性別	年代	理由
女性	80代	若者に魅力ある町活気ある町が良いと思う。
女性	60代	若者が町に残れるようにする。
男性	70代	若者が集まる場所。
女性	70代	十日町で働く方がロッカにすることは、仕事帰り食事等する（ファミリーレストラン、24時間営業）場所が無い。十日町のアパートの料金があまりに高く、すぐ異動願いを出します。十日町にはもう来たくないと何人の方から聞いています。
女性	30代	若者向けの店が少ない。
女性	80代	十日町で働く若者の賃金をもっと上げるべき。
女性	80代	働く場がない。若い人が勤めたいと思うサービス業。
女性	40代	若者がいたいと思える施設や憩いの場がない。
男性	60代	若者が働くための場所、過ごせる場所や、生活する場所が必要です。人口減少を少しでも抑える。
男性	70代	若者が多勢住んでもらいたいから。
男性	50代	若い人が十日町に住み続けられるように。
女性	80代	若い人が増える事は、大切。
女性	50代	若者が集まれるような場所がないしイベントもない。
男性	30代	魅力と利点をもっとPRしていくべき。
男性	40代	すでに手遅れ。
女性	50代	若者が住みたいという魅力が全くない。大地の芸術祭にしか力いれていない、定住の効果はないのに。
女性	70代	高校卒業すると若者は県外にでてしまいそのまま、雪のない所がいい人は帰っていない。そのまま就職する。
男性	50代	休日の収客できる場所がない。
女性	50代	魅力のある商業施設が無いから。
女性	40代	地元に戻りやすい環境が大事。
男性	30代	全てにおいて、いかに若者に十日町市にいてもらうか、来てもらうかが、人口減少に対する取り組みかなだと思います。
女性	50代	県外に出た人もいずれ十日町に戻ってきたいと思うような町づくりが必要だと思う。
男性	50代	コストコ、スタバ、モス、無印などの誘致。
女性	70代	若い方のしっかり働く所が少ない。
女性	30代	いいところはたくさんあるのに、生かせていない気がする。若者にとっても住みににくい町だと思う。
女性	50代	若者が魅力を感じる職場が少ない。
女性	30代	地域全体が、十日町に住みたい！と感じてもらえるにはどうするか、考えられる体制を作る。
男性	70代	他地域からも人が来やすいように。
男性	30代	遊べる場所や、お店が少なすぎます。高齢者の方の事よりも、これから若い人達の事を考えていかないと十日町市は無くなると思います。
男性	70代	夢のある町づくり。
男性	70代	若者が多く生活できること。
女性	70代	活性化を望むので。
男性	60代	若者が流出してしまい人口減になっている。若者が流出しない魅力があれば流出が減少する。

性別	年代	理由
男性	60代	人口減少の原因だから。
女性	80代	人口減少に歯止めになる。
男性	30代	とにかく車がないと若者も定住しようと思わない。
男性	50代	子供、若者が安心して、暮らせる町づくりが大切だと思います。
男性	70代	たとえば、公園の大規模な所。
女性	40代	若者がいなければ人口問題は解決しないでしょう。
女性	80代	町の中心街には若者の姿が見られない（若者の意識の変化もあるのかな）。
男性	50代	娯楽施設や商業施設の拡充が不可欠だと思うから。
女性	30代	若者の定住者を増やすために必要だと思う。
男性	70代	若者の流出が止まらない。生活の基盤となり、かつ生きがいややりがいを持って働く場が少ない。
女性	70代	思うこと、若者がちょっとした広場でスケボーをしていると大人が注意をする。もっと若者達が自由に外で遊所はない物でしょうか。
女性	80代	若い人達が学校を卒業してから町に帰られるようにしないと！！
女性	70代	若者の働き場所。大きな企業の工場誘致。
男性	60代	全てに共通すると思いますが、学校を卒業した子が、十日町で就職するメリット（賃金や労働条件等）、遊ぶ楽しみがない。
無回答	無回答	若い人が利用できる施設が少なすぎる。イオンしかないイメージが強い。アパートの家賃も長岡などより高くUターンもできないと思う。
女性	50代	Uターンする魅力がない。大型商業施設、大型企業の誘致。
女性	60代	遊園地、水族館、ゲームセンターなど、遊べる場所をつくってほしい。他県まで遊びに行かなくても十日町で楽しめるように、他県の人も遊びに来れるように。
女性	50代	地元に魅力があればU・Iターン者はいると思う。
男性	50代	若者にとっての魅力が何かわからないけど、UIターンの支援が必要と感じる。
男性	30代	若者が減るのは同年代が周りにいないからです。出会いの場がなければ出ていくしかない。働く場の創出や子育てしやすい環境が若者に魅力があり、長く住める要因だと思う。
女性	40代	若者が町をつくらないとこれからは成り立たないから。
男性	50代	今のままでは若者は外に出ていくと思います。
女性	70代	働き口の確保。
女性	50代	駅通りも店がなくなり閑散としている。電車で駅降りたら楽しめる町になればいいと思う。
男性	30代	若者が集まる場所ができれば、出でていかない。
男性	80代	アウトドアスポーツ及び町の中心で若者が健然に楽しめるイベント。コンサート。出会いの場を作るべき。
男性	50代	若者がいないと十日町が良くならない。市民で考え魅力のある町に。
女性	70代	若者に興味、魅力ある物をとり入れる。
男性	80代	若者が就職したい環境作り。
女性	20代	魅力がなにもない。だからみんな出ていく。
男性	40代	自分達のやってみたいという仕事がない。
女性	50代	カラオケ・映画・ユニクロ・GU・スタバなど、若者が利用する施設が無い。
女性	50代	若者が働く場所（働きたいと思う）が少なく、都市に比べると賃金も安いから都市部に流れ、若者が好む遊び場が成り立たない（十日町では）。よって十日町では遊ぶ所がなくてつまらないから外に行くという悪循環。

性別	年代	理由
女性	60代	若い人が元気になれる十日町市になって若者が都会から地元に戻ってきてほしい。
女性	70代	若い人をあまり見ないからです。
女性	30代	若年層の定住促進しなければどんどん流出する一方だから。
男性	70代	若者が少ないから魅力のあるまちづくりをできるはずもない。
女性	80代	若者の交流の場。賃金の高い職場。
女性	70代	少人数の若者達だが遊ぶ所がないという。
男性	70代	10代～30代の若者を対象としたワークショップを開き行政関係者も同席し、まちづくりを検討してほしい。
男性	20代	若者離れが深刻。
女性	70代	子供もいない。若者も定着しないでは、衰退するばかり。魅力ある街など夢の夢。
女性	60代	地方から、都市へ若い層が流出し過疎化が進み、人口が減るのをくいとめるために、その町に生活力を見い出せる働く場所をつくる。
男性	50代	全て必要だと思いますが、今居る若者が出て行かない、また、帰って来たくなる、そんな町にするために上記の項目の改善が求められると思うし、それが出来たら問題も少しづつ解決していくものもあると思います。
女性	60代	魅力あるとは、他の面でも子育て支援等充実していくことだと思うので。
女性	70代	若い人が、地元から出てしまうと、なかなか戻ってくるという気持ちになれないようだ。
男性	60代	遊ぶ所も働く所もなし。
女性	50代	若者を呼べる活性化した街づくりをして魅力ある街へ。
男性	60代	各種のイベント、祭り、スーパー、ホーム・センターに、人が集まるのみではなく、平日、人が集まる広場、山道、街並がもっとあってもよい。
男性	40代	十日町で働いてる子育てしたいと思うようになれば人口減少の抑制につながる。
女性	60代	若者がずっと住みたいと思う町作りが人口流出を防ぐから。
女性	70代	若者にこの町が好きで住みたいと思ってもらいたい。
男性	40代	若者の定住を増やすため。
男性	70代	若者の出会いの場と魅力のある企業の誘致。
男性	20代	賃金も含めた、若者が働きたいと思う働きがいがある企業が必要（市外・県外への流出を止める）。
男性	70代	魅力があれば人も集まる。
男性	60代	若者移住者を増やす。
女性	70代	キナーレの回廊と水辺の部分を、チーム・ラボアート集団から雪国に合ったFuture parkに変えてもらえたたら良いと思います。
女性	70代	小さな町だから、ムリかも知れないが土・日になれば若者は皆、長岡・新潟・サッカーなど行き、ひっそりした町になる。
男性	70代	若者が地元十日町に愛着、魅力を持てるために何ができるか、私も答えが出しづらいですが、欠かせない部分です。
男性	60代	高卒後の専門学校、大学等の創設。
女性	70代	若者の働く仕事がない。
女性	80代	若者に魅力のあるまちづくり。若者に定期的に集会してもらい意見交換、良い案の物を徹底的に討論。
女性	70代	働く会社を作ってもらいたい。

性別	年代	理由
女性	80代	若い人達が市内をしっかりと維持出来る発展性、希望の持てる市に。
女性	70代	若者が定住するには、働く場が必要。
男性	70代	働く職種を選べるようにする。
女性	70代	若い人達に十日町に残り、働く場所を増やす。
男性	70代	少ない若者が学校を出ても就職できず。
男性	70代	魅力がないので若者が少ない。若者に意見を求める場を。
女性	70代	働く良い会社がない。
女性	70代	若者が集う所がいっぱいあれば町が元気になる。
男性	80代	①と同じで、ここ十日町に届まってくれる若者を増やすため。
男性	40代	人口減少をしているのは若者に魅力がないと離れていってしまう。
女性	70代	十日町の主な産業は何かわからない。
男性	70代	まったく魅力のない地域。
男性	70代	若者にすごしやすい町づくり。
男性	60代	若者が住みつかなければ、高齢者ばかりになり、衰退する。
男性	50代	働く企業が少ない為、若い人が十日町で生活できない。
男性	60代	若い人たちに選ばれる“十日町市”の実現を目指すこと。
男性	60代	若者がいないと、人口が減少する。
女性	70代	若者がいなくなったら、おしまい！！
女性	30代	若者が定住しないと子供も増えず、人口減少が加速すると思います。
女性	70代	ユニクロを入れて下さい。若物の好きなコンサートなどをして下さい。
男性	40代	高校卒業してみんな都会にでてしまったら、田舎になんか戻ってこない。楽しい場所がない。
女性	60代	若者だけでなく、活気のある十日町にしてほしい。
男性	70代	人口減少・高齢化を解決できうる大事を要素であり根本であると思う。
男性	40代	若者がいなくなったら未来がないでしよう。
女性	70代	小、中高の学生にアンケート調査してみたらいいかな。
女性	70代	若者が住み続けてもらえるように。
女性	60代	人口増加のカギは若者！！
女性	50代	若い世代が「住みたい」と思えるまちにして欲しいです。
男性	50代	考えが山地すぎる。
女性	50代	この町にはイケてる若者だって大勢いる。彼らにもっと発信してもらいかっこいい大人がいるなら私たちもここに住みたいと思わせられる。
女性	60代	上記で増えることにより、若者増加で輪が増え、大きくなり、新しいアイデアが生まれる。
男性	70代	若者が集う場所が「飲み屋」しかない。
女性	60代	大学進学させても、Uターンさせる場所もない。
男性	30代	若者の都市への流出を抑制し、①につなげる。
女性	40代	若者が働く場が少ないと思います。
男性	50代	若者が留まり、さらには若者が住みたい街にしないと人口は減り、街が消滅してしまう。
女性	70代	若い人が夢を持ち張りのある日々を過せる街になつてもらいたい。
男性	60代	人口減少の対策のため。
女性	40代	十日町に住み続けたいと思う町づくりにしてほしい。若者が遊べる・集まる施設がないため。

性別	年代	理由
女性	80代	この町が伝統文化をたずさえ若い人達が大勢集まって来る町にどこも人口減少の中それでも若い力は必要。楽しくてやさしい町に住むためには工夫をして町作りを。
男性	50代	都会とは違う地元の良さの発信。
男性	70代	若者がいない（少ない）市町村は発展性がない。
男性	40代	若者だけでなく、住もうとする人、住んでいる人に魅力がないとダメ。
女性	50代	今後を見据え、多くの情報発信は若者。
男性	50代	若者がUターンしたいと思うような町造りが急務、若者が少ない町は活気がない。
男性	50代	仕事だけでなくあまり若者には魅力的な町とは思えない。
男性	20代	Uターンしてくる若者が少ないから。
男性	40代	人口が減少していく中で、流出を少しでも抑えられるように。
男性	70代	若者の流出を抑えられるから。
男性	20代	若者の人口流出が止まらないから。
女性	40代	若者が定住しないと人口が増えない。
女性	40代	看護学校は出来たが、十日町に残る学生は少ないと聞いている。中学、高校から地元の魅力を伝えていく必要があるのではないかと思います。
女性	40代	若者が増えなければ市として高齢化が進むだけ。出産数も減り続け、高齢者の医療費がかさむだけ。
男性	40代	若い人が定住してくれないと人口増加にならないと感じています。
男性	50代	時給が安い、就職したい会社が無い！まだまだ古い考えの企業、会社が多い。
男性	40代	若者が十日町に定住したいと思えるような、活気溢れてる十日町にして欲しい。
女性	50代	働く場を増やしつつ、子育てしやすい環境と遊べる場所がもっと増えて欲しいと思います。
男性	40代	現在とても若い人が住みたいと思わないと思います。
女性	50代	仕事、若者が集える場所等、十日町に行きたい、住みたいと思える場を作ってほしいです。
男性	50代	若い人が出て行くので残ってもらえる町には仕事が大事。
女性	30代	少子化対策として、若い世代の人にとって暮らしたいと思える町づくりは必要だと思う。
女性	20代	若者を増やすことによって活気のある街になると思ったから。
男性	60代	若者が増えなければ、未来は無い。
男性	40代	この土地に住む理由になる助成金の拡充。
女性	30代	若者にとって魅力がないと、住んでもらえたり観光に来てもらえないと思うから。
男性	60代	若者がいなければ、街の未来はない。
男性	20代	将来そこで長い間生活をする若者が魅力を感じなければ町を離れるのではないかと思うため。
女性	50代	高校卒業後の流出を防ぐため。
男性	20代	映画館やショッピングモールなどがなく、市外に行かないと行くところがないから。チェーン店や有名店を出店すれば、若者も市内で楽しむことができるかもしれない。
女性	40代	若者が出ていかないようにするため。
男性	40代	若者がいなければ活力が生まれない。

10. 克雪・除雪の体制づくり【130 件】

性別	年代	理由
女性	80代	冬でも安心して暮らせるから。
男性	50代	冬がいやという思い、県外の人が多い。冬の利便性重要。
女性	60代	雪害に悩む。
男性	20代	除雪関係者は休みがない。
男性	80代	交通対策。
男性	40代	この土地は雪とはきってもきりはなせないので克雪・除雪の他に、雪を楽しむ事業にも力をいれてほしい。
男性	60代	高齢化による人手不足の解消。
男性	70代	市道だけでなく、市道外でも補助金出して下さい。
女性	20代	消雪パイプの水が出なくならないようにできないのか?雪をよける場所がない。
女性	60代	雪が降る、除雪の大変さから転出を考える人は多い。
女性	20代	1人で除雪するのはあぶないし、手伝ってくれる人がいない。業者にたのめるほどの余力はない。
男性	60代	冬期の安心安全を今年は痛感した。
男性	80代	除雪にはきりがないが、国道は、小千谷方面、長野方面は水による除雪を進めてほしい。
女性	50代	雪の処理が大変で高齢になつたら住めない。高齢世帯への支援が欲しい。
男性	60代	豪雪地で仕方無いが結果、人口が増えない。
女性	40代	冬でも住みやすい町づくりを!!
男性	40代	担い手不足が現状、除雪隊への賃金割増!!会社だけが儲けるな!!!
男性	40代	はやくしてもらわないと仕事へいけないため。
男性	50代	今後これまで以上に降雪が増えた場合の対処。
女性	70代	1人暮らしの世帯の補助の見直し。
男性	40代	大雪でもお金が出るばかり。
男性	30代	雪が人口減少につながっている印象があるから。
女性	50代	高齢者や障がいのある方々に対しての支援が不足。
男性	50代	除雪作業は体力的にも、費用的にも負担です。
女性	60代	除雪には体力もお金もかかる。市民の生活は大変である。
女性	30代	年配者が多いので除雪が大変だから。
男性	70代	各道の安全。
男性	30代	流雪構の通水時間が日中なので、共働き世帯は大変。早朝、夜も通水しないと生活できません。
男性	70代	老人であれ若い人であれ雪の対策が、重要。
女性	50代	大雪時に対する対応が個人で行うには限界がある。
男性	70代	町場と山間地の差がありすぎる。
男性	40代	雪を武器に観光客を呼ぶなら、雪対策は必須。
男性	20代	除雪機などの購入の際に補助金があると助かります。
女性	60代	除雪体制は良いと思いますが、単独世帯の除雪が大変だと思います。
男性	80代	体制づくりではなく克雪・除雪をするのみ。
男性	60代	除雪技術は、十日町はすばらしい物がある。なぜこれを町おこしに結びつけて考えないのか。

性別	年代	理由
女性	40代	雪が多いということで、当地に住み続けたくなくなる。
女性	70代	県道と市道が交わる場所の除雪の融通性を。
男性	70代	なぜ人口が減り続けるのか…、ひとえに雪国せいだと思う。
女性	70代	今冬のような降雪があると誰もがこの地域に住むことをやめたいと誰もが思うのではないか。
女性	50代	年とてからの除雪が心配。除雪の体制づくり必要。雪がない方へ行きたくなるなり、人口減少につながる。
男性	60代	後継者育成。
女性	50代	若い人達は雪が降るから降らない所へ行きたいという人もいると思うから、除雪をもっと丁寧にしてほしい。道路等の整備。
男性	70代	雪国十日町ですので宜しく！
女性	50代	寒冷地助成金があっても良いと思う。
女性	50代	雪国に人が集まるには重要。
男性	60代	雪のない町の工業団地はいっぱいなのに十日町市は？
男性	60代	高齢者になって雪かき、雪おろしがつらいので。
女性	70代	冬は雪との戦いで気持ちが暗くなる。
女性	80代	克雪は雪国の命にかかわる。
男性	60代	除雪オペレーターの若返りをはかる。待遇改善をする。
男性	30代	とにかく車がないと観光客も来ない。
女性	50代	道路除雪の扱い手不足が大変心配（屋根雪除雪も）。雪国仕様の新築、リフォームの補助金の充実が必要。
男性	80代	高齢者住宅の除雪の体制、85才以上老人世帯に除雪補助支給。
男性	30代	近年降雪が多すぎるため除雪が間に合わない。
男性	50代	高齢者の屋根、家のまわりの除雪体制の町づくり。
女性	80代	十日町は人間がやさしい。雪の降る季節が大変であるから。
女性	40代	屋根の雪下しが心配です。仕事としてそのような会社があればいいのでは…。
女性	70代	今年の様な大雪になると、道路の雪の山、壁が大きく車も人も危険な状態になつたので除雪をして頂きたい。
男性	70代	屋根雪除雪の対策を充実してほしい。
男性	50代	雪の住みにくさを払拭し短所でなくする。
女性	60代	冬は雪で疲れてしまうので、みんなに補助金がでたら良いと思う。
女性	70代	1番雪国にとって重要な課題です。それでこの町を離れる事を考えます。
男性	20代	雪おろしをしなければならない家に住み、毎年の豪雪で雪の処理がおいつかず体がもたない。
女性	60代	冬の除雪が、年と共にできなくなり、不安である。
女性	70代	「雪」を邪魔ものにしない。
女性	40代	除雪の負担軽減（冬期間の補助は全家庭に）。
男性	50代	克雪、除雪に経費をとられ他の整備が遅れがちである。
女性	40代	仕事も学校に行くのに間にあうように、除雪してもらいたい。
女性	50代	できれば長く住みたいが、年をとると除雪が自力ができるか不安がある。
男性	70代	もっと個人への支援、優遇を。
女性	60代	最大の経済的ハンデをどうするか。
女性	30代	冬の雪は本当につらい。助けてください。次世代の人の除雪をつくっていけたらいいな。

性別	年代	理由
女性	60代	老夫婦が2人でも雪の心配しなくても良いように。
女性	80代	この地域では一番重要と思う。
女性	70代	大雪になった時に困るからです。
男性	80代	高齢者には除雪はきつい。
女性	30代	大雪の時の高齢者のみの世帯が大変なので。
女性	50代	市内で1人暮らしをしていて、日中は仕事です。流雪構の時間に家に居ません。 高齢者世帯等に支援があるのに何処女性1人世帯にないのですか？
女性	30代	冬でも安心してくらせるイメージが伝われば定住者も増えると思ったから。
男性	80代	市の負担になってから道路除雪が遅い。あと、消火栓、ゴミ出し場と除雪する所が多い。融雪であるが灯油が高い。
女性	80代	屋根の雪・家の廻りの雪が、大変だから。
女性	60代	特に豪雪になった場合、高齢者が2人で屋根の雪堀りが大変です。
女性	60代	住みやすさを追求すると雪の問題は大きいので、いかに冬期11～2月雪対策が行き届く地域になるか。
女性	70代	雪国に生きるため必要です。
男性	30代	除雪されない所がある。市の道なのに…。
女性	80代	通学道路の安全確保（歩道）。
男性	60代	高齢者が毎日心配なく生活ができる町になってほしい。雪の対応がうまくいかない山間地もある。
男性	60代	克雪のなかで、利雪とか親雪（雪まつり、スキーフェスティバル）をさらに考えてみたら、冬の生活が少し「楽」になるのでは。
女性	40代	大雪でも安心して、通れる道がもっと増えてほしい。
男性	60代	克雪地だから。
女性	70代	冬、雪国的生活が麻痺しないため。
男性	50代	屋根の雪下ろしサブスク作ってくれないと、つらくて市を出る人が多いと思う。
女性	60代	除雪はつらい！
女性	30代	やっぱりその十日町の住みにくさの原因は雪のため。でも除雪はハイレベルで尊敬します！
男性	60代	雪に対するマイナスの払拭。
女性	60代	除雪に時間もお金もかかる。体力もかかる。
女性	70代	大雪の時、経費がかかる。道路除雪の時間が早過ぎる。
女性	70代	まだまだ流雪構が足りない。
女性	60代	ここ数年の大雪で大変だったので心配です。
女性	70代	働く場が有っても除雪が整ってなければうまく行かない。
男性	70代	高齢化による除雪体制が心配です。
女性	60代	やはり雪国は大変！！というはある。身心に負担。
男性	40代	これから高齢者の退職により道路の除雪等の従事者が減っていく事を考えるとそれに向けた新たな体制が必要と考える。
男性	50代	今年のような豪雪時、消雪パイプも止まり雪の捨て場がなく大変だった。もっと考えて欲しい。流雪構もないのでこういう地区の整備や、除雪車を出すなどして欲しい。
女性	70代	雪の町でも安心して生活できるような体制づくりを望む。
女性	80代	高齢者になると屋根にあがるのが大変。
女性	60代	除雪が大変で若手は県外へ出てしまう。

性別	年代	理由
女性	40代	雪の降らない所からの移住者や、高齢者世帯に優しい体制づくりをお願いしたい。アピールできるポイントになると思うので。
女性	80代	町内では消節パイプで大変助かっているが家の玄関車庫等の除雪は体に限界がきている。
男性	70代	高齢者にやさしい除雪になつてない。
女性	50代	流雪溝の時間によって仕事を休むとかなんとかなりませんか？大雪の日は市全体で休日にするとか、大胆な政策を。
女性	40代	主要道路（国道）の他に市道・県道の整備（冬期通交止が多い）。
女性	30代	高齢になり今までのようく家周辺の除雪が担えない人が増えているのでそういった方々への支援は必要だと思います（空家も増えている）。
男性	60代	開催期間の延長に向けた取り組みをして欲しい。
男性	20代	除雪体制の改善が必要だから。
男性	40代	今後、除雪体制の維持が難しくなつていきそうなので除雪管理する道路や地域を集約させて効率化を進めないと現状以上の除雪対応は不可能になりそう。
男性	50代	国からの補助金増額。
男性	40代	この地域の除雪業者の技術は世界に誇る技術です。生活に欠かせない、当たり前のことと住民は思っていますが、世界に誇る技術であることを再認識するべきだし、一つのコンテンツとして発信するべきです。
男性	40代	やはり雪が一番の課題。車は4WD、家は高床や耐雪で除雪の機械が必要。光熱水費は高い！収入は上がらない！となると雪が降らない地域に行きたくなりますよね。
女性	10代	除雪される所とされない所があり、歩く時に不便だったりする。
女性	20代	県内随一の豪雪地帯だから。
女性	30代	大雪の時だけがこの地域に住んでいてとても困る点だと思っているので雪対策をすることが若者が住み続けてくれる町づくりに繋がると思うから。
男性	40代	雪がとにかくすごい地域なので、雪がふっても人が苦労しない環境にしていきたい。高齢ばかりになるのでなおさら。全世帯融雪無料化進めましょう。
男性	20代	豪雪地帯として冬をストレスを少なく過ごすため必要だと思う。
女性	50代	雪掘りが大変で離れたい人が多いため。
女性	60代	雪はとても美しいが、屋根の雪掘りが必要になると命がけ！雪の不安が軽減されるなら定住者が増えると思う。
男性	30代	十日町市の魅力でもある雪ですが、若者、高齢者、移住定住者に一定の負担を与えるものもあるため。
女性	50代	住みたくなくなる理由を減らす。
男性	40代	雪はずつと降り続けるため。

11. 行政サービスを見直す【30件】

性別	年代	理由
男性	60代	17時15分終わりでは仕事が終わってからだと間に合わない。
女性	40代	芸術祭をすぐ中止して、その分で道路を整備してほしい（バイパス）。
男性	60代	行政サービスは「すべてを少しずつ行なう」ことではない。「少しずつ」では、何ひとつ効果がない。メリハリを。

性別	年代	理由
男性	70代	高齢者がいつでも買い物にいけるサービス
男性	40代	市議・職員数が町にとって本当にベタなのか。
男性	80代	今のままでは物足りない。
男性	60代	町内や振興会の合併が必要になって来ると思う。
女性	60代	介護サービスの無料化。
男性	60代	子供のスポーツクラブ化にともない子供達への支援。
男性	80代	サービスを見直すではなく、することのみ。
男性	70代	担当者がもっと現場に出て現状を見てほしい。
男性	50代	日中働いている家庭の除雪。
男性	70代	十日町市が稼がない。
女性	60代	市民の意見を聞いて下さるのはよいが、もっと行動を早くして欲しい。
女性	60代	介護認定を受けてなくとも、高齢者にタクシー券などを配布してほしい。
男性	70代	クロステン、分じろうなど箱物が多すぎる。
女性	80代	サービスを拡大充実する。
女性	60代	年金生活者を、助けてほしい。
女性	30代	アパート代が高いのでもう少し下げれば住む人も少しは増えると思う。
女性	80代	高齢者の入浴を年額にせよ。
女性	50代	市役所はいつ行っても上から目線対応ですね。市民は税金収めてますけど、上から物言われる意味がわかりません。
女性	60代	買物などの代行サービス、その他。
女性	70代	人口が減り、今まで通りではなく小回りのきく、行政組織を見直すことが大切。
女性	30代	高い税金を払っているのに見返りがない。
男性	80代	現場を見てまわる。
男性	70代	無駄なサービスがある様に見える。
男性	60代	あいさつしても返事が返ってこない。
男性	40代	10の理由とも重なりますが山間地域なのでなるべくコンパクトにまとめて行く方が将来性がありそうです。
男性	50代	福祉にもう少し人員や予算をあてて欲しい。
女性	60代	人口を中心に集約し、効率よく安全安心に必要な人にサービスが行き届くといいと思うから。

12. デジタル社会の実現に向けた取組【12件】

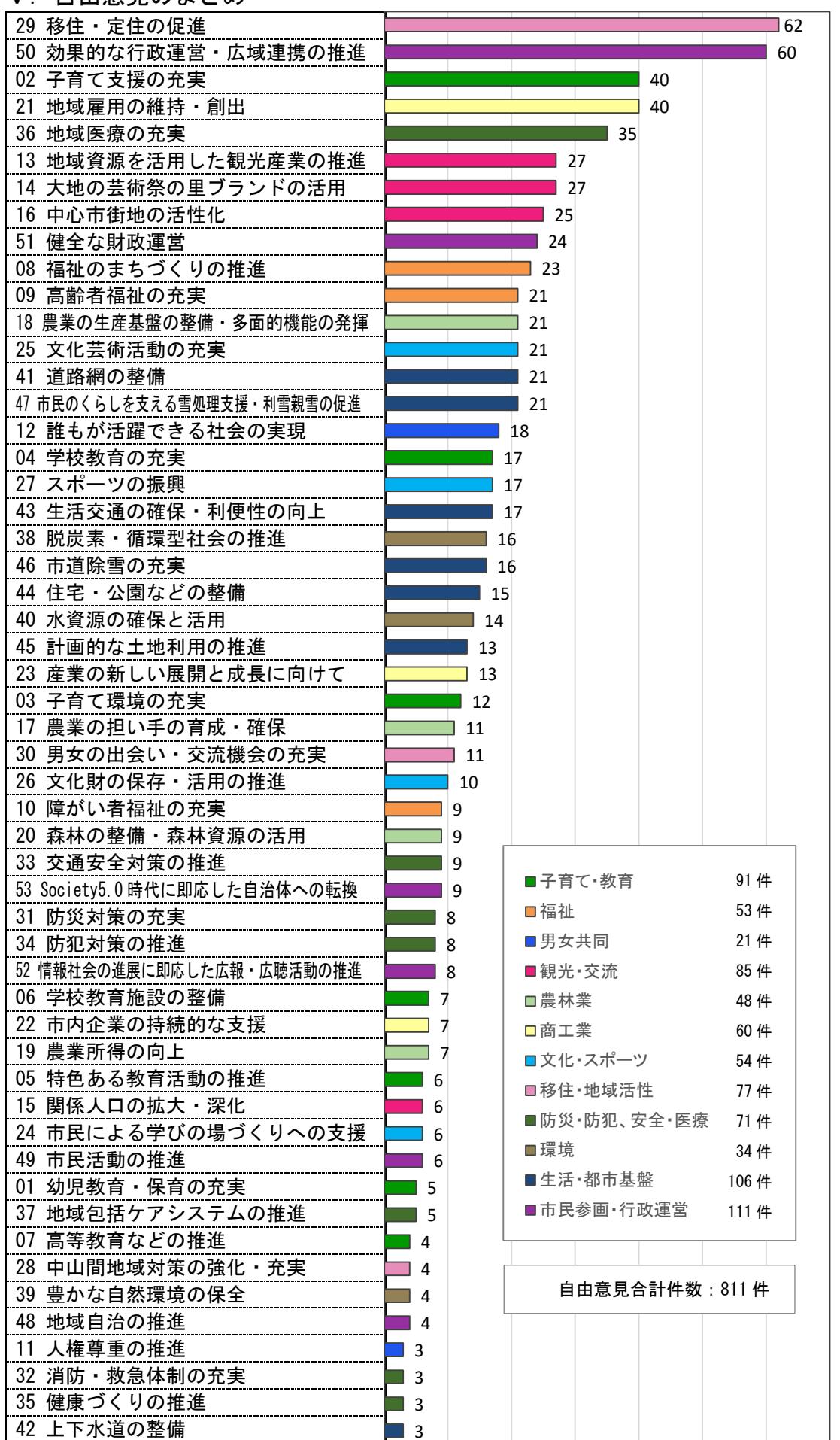
性別	年代	理由
女性	70代	デジタル教育はお金がかかるから出る！
男性	60代	未来へ投資しましょう。消えゆくものへの投資はムダです。
男性	60代	パソコンを使う事が多い世の中になりデジタル化が当たり前になってしまった。
男性	50代	従来コストを改善のため。
女性	70代	これから社会はデジタル社会。
女性	70代	私は高齢だし、ついては行けず、スマートフォンは使えないけども、社会全体がデジタル化になって来ているから。
男性	30代	日本人口減少に伴い、技術者不足のため育成。除雪技術、農業技術を持つ人を、技術指導の元、派遣会社を設立。派遣、支援、宣伝、広告、作業用ロボットの普及に伴い、操作指導、講習等など、出稼ぎ労働を参考にしたモデル。
男性	50代	全世帯にPDAが支給されたら回観板が不要になったりバスの予約ができたり便利になると思う。
男性	30代	人口減少に伴い、少ない人員で最大の効率が求められる社会に向かっていくため、デジタル化の推進は急務だと考える。
女性	60代	社会生活の基盤になることなので避けては通れない。
男性	50代	効率化は必要不可欠である。
女性	50代	便利な方が住みたくなる。

13. その他【24件】

性別	年代	理由
男性	50代	都会並とはいかないが、一般企業の給料アップ。 中心部や町中と山地の住民の負担額が違う。山地の運営に補助を。
男性	30代	糸偏の企業より鉄偏の企業誘致を望む。
女性	40代	工業地帯を作り就職支援や労働者確保をする。
男性	40代	健康増進のため、市民が温泉無料チケット配布。三条市がやってた。
女性	20代	手取り額が増えれば、消費も増えるし他の地域からの働き手も確保できると思う。また、手元にお金がなければ子育てしようとは思わないと思う。
男性	60代	住民の立場に立っていない。
女性	80代	関連しますが、空き屋対策について、生かすも壊すも行政の支援を多分にいただきたい。
男性	40代	過疎地を平場に集約しインフラ費用を減らす。
女性	30代	十日町は他に比べると、とても除雪に対して安心しています。継続してほしい。
男性	60代	婚活→定住→出産→生活環境の整備。
男性	50代	若者～高齢者の十日町での暮らしの原点。
女性	20代	子育てがしやすいまちづくりをする前に、この地域で子どもを安心して産める場所がないため。
女性	70代	地震、大雨などの災害多発している。具体策を！
女性	60代	高齢者でもお元気な方が多いです。こういった元気な年配の方が集まる所が（遊び場）あったりボランティアグループ活動する所があつたりすると地域の力が高まるのでは？

性別	年代	理由
男性	30代	年収が高ければ出ていかない。
女性	70代	若者の結婚意識がなさすぎ、将来に不安！！
男性	40代	経済活性化の切り札。
男性	30代	若者は給与が高ければ働くため。
男性	70代	大学校や専門学校の誘致で若者人口を増す。また国の行政機関の誘致等で。
男性	60代	ふるさと納税や観光客の誘致で財源の確保。くだらない大地の芸術祭や、地元にお金が落ちないイベントを中止する。魅力のない建物は作らない、経費増大。
男性	70代	十日町病院は新規は診察しない。開業医に行けというが、そこはほとんど予約もとれない。どうしたらよいかはわからないが、不便だ。
女性	70代	日本全体の人口が減っているのだから、首都圏以外に人は集まらない。
男性	60代	大学に行ったら帰ってこないのはなぜ？
女性	60代	対策効果が出るより人口減少が急速に進むのではないかと危惧しています。

V. 自由意見のまとめ



※自由意見欄の回答数を合算

記載された自由意見

自由意見の掲載は1分野のみとし、重複していない。一人の意見が複数分野にわたっている場合は、最初に記載する分野のみ記載し、以降の関連する分野には記載しない。

1. 教育・子育て【29件】

性別	年代	自由意見
女性	20代	十日町病院では昔みたいに小児科救急外来はできないものか?平日も受け付けは10時までは早すぎる。十日町病院でなくとも、夕方18時までなら受け付け可能とかできたら、仕事をしている方には助かります。出来れば19時まで受け付け可能とか。
女性	40代	英語教員に力を入れてほしい。交通の充実も。観光客増にもつながっていくと思う。
女性	70代	・乳幼児検診等を通して、ママが少しの時間でも自分の時間が持てる機会を得られるよう支援の裾野を広げられると良い。 ・高齢者の体操教室はコミュニティにおいてもありがたい。
男性	70代	・大学生への奨学金制度の充実 ・高卒者の新規採用・観光、地域行事、移住定住PRの拡充
男性	10代	MEGO3カードは年のはなれた兄弟だと、1番上の子しかカードの恩恵を受けられない。せめて1番下の子が18才になるまで使えるようにしてもらわないと意味がない。多子世帯のことをまったく考えていないと思う。アンケート意味ありますか?
女性	30代	もう少し子育てに対する支援の充実があると良い。買い物をするにも十日町ではイオンにすら、ベビー服や子供服などその他グッズがない。わざわざ隣町や長岡の方まで出でいかなければならず、十日町市内だけで完結できない。また他の自治体は0~2才も保育料が無料だという。十日町もそうなってほしい。これから出産で里帰りをしてくる人のためにも医療の充実もお願いしたいです。人口を増やすのであれば、子育て世代、これから結婚・出産を経験する若者世代の目線になって町づくりをしてほしい。
男性	70代	人口減少対策が1番と考える(複合的に促える)。市では十日町看護専門学校生の奨学金返済を免除しているが、ほかの学校を出て市内の病院に就職した看護師に対しても適用してほしい。稲作農家の所得補償で魚沼米の品質を高める(作付意欲の向上)。
女性	30代	私自身が子育て中なので、子育て支援や教育政策を重要視してしまいます。多くの人がSNSを利用しているので、清津峡など、大地の芸術祭の有名な作品があるのは十日町の知名度を上げるのに強みになると思います。観光客を増やすためにも上沼道などの交通アクセスの改善が必要だと考えます。上沼道が開通したら上越方面の企業に就職して十日町を離れる人も減るかもしれません。
男性	50代	①子育て、教育の充実 ②高齢者の住みやすい町づくり ③雇用体制の充実
女性	50代	若者・子育て世帯に魅力ある町づくりをしないと衰退していくばかりです。めごらんどを作つて満足しないでほしい。まためごらんどは昼休憩をするので使用しづらい。うちの子供たちは市外の施設にわざわざ遊びに行つてゐる。

性別	年代	自由意見
男性	50代	国・県・市いずれも子育て・教育について声高に公共費の注入を掲げ、県や市は住民獲得競争を行っている（移住環境整備等）。県や市は競争でなく共存を念頭に活動を進めるべきと考えます。国全体としての課題に対して全ての都道府県・市町村での協力と、各々での分担を整理し、住民と情報共有してほしい。全体としての最適化が必要です。
男性	30代	福祉や観光も大切だと思いますが、将来のことを考えると人口減少や所得向上についてもっと政策を進めるべきだと思います。特に子育てに関する強化をしていくべきだと思います。他の自治体では良い例があると思うので、ぜひ取り入れてもらいたい。今の現状では若者が流出していくのも納得です。誰もが子どもを持てる市となり、若者が多くなることで市全体が明るくなると思います。若者がいれば働く場も増えていき、結果的に他の政策を進めることができると思います。私はこの市が好きです。でも周りには出て行こうと考えている人もたくさんいます。若者に魅力のあるまちづくりを期待します。
女性	30代	観光や文化振興には力を入れていて良いと思うが、子育て支援とかは他の自治体と比較するとあまり充実していないイメージがあります。若者を定住させるような魅力あるまちづくりと、子育てや教育がしやすい安心して暮らせるまちづくりをどうぞお願いします。
女性	60代	このアンケートは私の様な者に届けてもらっても意味がないです。せっかくいただいたので記入しましたが、自分の生活で手いっぱいです。自分が子育ての頃は何の保障もなく、保育料も2人で6万位で私の手取りの半分以上です。病院代もすごかったです。子供はいくらお金をもらっても増えるものでもないかと。給食費も税金も奨学金もすべて払ってきました。こんな私にも何か良い事あるのかな。選挙は今まですべて投票してきましたが、市政に対してこんなにも無感心だった自分に驚いています。
男性	40代	年寄りにお金を使うのもいいが、まずは若い人へお金を使うべき。そうでなければ年寄りの支援もできない。MEG03カードは廃止し、子供が1人いれば支援すべき。
男性	50代	<ul style="list-style-type: none"> めごらんどもっと室内面積広くしてほしい。室内遊び場の選択肢がなさすぎて毎年、夏に困っている（混んでいて）。 市の職員の短時間求人を出してほしい。10～15時くらいがないので応募できない。雇用が少ない。単発バイトでも可。他の市で探ししかねるのが大変。 子供の費用をもっと出してほしい。今の物価高で税金も高い状態では2人目、3人目はムリ。子供を連れて少し休憩できる所がないのも不満。 ネットカフェや業務スーパーの誘致をしてほしい。夜の医療相談口もしくは夜間病院を増やしてほしい。米はもっと作った方がいい。
男性	70代	当地域の学力の低下は全国小中学校のテストの結果を見ると、顕著である。小中校の学力を向上し高校の進学率を高め、優秀な子供を育て大学で優秀な知識を養った子供が十日町に帰って来て起業をする、そんな地域にして欲しい。教育に市の資産を集中する！
男性	30代	当然の事ですが人口はさらに減少します。人は減る中、人材不足のためのもの（ロボットやAIなど）が代等してくる世の中なので（になってしまって）、扱いに長ける今いる人々を呼び、学び、育てられる環境なら人は維持できる人口を管理できると思います。これから一定数の人間は生き方を選べない時代に突入していくので、生かされるのではなく、日当暮らしでも生きていける術は学ばせるべきです。犯罪は常習化してきてしまいそうなのである程度は対策してほしい。

性別	年代	自由意見
男性	80代	私は楽譜が読めない。市民全体が楽譜が読める市にしたい。学校で教育に力を入れてほしい。小学校にはその時間が足りないと思います。現在の子供は私から見ると昔の子供より頭が良く、進んでいると思う。TVや交通など生活全般が昔と違うと思います。音楽教育を幼稚園・保育園に求めて、小学校や中学校につなげてほしい。目に見える自然の風景（音）、人、動物、植物の風の動き、心の動きなど、なんでも楽譜だと思います。これらの中から音楽・歌を見つけ、市民1人1人が音に敏感になって他所と違う市民や市が出来上がるのではないかと時々思います。
女性	40代	イベントや子供が楽しめる所が少なすぎると思います。週末はほとんど市外へ行っています。
男性	60代	“若い人たち”をもっともっと応援していくことを目指してほしいです。本当に“子育て”は大変ですから、「結婚して、子育てるなら十日町市」をもっと明確にして、最重要課題にすべきと思います。「めごらんど&芝生広場」は大人気です。他の市町村からも来てますよ（孫4人のじいちゃんより）。4人とも十日町市ではありませんが。
女性	30代	子育て支援を充実させてもらいたいと強く思います（給食無料化、未満児保育料無料化、産後ケア無料化など）。産後の訪問型支援（育児や家事）もできると核家族や支援者不足の方に優しいと思います。3才以下の子供がいる家族にはオムツの購入補助券やゴミ袋配布など、ドラッグストアやスーパーに行く頻度が増え、買い物をすることで経済が回るのでは…。小千谷市や魚沼市などはインフルエンサー（小千谷市：おぢやおやじさん、魚沼市：ぬまめんさん→十日町もSNS発信しています。）が居て市で交流があり、地域の活性化につながっていると思う。
女性	40代	不妊治療をしている人達にももう少し優しいと嬉しい。不妊治療の助成金の申請に行ったのに「母子手帳はお持ちですか？」って言われました。聞きとりにくかったのかもしれないんですけど、デリカシーないなって思いました。同じ母子保健係での受付だから仕方ないのかもしれないですが、もう少し気配りがほしいです。子どもを生み育てやすい十日町になってほしいなと思います。
女性	60代	就職、進学による若者の減少・高齢化・若者の意欲不足。不登校、ひきこもり、無職の若手が多すぎ。基本的に働らかざる者食うべからずと思っていますが、どの家でも普通に食べているようです。空き家、空き地、農業放棄地も増加しているようです。学校（家でも）では学力向上も大事ですが、それよりも基本的な生活が出来るよう楽しく学び遊び、働ける若者を育てるまちづくりが重要だと思います。
男性	10代	人口を増やしたいなら、まずは子育て支援の充実を優先すべきであって、高齢者を優先すべきでない。若者は大学進学によって出でていく人が多いので戻りたいと思える市を目指していく必要があり、それには働く場の充実や交通の充実も必要である。もしできるのであれば学校と協力して小学生などに十日町で何があったら嬉しいかなどのアンケートをすればよいと思う。それが本当に若者がほしいと思っている物であり、それを目的に市外から人が来る可能性も増える。
男性	40代	・結婚・子育てができると思えるような、収入がこの街で得られる環境がなければ、人口減少は止まらない。行政だけでなく、企業や地域もそこは一緒に取り組むべき（給与ベースの引上げ、地域のムダな行事や支出を見直して本当に必要な、地域運営を心掛けていくなど）。 ・行政の効率化も不可欠。何でも行政がするのは論外。行政がすべきこと、地域

性別	年代	自由意見
		がすべきことを良く話し合って役割分担する必要あり。 ・高齢者でも感覚的に使える行政申請等のアプリを導入するなど市全般の情報化、効率化を早期に行う必要あり。
男性	50代	中心市街地から0分以内くらいまでのエリアには教育機関を配置し、周辺部の生活環境の充実をはかり、様々な施設は中心市街地に配置し、公共交通を絶え間なく走らせる事で距離感をなくす。都会は交通が充実してるから苦にならない。
女性	20代	子育てがしやすい、働く場所がたくさんある街にして欲しい。新卒で帰ってきたが結局就職先がなく、今も六日町で仕事をしています。せっかく十日町に帰ってきたので、十日町で働きたいです。働く場所もっと増やしてほしいです。就職先がなく、給料面でも厳しい。そうなると一度上京したりすると帰ってこなくそのまま上京したまま就職します。高校を卒業して上京した子たちも十日町に帰ってきたいと思える街にしてほしいです。
男性	40代	これまで地域社会の発展に貢献した高齢者も大事であるが、より子どもや若者が頑張れる社会の実現。

2. 福祉【9件】

性別	年代	自由意見
女性	60代	年金だけでは生活できないので、高齢者に仕事がほしいです。
女性	40代	障がいの有無、グレーゾーンの人の生きにくさを取り除く支援を拡充しなければ、有効的な税金の使い方だと思えない。支援が充実していれば、上記の方々の生産が増える。社会に貢献でき、住みやすい地域のモデルになる（辛い気持ちの人のサポートもできる）ようにして頂きたく存じます。最底賃金で生活している人の事本当によく考えてほしいです。一人親世帯なんか悲劇的です。生活できません。
男性	70代	・有料施設を作り、他の町からも入居して来るような福祉の町が出来ると良いと思う。それにより仕事が生まれ、働く場が増えるといいと思う。 ・新しく施設を作るのはなく、空き家を利用できればもっと良いと思う。 ・有料高齢施設の町『十日町』となるといいと思う。
女性	60代	高齢者でも元気で働くまちづくり。若い人の魅力ある仕事場をつくり活気あるまちづくりをしていかなければ人口が減るばかりだと思う。
女性	50代	高齢者福祉施設の整備・充実と書かれてましたがそれはとても良い考えだと思います。しかし、現場で働かれている方々の様子を見てとても過酷であるという現実をもっと理解して頂きたいと強く思います。「人任せ」で見て見ないふりはとてもありえません。もっと働かれている介護福祉士の方々の目線で現場の声を聞いて頂きたいと思います。お願いします！
男性	30代	高齢者のマナーが悪いと感じることが多々ある。土地がらかもしねないが、高齢者だから優遇させるといったことはやめるべき。
女性	70代	視覚障害者の夫、今の所はかすかに見えていますが十日町でのこのような人達の集まりはあるのでしょうか。少ないように感じます。新潟まで行くと色々あって親切にして下さいますが、東京に行くより遠く感じました。支援団体などありましたらありがとうございます。
男性	50代	高齢者の多い町に何の魅力も感じない。
女性	30代	些細なことだけど、「障害者」を「障がい者」と表現しないでほしい。害という

性別	年代	自由意見
		漢字に語弊があるからとかいう理由らしいけど、そんなことに気を遣うより、リアルに障害者にとって暮らしやすい社会にすべき。

3. 男女共同【0件】

4. 観光・交流【25件】

性別	年代	自由意見
男性	70代	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘地を積極的に行って町を活性化させる。 ・大地の芸術祭も大事だが、あまり活気が感じられない。市や県所有の空いた土地を利用して、積極的に外部からの観光客を呼び込む案を考えてもらいたい。
男性	80代	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと雪国妻有の生活に沿ったまちづくり ・「市民センター」的施設の拡大（冬場の公園は使えない） ・人口減少は、重要な課題です
女性	40代	<ul style="list-style-type: none"> ・大地の芸術祭は市民の為になっていない。次回やめるべき。県外、市外の人は市外に泊まり意味がなく、メリットがない。 ・耳鼻科、眼科、皮膚科、小児科医院が無く、少ない。市外で受診しなくてはいけなくて困る。 ・急患センターは十日町病院のとなりだと思うがいつ移転するのか？ずっと川西にあるが。 ・ファミレスや大きい公園がない。 ・情報館の人に本の相談をしても「分からぬ」と言われる。相談できるサービスカウンターがあると良い。
女性	50代	観光に来たいと思う所もなく本町も閑散している。大手の企業も入ってこない。新幹線、高速道路の話も断る等、発展するのか？と思います。家賃も東京並みに高く住みたいですか？とも思います。低賃金で何の魅力もない！アンケートでどのような意見が出てくるかはわかりませんが1つ1つの質問に対して見直して、いつもまたはまたここに来たいと思うような、人が集まる所になるようして頂きたい。町中ですら閑散としていて、山地はもっと高齢化に困っています。
無回答	60代	<ul style="list-style-type: none"> ・限界集落の住民には優先的に市街地に移転できるよう手厚い支援策を実施し、コンパクトシティ化を目指す ・十日町橋下の河川敷野球場を整備両翼70m程度のフェンス付き少年野球場を作つてほしい。
女性	60代	芸術も大事だが、市民に税金負担を（水道代値上げなど）強いてまで行うのはどうかと思う。雪祭りも規模縮小化で行っている事も考慮するとやり方を変える時がきたのでは。毎年、同じオブジェを回覧するだけのイメージです。
男性	40代	すでに手遅れなので、全体を考えて、全体に平均に縮小させていく。和を大切に。
男性	70代	大地の芸術祭に力を入れすぎて住民の生活に必要な事に力を入れてほしい。
女性	40代	大地の芸術祭などイベントでのPRばかりでなく、きもの以外の主要産業の開拓にもいい加減に本気で力を入れて取り組んでほしい。
女性	80代	土地（地型）・人・食に力を入れて。観光でも就労でも生活しやすく、人が来やすい地域にしてほしい。

性別	年代	自由意見
女性	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・「きものまつり」に①参加する人②参加したい人③参加できない人④参加たくない人がいて、②③④をどうやって動かすのか。 ・地域外からの参加を10倍に増やす。例えば、アニメときものコラボレーション。“おたく”という人達が動くと、大きな資金の流れがおきる。 ・着物の貸出・着付をしているが基本通りだけでなく、ファンション（アニメーション・コスプレ）として着れる着物の貸出、着付をしたらどうか。
女性	70代	他県から来ても特に案内する所が少ないためもっと友人・知人が来た時に連れて行ける所が欲しいです。水辺公園が作れたりこれだけ自然が多いのですから、子供達を遊ばせる広い公園等を希望します。クロステンに地元野菜もっと多く出して欲しいです。市外からの人の声もありました。
女性	60代	拡大・伸長にこだわらず、生産性に合った無駄のないコンパクトで豊かな地域づくりを目指してはどうか。これから日本及び世界に共通した課題かと思われます。昔は雪期に機を織りましたが、これに代わるリモート事業などがあったら良いですね。
女性	70代	<ul style="list-style-type: none"> ・十日町は花見等、有名な所がないので市民が集まって楽しめる所が必要 ・もっと老人が楽しめるイベント等があると良い（花作り、野菜作り等の集まりなど）
女性	70代	人の集まる場所を作りたい。明石の湯これはあのままだと行く気にならない。やはり食堂があつて1日過ごせる場にして欲しい。
女性	60代	本町通りは静かで人通りも少ないし活気がない駐車場がないのがネック。下島の方に活気があるし人もいっぱい。
女性	40代	休日も遊ぶところが少なくて、市外へ出かけることがほとんど。もっと観光産業として、買い物できる場所や家族（3世代）で行くことのできる所を増やしてほしい。自然を活かした観光には限度があると思う。企業を誘致して雇用を生み出してほしい。近隣市町村へ行くにもアクセスが悪いので市外へ働きに出るのは大変だし、自分の子には関東へ出て多くの選択ができる環境にしてほしい。
女性	70代	大地の芸術祭の一部作品には、景観を損ねているように感じるものもあり、美的センスを信じられない。
女性	60代	どんどん店がなくなり街中もシャッター通りになっています。日中もほとんど人通りがありません。カフェができるといいです。駅通りにできるようですが…。有名アーティストも南魚沼市止まりです。たまには下火になった方ではなくこれから売れる方を呼んだりしてほしいです。駅西に通る地下通にもっと明るい子供達の絵や写真など人が呼べる展示物を飾ってほしいです。十日町の米、酒、蕎麦、雪、自然などをアピールして、大地の芸術祭も充実させてほしい。十日町商店街も参加して何かイベントできればいいですね。十日町は好きですが今後50年までに消滅可能性があるとされています。他の南魚沼市や津南町はどんどん新しい事にチャレンジしています。古きを大切にして色々とチャレンジして活性化してほしいです。
女性	30代	お米、お酒、雪まつり、清津峡等で“十日町市”を知っている県外の方はたくさんいらっしゃいます。その方々が観光にいらっしゃった際にまた来たいと思っていただけるような市になっていただけと、リピーターとなり経済効果を見込めると思います。また、雪害のままでなく、十日町小学校で開催していた頃のような雪まつりを復活していただくことで、市民も雪に対して嫌な思いだけでなく、少しでも明るい気持ちになれるのではないかと思います。自然、食べ物と魅力はあると思いますので、ぜひ十日町市の活性化のために活かしていただけると

性別	年代	自由意見
		市民としては嬉しいです。よろしくお願ひいたします。
女性	40代	いい加減、大地の芸術祭に大きな税金を使うのやめてください。市民には「何ひとつ」良い結果になっていません。市民のために、本当に何をしなければいけないのかゼロから考えて下さい。私は今40代ですが、65才をすぎる時には2040年問題に直面していると思います。箱物ばかり作っていないで、ソフト面を充実していってください。町づくりは人づくりです。市民が住みつづけたいまちを真剣に考えてください。
女性	40代	マックのドライブスルーやファミレスを十日町市に作ってほしいです。
男性	60代	いまいち活気が足りないような気がします。色々な施設はあるが、どれも中途半端で活性化につなげるものが無い。十日町市でなければという目玉を作ってほしい。なんかあれもこれもで手をつけすぎなのでは。
女性	30代	大地の芸術祭は市にとって貴重な観光資源でありながら、市民にとっては「他所の人が作り、他所の人が来る祭」という印象が強く、地域の一体感や愛着を感じにくい現状があると思っています。今よりも市民が関わり、盛り上げていくべく、以下のような案を検討してほしいです。 ①増加する商店街の空家を宿泊施設やワークショップ、休憩室に活用（東大阪市の布施商店街SEKAI HOTEL Fuseを参考に） ②市街地にも周遊バスや徒步で楽しめる展示や仕組みを作る（熱海のATAMI ART GRANTを参考に） →①と②により、市街地への集客、経済効果の向上を図る。そして市民への利潤を生み、市民の関心を高める。
女性	30代	十日町は田舎で住みやすく、食べ物が美味しい場所です。東京都まで車で時間と割と交通もいいと思います。私は東京から移住し、大好きな場所になりました。娯楽が少ない・チェーン店が少ないなどのデメリットもありますが、メリットと考えられることも多いです。個人店がだんだん閉店してしまっているのも悲しいので、担い手募集などで代替わりしたり、あえてイオンなどの大手スーパーを減らして駅前商店街を活性化させるなどの変わった魅力があつたらいいなと思いました。せっかく屋根付きの商店街だから、商店街で買い物したいなあと思いますから。 また、駅前の駐車場は六日町のように無料で気軽に止められたらいいなと思います。路上駐車も減り、利用者も増えそう。

5. 農林業【6件】

性別	年代	自由意見
女性	40代	農家さんの高齢化が大分進んでいるように思います。後継はなかなかいらっしゃらないようです。山菜を探りに行っていた方々もだんだん行けなくなり、山の楽しさを伝えていく方も少なくなっています。十日町の大自然（山・川）の楽しさをもっともっとアピールし、芸術だけではない事、そして、十日町市民をもっと巻き込んで外へ発信していけばいいのかなと思います。芸術祭は、十日町市民にとってはかなり他人事です。
女性	80代	農地が荒れないよう若い人も畑のある人は、自家用の野菜は自分で作ったのを食べて楽しんでほしい。畑のない人には余っている畑を無料で貸して、雑草だらけにしないでほしいと思います。

性別	年代	自由意見
女性	60代	豚の飼育している匂いがキツすぎる所以何とかできないだろうか。
男性	80代	森林整備と共に散策路、（スポーツ的）景観等を利用した中山間地対策で都会の人に森林を楽しんでもらいたい（利用料金を取っても価値を感じる物）。交通の利便性を高めて企業を呼び込んで欲しい。雪を利用した観光資源開発、世界レベルの客集め（ヨーロッパ、アジア、アメリカ）。山でのスキーツアーの開催。安全と景観の両面でするべき。
女性	50代	・亡き親から、引き継がざるを得なかつた“林”があります。すぐにでも手放したいのですが、市の方で対応していただけるでしょうか？よい対策がありましたら、教えていただきたいと思います。 ・国道沿いの町並みが、もっと魅力的になるといいと思います。
男性	50代	地元農家を増やす、儲かる農家へ。宿泊施設造設と低価格化。整備された公園とスポーツ施設。

6. 商工業【26件】

性別	年代	自由意見
男性	60代	とにかく働く場の拡充が必要。
女性	40代	若者の働く場がない。これでは子供は増えないし、自分の子供に将来十日町市に残ってくれとはとても言えない。自分たちも年をとってきて除雪がつらくなれば雪のない地へ移住することも検討せざるを得ない。
無回答	60代	何といっても働く場、そのための企業誘致、そのための交通の充実。雪でも車、列車が動く除雪体制。
女性	70代	若者から高齢（60代）まで働ける企業がきてくれると活気づくと思います。箱物作っても建物の維持費がかかって、今後の若者が大変になると思います。
男性	70代	大企業を持ってくる。町が入用な建物以外金を使わない。
男性	60代	企業誘致をしていただき、県内でも上位に入るような給料をもらえる企業をいっぱい作っていただき、個人収入が県内最下位の十日町を上位につけるように十日町市として頑張ってください。
無回答	無回答	子育ても高齢者もそうだが、働く若者がのびのびと働けるように労働環境の質の向上、生産性の向上、柔軟な働き方や労働安全衛生法が適用されているか。賃金の引上げなどを課題にするべきです。娯楽施設も増やしていってほしいし、若者を呼び込むことを重要視してほしい。正直に言って小千谷市などより働く場所が少なすぎます。もっと工場など増やしたり、職の幅や種類を増やしてほしい。労働環境もパワハラやイジメが多すぎます。個人の事業でなんとかするのではなく行政でも労働環境の改善を呼びかけてほしい。
女性	80代	1.若い人の雇用の拡大と充実。 2.お年寄りの憩いの場の拡大。老人施設の充実と雇用の促進をする。
女性	70代	働く場を増やす。
男性	70代	企業誘致をして、若者の働く場の確保をしてほしい。何年たっても全然変わっていない。
男性	70代	大企業の誘致が可能であれば人口対策の一環となると思います。
女性	60代	やはり若い人のためには、働く場所がたくさんあるといいと思います。ちゃんと働ければ家庭を持つことあまりためらわないと思いますし、子育てもしたくな

性別	年代	自由意見
		るのでは。仕事がなければ何もはじまりません。そして、若い人の足を引っ張るような年寄りになりたくない（前期高齢者ですが…）ので、介護される年寄りを少なくする対策は必要だと思います。介護施設よりも、元気を保てる施設などあったらいいですね。
女性	60代	きもの産業が衰退した現在、新たな産業をつくり出す方向で力を出し合っていかなくてはならないと思います。道路、鉄道の便を良くして、多くの人を十日町に呼べるようなイベントや各種の発信が重要だと思います。
女性	60代	将来の担い手を育てることが重要だと思うから。若者の働く場が必要だと思うから。若者がずっと住みたいと思う町作りが人口流出を防ぐから。
女性	70代	とにかく若い人が多勢いて、活気のある町にしてほしい。これはどこの市町村でも1番の願いだと思う。それによって高齢者も障害者も希望が持てる。そして地場産等に力を入れて、商業でも農業でも他の産業でもみんなで知恵を絞って、魅力あるまちにしてほしい。
女性	40代	新しい建物が出来ても、若者などが働く場所が少ないと思います。年間の維持費が多くかかる建物を建てるより市外、県外の人が十日町に来て働く！！と思う場所があったほうが、人口減少につながると思います。
女性	70代	開業医や医者の確保。働く企業、会社がなければ、若者は町を離れます。公務員になれるのは、ごくごく一部の人です。都会から戻って来ても、職がなければまた離れてしまいます。若者を育てる職場、環境づくりが大切だと思います。
男性	60代	若者の働く場を増やす。
男性	70代	若者が活躍できる企業の誘致。
女性	70代	地場産業の無い弱さを考えてほしいです。今ある建物（キナーレ）等を市民が集まりやすいように考えて頂きたいです。
男性	無回答	昭和30年代の6町村が合併したばかりの市街地は、絹織物の最盛期にあり、夜は遅くまで若者達が買いや喫茶店等に近郷からも集まり賑わっていた。今は閑古鳥が鳴いている状態。今は近郷の山の中の町村までみんな集めてしまっているが、果たして十日町市には何の恩典があるのか。私はこまごました政策などどうでもいい。若者が働ける職種を全国、海外からでも招聘して、少しでも当時のような十日町に近づけたらそれでいいと思っている。また市議会議員もだが、増減したりするのはだめ。優秀な頭脳の持ち主から出てきてもらわなければだめだ。今の第々が決して駄目だとは言わないが、市職員もいろいろな分野で活動できる人を集めてもらわなければどうしようもない。首長は先頭に立って優秀な部下と知恵を出していただきたい。
女性	80代	高齢者が多い世の中になり若者の働き口を他者から開拓しながら取り入れ、少しでも生活基盤がしっかりとできるような街づくりを目指して頂きたいです。
男性	50代	ここまで人口が減る前に、着物産業から卒業するべきだと思います。もっと新しい発想を取り入れないとますます手遅れになるように思います。各山々は手入れが入っていない山林が多くあります。整備が必要！山間地でもできるコストがかからない新しい農業のやり方が必要だと思う。
男性	40代	とにかく働く場所が少ないので企業、工場誘致をお願いします。
男性	50代	仕事はスキマバイトの様な短時間の需要供給があるように思う。行政は人が減つて行く事にもっと危機感を持ってもらいたい。
男性	60代	全国レベルの企業誘致をしていただきたい。

7. 文化・スポーツ【5件】

性別	年代	自由意見
女性	70代	①今まであった物（着物等）を利用して（大事に）新しい事を！！（温故知新） ②せっかくある温泉を利用して、もっと魅力のある物にリニューアルして、他からも来てくれる様にして欲しい ③太陽光発電設備を市が中心に進めて欲しい
男性	50代	十日町と言えば“これ”という物・場所がほしい。
女性	30代	十日町は着物のまちなのに着物をきている人がまったくいない。月に1度でも良いので可愛くて綺麗な着物を着て行く所がないのは、さみしい。着物を着て買いたいものに行った時に、知らない女人たちが寄ってこられていじわると言われた事がございました。こう言わされて、これは人事でないと思いました。気を楽にして楽しく着て行かないと着物がかわいそうだし、もったいない。可愛い着物を着ていろいろなところにでかけやすくなるといいな。日本の女人なら皆、可愛く綺麗になれますよと思ってほしい。今日も私は着物をきます。
女性	80代	市街地本町通りに着物関係の建物があると良い。華やかさが欲しい（展示、体験等）。
男性	70代	新発田市に来たももいろクローバーZを呼んで、全国から若者を呼んでみてはどうでしょうか。約6億円の売り上げがあったとのことです。

8. 移住定住・地域活性【31件】

性別	年代	自由意見
女性	60代	高齢化社会が来ることは間違ひありません。観光客ではなく移住者を増やすということはどこかで住人が減ることです。それを目標にしても、長期的には無駄です。それよりは今住んでいる人たちが、この町に住むのが快適だ、住んでいて楽しい、住んでいてよかったです、住みやすい、と感じる町を目指すことが大切です。
その他	20代	賃金が低く、アパートが高いし少ないので外から若者が十日町に来たくても来れない状況。
男性	60代	若者が魅力を感じる十日町市にしてください。
男性	50代	十日町は良い所だと思いますが、現状では若者が帰ってくるには厳しい所だと思います。子どもの教育格差や労働者の賃金などを解決するには、やはり企業に来てもらうなど働く場所が必要かと思います。雪も資源にもなるかもしれません、今年みたいに降られると災害しかありません。かと言って自然なものなので対応するには難しいです。今後人口減少は1番の問題になります。どうか十日町に住みたいと思うような、まちづくりをお願い致します。
女性	70代	地元に帰って生活したいという若者の為の受皿を作っていく事が大事。
男性	50代	人口減少、を抑制する為に魅力ある雇用が必要。市営に限らず暮らしやすい町の再編、大手の企業やショップの受入。飲食やアパレルなど若い人も市外・県外で支出しない町づくり。大手企業から納税収入、地元企業も必要だが、活性化も重要。若手のニーズを取り入れる。ドン・キホーテやかつやなど、これは成功。更に呼び込すべき。十日町中心街（駅）と下島周辺の道路整備や信号機の増加も必要。新上沼道が市街地より離れる為、R17からの呼び込み方も重要。寄りやすい十日町市にする。

性別	年代	自由意見
男性	30代	これから先、人口の減少を止めることは不可能だと思っています。その中でできることとして思い浮かぶのは、若者の移住が最も重要なと思います。それは高齢化が進み働き手がいなくなると行政だけでなく、商業・サービス業のサービスも行き届かなくなるからです。もし、可能であるならば企業誘致（大企業の工場など）に力を入れてほしいです。また、今ある資源として十日町小学校とふれあいの丘支援学校の取り組みは非常に魅力のあるものだと感じています。空気のすんだ自然あふれる環境と分け隔てない子どもたちの教育環境は、支援を必要とする子どもたちを育てる親からしたら魅力のあるものではないかと日々感じていますので、広く発信をしていただくと嬉しく思います。
男性	80代	老夫婦ゆえに、どうしても終活を考えざるを得ない。今の若い人たちには“結婚”の義務感はないものなのか？
女性	50代	若い人を増やす。今の学生を市外へ出さない街づくり。子供たちに未来のある街づくり。
女性	80代	若い人達が住みやすく生活しやすいように頑張って頂きたい。
女性	80代	これからは、機屋は駄目です。若い人いない。高齢者が多くなるよ。若者が働く所がいる。色々な仕事や会社が来れば良い。機織りは駄目です。もっと企業に入らわないと。十日町には、どうして企業がこないのか？
男性	60代	帰化した人や永住権を取得した外国人に対し市民権を出したらどうか？制限として5年以上税金を納めている人に市議会議員（非選挙権）。こう言う人たちがもし議員になり発言するようになればよりよい考えが出るかも知れません。
女性	50代	若者が帰って来はたらけるようにUターンを全力でサポートする何か良いサービスがあると良い。帰って来た人に車の補助金を出すとか、バスの回数券を配るとかキナーレや段十ろうをもつとうまく利用して若者が集うイベントや観光客が楽しめる場所づくりや、体験できる催しの場が増えると良い。見るだけでなく体験できて物づくりができる…。
男性	30代	高齢者の方の事も大切だと思いますが、これから十日町市を背負って行くのは、若い人達だと思いますので、まず若い人達の事を1番に考えてもらえた方が嬉しいです。
男性	50代	若者の人口流出、雇用確保などの問題に取り組んで頂きたいと思います。
男性	70代	十日町人口は、ますます高齢化や人口減少が進み、その対応策は大変難しいと思いますが、やはり県内・県外より積極的に十日町へ移住してもらう対策（企業の紹介、企業を十日町へ）を取ってもらい住んで良し、働いて良し、長く生活して良しをスローガンとして、努力してもらいたいです。
女性	70代	どこでも高齢化が進んで、町づくりが立ち行かない状況になっていると感じます。町内の役員の選出する事が困難な現状になり、行事なども大変になっています。若い人が流出しないで地元に残れる、戻って来るような、仕事や体制が必要だと思います。皆が老いていくのは避けられない事です。自分なりに行事に協力、参加を心がけたいと思います。
男性	60代	若い人達が、UターンIターンしたくなるまち（就職できる所、遊べる所の充実）。
男性	70代	町場は人が増えるが、山間地に住む者が減り、空き家が増えるなど一極集中しないようなまちづくりをやって欲しい。
男性	30代	これからは若者が宝。
女性	70代	町作り、若者が安心して暮らせるような町作りが一番必要と思う。若者＝将来・

性別	年代	自由意見
		未来なのだから。独身者が多すぎ。これでは将来が不安。未来を考えて欲しいです。
男性	60代	どうやつたら若い人がとどまってくれるようになるのか、上の人達がもっと真剣に考えていいかないと…。
女性	60代	若者を市外から呼びこんで定着できるまちづくり。市外から見ても魅力あるまちづくり。 ・大地の芸術祭…地元の人が興味を持って、もっと関わるといい ・松之山温泉+ジャズ…まだ参加したことはないが興味はある ・豪雪JAM…地元の若者のエネルギーを感じます 他にも小さなイベントがいくつかあると思うが、市報やメール、SNS等で発信し周知することで人の動きが広がると思います。
女性	80代	ますます少子化。世の中が便利過ぎ。結婚組数が減り困ったもんだ。1組でも多くの結婚組が誕生する事を希望。生活状態に応援し困ってる新婚さんに支援活動し、子育てに役立て、少子化対策を推進してほしい。
女性	70代	若い人が来て、結婚、子供を産んでくれる事願っています。
女性	70代	アンケートの趣旨とちがってたら申し訳ありません。仕事の関係で4人の地域おこし協力隊の方と関わってきました。私の誤解かも知れませんが、協力隊の方の仕事は何…?とずっと思っています。協力隊の方達も同じ事を思っているのかも知れませんが。どこまで仕事を頼んで良いのか。こんな事書くのは、無い事ですが。ある方は何回か電話をかけても1回で出たことがありません。協力隊さんに仕事の用でもです。向こうから「何か用は?」と言われた事はありません。私の地区の人がたまたまなんでしょうか。協力隊員さんとは?と思っています。去り際に「村の人に協力してもらえたかった」と言って帰った方もいます。
女性	50代	とにかく若い人をとどめておかないと、この町は無くなります。確かに遊ぶところもないし、買い物だって市内じゃ厳しい。でもカッコイイ大人はたくさんいるし、そういう人たちと学生の頃から関わっていれば、「兄さん姉さんたちと一緒にこの町で頑張る!」となるのでは…なったらしいなと思います。買い物なんて今やほぼネットで解決できるし、遊ぶところも作ればいい。雪が嫌で住みたくないという若者も多いですが、除雪は体力づくりにもなるし、健康。雪に関わる出費は多いので、その辺りで補助金とか出るような何か市民の負担が減る方法を考えてもらえばと思います。
男性	70代	若者を流出させないあるいはUターンしやすいまちをつくることに注力すべきである。総花的な行財政がどうしても必要と言うなら、人口問題克服と地域活力向上は絵に描いた餅だ。
男性	60代	未婚者を減らして、魅力ある商業施設や観光施設の誘致により、定住者を増やせないか。
男性	60代	若者が街に残りたいと思うような街にしたい。
男性	20代	このままだと、衰退していくと思います。結婚、出産、若者の定着が必要だと思います。また、新幹線や高速道路などのインフラがないため、早急に上沼道を完成させないといけないと思います。また、大きな公園や河川敷の遊歩道化など、まずは近くの都市を真似して欲しいです。

9. 防災・防犯、安全・医療【8件】

性別	年代	自由意見
女性	50代	市の健康増進策などかなり功を奏していると思う。これからも人口が増加し、出生率を上げることはもちろん、高齢人口の増加などに期待したい。
女性	60代	医療の充実。産婦人科が十日町病院内にあると良い。安心して子どもを産み育て、子育て支援を利用しながら生活できる地域であって欲しい。働く場があれば移住者も増える。若い人が増えて欲しい。古民家再生して移住者に住んでもらう等、良い取り組みである。しかし、東京圏内からの移住者には補助金額が手厚いが他の県は差が大きい。今年度は市長の公約のように、人口減少にストップがかかると良い。
女性	60代	高齢世帯のみの世帯が多く、これから地域が維持できるのかが問題。若い世帯がいない、継続できる人がいない。自分が健康で現状維持で生活するしかない。
男性	70代	十日町病院を充実する。産婦人科など作る。
女性	40代	十日町病院の救急入り口が狭すぎる。エムケー薬局の所の信号でとまっている時、救急車が入りにくい場面を何度も目にした。そこにきて冬雪がものすごく、道路が狭い。どこの病院も救急入口は広いスペースにしてあるのに、狭いのは十日町病院だけです。これでは安心して生活はできない。その声はたくさん聞かれます。医療充実の前にどうにかしないと危険です。
女性	60代	核家族が多く今の自分達の生活での支援のあり方しかわからずですが、子に迷惑かけず老夫婦が安心して地元で最後まで過ごせたら良いと思います。流雪溝が無いので雪を消すという手段が無く雪の負担が大きくのしかかります。
女性	80代	<ul style="list-style-type: none"> ・県立十日町病院の充実・産婦人科の先生の定着（安心して妊娠出産ができるない） ・十日町の人口密度にかかわること ・公共施設は充実している（保育園、幼稚園、学校等）
男性	50代	<p>①現在の妻有ショッピングセンターなど下島に飲食や買物施設が集まっているわりに、提防の決壊が起った時の逃げる経路や高台がない。十日町中心地（主に本町）を思ってか、郊外店は2階建て施設を作つてはいけない傾向があるが、市民や観光客の安全面として不備が多いと思う。</p> <p>②若者が流出しない。そして、中心地の活性化の意味でも、十日町駅を中心とした簡単に言えば「駅ビル（大型商業施設）」を作り、「LOFT」や「ユニクロ」、「くら寿司」や「鎌倉パスタ」など、若者が欲しいと思う飲食店や買物企業を誘致して（当然、ダーツやビリヤード、ボウリングなどの娯楽も）、とにかく流出しない策を講じるべき。近い場所でいうと「浦佐駅」がスキーリゾートが盛んだった昔は良かったが、今では駅構内はNewDaysのみという。結局は外部からの他方に頼った末路であり、人口が多い、少ないでなく、新潟駅、長岡駅、越後湯沢駅のようにその施設に行く事が楽しみと思える、「他人本願（受け身）」ではなく、「自発（攻め）」で誘致や建設をしないと人の流出は抑えられないし、税収も難しい。「大型商業施設を作ると昔からの商店が…」など言っているから街が廃れるわけで、新潟市でも、東京でも大型商業施設があつても、良い物は残るし、悪い物は時代に合わせ改善するか、自然淘汰するだけで、変な中心地優遇思想はやめてほしい。あと本町通りなど駐車場なさすぎ。人が行くわけがない。</p> <p>③新潟～上越間の移動時間短縮案としてあがっている「ほくほく線ミニ新幹線化」案にも力を入れて、十日町駅中心の再開発や市全体の活性化を、もっと大きい視野で、私欲に走らず進めていっていただきたいと思います。</p>

10. 環境【3件】

性別	年代	自由意見
男性	50代	観光客が増えるに比例して、道路やトンネル内にポイ捨てによるゴミの散乱が増えていますが、呼び込むためには放置ですか。
女性	70代	teamLabはアートサイエンス・ミュージアムを提供し「共創」をテーマにしています。「共創」は十日町が世界に発信するアート作品もやはりコンセプトは、皆つながっているのだと伝えてきたことだと思います。雪による生活負担を、軽くする為にも地元発電は必要かと思います。ただし原子力は、私達に害があつても益なしです。中央都市のための奉仕は、信濃川の水力発電でもう良いと思います。その一部を我等の水として発電することを進め、また、町中、山里の河川にも小規模の発電を設置し、温泉、太陽光、様々集めて十日町市民の自家発電力を上げる町づくりはどうでしょうか。長い目標作りも人を元気にします。
男性	80代	原発反対。これ以上、十日町をいじめないで欲しい。

11. 生活・都市基盤【48件】

性別	年代	自由意見
男性	50代	住空間、商業、農業空間など大胆な地域の住み分け等をする。町づくり、点在しては無駄。地域力の低下。
男性	80代	除雪対策での補助の不平等。物価高対策。電力灯油高騰被害。
女性	50代	<ul style="list-style-type: none"> 市内に大きな企業がなくても、都市へ出やすい道路や公共交通があれば、住む人も出ていかないと思う。 住みやすい（行政サービス、子育て、医療環境が整っているなど）町であれば田舎でも移住者が来る。大地の芸術祭での観光客を増やすためにもバイパス道路など道路拡充をしていただきたい。
男性	40代	<p>〈ハード面〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 上沼道の早期の全線開通。 東西は北越急行と上沼道でよいが、南北（越後川口～飯山間）の高速交通網（高速道路又は飯山線の高速化）整備により、文字どおり“十日町”となり、長野、東海方面からの交流人口増、企業誘致につなげる。 <p>〈ソフト面〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業の法人化、大型化、省力化による生産性向上、UIターン就農者確保へ。 子育て世帯への助成を充実、就学支援の拡充。
男性	80代	JRとの関係、水問題は常に進めてほしい。また、飯山線にも力を入れてもらいたい。道路については、川口インターチェンジから豊田飯山インターチェンジまでの高速化を切望します。
女性	70代	車社会で車中心のまちづくりをするか、昔ながらの（足で移動）のまちづくりか、難しいですね。本町通り、駅通りの衰退は十日町市の元気のないことを表わしている。大企業の誘地をすることで雇用推進を計り、市の財政も豊かになり、おのずと活気が出てくる。（例：熊本県、半導体工場（水資源豊富）北海道、ラピタス（水資源豊富））
男性	60代	空屋、土地を利用して、皆が楽しいと思える町にしなければ、この町はなくなってしまう。高齢者にやさしい町にもすべきである。

性別	年代	自由意見
男性	40代	中学生の平日のクラブチームへの練習参加体制、放課後の送迎が非常に困っている。練習場まで連れて行ける手段が無い。スクールバスの手配を強く願う。このままでは、スポーツをする子供が減る一方。
男性	40代	大雪でも若手は難儀するだけでムダな労力ばかりでお金（補助）もない。これではどんどん流出する。
男性	70代	十日町には魅力のある公園が少ない。ナカゴグリーンパーク・大井田の郷公園くらい？我々が若かった頃は愛宕山が桜の名所であったが、残念な姿に。近隣の市町村には立派な公園が有る。雪国ではあるが、桜の名所を作つて欲しい。
女性	60代	空家が多く見られるが町の印象が非常に悪い。解体費用の補助を出して、早めの解体を！
男性	50代	現在、市内で活用されていない公園や施設が多くあります。近金、各地では、色々なマルシェやペット関連のイベントが行われている中、十日町は排泄物の問題で断られたという話を聞いた事があります。十日町もペットは多い地域です。私自身も飼い主であり全国規模で毎年、千葉で行なわれるイベントの実行委員として活動しておりますが、動物愛好者はもちろん、市の活性化になると思っておりますので、検討して頂きたいと思います。そして、若者と市の意見交換などを積極的におこなってください。
男性	70代	十日町は雪が半年もかかり、その大変さは雪の無い所の人には理解できないだろう。もっと真剣に利雪を進めるべき。
女性	70代	少し道路に入ると道路がボロボロで歩きにくい。雨水等が流れにくい。側溝を充実させてほしい。雪を置いていかれてもどける所が無いのが現状。見える所だけでなく見えない所にも手を出してほしい。
男性	50代	明石の湯は元のサービスになる様にしてほしい。今の状態では利用者減は明らか。あの施設で800円はありえない！十日町市として恥ずかしくありませんか？他の市町村の日帰り温泉を視察してみてください。
男性	80代	克雪問題を解決すれば上記の1～12まで全て良い方に向かう。
男性	70代	のんびり楽しくすごせる公園が欲しいです。
男性	60代	人口減に伴う課題の解決策。空き家の活用。食へのこだわり、生産性について。
男性	50代	観音寺（川治）の上の墓地へつながる道が整備されておらず、命の危険を感じました。永代供養や樹木葬はこれからもっと増えていくので、家族が集まりやすい場にするために、是非、道路整備を早急にお願いしたいと思います。そういう整備からが、若者の帰ってきたい・住みたいと思う気持ちにつながっていくと思います。「振りかごから墓場まで」、宜しくお願ひ致します。
女性	30代	・冬の雪についてなにかしてほしい（流雪溝）。 ・犬を飼っている人が多いのでドックランがほしい。犬のイベントを市でも盛り上げてほしい。 ・もっと地域のイベントを増やし、SNSでしっかり発信した方がよい（小千谷市は公式ラインをしっかり使っていて、イベントもありよいと思う）。
女性	70代	一人でも、老人でも、自由に行ける場所が欲しい。
男性	60代	旧市内中心の考えからかもしれませんが郊外を広く使いいいろいろと分散した方が良い。
女性	70代	市内に多く有る空家をリノベーションして、格安で提供し市内外から人を呼び、人口を増やす。
女性	40代	空き家が増え、商店街もシャッターが閉っているのを良く目にします。人が集ま

性別	年代	自由意見
		るためには安心して住める所、働きやすい職場、医療施設の充実、娯楽施設などを整える必要があると思います。雪が多く降らなければもっと生活しやすいのですが自然には勝てません。大きな企業が十日町にあるといいですが…（誘致）。
男性	50代	・建設業の人手不足が進んでいて、除雪体制が十分に行えるのか不安である ・出生率が低く、将来十日町市が消滅するのではないか心配である
女性	60代	子供から、大人まで、安心して住み続けられる町にしてほしい。年金生活者や、収入の少ない家庭などにやさしい町であってほしい。冬も頭の上が重い不安な日々が少しでもなくなるよう、雪対策が大切です。みんなが助け合い、協力しあえる住みやすい町であってほしい。
女性	70代	暮らすことを第一に考えてもらいたい。
女性	50代	・数年後の道路拡張により生活が不便になる。この先、障がいを抱えて生活する事を考えると、不便であることが自身にとって死活問題となる。道路拡張に反対する訳ではないが、1人1人の生活を見越した上でご検討頂きたい。 ・新潟県が外国人の受け入れ（留学生含）するようだが、その為に税金を払うつもりは一切ない。たくさんの県民や市民が体を壊し病院へ通っている中税金を納めている。自分が納める税金で体の不自由な方や通院している方へ還元せずに、移民者へ税金が使われるのは納得がいかない。
女性	50代	・駅通りや高田町通りなど、土日のみでもショップを開催してもらえる方達に、貸すようなのはどうか？（自分で作ったものを売るでもよい） ・高齢になって住む事を考えると、車での移動ができなくなる事が不安。乗り合いタクシーやバスなど、本数を多くしてほしい。 ・十日町は、豪雪の年はつらい事もありますが、台風、豪雨、地震、での災害は比較的少ないようすに思、全体的に見れば住みやすいと思います。あと、高速道路にアクセスが近くなったりすればもっと住みやすく人も来ると思います。
女性	80代	駐車場のある街づくり。
女性	50代	大雪で除雪が大変になってきたので高齢者だけでなく、どんな世帯にも何かしてもらいたい。
女性	70代	雨や雪などの日に、無料で自由に歩ける所があればいいと思う。冬は危なくてほとんど歩けない。
男性	20代	交通機関にも不満はあるが、変えるのは難しいと思う。若者が楽しめる施設がもう少し増えると若者離れを抑えられるか。
女性	50代	バスなど、最終が早すぎる。不便です。
男性	40代	十日町変電所からファッショセンタしまむらまでの道の拡幅をぜひ急いでください。渋滞解消・安全面の点で。
女性	80代	1. 道路、歩道の整備 2. 公共交通の便利性
男性	60代	十日町市は陸の孤島になっているように考えています。もっと交通面・雪対策に力を入れないと若者がいなくなる。高卒後のこと、行政は若者を十日町市に住ませる施策を考えないと近い将来なくなるよ。
女性	60代	今の日本は少子高齢化が止まらない。それを見据えて、十日町市の将来を良くする為にはどうするか？イオンの駐車場にこの冬の大雪が積んであり6月になってもまだ残っています。面白いし、利雪の方法を考えられないかなと思う。大地の芸術祭の時から走る市営バス。見かけると少しテンションが上がります。派手じやなくてちょっと気を引く見た目のバスはもっと走ると良いなと思う。空いて

性別	年代	自由意見
		る土地に夏野菜作り、夏野菜刈りなどは出きないものでしょうか？または、初夏にアスパラ刈りとか。お客様に来てもらい、収穫してもらい、安く売る。
女性	70代	魅力のある、十日町にして欲しい。交通の便を良くする。多くの人が利用できる場があり、学べる場があり、行政のサービスで安価で過ごせる所が欲しい。文化会館の充実等（魅力あるコンサート等をやってほしい）。
無回答	80代	買い物難民が出ない方法を考えてほしい。
女性	70代	市営バス運行について。新宮経由田代行きバスが数年前に廃線となりました。運転免許所持の高齢者もいざれば免許の返納を余儀なくされます。市営バス運行も検討いただきたくお願いします。
女性	70代	中条の桂公園は市外からの親子連れが来ているそうなので、もう少し整備したら喜ばれると思います。
男性	70代	生活領域の集約化、雪に対し生活負荷の軽減。若者に魅力あるインフラ整備イベント。
女性	60代	歩道のない国道をなんとかしてほしい。とても危ない。
女性	70代	中心地に市民が集まる少し広い体育館がほしいと思います。
男性	30代	電気自動車の充電スポットが少なく、変えたとしても不便。賑わいも必要だが、市民生活の視点で政策を立てて欲しい。
男性	50代	もっと都市へのアクセスの向上と若者に魅力のある町作りを考えていただきたい。
男性	40代	交通の便が悪すぎなので何とかするべき。あとは、皆が集まって遊べる自然なアスレチックなど、大規模にほしい。十日町市にあれがある、これがあるから行こう！ってところを作ってほしい。大地の芸術祭は人が来るけど住民にとっては特がない気がします。家族で何かするところがなさすぎるのも現状。隣接市町村と組んで、コストコやアウトレット近場に作るとかで全然違うと思われる。 あと、電気自動車の助成金がほしい。柏崎市とか昔からしてるので十日町市は全然。助成金が圧倒的に少ない気がします。

12. 市民参画・行政運営【75件】

性別	年代	自由意見
男性	60代	箱物行政の廃止。大地の芸術祭の見直し。選挙制度の改革。桜名所の構築。市役所の営業時間の見直し（18時まで）。デマンドタクシーでなく巡回バスへの変更。
男性	30代	建物建設に頼る行政では人口が減る中で維持管理が重く負担がかかってくると思う。公共の建物建設より企業誘致により工場建設等の建物建設をお願いする。公共建物の作り過ぎである。
女性	60代	デジタル化やAIを使った整理など市役所はすすめるが、デジタル弱者や市民弱者には人対人のわかりやすい対応・説明を続けて下さい。市民に複雑な作業をさせないようにしてほしい。私は将来身内がいなくなりおひとり様になります。財産管理や自分の死後など相談できる部署を市役所に作って下さい。後見人サービスを市役所でやってほしい。
男性	40代	旧来の慣行にとらわれず、切るところは切り、出すところには出すという予算配分ができればと思います（議会の仕事ですが…）。既得権的な補助金の流れなど

性別	年代	自由意見
		が目につき、実効性の低いところへ税金が流れるとと思うと、納税の度に悲しくなります。どこの自治体も似たようなものを感じますが、こうしたことにより住み続けたい、住んでみたいという気持ちをしほませてしまう現状が人口減の主因ではないでしょうか。新しく予算を付けて試すのも大切ですが、今あるものを維持、活用していくと同時に、時代遅れのものを切り捨てる合理性がやがて住みやすさとなると考えます。
女性	40代	市民が安心して、長く住み続けたいと思う町はどんな町か本気で考えていただきたい。一部の利権のために市民が犠牲になることがないように、今だけ、金だけ、自分だけの考えで動く人がいないように、市民の幸せのために何が大切か、考えていただきたい。
男性	60代	まず先に「市職員の教育」が不可欠です。「まちづくり」への熱意が感じられません。「前例がない」「検討はします」の言葉ばかり、現場を見ず現状維持が優先事項では、改革は無理です。たくさん集まったアンケートを活かすためにも、意識改革をお願いします。
男性	80代	十日町中心の考え方ではダメ。その1番十日町病院の場所。
女性	20代	仕事柄、十日町市内の色々な企業の給与を見ているが、1ヶ月一生懸命に働いてもらえる給与がどの企業も少ないと感じる。ある程度手元にお金がないと、結婚して、出産しようという気持ちにはならないと思う。また、どの企業も資金繰りに苦慮しており、消費税の納付、社会保険料の支払が大変そうである。この部分は市ではどうしようもできない部分かもしれないが、多くの企業が物価高のあおりを受けている印象である。このような企業を市が後押しし、最終的には従業員の給与アップにつながるような支援をしてもらえたと思う。
女性	50代	これ以上箱物施設はいりません。大地の芸術祭も関心がない人が大多数で参加した事ない人が多いと思います。プロデュースはもうしてもらわないで続けるなら市民全体で盛り上げるしかないと思います。雪まつりも市民主体のまつりになりました。大地の芸術祭も市民主体でいいと思います。折角の箱物も生かしきれていないのが残念です。活用方法を市民からアンケートで意見をきいて、1人でさみしい思いをしているお年寄や子育て中のお母さんや1人で留守番している子など同じ仲間で活用できたらいいなと思います。
男性	60代	○○協会○○組合等、組織があるが、その役員になってくれる人がいない。組織のあり方に問題があるのか組織に対しての補助等を上げられないのか？
男性	60代	住民にやさしく！！
男性	40代	2~3年の内には十日町を出る予定です。残られる皆さんには、消滅都市にならないよう地域を盛り上げていってほしいです。
男性	70代	内閣府が公表する人口の増加した市町村の、特徴に全てあるとおりで、 ①製造業、商業の集積がある市。または、近隣市町村に安定企業がある市 ②工業生産を上げ、雇用を生み出す、生み出される市 →①②による税収UPがなければ、根本的なことはかわらないしかえられない。 ③税収安定の市、人口増加自治体の成功事例の実効性のある研究チームの立ち上げがあるといいと思われる
女性	70代	今回の市長選で、何でもいいから変化が起きてほしいという思いがありました が、叶わなかった。良くも悪くも十日町の流れが少しでも変わることを期待して いた。
女性	30代	これからも今までよりプラスαで、良い町、住みやすい町を目指してサービスや

性別	年代	自由意見
		取り組みを普及して取り組んでいって欲しい。現状はそう悪くない。
女性	50代	少子高齢化がこんなに進んでいるのに行政は何かしているのか？県外に出た子供達は雇用もない十日町にはほとんど帰ってこない。この状況をどう考えているのか？このままでは十日町は消滅してしまうのではないかと危惧しています。若者がどうやつたら戻ってきたいと思うのか、行政はもちろん市民も考えて知恵を出し合い、対策を講じなければならぬと思う。
女性	80代	こんな細かいアンケート年寄りには大変です。87才もっと若い人を選んで下さい。
女性	50代	物価高であり、給料も上がらず、不安しかない。
男性	40代	大変ですが、過疎地を平場に集約しインフラ費用を減らすことをしない限りジリ貧は目に見えていると思うので、成功例として何かを待たず旗をかかげて欲しいです。
女性	50代	ふるさと納税をしてもらえるよう、アピールをもつとした方がよいと思います。
男性	80代	現状から見ていろいろ対策や施策がなされているが、継続して対策を実行し続けて行く必要があると思う。
男性	70代	自分には何ができるかを1人1人が考えることが大事だと思います。
女性	70代	現状を把握出来ていないためわからないことが多く適切な解答が出来ず申し訳ありません。それぞれの担当者の方々は大変な思いをして頑張っていらっしゃるであろうことを察しております。
女性	30代	給料の見直しを行い、若い人が働きやすい町づくりを行って欲しい（物価上昇に合わせた給料の見直し）。
男性	50代	情報館のインターネットで郵便ホームページを見ることができません。公共性の高いページが制限されているのは腑に落ちません。閲覧できるようにならないでしょうか。年賀切手には郷土玩具が使われることが多いです。いずれ「チンコロ」が採用されるよう、今のうちから日本郵便にかけあつては如何でしょうか。冬にほくほく線が動いても、JRの六日町～湯沢間が止まって困ることがたびたびあります。せめて代行輸送するよう、JRに働きかけて下さい。
男性	80代	十日町市を守っている人（役人）は、もう少し細かい事や影になっていて見えないところをよく見たり聞いたりして、十日町市を過ごしやすい町にしてほしい。大変な事はわかっていますが、皆さんは市民の代表ですのでよろしくお願ひします。頑張ってください。
女性	60代	私は昨年病気をしました。手術をした後抗がん剤治療を行い、髪の毛が抜け、ウイッグを購入し、お友達や店側からも補助金が出ると言われましたが、十日町市は対象になりませんでした。近隣の長岡市、柏崎市、六日町は対象です。同じ病気をし、同じ税金を払っているのに、おかしいと思いませんか。これからの人達のためにもぜひ十日町でも補助金を出してやって下さい。お願ひ致します。
男性	60代	問8の満足度について「どちらでもない」＝「分からぬ・知らない」ということだと気付きました。行政が何もしない、していないということではなくて、私が知ろうとしていなかつたのかとも思いました。でも、もう少しPRの工夫があつてもいいかなとも思っています。スローガンはとても立派ですが、具体策の評価基準を示すなどより実現性の高さを示してほしいです。評価規準しかない策は無策でしかありません。悪しからず…知らないのに申し訳ありません。
男性	30代	賃貸や光熱費が高すぎるのでもう少し安くしてほしい。
男性	70代	行政主導で更なる施策の改善・充実を期待する。

性別	年代	自由意見
女性	70代	高齢者には、世の中がデジタル化したり、いろいろついて行けない事ばかり…。ゆったり静かに住み続けたい。また、企業が入って若者が定着できる町作りもお願いしたい。皆さんに家庭を持って欲しい。そうすることで人口が増える。
女性	30代	給付金が色々あると助かります。市民が使えるクーポンなどがあると利用する人も増えると思う。
男性	50代	市中心部の住所の見直しをしましたが、市全域で行政区と住所がバラバラな地域があります。市への登録はともかく、一般企業への登録をいちいち説明するのが面倒なのでよろしくお願いします。
女性	40代	物価は都市部同様に上がっているのに、賃金には大きな格差のある状態では誰も地方に住みたいと思えない。さらに冬期間雪の処理で負担は増し、車は1人1台。大手の会社で働けるわけでもないし、子どもが大学に行けば住居費は倍。それでも住みたいと思える町づくりって何でしょう。今は十日町に住むメリットを感じません。どんなに魅力があっても生活は苦しい十日町住まいです。
女性	40代	何かが起きた時に市や政府が何かしてくれると思って、自分で何の準備をしないのは市や政府の財政を逼迫させるとと思う。自分のことはできるだけ自分でやろうと思えるような市民にならないと税金がもったいないと思う。中心市街地よりも交通や買い物に難儀な思いをしている人にもう少し意見を聞いてみた方がいいと思う。
男性	30代	現状のインフラ、行政サービスが今後も安定して受けられると良いです。そのためには若手から選ばれる地域づくりが必要では。自分がUターンする時1番嫌だったのが地域行事、環境整備や消防団への半強制参加。今でも嫌々参加してます。その間子供を見てくれる人がいなかつたり大迷惑。出なければ白い目で見られる始末。地域の祭りは良いとして、環境整備は行政でやってもらえないか。また消防団の必要性を感じない。日々の活動内容は整列と飲み会。火事の現場で役に立った事は一度もなかった。出動しても到着した頃には消火済み。会社を早退したのに何もせずトンボ帰り。消火中だったとしても何もせず待機。消防団の維持にかかる費用を消防隊員の育成、装備の充実に充てた方が良いのでは。とにかく地域に時間を割かれる。同級生もそれを理由に帰って来ない、もしくは転居してます。
女性	70代	十日町の良さ、自然の豊さ、食べ物のおいしさなどわかつてもらえるような、産業、仕事など、他の所にない物考えてほしい。市の職員は行政の中に、そのような取組ができる課を作り、一般の人も参加して考えるべきです。
男性	50代	正直県内でもかなり住みにくい場所と感じる。望んで住もうなんて、思った事は一度もない。とにかく雪のせいで、毎年のように、経済的にも体力的にも限界です！みんな我慢してるけど、低所得者は普通の人達よりもっと我慢して生きている。所得的に余裕がないから、家の雪対策や車を4WDに買いかえたりなんて、とてもできません！せめて雪問題だけでも、行政で何とかして貰わなければこの先の生活が苦しいです。
女性	50代	市内に1人暮らし、女性世帯が何軒あるかわかりますか？高齢者や非課税世帯には除雪などの補助があるのに、なぜそういう世帯は非課税ではないという理由だけで補助を受けられないのでしょうか？今年のように大雪で1日仕事で不在、業者さんを頼むしかなく、依頼したら1ヶ月分の収入がなくなりました。どうやって十日町で生活していくますか？非課税世帯ではないけど、決して収入が多い訳ではないです。制度を見直して下さい。
男性	70代	行政主導でなく、住民との共同参加でまちづくりを進めてほしい。

性別	年代	自由意見
男性	80代	<ul style="list-style-type: none"> 段十ろうの様な使い勝手の悪い物は作らない様に、業者まかせなのかな。これから作る物は、住民の意向を取り入れて、安く上げる。 働く場の創出が一番先で、働く場が出来れば人は集まる。農業も老化して来ているので会社組織を作り、新しい農業を行ってもらい休耕地が出来ない様に。林業も、森林組合だけじゃなく、人を集めて整備し、バイオマスも考えてみては。林の中は雪で倒木も多く、片づけるのに手間がかかりすぎるのかな。 流雪溝をつくってもらいたい。春が遅い隣の町内は、花が咲いているのにこっちは1m50cmも雪があるようでは不公平だ。
女性	80代	市の中心に、人を集めて、移動しなくても良い方向へ。若い人や老人が十日町に行きたいと思う市にして下さい。老人は金を持っているので、使うようにする。老後が全々心配ないようしてくれればお金を使うと思う。
女性	70代	全体のアンケートの質問方法が少しおかしいと思います。すべてに満足度と言われてもどう答えていいか分かりません。重要度はすべての設問が重要な事です。これではアンケートの意味がありません。なぜ地域医療の事が大きな設問にないのでしょうか。外見は立派でも出産はできない。具合が悪くても紹介状がなければならない。これでは出産して子育てして安心して働いて、そんな充実した街などできないのでは?
女性	60代	それぞれの現場の声を聞いてほしい。農家、介護施設、除雪…人手不足を改善する方法がまだない。
男性	50代	市長の任期については3期までが適切だと感じます。長期になると姿勢がかたくなになり、良いことが無いように思います。4期16年という長い期間を経ても「やり残したことがある」と言われると、率直に疑問を感じます。市長が2期または3期で交代することで、新しい視点が入り、十日町にとってよい方向につながると思います。
女性	70代	急激な人口減は今後も続き、30年後の十日町市は想像もできないほど変わることだろう。組織や取り組み方法は大幅に見直さないと立ち行かなくなるであろう。各分野が個々に頑張り取り組むのではなく、その全体を見渡し、最重要課題は何か、そのためにどのように取り組むのかの英断が必要になると思う。
男性	60代	十日町、色々ありますが、いらない物をつくるより市民のためにもっとできる事をしてほしい。税金をどこに、何に使ってほしいか、人の気持ちをよく考えてほしい。年金生活では毎日が大変で明日の生活も不安な生活をしています。
男性	60代	各種企業最低賃金をアップさせないと若者の流出は防げない。過疎化減少は防げない。少子化は防げない。
女性	30代	子育て世代も高齢者世代も、とても住み心地の悪い町だと思います。高齢者の方や子育て世代の方々が、住みやすくなるような行政サービスを充実させて頂けるとありがたいです。
男性	80代	市長とふれあいトークや市長への便りについては、市長室に3人のスタッフを作り、どんどん市民の声を聞くべきである。車社会・バス利用・バイク通学などでいらない赤字路線の飯山線は、わずかな客を運ぶには地元民には甚だ迷惑な路線である。ドイツのルクサーソーラーの技術を導入した飯山線には、パネル板無しの垂直架台併用のルクサーソーラーを取り入れたらどうか?市民の90%が飯山線を利用してない。両面発電で発電量が10%アップとのこと。柏崎刈羽原子力発電所が事故を起こしたら、十日町は住む所じゃなくなってしまいます。人は些細な仕事でも人とのつながりができたり毎日が楽しかったりすれば、喜ばしいものです。でも世界あちこちでは戦争が絶えません。日本が戦地になつたら。各国は柏

性別	年代	自由意見
		崎市刈羽の原発を狙うでしょう。安値で日本がお手あげするからです。長岡出身の山本五十六氏が言いました。アメリカと戦争して勝てる分がない。そしたら上の者が言いました。日本は今まで戦争で負けた事がない…と。上に立つ人は大切な人です。市長の進める木質バイオマス発電、そして我家の土地を太陽光発電に利用の程。
男性	80代	人口減少は自然な流れであり、誰も止められない。根本的に大きな原因があると思う。そこを何とか、皆さんの頭の良い所で考えて頂き、良い方向へ向かうようにして頂きたい。
女性	60代	<ul style="list-style-type: none"> 物価高です。市から何らかの補助金はないのでしょうか？子供、高齢者に…。 運転免許を返納後、移動手段が心配。電車やバスの本数が少ない。タクシーは高い。 除雪にともなう灯油代がかかりすぎる。
男性	70代	確かに地域の衰退は静かに深く進んでいたたまれない状況です。十日町の魅力を十分に発信し、若者世代の定着等を考えた時、思い切った発想の元で、十日町の“価値”を高めてゆく事を進めて頂ければと思います。どの課題も本当に大変で悩ましい物ですが、期待申し上げます。周辺市町村がびっくりする様な企画・アイデアを期待します（金太郎飴はNO！）。
女性	30代	市議の数は10人程度で良いと思います！ちょっと多い！人口に対してちょっと多いと思います！
男性	60代	<ol style="list-style-type: none"> 十日町はまず南魚沼市と同じ様にふるさと納税で70億を目指す事。財源確保急務。 さらに観光資源を生かす事、松之山温泉第3セクター規模拡大魅力ある支設。温泉の質は全国屈指であるが楽しめない。秋田玉川、新玉川レベルのものを作る。料理もこの田舎料理はどこでも食べる事が出来ない、米、酒、山菜、豚、そば、きのこがある。 魚沼米の知名度を上げる。JA主体でなく市として南魚沼、魚沼市との違いを全国に訴える。ふるさと納税の増加につながる様な雪を利用した民間企業への補助金を出す。また高齢化して農業者が農業を断念しない様機械補助をする。 コンパクトシティを作る。旧市街地が空洞化しているので基盤の目の様に道路の青写真を引き（長期的になるし空家対策）、各店舗も広く駐車場付にして、車が駐車しやすく、裏側は、住宅として集約し区分け、入居する人には安く誘致空家になったら、回収し、また別の人に斡旋する。冬の除雪も上下水道も電気等の公共インフラも集約されるのでは！
女性	70代	人口は確実に少なくなります。これまでやれたサービスができなくなる事も予想されます。使い捨ての時代から、リサイクルの時代になったように変わっていかなければならないのでしょう。先を見据え変わって行く事業・サービス等ゆっくり丁寧に住民が理解できるようにしてほしい。とにかく福祉施設の職員が不足しているようです。その実態を知っていただき、職員の方の仕事に対する熱い気持ちで成り立っている所もあるかと思いますので、市からも多面において力を貸していただきたい。
男性	70代	<ul style="list-style-type: none"> 今住んでいる住民の暮らしを1番に考える事。移住はその次である。移住してきても暮らしてみたら住みにくい、生活が成り立たなければなにもならない。 電気自動車の充電ができる場所は十日町市のどこにあるのですか。パチンコ店にはあったと思いますが、中里のユーモールはできますか。クロステンはできますか。

性別	年代	自由意見
男性	80代	人口減少や高齢化は日本の国全体の問題であり生き方の多様化してきている現在、特に打つ手は無いと思う。十日町に生まれたら、ずっと故郷で暮らしていきたいと考えられる施策、安心して何人生んでも育てられる環境の整備、生活への支援、公共の場を増やす等々。
男性	50代	お金持ちの考えではなく一般庶民の立場になって考えて欲しい。老人にだけ良い町ではなく、20代～50代の子育中の家庭を考えて欲しい。就職先や、賃金など就職先がなければ経済も回らず、人も住めない、本当に消滅都市になると思う。 「脱炭素」より重要な案件です！！
男性	40代	<ul style="list-style-type: none"> 年配の人のために税金を使うのではなくもっと若者が市内に留まってくれるように税金を使うべき。 子育ての家庭のために補助金を出すのもいいが、結婚したくてもできない人もいるし、子供を持ちたくても持てない人もいる。平等に支援を行わせてほしい。 若い人に人気の大手チェーン店などをもっと誘致すべき。
男性	60代	1回大地をやめて地に足をつけて市政をやってみては。
男性	70代	この10年間に転入した人を集めて転入後の良かった事、戸惑った事、不満に思っている事など、1人1人の意見を聞く場を設けて、ざっくばらんに話し合う企画などの集会など、転入者対策の生の声を聞くことが大切と思う。老齢化及び人口減は避けられないことを前提に豊かな生活を送れる町作りが必要。人口減少・高齢化を前提に、市政を考えるべきと思う。
男性	80代	箱物を作りすぎている。作った時は良いけど後の管理に金がかかるからもうこれ以上作らないでもらいたい。美術館を作りたいらしいけどもってのほかだ。
女性	60代	<ul style="list-style-type: none"> 各方面、大勢の方々が頑張っておられるのは承知しております。大変お疲れ様です。 まちづくり、難しい問題ですね。とにかく若者世代を取り込み、時代に合った方法を考え、取り入れることが大事かな。
男性	30代	スタッフの皆さん、ご苦労様です。おかげで私や家族は不自由なく暮らしています。これからも頑張ってください。いつもありがとうございます。
女性	80代	十日町ブランドを大切に。生まれてから死ぬまで、ここで生きていて良かったと思える町内、市。どこにお金を使って、何を大事にしているか、誰にでも目に見えたり知れたりする行政からのアプローチがほしいです。具体的には言えないので、十日町を大好きでいたいです。ご期待申し上げます。
男性	70代	以前十日町市には、「2005委員会」という十日町市の将来を考えるプロジェクトがありました。現在も、似たような組織はあるのかもしれません、真剣に市の今後のあり方等について考える議論の場があった方が良いと思います。総合計画や〇〇計画を立てる時の委員でなく、平時から「魅力ある十日町市」を語る（目指す）メンバーがいるといいなと思います。
男性	40代	集落のクロージングなどに対しての市の施策展開が今後重要になってくると考えます。
男性	20代	住みやすい環境づくりに期待しています。1人暮らしを始めるためにも、家賃が高い問題があります。また、観光客が泊まるホテルも少ないので痛手です。
男性	40代	市民の意識が低すぎることが1番の問題。何事も行政のせいにし、任せにしそう。行政改革の前に市民の意識改革が必要に思います。
男性	30代	新たな箱物の建設を減らす等、支出を削減し無駄のない財政運営を希望します。

性別	年代	自由意見
女性	50代	人口減少は避けられず、移住者にも限りがあると思うので、むしろ減ることを想定したまちづくり（ハード・ソフト両面）とインフラ整備をして欲しいです。
男性	10代	市をまとめてくれているのは、市役所。そんな市にとって大切な場所の職場環境が整っていなければ、市が良くなるはずがない。市を良くするためには、より効率的・意欲的に市役所職員が業務に取り組めるようにしていったらいいと思う。
男性	40代	若い世代がこの町に住みたいと思う明確な支援。生活に関わる生活費の減額等。
女性	60代	豪雪地帯の十日町の冬、学校・病院・会社等のすべてにおいて登校・出勤時間等を遅くして日中の稼働時間も短くする等、柔軟な対策を実行して欲しい。

VII. 今後のエネルギー政策と原子力防災について

十日町市では、地球温暖化対策として、2050 年に「二酸化炭素排出量の実質ゼロ」を目標に「脱炭素」の取組を進めています。下表左側の全 12 項目に関して、右側の「①あなたが既に行っている取組」と「②あなたが今後、優先して実践したい取組」について、あてはまるものに○をつけてください。

①既に行っている取組

【全体の傾向】

「食事を食べ残さない」、「節電の徹底」、「食材の買い方や保存等での食品ロス削減」の順に多くなっている。

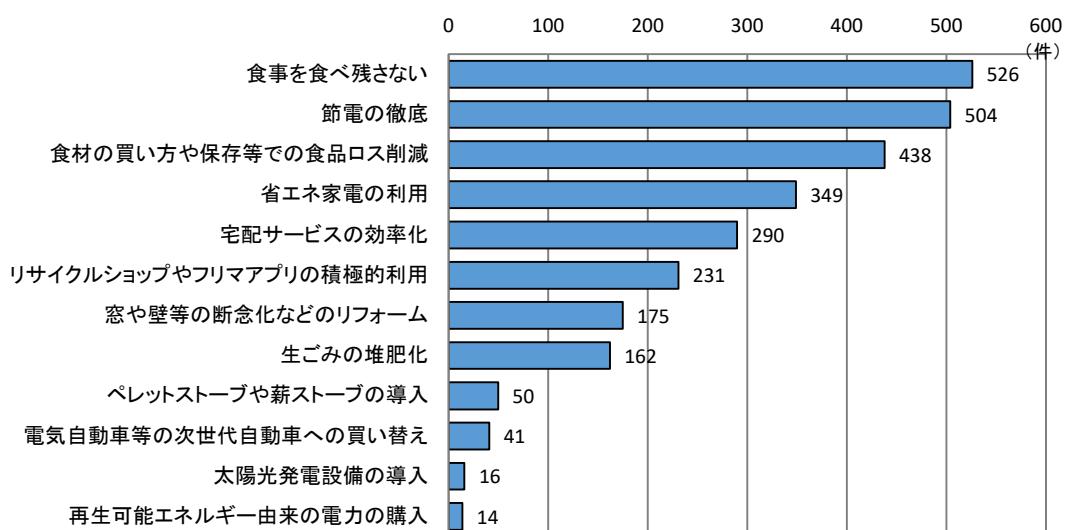
【年齢別集計】

『20 代』と『40 代』～『80 代』で、「食事を食べ残さない」、「節電の徹底」、「食材の買い方や保存等での食品ロス削減」が上位 3 位を占めている。

『10 代』と『30 代』では、「宅配サービスの効率化」も多くなっている。

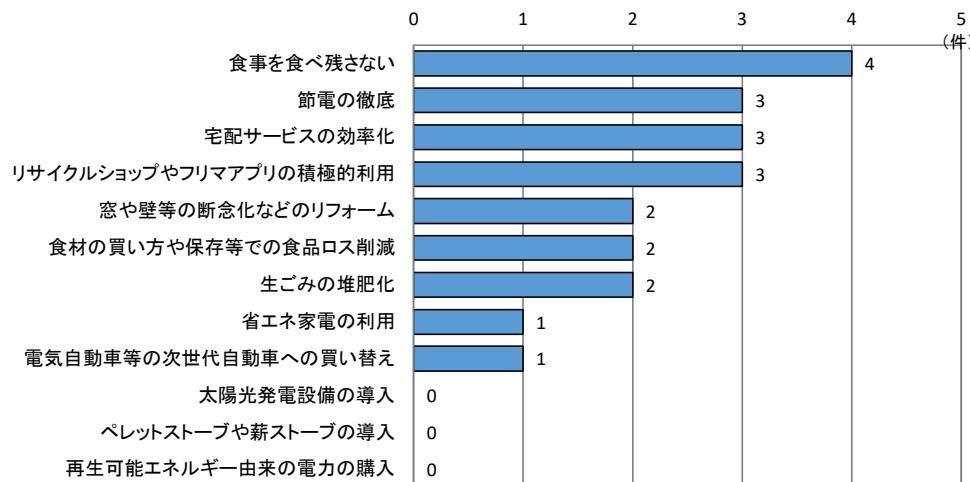
【全体の傾向】

分類	件数	構成比
食事を食べ残さない	526	74.7%
節電の徹底	504	71.6%
食材の買い方や保存等での食品ロス削減	438	62.2%
省エネ家電の利用	349	49.6%
宅配サービスの効率化	290	41.2%
リサイクルショップやフリマアプリの積極的利用	231	32.8%
窓や壁等の断念化などのリフォーム	175	24.9%
生ごみの堆肥化	162	23.0%
ペレットストーブや薪ストーブの導入	50	7.1%
電気自動車等の次世代自動車への買い替え	41	5.8%
太陽光発電設備の導入	16	2.3%
再生可能エネルギー由来の電力の購入	14	2.0%
合計	2,796	397.2%

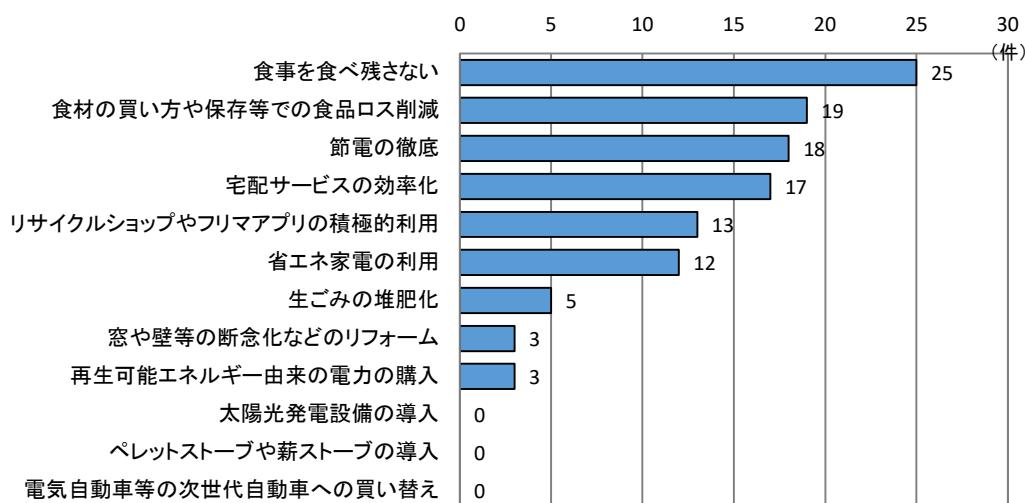


【年齢別集計】

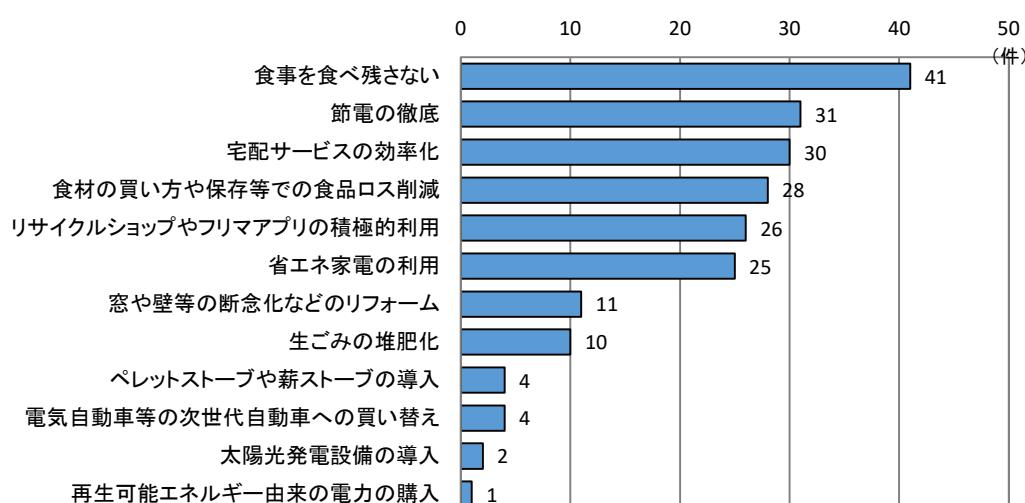
1. 10歳代



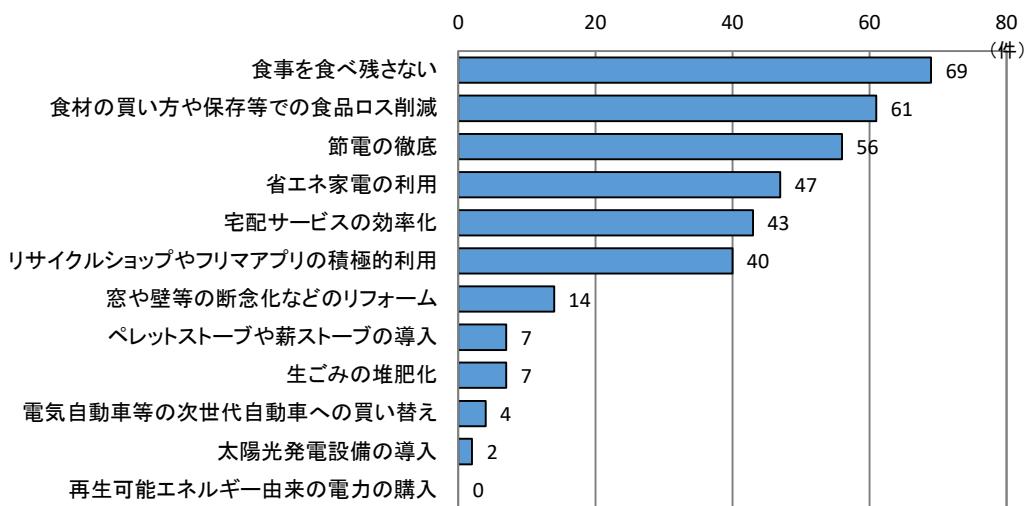
2. 20歳代



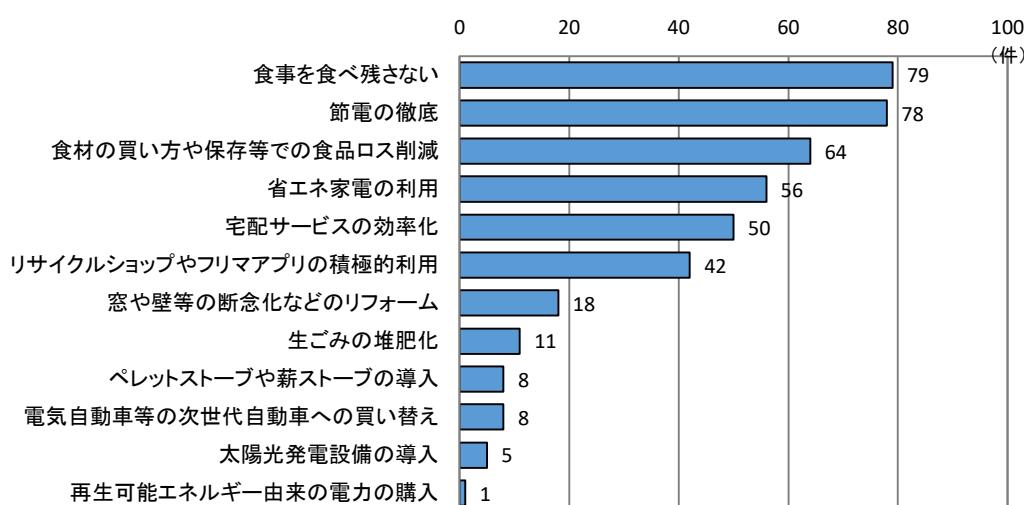
3. 30歳代



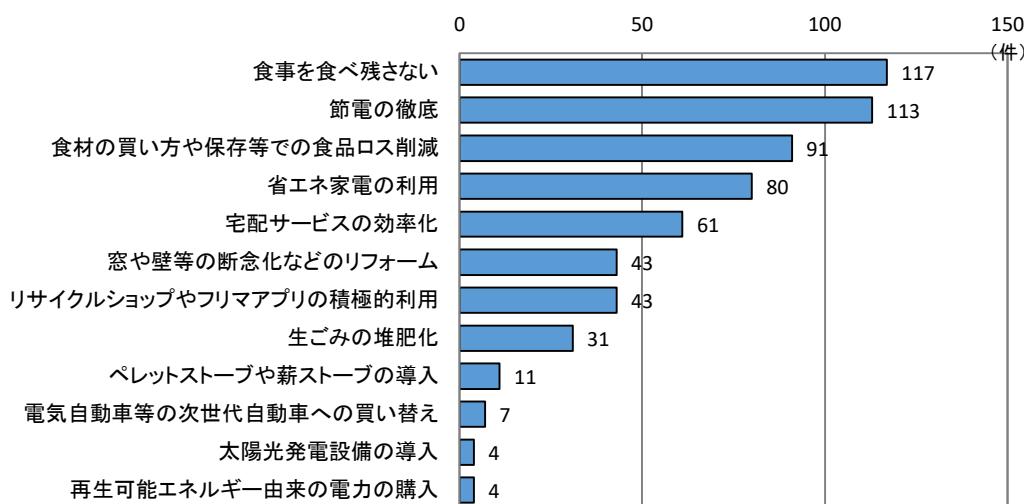
4. 40歳代



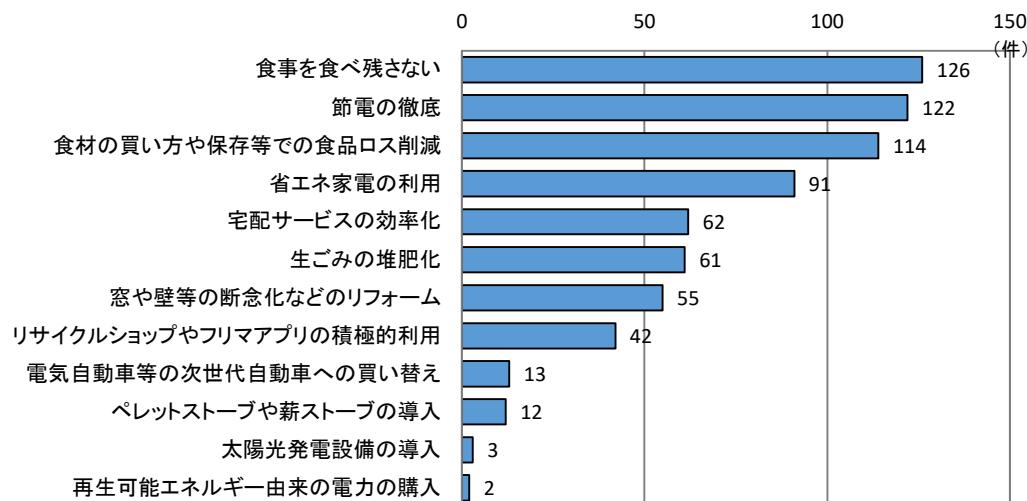
5. 50歳代



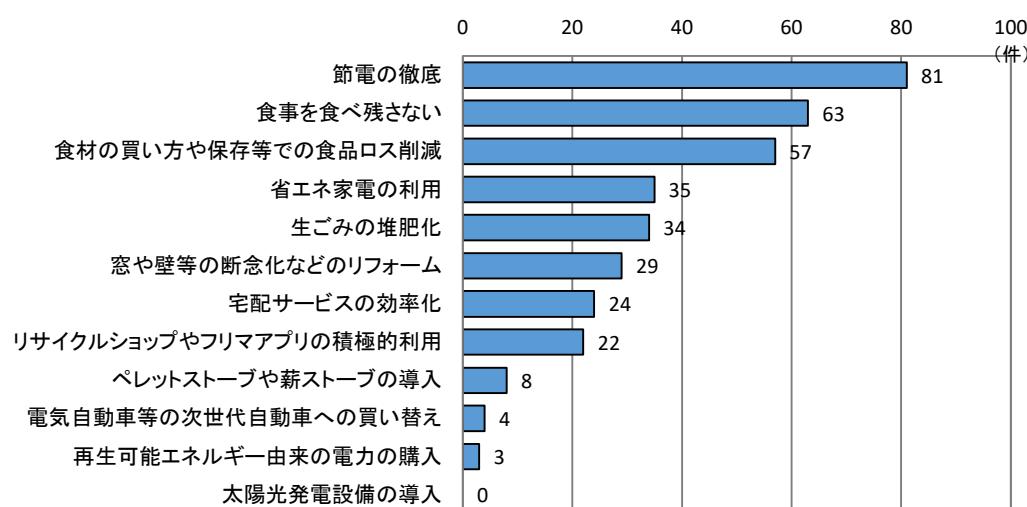
6. 60歳代



7. 70歳代



8. 80歳代



②優先して実践したい取組

【全体の傾向】

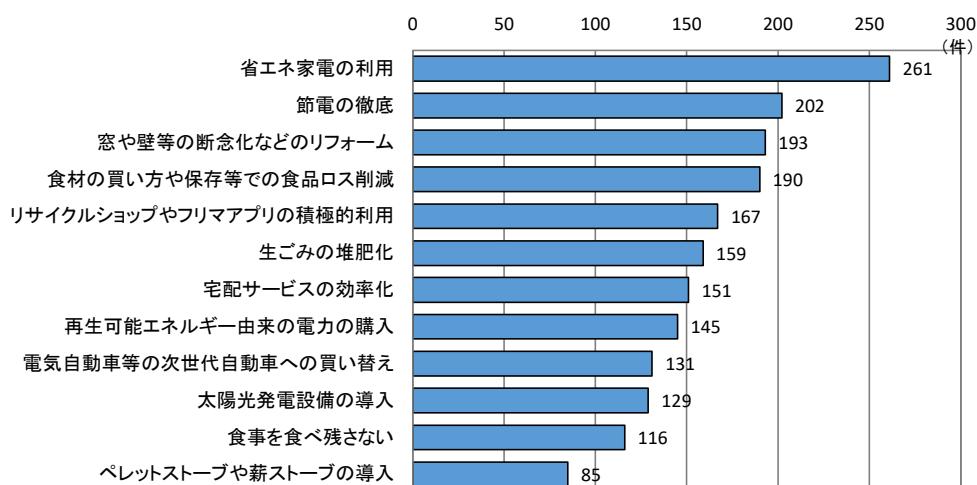
「省エネ家電の利用」、「節電の徹底」、「窓や壁等の断熱化などのリフォーム」の順に多くなっている。

【年齢別集計】

全体の傾向で多く挙げられていた項目以外では、『10代』、『30代』、『50代』、『60代』、『70代』で「食材の買い方や保存等での食品ロス削減」が多くなっているほか、『10代』と『30代』で「リサイクルショップやフリマアプリの積極的利用」が多くなっている。また、『80代』で「宅配サービスの効率化」が多くなっている。

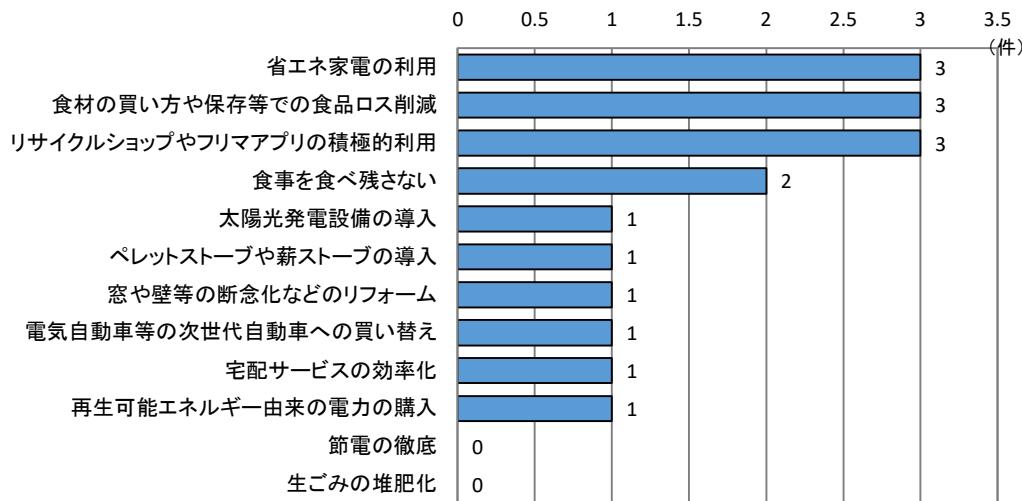
【全体の傾向】

分類	件数	構成比
省エネ家電の利用	261	44.5%
節電の徹底	202	34.5%
窓や壁等の断熱化などのリフォーム	193	32.9%
食材の買い方や保存等での食品ロス削減	190	32.4%
リサイクルショップやフリマアプリの積極的利用	167	28.5%
生ごみの堆肥化	159	27.1%
宅配サービスの効率化	151	25.8%
再生可能エネルギー由来の電力の購入	145	24.7%
電気自動車等の次世代自動車への買い替え	131	22.4%
太陽光発電設備の導入	129	22.0%
食事を食べ残さない	116	19.8%
ペレットストーブや薪ストーブの導入	85	14.5%
合計	1,929	329.2%

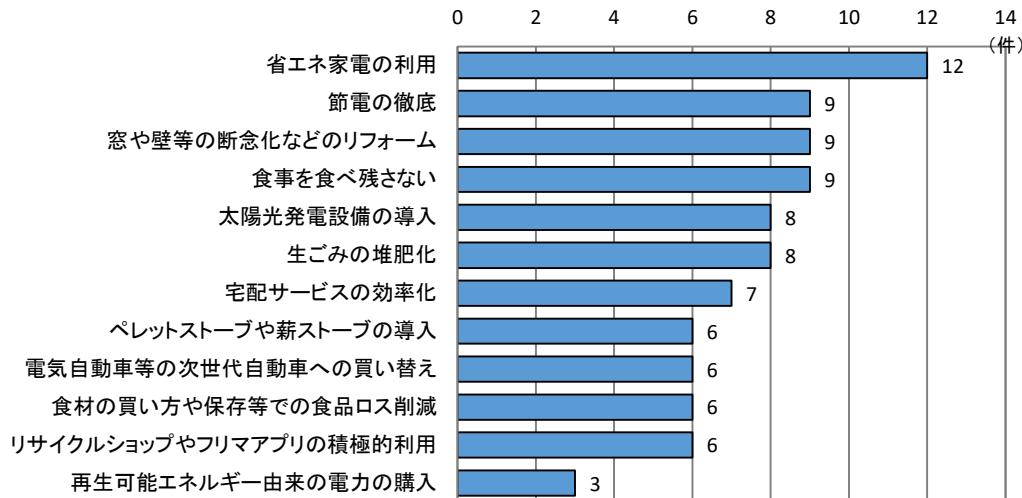


【年齢別集計】

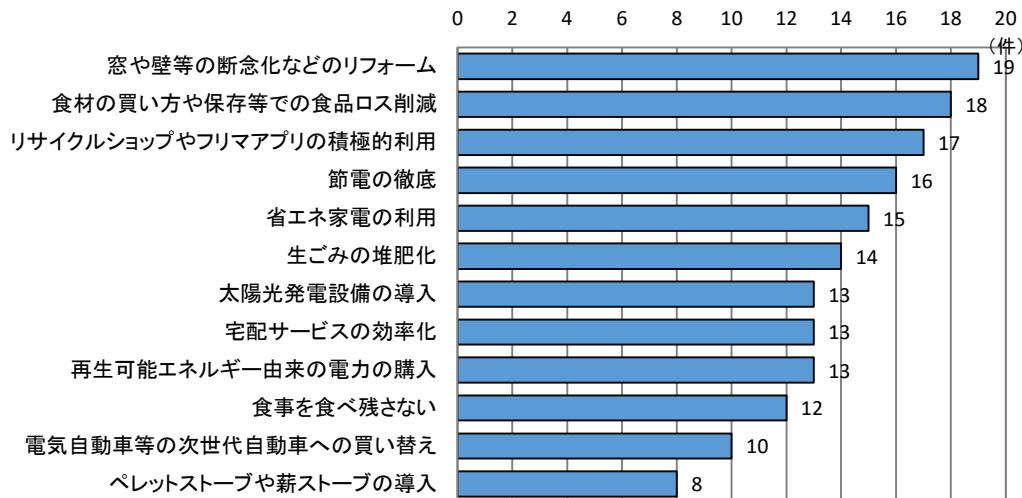
1. 10歳代



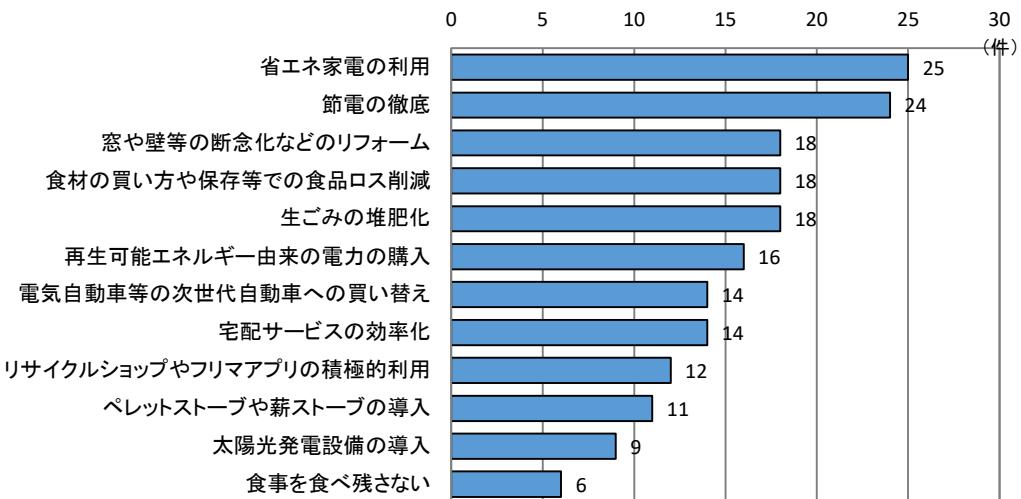
2. 20歳代



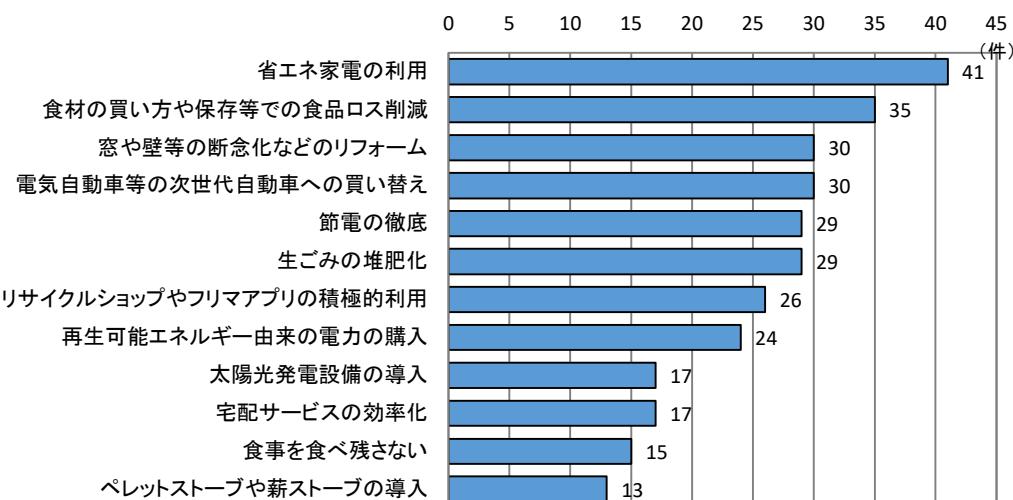
3. 30歳代



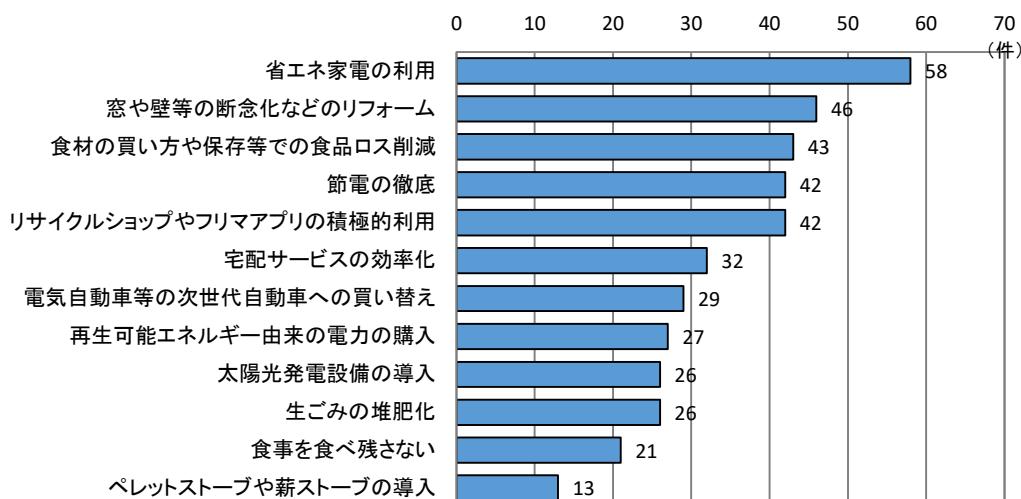
4. 40歳代



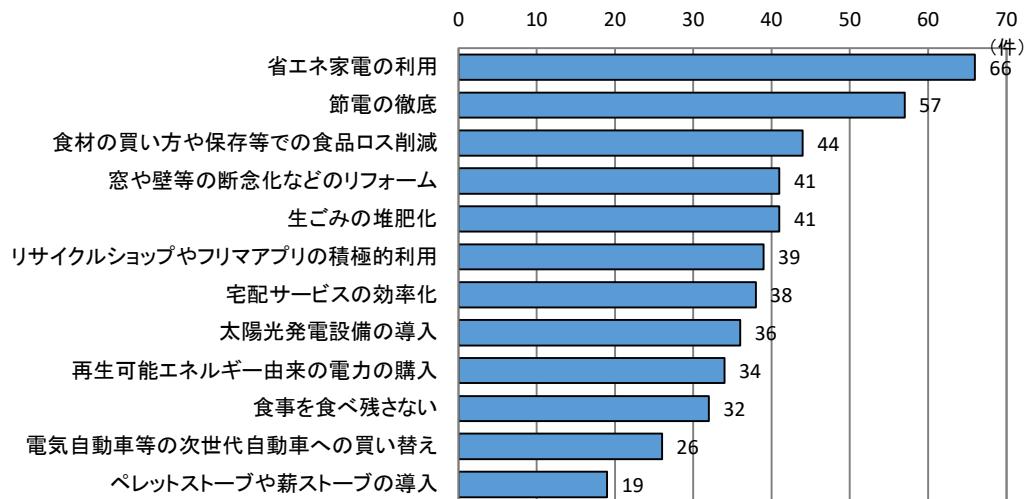
5. 50歳代



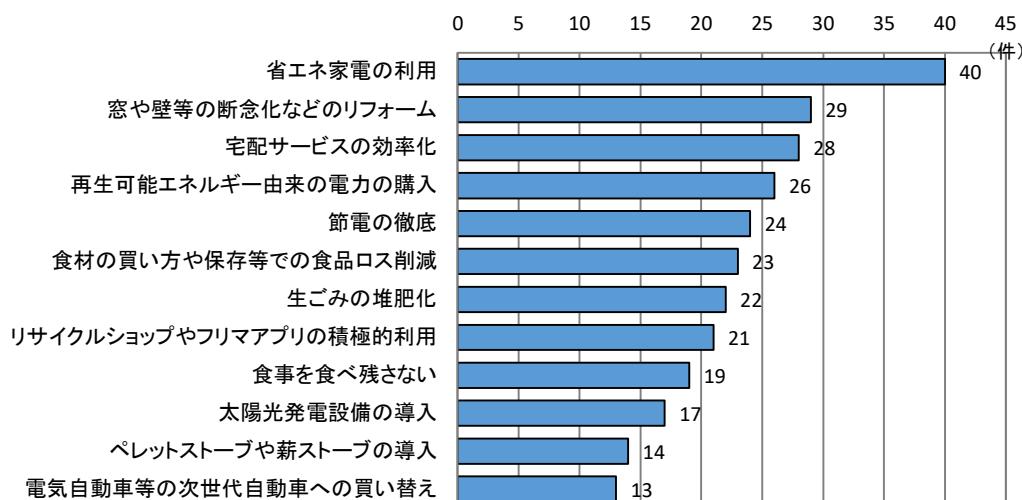
6. 60歳代



7. 70歳代



8. 80歳代



原子力発電の活用についての意見

国は積極的な原子力発電の活用により、電力の安定供給・電力コスト抑制・温室効果ガス排出抑制などを図る方針を示しています。その一方で、原子力発電には安全性や核のゴミ（放射性廃棄物）の処理方法などの課題があると言われています。今後、原子力発電の活用を図ることについて、あなたはどのように感じていますか？あてはまるもの1つだけに○をつけてください。

【全体の傾向】

「賛成」が109（14.3%）、「どちらかと言えば賛成」が130（17.0%）、「反対」が180（23.6%）、「どちらかと言えば反対」が177（23.2%）となっており、「反対」と「どちらかと言えば反対」を合わせた『反対派』の回答割合（46.8%）が、「賛成」と「どちらかと言えば賛成」を合わせた『賛成派』（31.3%）の回答割合を15.5ポイント上回っている。

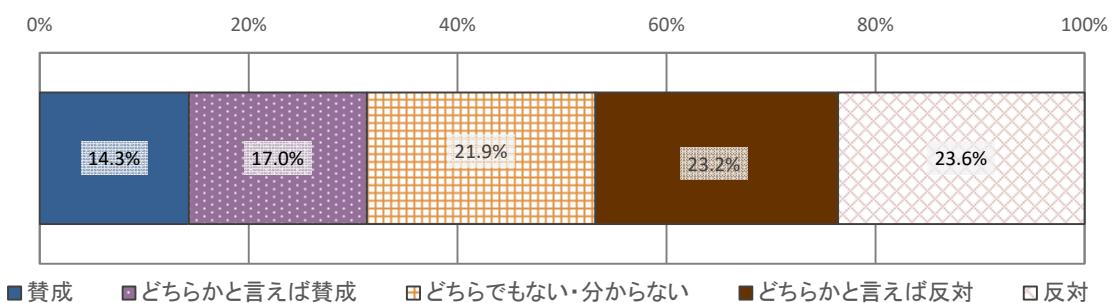
【年齢別集計】

年齢別では、10代～30代で『賛成派』が『反対派』を上回り、40代～80代で『反対派』が『賛成派』を上回っている。なお、『賛成派』が最も多かったのは、『20代』で『賛成派』の割合が56.6%となっている。『反対派』が最も多かったのは、『70代』で『反対派』の割合が56.5%となっている。

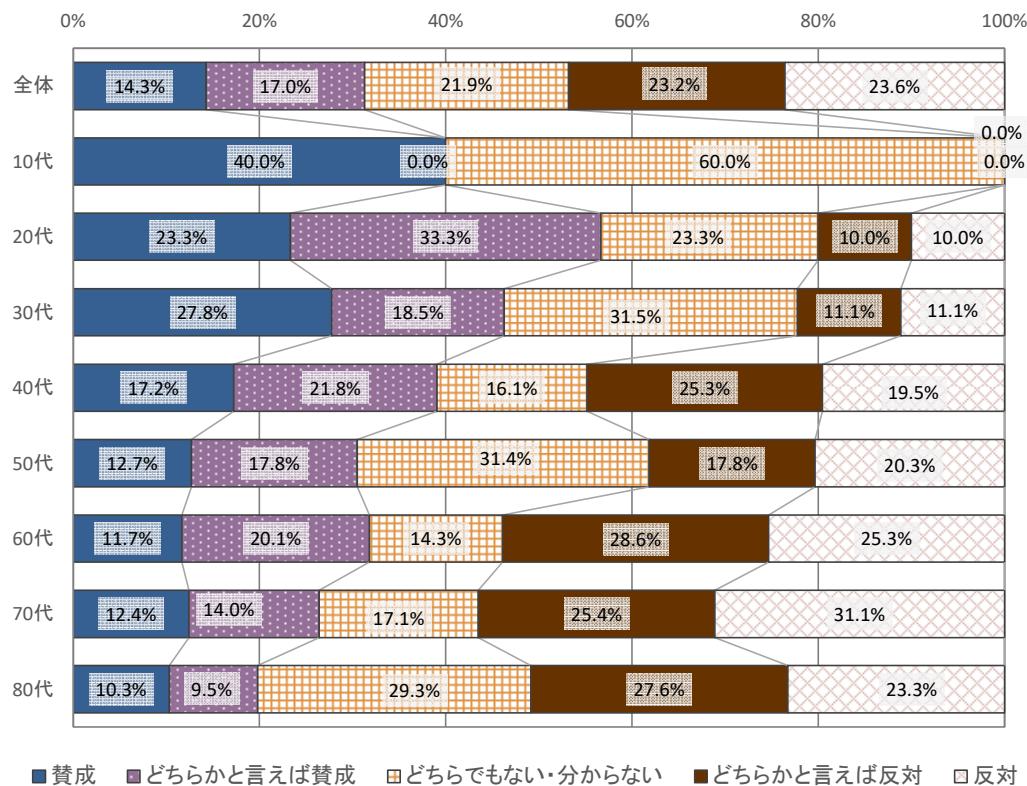
【全体の傾向】

分類	件数	割合
賛成	109	14.3%
どちらかと言えば賛成	130	17.0%
どちらでもない・分からぬ	167	21.9%
どちらかと言えば反対	177	23.2%
反対	180	23.6%
合計	763	100.0%

（無回答：30）



【年齢別集計】



■賛成 ■どちらかと言えば賛成 □どちらでもない・分からない ■どちらかと言えば反対 □反対

＜過年度（R5）との比較＞

【全体の傾向】

「賛成」と「どちらかと言えば賛成」を合わせた『賛成派』の回答割合については、前回の31.1%から今回は31.3%となり、0.2ポイント増加した。

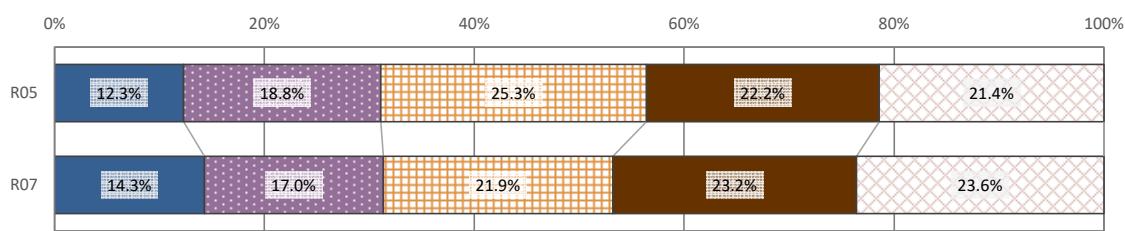
「反対」と「どちらかと言えば反対」を合わせた『反対派』の回答割合については、前回の43.6%から46.8%となり、3.2ポイント増加した。

【年齢別集計】

『賛成派』では、20代、10代、60代の順で増減が大きく、20代は12.1ポイント増加、10代は10.0ポイント減少、60代は6.8ポイント増加している。

『反対派』では、10代、40代、50代の順で増減が大きく、10代は25.0ポイント減少、40代は14.3ポイント増加、50代は4.1ポイント減少している。

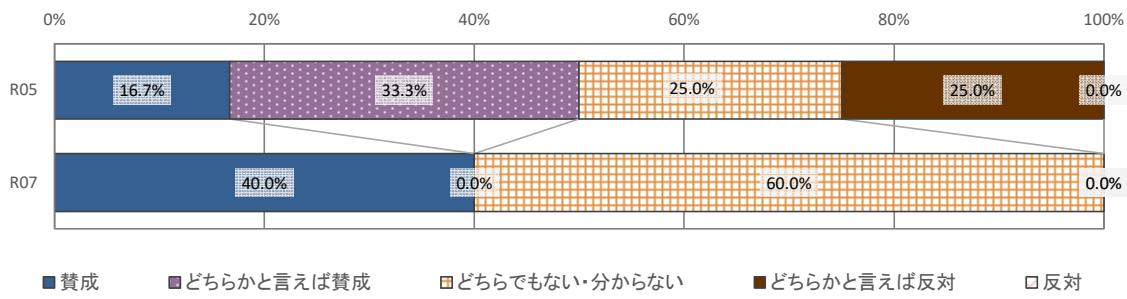
【全体の傾向】



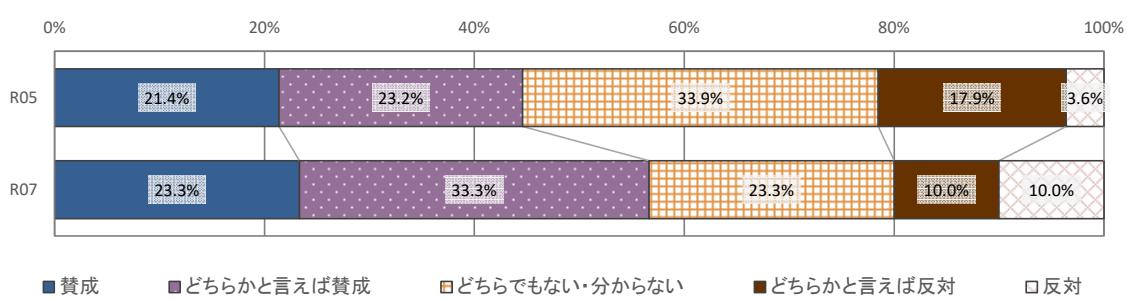
■賛成 ■どちらかと言えば賛成 □どちらでもない・分からない ■どちらかと言えば反対 □反対

【年齢別集計】

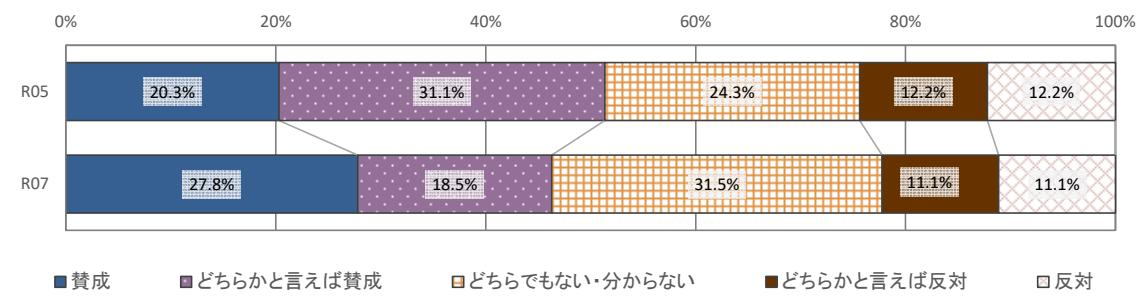
1. 10歳代



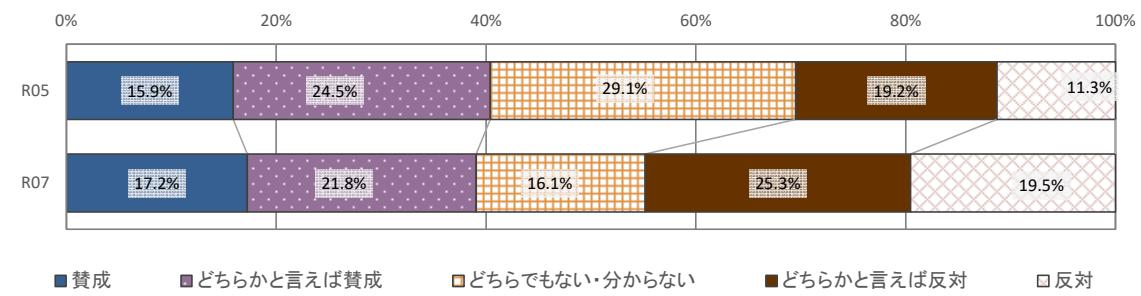
2. 20歳代



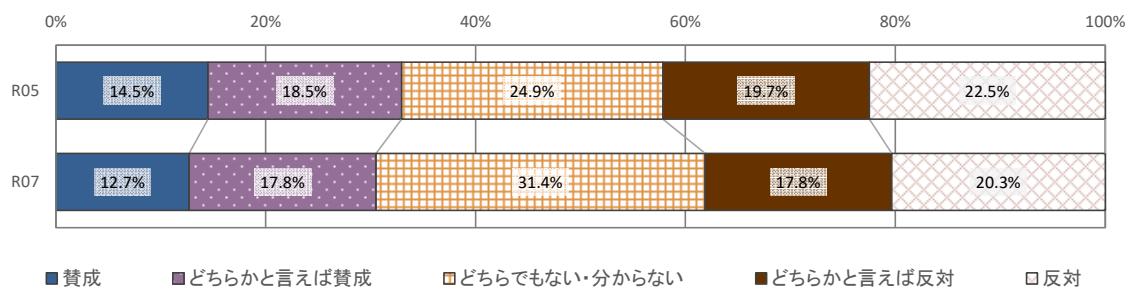
3. 30歳代



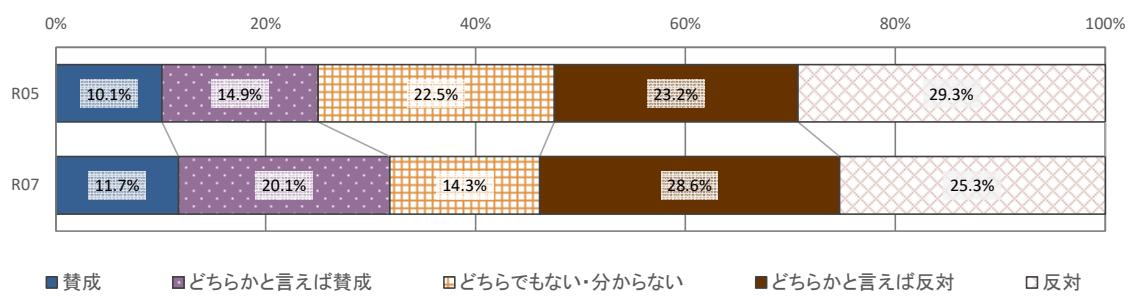
4. 40歳代



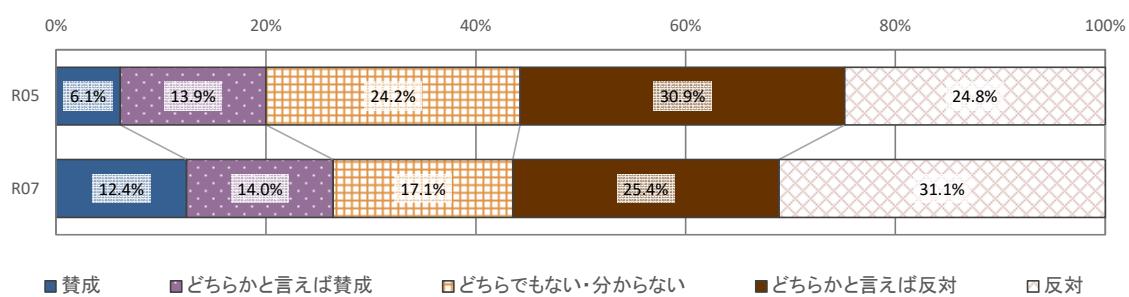
5. 50歳代



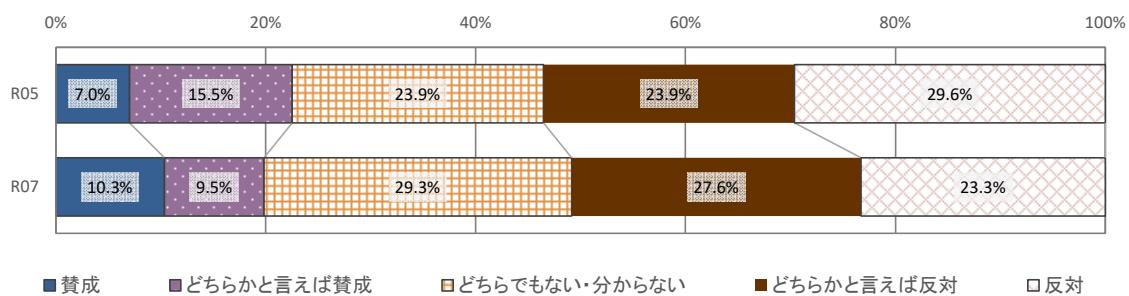
6. 60歳代



7. 70歳代



8. 80歳代



事故が発生した場合の行動について

万一、原子力発電所で事故が発生した場合の行動については、「十日町市原子力災害対応ガイドブック」のほか、国などからも示されています。あなたは、事故が発生した場合の行動について理解していますか？あてはまるもの1つだけに○をつけてください。

【全体の傾向】

「おおむね理解している」が94(12.4%)、「どちらかと言えば理解している」が168(22.1%)、「あまり理解していない」が328(43.1%)、「理解していない」が171(22.5%)となっており、「あまり理解していない」と「理解していない」を合わせた割合(65.6%)が「おおむね理解している」と「どちらかと言えば理解している」を合わせた(34.5%)を31.1ポイント上回っている。

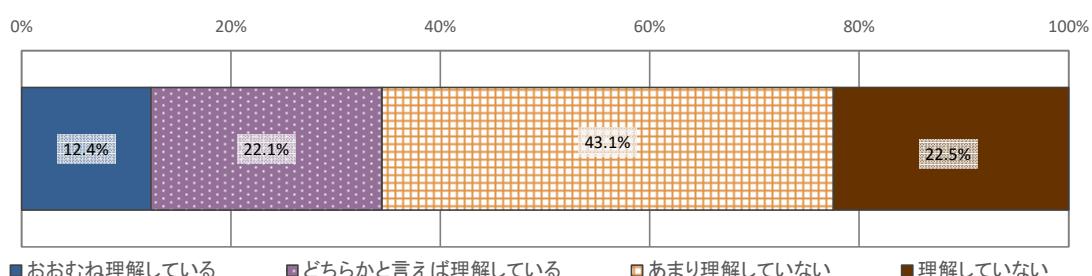
【年齢別集計】

年齢別では、『10代』を除き、「あまり理解していない」と「理解していない」を合わせた割合が「おおむね理解している」と「どちらかと言えば理解している」を合わせた割合を上回っている。なお、「おおむね理解している」と「どちらかと言えば理解している」を合わせた割合は、『10代』が60.0%で最も高く、次いで『80代』(43.8%)、『70代』(38.0%)となっている。

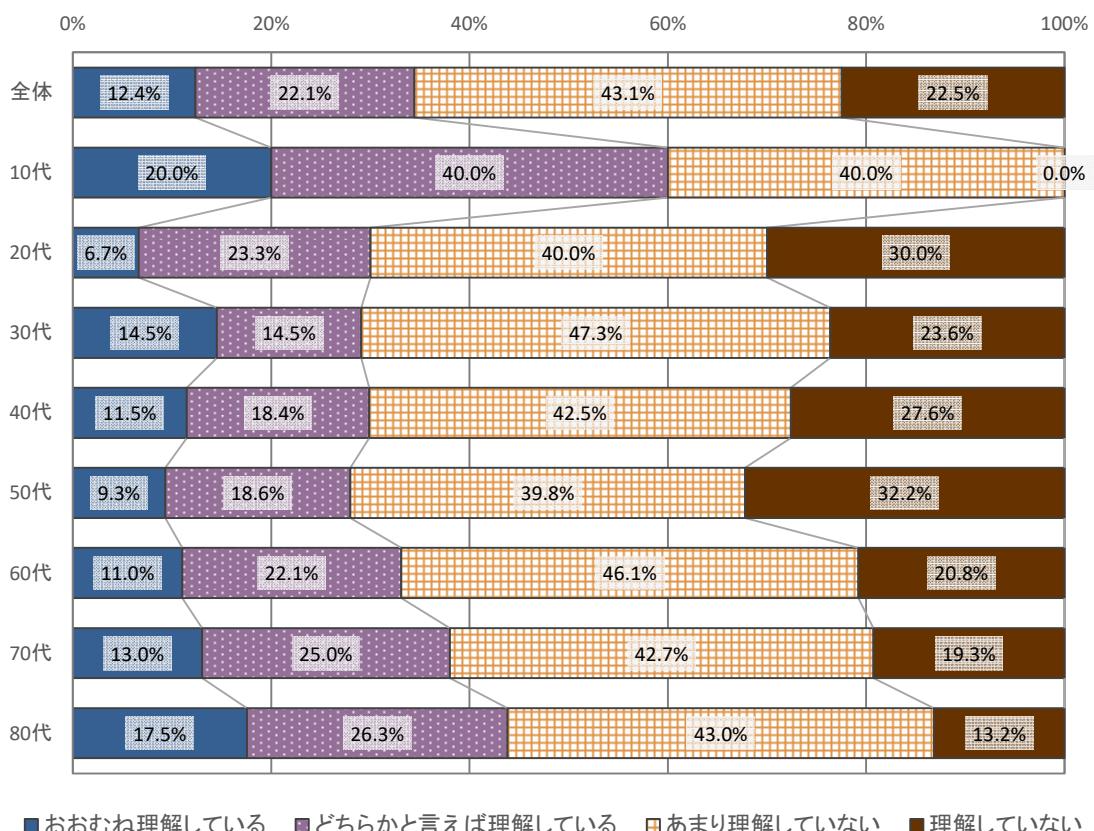
【全体の傾向】

分類	件数	割合
おおむね理解している	94	12.4%
どちらかと言えば理解している	168	22.1%
あまり理解していない	328	43.1%
理解していない	171	22.5%
合計	761	100.0%

(無回答: 65)



【年齢別集計】



■おおむね理解している ■どちらかと言えば理解している □あまり理解していない ■理解していない

＜過年度（R5）との比較＞

【全体の傾向】

「おおむね理解している」と「どちらかと言えば理解している」を合わせた回答割合については、前回の 29.5%から今回は 34.4%となり、4.9 ポイント増加した。

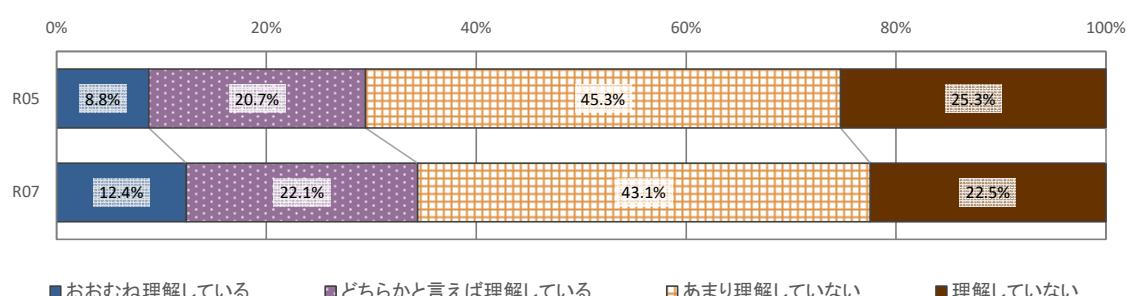
「あまり理解していない」と「理解していない」を合わせた回答割合については、前回の 25.3%から今回は 22.5%となり、2.8 ポイント減少した。

【年齢別集計】

「おおむね理解している」と「どちらかと言えば理解している」を合わせた回答割合については、10 代、20 代、60 代の順で増減が大きく、10 代は 43.3 ポイント増加、20 代は 12.1 ポイント増加、60 代は 6.6 ポイント増加している。

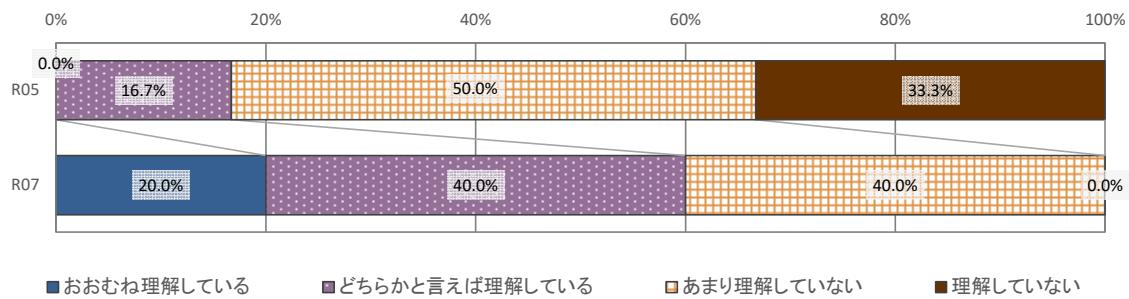
「あまり理解していない」と「理解していない」を合わせた回答割合については、10 代、30 代、80 代の順で増減が大きく、10 代は 33.3 ポイント減少、30 代は 21.0 ポイント減少、80 代は 7.3 ポイント減少している。

【全体の傾向】

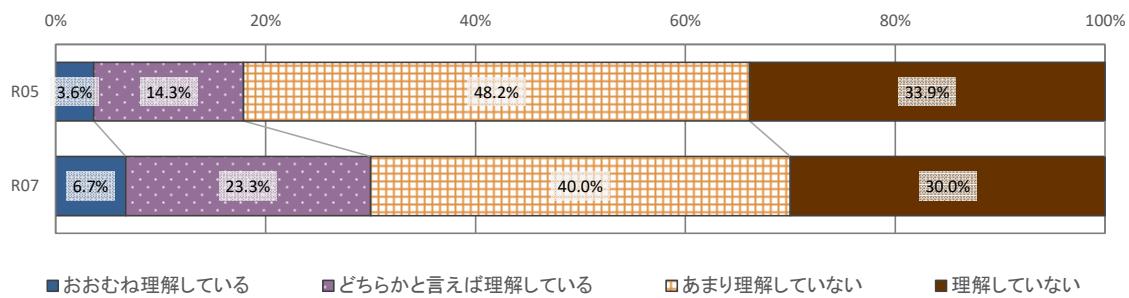


【年齢別集計】

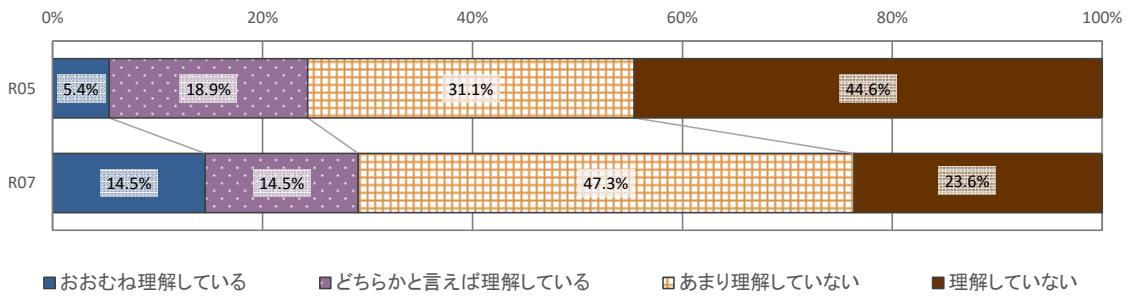
1. 10歳代



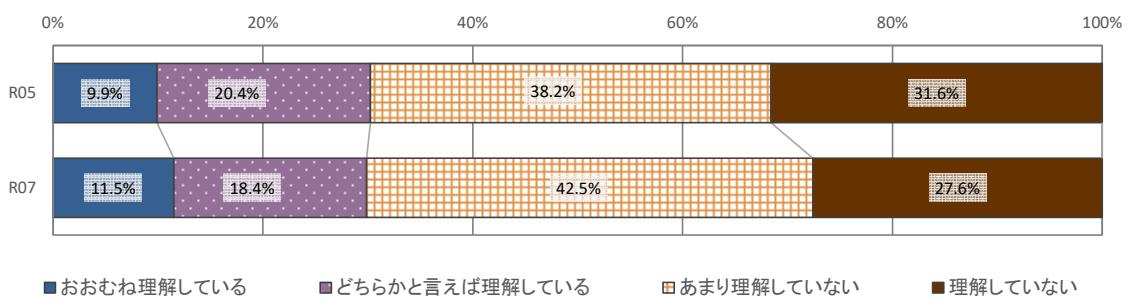
2. 20歳代



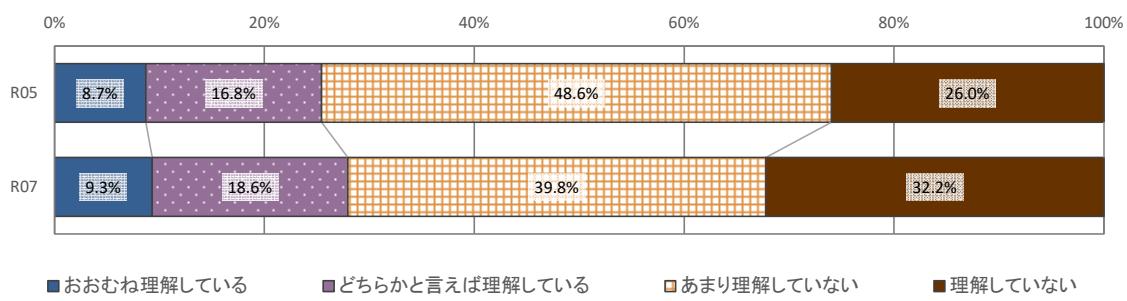
3. 30歳代



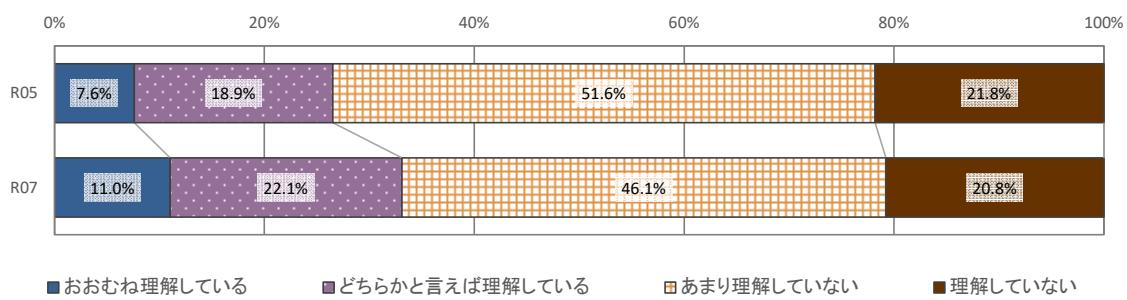
4. 40歳代



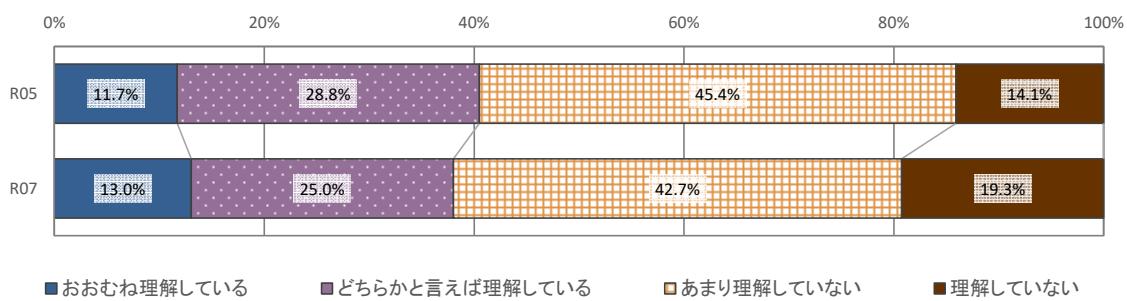
5. 50 歳代



6. 60 歳代



7. 70 歳代



8. 80 歳代

